



Palm Magazine vol.4

Cover
 Photo YUASA Tethuo
 Art Direction MAKI Shuwo
 Model Palm Vx Millennium Edition



速報! PalmSource Forum Tokyo 2001

6 どうなる Palm OS 4.0

special

10 特集1 ソフト・ハードの疑問を一刀両断
すぐに役立つトラブル解決術100

65 特集2 そろそろ次の機種が欲しくない?
Palm 乗り換え & 共存テクニック

81 特集3 入力をバリバリしたいアナタに
個性で選ぶ外付けキーボード

news

42 Palmのニュースをピックアップ!
information

機種別ニュース

47 m100 Magazine

48 Visor Magazine

49 CLIE Magazine

世界の珍品をアナタに代わってレビューします

50 Buying Advice **番外地**

新製品紹介

56 Buying Advice

明日のパームウェア作家はキミだ!

106 「Palm OS Software Contest 2001」**詳報**

useful

- 36 気になる3大ソフトを検証
手書き入力ソフト・徹底大解剖
- 62 21世紀はモバイルがあたりまえ!
てのひら通信生活
- 78 初心者歓迎
基本ソフトを使いこなそう
- 90 Best Transfer Adviser
電車経路検索ソフト徹底比較
- 99 山田達司氏の悩み相談室
パームの達司 (人?)
- 114 Palmをパワーアップ
Hack&DA って何?
- 138 **初心者のための用語辞典**
- 140 **周辺機器カタログ**
- 142 **Palmデバイス現行機種10機種比較一覧表**

variety

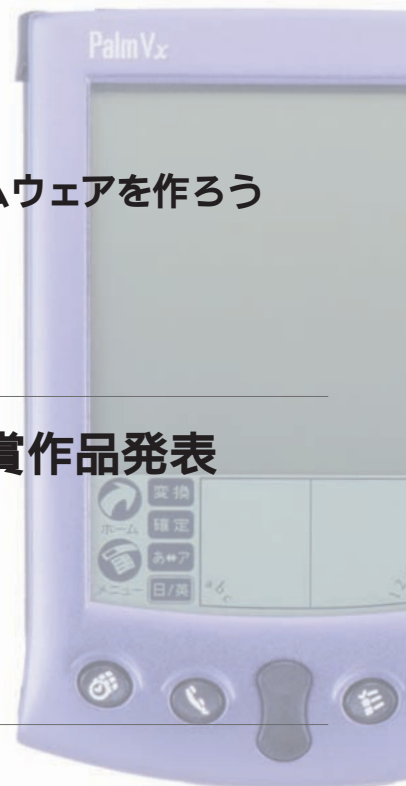
- 52 特別インタビュー / Palm, Inc COO
アラン・ケスラー氏が語るPalmの未来
- 54 ソニー開発陣に聞く
メモリースティック進化論
- 76 160×160ドットで遊び倒せ
GO GO Palm Gamers!
- 80 パーム機長のひとりごと
パーム美術館
- 88 **こだわりのケースを纏え!**
- 100 パームウェア開発講座 番外編
先進のJava開発環境でパームウェアを作ろう
- 108 **日本語で読めるおすすめプログラム本**
- 136 **To Go サイト案内板**

palmware

- 113 CD-ROMに収録 / 第1回「クリエイ」
プログラムコンテスト入賞作品発表
- 118 いいモノだけを世界から
Palm海外ソフト 漫遊記
- 120 **新着おすすめパームウェア**
- 122 **厳選パームウェア300**

present

- 64 Webで答えてプレゼントをもらおう!
読者アンケート
- 109 **特別付録 CD-ROMの使い方**





Palm Source

次期OS 4.0 / 5.0 国内サービスの展開

Keynote

Palm プラットフォームの 優位性をアピール

東京・赤坂にある全日空ホテルで、Palm コンピューティング㈱主催の「Palm Source Forum Tokyo 2001」が2日にわたって開催された。これは、Palm プラットフォームの開発者を対象に、ハードウェアやOS、周辺機器などの最新情報を伝える開発者会議だ。初日の14日は、米Palm社最高執行責任者(COO)のアラン・ケスラー氏(写真1、52ページにインタビュー掲載)や最高マーケティング責任者(CMO)のサジブ・S・チャヒル氏が基調講演を行った。

ケスラー氏は、2000年までに北米の企業の60パーセントがPalm OSを企業内の標準プラットフォームとして採用し、1100万台を超えるPalm デバイスが出荷されたこと

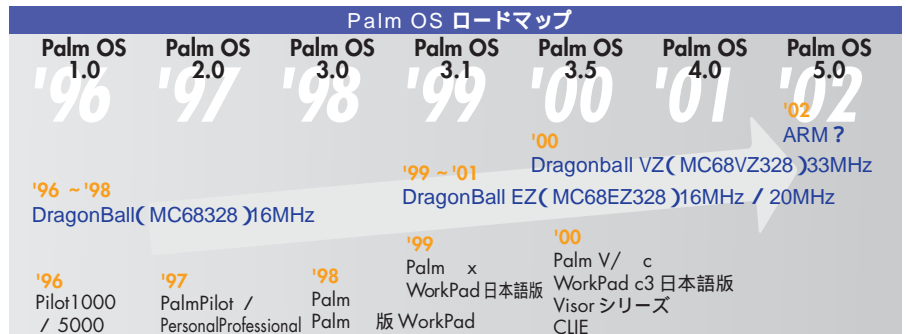


図 Palm OSではこれまで米モトローラ社のCPU「DragonBall」を採用してきた。OS 4.0よりも無線通信機能が強化されるOS 5.0では、英アームホールディング社の「ARM」に移行される予定だ。CPU速度も高速になる

を挙げ、Palm デバイスがPDAにおける標準の地位を占めたことを強調。今後のビジョンとして、Palmをインターネットにつなげて運動して利用できるウェブPIMやEウォレット(電子財布)、人物認証(運転免許証やパスポートといったID認証)といった分野の可能性を示した。

チャヒル氏は米国で放映中のTVコマーシャルや雑誌の紹介記事を指し「Palmのあるライフスタイル」を強調するマーケティ

ング活動を紹介。また、2000年9月に発売された「m100」以降、すべてのPalmデバイスに付けられている「Palm Powered」のロゴを示して「"Intel Inside"のようなものだ」と言って会場を沸かせた。

最後にPalm コンピューティング㈱代表取締役のクレイグ・ウィル氏が登場し、2000年に国内で販売されたPDAの51パーセントがPalm デバイスというデータを挙げ、Palmの優位性と今年の戦略を述べた。



写真1 '99年6月より現在の職務に就く。PDA市場におけるPalmのリーダーシップの拡大に努める



写真2 記録メディアだけでなく、デジカメやGPS、モデムといった拡張性を備えるSDカードの開発も進んでいる。松下寿電子工業㈱は、秋からBluetooth機能を持つSDカードの量産態勢をとる

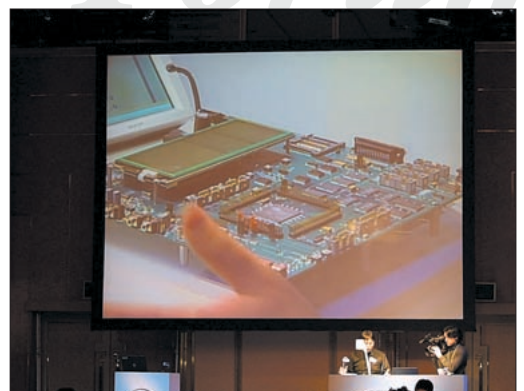


写真3 Palm OS 5.0で対応予定のRISCタイプのCPU「ARM」を使ったデモ。従来のDragonBall用のプログラムはエミュレーター上で高速に動作する。なお、OS5.0は2002年にリリースの予定だ

Forum Tokyo 2001

2001.2.14-15

の現状と と展望

いまや国内PDA市場のシェアの半分以上を占めるPalm。今回の発表で、OSのバージョンアップやサービスの充実、さらなる市場の拡大など、2001年の戦略が見えてきた。

撮影 Dee 文 編集部

今年中旬には4.0対応の デバイスをリリース予定

続けて、Palm OS 4.0 / 5.0のデモや国内での各種サービスの予定も発表された。

まず、企業向けモバイルコンピューティング市場参入を狙った、ビジネスパートナーのプログラムの実施を発表。Palm OSをベースとしたソリューション開発や構築のサービスを展開する。OS 4.0の拡張性に伴う記録メディアのハードウェア開発に対するパートナーシップも紹介された(写真2)

コンテンツでは、海外のPalm用ソフトのパッケージ販売・流通をソフトバンクが、オンラインダウンロードではベクター(<http://www.vector.co.jp>) がサービスを行うことを発表。また、オンラインショップ「Vis-a-Vis」(<http://www.visavis.co.jp/>) を運営する株式会社ミヤビックスが、同じくPDA周辺のソフト、ハードをオンライン販売する「Handango」(<http://www.handango.com/>) を運営する米Handango社との業務提携を発表した。これにより、海外ソフトを日本語サイトでダウンロードし、日本円で決済できる。サービスの開始は5月を予定。

ユーザー向けサービスでは、ニフティ(株)が「Palm OS@nifty」(<http://palm.nifty.com/>) を3月15日から開始する。Palm関連ニュースやFAQのほか、Palmデバイス向けのサイトも併せて提供する。

教育関係では、立教大学とPalm コンピューティング(株)が、Palm OSプラットフォームを利用した教育・研究用情報環境の共

同開発の合意を発表した。移動しながら試験のスケジュールの確認をしたり、データの分析といったことが行えることになる。

また、Palmの可能性をより広げるイベントとして、「Palm OS Software Contest 2001」を開催する。詳しくは本誌106ページか、コンテスト事務局(<http://www.palm-japan.com/contest/>) へ。

デモではまず、評価用ボードを使ったARM プロセッサ上で動くOS 5.0が披露され、CPUが替わっても、DragonBall (MC68328) プロセッサで動いていたチェスゲームでさえエミュレーター上で動作することを示した(図、写真3)

今年半ばリリース予定のOS 4.0の新機能として、ストレージの拡張、音声通話、ウェブブッキング、フルドキュメント、WebClipping、Bluetooth、24ビットカラー(6万5000色)などへの対応が挙げられた。デモではこれらが問題なく動作する様子を見せ、Bluetoothに対応した対戦ゲーム(写真4、5)やPalmデバイスで動画を扱うことができる「gMovie」(写真6)、「WebClipping」(写真7)などが紹介された。今年半ば発売予定の新機種では、このOS 4.0が搭載され、通信機能内蔵となるようだ。同時期にサービスを予定している「Palm.net」でのWebClippingサービスやPalm.netを楽しむための「MyPalm」の日本語化もリリースされるだろう(Palm.netについては62ページ参照)。

Bluetooth

写真4 Bluetoothに対応した、米アストラウェア社の対戦ゲーム「Biplane Ace」のトップ画面

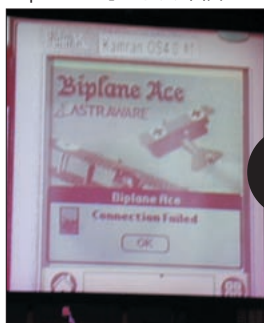
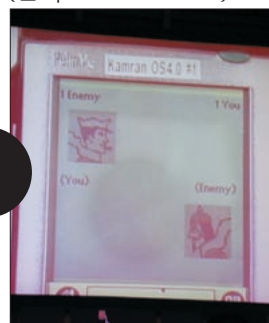
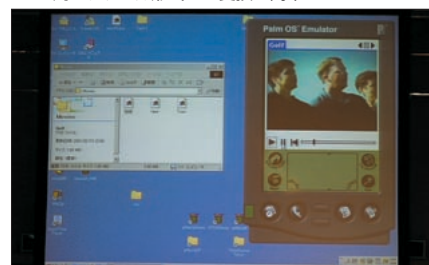


写真5 相手の確認画面。1対1のプレーも行われた。撮影 / ascii24 (<http://www.ascii24.com/>)



gMovie

写真6 CLIE付属の「gMedia」が、ほかのPalmデバイスにも対応し「gMovie」という名前生まれ変わった。Palm用のファイル形式への変換も簡単



WebClipping

写真7 (株)ウェザーニュースによるWebClippingのコンテンツ例。今年半ばに国内サービスを予定している「palm.net」への準備が着々と進んでいるようだ



次期 Palm に搭載予定 SDカード

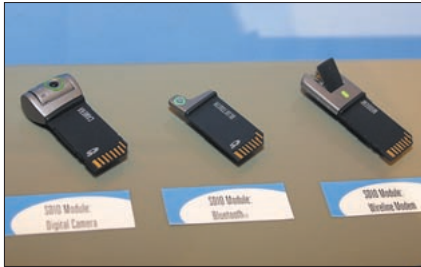
パーム コンピューティング(株)製の次期 Palm に搭載される SD カードスロットを用いて、Palm の機能を拡張するモジュールのモックアップが並んだ

デジカメ / Bluetooth



東芝(株)や米サンディスク社などと、SD カードの中核を担う松下電器産業(株)は、デジカメと Bluetooth のモックアップを展示。今年下半期の製品化を目指す

デジカメ / Bluetooth / モデム



GPS / バーコード / MP3



パーム コンピューティング(株)は、モバイル用途に適した 6 つのモックアップを展示。モジュール開発ではソニー(株)の後塵を拝しており、年内の製品化を予定

今度の eyemodule は 動画撮影にも対応



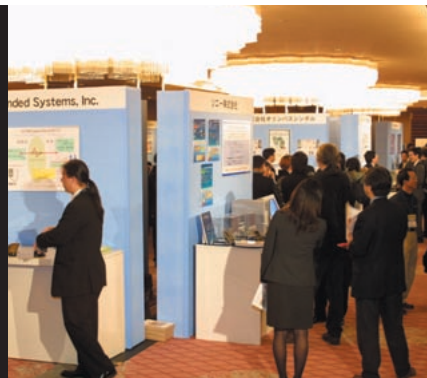
「eyemodule2」は、640 × 480 ドットのフルカラー画像や 160 × 120 ドットのミニムービーに対応。国内では、(株)エム・ディ・エスが販売する(図2万7800円)



Palm Source Forum Tokyo 2001

会場の

注目製品



無線 LAN に対応した 業務用 Palm デバイス



(株)オリンパスシンボル製の「SPT1746」は、バーコードリーダーや IEEE802.11b 対応の無線通信機能を搭載。業務用だが、実売価格 23 万円程度ですすでに販売中だ

すべての Palm デバイスを 完全サポートするケース



小誌 Vol.3 でも紹介した台シグマ社製の Palm ケースの販売が 3 月上旬から開始。国内では(株)エム・ディ・エスが取り扱う。また、Web ページも用意された <http://www.xigmagoods.com/>

携帯電話用モデムの定番 「スナコネ」Visor 版が登場

携帯電話用モデム「SnapConnect」の Visor 版が ついに登場。単 4 乾電池 2 本で動作し、AU グループの「PacketOne」や(株)NTTドコモのポケット通信サービスにも対応する(cdmaOne と PHS 接続には別売りのケーブルが必要、各 3000 円) 付属ソフトは「Palmscape 3.1J」や「PalmscapeMail 1.0J」など



OEM 先募集中の 赤外線プリンター

松下電器産業(株)は、Palm の画面をそのまま印刷できる OEM 用の赤外線プリンターを用意。開発は完了しているので、OEM 先が決定次第、販売開始できる

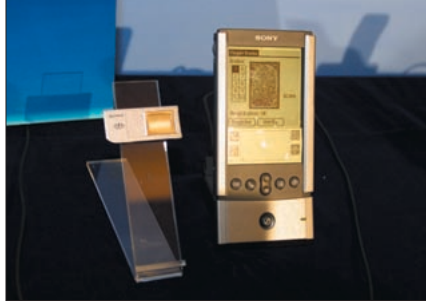


図 (株)アイ・オー・データ機器
1 万 9800 円
<http://www.iodata.co.jp/>

もう動きます!! メモリースティック

いち早く拡張モジュールを提唱してきたソニー(株)は、ついに実働サンプルまでたどり着いた。いずれも年内をめどに製品化の予定だ

指紋認識



デジカメ



GPS



ベクトルデータを扱い 可変フォントも搭載する



インターネットから地図データを取得する「JaMaPS」。パソコン経由でのデータ取得にも対応し、大きさを自由に変更可能なフォントを搭載



Webサーバー上のプログラムにPalmからアクセスして、電球のオン/オフを行う。インターネット家電を操作する可能性につながるデモだ

Palmの可能性を広げる 拡張モジュール競争に注目

期間中、会場には28のブースが設置され、各社がPalm関連のソリューションを展示した。開発者主体のフォーラムだけあって、コンシューマー向けの製品展示よりもコンセプト製品や業務用の製品が目立った。一番目を引いたのは、SDカードとメモリ

ースティックのインターフェースを利用した拡張モジュールだ。Palmコンピューティング(株)のブースでは、デジカメ/Bluetooth/モデム/GPSレシーバー/バーコードリーダー/MP3プレーヤー...の6つのモックアップを展示。それに対してソニー(株)は、デジカメ/指紋認証/GPSレシーバー...の3つと数は少ないが、稼働する製品サンプルを用意した。実際に動いて

いる姿を目の当たりにすると、Palmにここまでできるのかと、感心せずにはいられない。両社ともに、年内にはコンシューマー市場への製品投入を目指している。

ベクトルデータに対応するKDD研究所(株)の「JaMaPS」は、近々Adobe Illustrator形式のファイルコンバーターを用意して、伸縮自在のファイルをPalmで扱えるようにする。地図や文書の携帯に一役買いそうだ。

会場案内の配布にも使用した 赤外線通信ソリューション



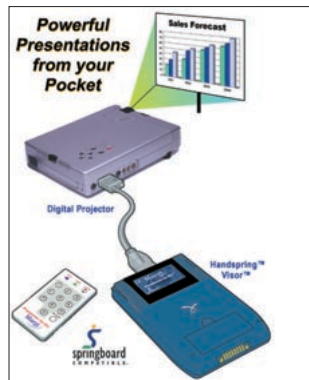
本体に蓄積したデータを、赤外線通信を使ってPalmへ転送できる「EthIR STAR」。会場の数力所で案内図の配布にも使用された

ビジネススペースの 自動検温システム



スタンシステム(株)製の「ThermoButton」は、ボタン状のセンサー(囲み)で定期的に温度を計測して、それをPalmに読み込むシステムだ

外出先でのプレゼンテーションは Visorを持参するだけでOK!



米マルジシステム社製の「Presenter-To-Go」は、PowerPoint書類などをコンバートして容量2MBのメモリーに記憶、外部出力可能なスプリングモジュール。日本語対応は未定

ソフトハードの疑問を一刀両断

すぐに役立つ トラブル解決術

許伝
免皆

100

使い込んでいるうちに発生する、さまざまなトラブル。グラフィティの認識率が悪いといった軽いものから、データが消えてしまった！という重大な問題まで、ズバリ解決法を伝授しよう。

入力・操作編

Palmでの文字や記号の入力は、パソコンに比べると面倒だ。「どうすればこの文字が入力できるの？ 速く文章を書きたい」といった苛立ちは、Palmを使ったことのある人なら誰でも経験しているはず。ここでは、グラフィティーに関することを中心に、よくあるPalmでの入力・操作方法の疑問を集めてみた。

質問

1

どうしてもグラフィティーが覚えられない

グラフィティーをすべて覚える必要はない。パッケージに付いているグラフィティーシールをカバーや本体裏面などに張り、必要に応じて確認すれば十分だ。頻繁に入力する文字や記号の入力方法はこれで自然に覚えていける。

多くの内蔵アプリケーションでは、メニューの「編集」にある「Graffitiヘルプ」でGraffitiヘルプが呼び出せる。これはコマンドの「/G」でも表示できる（コマンドについては13ページの「質問9」を参照）。また、「環境設定」の「ボタン」を選択し、「スタイラス」ボタンをタップすると、グラフィティーエリアから画面に向かってスタイラスでドラッグ操作したときに起動できる機能が設定できる（図1）。ここで「Graffitiヘルプ」を選択しておけば、簡単にヘルプ画面を呼び出せる（図2）。



図1 図のようにドラッグして「Graffitiヘルプ」を起動する



図2 Graffitiヘルプでは、グラフィティーの入力方法が表示される

質問

2

グラフィティーがうまく認識されなくて困る

グラフィティー入力が誤って認識される場合、筆圧を気持ち強めにして再度入力してみよう。それでもダメならデジタイザーの調整が必要だ。まず「環境設定」の画面でメニューから「デジタイザー」を選択する（図3）。次に、普段の筆圧で画面に従って3点をタップしよう（図4）。これにより、「タップされるべき場所」と「実際にタップされる場所」が調整できる。

ちなみに、グラフィティー入力はゆっくりと気持ち強めに行うのがコツ。特に画面保護シートを張っている場合は、強めに入力するといい。この場合、画面保護シートが液晶と本体の間に挟まれてタッチ操作そのものが誤動作していないかどうか確認しておこう。慣れてくると、入力スピードを上げてても正確にグラフィティーが認識されるようになる。

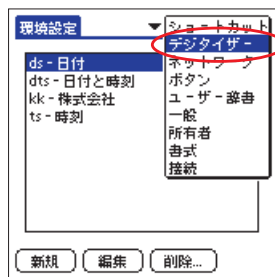


図3 「環境設定」画面でメニューから「デジタイザー」を選択する

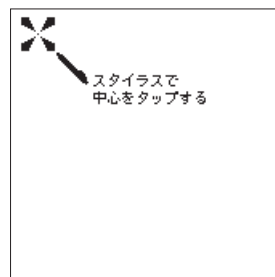


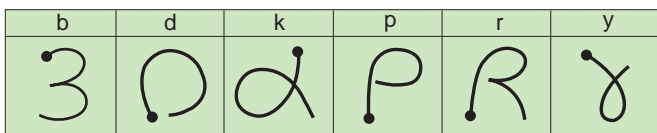
図4 左上、右下、中心の3点をいつもの筆圧で順にタップする

質問

3

「b」「d」「y」がなかなか入力できない

グラフィティーの中には、Graffitiヘルプなどで紹介されている入力方法よりも認識率の高い別の書き方がある文字もある。それらを覚えるのがいいだろう（下图）。



質問

4

アルファベットを大文字で入力したい

シフト キヤップスロック
「shift」や「caps lock」などのキーボードアクションはPalmにも存在する。グラフィティーの文字入力エリアで下から上に1回線を引けばshift、2回ならcaps lockの状態になる（図5）。

図5 「caps lock」の状態にすると、右下に図のようなマークが現れる





質問 5 タップ位置がすぐにはずれて画面が押しにくい

液晶保護フィルムの影響やハードのトラブルが考えられる。液晶保護フィルムを、タッチパネルと本体のすき間に挟むよう張っている場合、その部分がPalmデバイス本体を握っている力に反応することがある。すると、スタイラスでボタンをタップしたり、グラフィティを入力したりしても正確な動作はできない。まずは保護フィルムの大きさを調整してみよう。また、タッチパネルの接点不良が起こっている可能性もある。保証期間内であれば、メーカーサポートに相談してみるのがよいだろう。

質問 7 数字を入力するとアルファベットになる

Palmでメモを取っていて、日本語入力モードから英語入力モードに切り替えたあと、数字を入力したはずなのに異なるアルファベットが入力されたことはないだろうか？ この原因はHack Masterエクステンションの「Middle Caps Hack」である。

Middle Caps Hackは、グラフィティエリアのアルファベット入力エリアを左右2つに分けて、その境界線を交差したり、任意のエリアから書き始めるときにアルファベットを大文字にする機能を持つ。日本語入力モードでは、この境界線をまたいで書くだけでローマ字入力ができ、グラフィティエリアを大きく使える(図8)。

ただし、日本語入力モードから英語入力モードに切り替えた直後に数字を入力しようとすると、アルファベット入力エリアでグラフィティを描いたかのようにアルファベットが入力される。つまり、「2」を入力しようとすると「Z」が入力されるのだ。残念ながらこの現象を回避する術はない。数字を入力する必要があるなら、入力ポイントを変えたり、一度半角スペースを入力してバックスペースで戻るなどの対策をとるといいだろう。

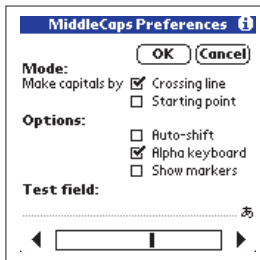


図8 日本語モードから英語モードに切り替えた直後の数字入力には注意

質問 9 データの削除やコピーを簡単に操作したい

「コマンド」機能を使おう。Graffitiエリアで下から上に向かって「/」を書き、画面下に現れるウィンドウから実行したい操作を選択する。また、ウィンドウ表示中にアルファベットを入力すれば、ほかのコマンドも実行できる(図9)。

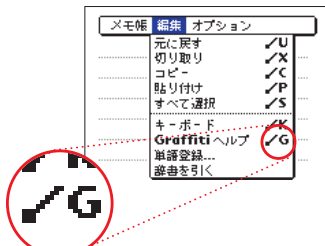


図9 基本操作以外のコマンドはメニュー上で右端に表示されている

質問 6 日本語OSで全角英数字を入力したい

Palm OS日本語版の標準の状態では、全角英数字の表示はできないが入力はできない。Palmデバイス単体で全角英数字を入力/表示するには、別途、日本語入力変換ソフトを使うのが手取り早い。例えば「ATOK Pocket for Palm OS」やフリーウェアの「manae」(<http://www.tt.rim.or.jp/naoz-i/>)、^{エイトックポケット}「POBox」(<http://www.csl.sony.co.jp/person/masui/>) などだ。

とにかく全角英数字を手軽に入力できればいいのなら「manae」がお勧め(図6、7)。全角を直接入力できるので変換操作は不要。Palm OS日本語版標準のかな漢字変換機能を使うのであれば、専用の変換辞書をインストールする必要もない。ただし、Hackソフトのため別途「HackMaster」などのソフトをインストールする必要がある。

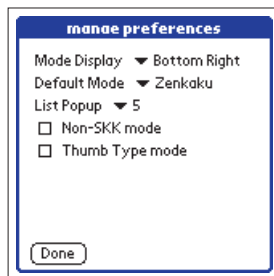


図6 「manae」の設定画面。



図7 右下の「あ」は、「manae」が全角モードであることを示す

質問 8 半角カナを入力したい

半角カナを入力する場合は、まず漢字変換を行い、漢字候補の中にある半角カナを選択する。「ATOK Pocket」では、ATOK設定の「入力・変換」で、半角カタカナを後変換候補に追加しておくか、手書き入力時に半角入力モードにしておくと、半角カナの入力が可能になる。

なお、「Palm OS英語版+J-OS」という組み合わせでは、半角カナの入力、閲覧はできない。ただし、最新版の「J-OS IV」では閲覧が可能になっている。

質問 10 よく入力する単語をすぐ呼び出したい

「ショートカット」機能を使えば、よく入力する文字列を短い表記で呼び出せる。Graffitiエリアに下図のショートカットを書き、続けてアルファベットを入力する。標準では4つのショートカットが用意されているが、自由に追加・削除などの編集ができる(図10)。

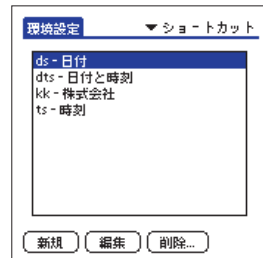
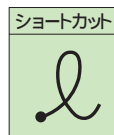


図10 「環境設定」のメニューから「ショートカット」を選んで編集する

データ編

大切な個人情報が詰まっているPalmだからこそ、エラーが起こると顔が青ざめてしまう。ここでは、HotSyncのトラブルからデータ形式の変換、赤外線通信まで、データを扱う際のトラブル大集合。冷や汗をかくことがないように、対処法を記憶の片隅にとどめておこう。

質問

11

マックOS 9.0.4でHotSyncを行うとフリーズする

まずは最初に、いま使っているPalm Desktopのバージョンを確認してほしい。Palm Desktopを起動して「アップル」メニューから「Palm Desktopについて」を選択すると、バージョンが表示される。

もしも、バージョン2.5かつUSBポートを使ってクレードルを接続している場合は、最新版であるバージョン2.6.1を使うようにしよう。マックOS 9.0.4とUSBの組み合わせでは、PalmとHotSyncしている間にマックがタイムアウトしてしまうトラブルがあり、その不具合を解消したものがPalm Desktop 2.6.1なのだ。

パーム コンピューティング㈱では <http://www.palm-japan.com/support/macintosh/macos904.html> から、HANDSPRING㈱では http://www.handspring.co.jp/support/ts_macos904.asp からバージョン9.0.4のファイルをダウンロードできるので確認してみよう。

質問

13

HotSyncエラーが表示されてしまう

クレードルとパソコンとの接続は完璧なのに、何度HotSyncボタンを押しても「HotSyncエラー」と表示されてうまくいかない……。

もしかして、Visor DeluxeやWorkPad 30J、同31J、同40JなどのPalm OS 3.1搭載機を使っており、ライブラリーを追加して赤外線通信機能を拡張した記憶はないだろうか？ Palm OS 3.1には、赤外線HotSyncや赤外線モデムを利用するためのライブラリーが標準では付属しておらず、米パーム社のWebページ（<http://www.palm.com/support/downloads/irenhanc.html>）からダウンロードして、追加する必要がある。環境設定の「Serial/IR」設定で、赤外線ポートをシリアルポートとして使用する設定にしたままになっているかもしれない（図1）。一度赤外線を使ったらもとに戻しておこう。

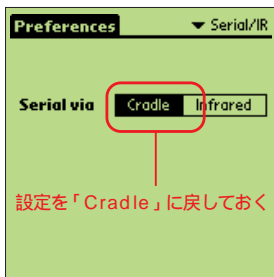


図1 白抜き文字が選択中の設定。画面では「Infrared」になっている

質問

12

USB接続でHotSyncできなくなった

CLIEやVisorシリーズなど、標準の接続形態がUSBという機種が増えており、今後登場するPalmはほとんどUSB接続になっていくだろう。しかし、昨日までは正常にUSB接続でHotSyncできたのに、突然できなくなったという話をしばしば耳にする。

まずはパソコン側のOSのバージョンを確認しよう。USBポート自体、若干動作が不安定な側面がある。そのためUSBポートの安定性に改善を施してあるOSを使いたい。ウィンドウズならウィンドウズ98SE以降、マックならマックOS 9.0.4以降が比較的安定して動作する。

認識しなくなったら、USBコネクタを差し直したり、システムを再起動するだけで改善することがある。また、USBハブ経由でクレードルを接続しているのなら、パソコン本体のUSBポートに直接接続したほうが安定性は高くなる。

質問

14

ウィンドウズでHotSync中に突然フリーズしてしまう

ウィンドウズマシンと、Palm Vxや同cに付属しているシリアル接続のクレードルを使っていると、一部の製品でフリーズやハングアップする不具合がある。

症状は、ウィンドウズマシンに「Palm Desktop」をインストールしたあとパソコンがハングアップし、砂時計と矢印が交互に表示される、いったんシステムがハングアップすると電源を切ることができない――などだ。これらの症状はクレードルに原因があるかもしれない、パーム コンピューティング㈱が正式に発表している。クレードル交換を実施しているので、インフォメーションセンター（☎0120-564-380）に問い合わせよう。ただし、該当製品が否かを判別する事前テストが公開されているので、まずはそれを実行してみよう（<http://www.palm-japan.com/support/windows/systemhang05032000.html>）。また、パーム コンピューティング㈱のOEM製品を扱う日本アイ・ピー・エム㈱でも、WorkPad 50Jで同様の問題が発生することをアナウンスしている（<http://www.ibm.http://www.ibm.co.jp/pc/workpad/news/50j09.html>）。



質問

15

HotSyncの時間が異常に長い

Palmを買ったばかりのころはHotSyncに要する時間はほんの一瞬だったのに、使い込むうちに数分もかかってしまうようになる。使うにつれてHotSyncするデータの量が増えていくのはわかるし、メモリー容量が8MBの機種では大きなPalmウェアをインストールする機会も多く、HotSyncのバックアップ機能で大きなファイルをバックアップしていることもあるのでなおさらだ。

ただし、HotSyncは毎回すべてのデータをバックアップしているのではない。ファイルをチェックして、あくまでも変更のあったものだけをやり取りしているのだ。確かに、大きいファイルやデータをインストールしたときは、それ相応の時間がかかる。しかし、次回以降のHotSyncからは、ファイルを変更しない限りバックアップの対象にはならないので時間は短くなるのだ。また、「アドレス」を大幅に編集した場合なども、パソコンとPalmでデータの相違が発生するので時間がかかってしまう。

「アドレス」や「バックアップ」など、毎回HotSyncする必要のない機能をオフにして、時間を短縮する手もある。ウィンドウズの場合は、Palm Desktopの「HotSync」メニューにある「動作設定」、マックの場合は同じく「HotSync」メニューにある「コンジット設定」を選ぶ(図2)。すると、コンジットが一覧表示されるので、コンジットを選んでダブルクリックしよう。このウィンドウではHotSyncの動作設定を行え、同期を実行しないという選択肢も選べる。好みの設定に変えたあとで、ウィンドウズなら「標準として保存」、マックなら「初期設定にする」を選んでおくと、次回の

HotSyncから設定が有効になる。

また、HotSync実行時にパソコンにバックアップされるファイルは、「バックアップビット」と呼ばれる印によって区別されている。バックアップビットがオンのファイルをバックアップする、オフのものはバックアップしない、というわけだ。各ファイルのバックアップビットをオフにしてしまえば、その分HotSyncの時間は短くなる。もちろん、バックアップされなくなるのでトラブル時に困らないよう大切なデータはオンにして、いつでもインストールできるソフト本体などをオフにする。バックアップビットの編集は、標準でPalmエクスプローラーに付属するソフトでは行えないので「DB Explorer」(CD-ROM収録、133ページ参照)などのユーティリティを使う必要がある(図3)。必要/不必要を見極めて、上手にバックアップを設定しよう。

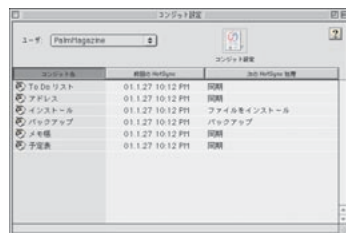


図2 ウィンドウズ(上)とマック(下)のコンジットの設定画面。基本的にどちらも同じ内容になっている

バックアップビットの設定

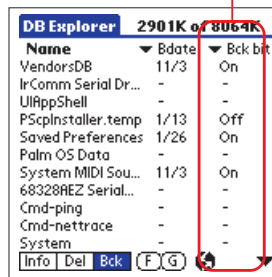


図3 「DB Explorer」は、普段変更のできないデータを編集できるので扱いに注意する

質問

16

名刺交換やソフトの送信など ビームがうまく行えない

次の項目を確認してみよう。Palmの環境設定にある「赤外線通信の受信」がオフになっていないか(図4)。バッテリーの残量は十分か、赤外線ポート同士は向かい合っているか(特にVisorは赤外線ポートが横にあるので注意)、赤外線ポート同士は近すぎて離れすぎていてもいけないので、大体5cmから15cmくらいを目安に、赤外線に影響する蛍光灯スタンドや液晶モニターが近くにないか、近くに赤外線を使う機器がないか...など。

また、CPUのクロック周波数を変更するユーティリティを使っていると、赤外線通信がうまく機能しない。事前にオフしておくか、例外設定で「アドレス」など赤外線を使用するソフトの速度を標準状態にしておくといいい。たとえば「GoType!」のドライバーのように、シリアルポートを独自に使用するソフトの中には赤外線受信をオフにするものもある。

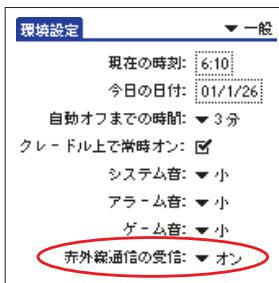


図4 環境設定の「一般」で赤外線を受信するかどうかを設定できる

質問

17

ソフトのインストールを 予約してもインストールできない

Palmのファイル形式である「PRC (Palm用ソフトの拡張子)」や「PDB (Palm用データの拡張子。ただし、PRCという拡張子の付いたデータもある)」は、ウィンドウズマシンにインストールした際に、拡張子の関連付けが正しくされていれば、ダブルクリックするだけでインストールを予約できる。マックの場合も、アイコンが付いていればダブルクリックでインストール予約を行える。ただし、白紙アイコンで表示される場合は、「HotSyncマネージャ」でインストール予約の画面を表示させてから、ドラッグ&ドロップで個別にファイルを登録する。

気をつけるのはHotSyncマネージャで複数のユーザーを設定している場合だ。ユーザーのプルダウンメニューがインストールしたいPalmのユーザー名になっているかを確認しておこう(図5)。別のユーザー名になっているのに気付かないと、いくらHotSyncをしてもソフトはインストールされない。

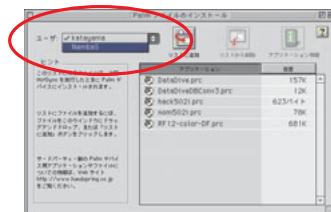


図5 ダブルクリックでは、現在選択しているユーザーのPalmに予約する

質問

18

CFカード経由でのインストールに失敗する

TRGproは、拡張スロットとして背面に「コンパクトフラッシュカード」(以下、CFカード)スロットを搭載している。あらかじめパソコンからCFカードにコピーしておいたPalmウェアを、TRGpro本体にコピーするだけでインストールできるという特徴がある。インストールは通常のHotSyncより高速なので、サイズの大きいPalmウェアのインストールに重宝しようだ。

ところが、エイトックポケット 懶ジャストシステムの「ATOK Pocket」や、ネオスコレーションゴゴペン 懶の「GOGO Pen」といったPalmの機能を拡張するソフトの場合は、この方法でインストールしても正常に動作しないことがある。また、FireViewer形式の画像ファイルも、CFカード経由では正常にインストールすることができない。サイズが大きいこれらのファイルこそ、CFカード経由で高速なインストールをしたくなるのが人情というモノだが、いまのところあきらめて通常のHotSyncでインストールするしかないのだ。

質問

20

電池を換えたらデータが消えてしまった!

Visor DeluxeやTRGproなどの乾電池タイプのPalmを使っている場合、乾電池を交換したらデータがすっかり消えてしまった経験はないだろうか?

基本的には、Palmの電池を交換する程度の時間(およそ1分ほど)は内部電池から電気を供給して、電池を外してもデータは消えないようになっている。しかし、この時間を過ぎても電池を入れなかったり、乾電池が切れたまましばらく放置すると、保存されているデータが消えてしまうのだ。「すぐに電池を入れたのに消えてしまった!」という場合には、乾電池を入れた瞬間に何らかのハード側の要因によって通常と違う電流が流れ、それが原因でデータが消えてしまったのかもしれない。

もちろん、データはこまめにパソコンでHotSyncを行ったり、VisorやCLIE、TRGproなどの場合にはスプリングボードモジュールやメモリスティック、CFカードを用いて、バックアップをとっておくことを心がけよう。

質問

22

Palmのデータをプリンターで印刷したい

Palmの中のデータをプリントするには、赤外線(IrDA)対応のプリンターを用意して、必要なソフトをPalmにインストールすれば印刷できるようになる。IrDA対応のプリンターは、カシオ計算機フリーディオ 懶の「Freedio」やキヤノンデスクジェット 懶の「BJモバイル」シリーズ、日本ヒューレット・パッカーフォトスマート 懶の「deskjet 990cxi」および「photosmart 1215」などがある。

Palmデバイスに必要なソフトはプリンターによって若干異なる。「ジオレックス GEOLEX」(<http://www.towa.co.jp/contents/system/geolex/>)

質問

19

バックアップしたデータでレストアしようとするとエラーになる

Visor用の「バックアップモジュール」や、TRGproの「バックアップ CFBackup」機能でバックアップしたファイルを、レストアしようとしても、エラーになってしまう。また、一見レストアできたように思えても、起動ができなくなってしまうこともある。

Hackソフトや「ATOK Pocket」などのシステムに常駐するソフトは、バックアップを取る前に使用を「オフ」にしておかないとエラーを引き起こすので、バックアップ前のオフを心がけよう。ただ、「DB Explorer」(CD-ROM収録、133ページ参照)などを利用してパソコンへバックアップしたファイルについては、ファイル単位でPalmに戻すことも可能だ。TRGproは、CFBackupのバックアップファイルから、「個別ファイル」で「データベースのみ」を復元することでデータを救い出せることもある。

質問

21

レストアしようとしたがデータが完全には戻らなかった

Palmに保存された各ファイルには「バックアップビット」という設定があり、この設定(オン/オフ)に従ってパソコンにバックアップを行うような仕組みになっている。このバックアップビットがオフになっていると、HotSync時にはバックアップの対象から外されてしまうのだ。要は、レストアできない原因は、このバックアップビットがオフになっている場合だ。

では、ユーティリティーでバックアップビットをすべて有効にすればいいということになるが、HotSyncを行うたびにPalmに入っているすべてのファイルをバックアップすることになり、HotSyncにかかる時間が非常に長くなってしまふ。これでは、せっかくの軽快さが台無しだ。そういうときには、バックアップ強化ツールの「バックアップバディ BackupBuddy」(<http://www.bluenomad.com/>)というシェアウェアを使ってみよう(図1)。Backup Buddyは、すべてを対象としながらも変更のあったファイルのみをバックアップするため、軽快さと安全性を両立させているソフト。フラッシュメモリーを搭載しているPalmのバックアップをサポートしている。

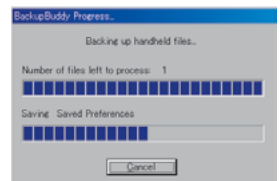


図1 除外の設定も行え、カスタマイズも可能。時刻の同期もできる

geohtml.html)はBJモバイルで印刷するためのソフト。Freedioを使う場合は、「FreedioDA」(<http://simple-palm.com>)を使うと画面のハードコピーをそのままプリントアウトできる。ただし、必ず「エンハンスメント IrEnhancement」(<http://www.palm.com/support/downloads/irenhanc.html>)をPalmにインストールしておかないと、FreedioDAからプリントアウトを行うことができないので、あらかじめインストールしておこう。汎用ソフトには、アイコン製 懶の「Palm-Irプリント」(<http://www.aicon.co.jp/>)などもある。



質問

23

外出先からHotSyncをしたい

Palmと同じ場所にパソコンがなくても、お互いがモデムで接続できる環境であれば、モデムを経由したHotSyncが可能だ。たとえ日本の反対側のブラジルにいても、標準ソフトでHotSyncが行えるのだからすごい。必要なものはパソコン用のモデムとPalm用のモデムだけ。Palm側は一般電話回線でも、携帯電話やPHS、赤外線通信ポート付きのIC公衆電話でも、普通に電話がかけられれば何でも構わない。ここでは外出先から自宅のパソコンにつながると仮定して説明しよう。

まずは、Palmのランチャーから「HotSync」を開き、「モデム」を選択する。モデム設定を選択するメニューが表示されるので、Palmで使用するモデムを選ぶ。続けて接続先の電話番号（ここでは自宅）を入力する（図2）。

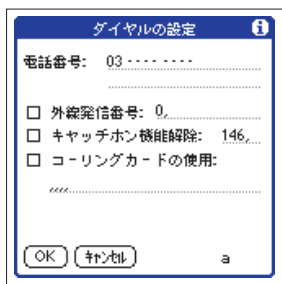


図2 接続した電話で、実際にダイヤルするのと同じ電話番号を入れる

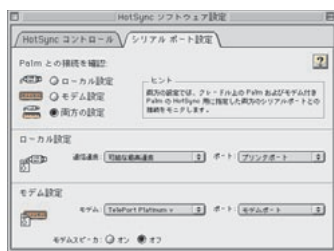


図3 ファクスソフトなど、モデムポートを利用するソフトは終了させておこう



図4 モデムの速度設定は「最速」で問題ない。ただし、「起動」タブで「HotSyncマネージャ」が常に有効になるようにしておくこと

質問

24

CLIEとマックをUSBで同期させたい

CLIEには標準でUSBクレードルが付属しているが、これはWindowsにしか対応しておらず、マックでは使えない。しかし、マック用のドライバーソフト「Mac USB Driver for CLIE」(愛称クリングゴ CLINGO)を使えば、USBクレードルを使ってCLIEとUSBポートを備えたマックでHotSyncを行える(図5)。CLINGOは、オンラインショップ「Vis-a-Vis」(<http://www.visavis.co.jp/>)と「Sony Style」(<http://www.jp.sonymstyle.com/peg/>)で入手可能だ。

シリアルポートの場合は、マック用のドライバーソフトが発売されていないため、現時点ではシリアルポート経由でCLIEをマックとつなぐことはできない。ちなみにCLIEは、標準で赤外線をサポートするPalm OS 3.5を搭載している。同じく標準で赤外線をサポートし

マックの場合は、Palm Desktopの「HotSync」メニューから「初期設定」を選び、「HotSyncソフトウェア設定」を開く(図3)。シリアルポート設定のタブをクリックして「Palmとの接続を確認」でモデムの設定を選択する。ポートが2つあるのなら「両方の設定」でも構わない。続いて、モデム設定でマックで使用するモデムを選択し、そのモデムを接続しているポートを選ぶ。

ウィンドウズの場合も、Palm Desktopの「HotSync」メニューから「起動/接続設定」を選ぶ(図4)。モデムタブでモデムが接続されているポート、速度、モデムの種類、そのモデムの初期化コマンドを入力する。仕上げにタスクバーからHotSyncアイコンをクリックして、「モデム」にチェックマークを付けておこう。

これで設定は完了だ。あとはPalmにモデムを接続して、いつでもどおりにHotSyncを試みよう。接続までのタイムラグはあるが、クレードルがないのにHotSyncを始めるから驚きだ。その間、自宅ではパソコンがせっせとHotSyncを行っているのだ。

ただし、注意点もある。まず、HotSyncするパソコンの電源は落とせないということ。出張中もモデムとパソコンの電源は入れっ放し。一部の機種はファクス機能などでスリープをさせておき、着信するとウェイクアップするものもあるが、主電源は落とせない。また、専用の電話回線を1つ用意したり、アナログ回線経由なので接続速度は遅くなるといった難点もある。

ウィンドウズ版の「BackupBuddy」(CD-ROM収録、135ページ参照 <http://www.bluenomad.com/>)というシェアウェアを利用すると、ネットワークを利用したバックアップやリストア機能も利用できる。万一、出張先でPalmにトラブルが生じた場合でも、モデムと通信回線さえ確保できれば、その場にパソコンがなくても復活できる。ただし、あらかじめPalmのフラッシュメモリーにBackupBuddyを書き込んでおくことと、米ドライブウェー社の提供する無料のディスクスペースに会員登録しておく必要がある。会員登録はBackupBuddyのインストールの途中に示される。会員登録のユーザー名とパスワードはBackupBuddyのネットワーク設定に必要なので、必ずメモを取っておこう。

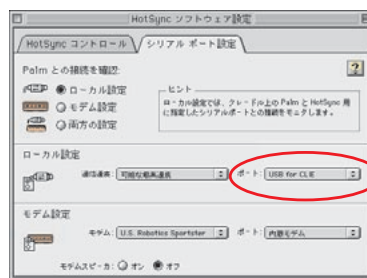


図5 2つの機能拡張書類をインストールして再起動。HotSyncの設定を「USB for CLIE」にする



Mac USB Driver for CLIE

CLINGOプロジェクト

2980円

<http://www.iris.dti.ne.jp/y Mizu/>

ているマックOS 8.6以降を搭載した、PowerBook G3や同G4、初代iMacを使うのであれば、特別なドライバーソフトを必要とせずに赤外線HotSyncできる。

質問

25

2台のPalmの予定表を
いったん同じ内容にしたい

Palm Desktopを使えば「予定表」に限らず、「アドレス」「ToDo」「メモ帳」といったほかの基本ソフトでも、同じ方法を使って複数のPalmで内容を統一できる。ここでは例として、Palm cの「予定表」をVisorに反映する方法を説明しよう。

Palm Desktopをインストールするときに付けたユーザーの名前、つまりHotSync IDを仮に「PALM」と「HANDSPRING」にする(HostSync IDに日本語は使用しないほうがいい)。HotSync IDとは、個々のPalmを識別するためのユーザー名のこと、Palm Desktopの画面上ではプルダウンリストとして表示されている。

まず、バックアップを兼ねてPalm cをHotSyncして、Palm Desktopの内容を最新の状態にする。PALMの「予定表」を表示して、「ファイル」メニューの「書き出し」で「予定表」の内容をい

ったんファイルに書き出す(図1)。同じOS間であれば、書き出す際の「ファイルタイプ」は何でも構わない。仮に「yotei」と名付けたこのファイルがパソコンの任意の場所に保存されたら、Palm Desktopでユーザー名をHANDSPRINGに切り替え、予定表を表示する。もしユーザーが存在していなければ、「ユーザの編集」で新規に作成する。「ファイル」メニューの「読み込み」を選んで、先ほど作成した「yotei」を読み込んだあと、Palm Desktopによる上書きHotSyncをVisorで行う。これでPalm cとVisorの予定表が、同じ内容になるというわけだ。複数のPalmデバイスを所有している人は、ぜひ試してみよう。



図1 書き出しは簡単。読み込み時には項目の対応を確認してから実行しよう

質問

26

PalmとほかのPDAで
アドレスや予定をやり取りしたい

シャープ製の「ザウルス」シリーズやウィンドウズCEを搭載したPDAなど、ほかのPDAを使っていた人がPalmを購入した場合、それまで蓄積したデータをそのまま移動できたら便利だ。

ザウルスには、ジェオレックス 株式会社(<http://www.towa.co.jp>)製の「GEOLEX」(4800円)という市販ソフトを用いて、アドレス帳のデータを簡単に互換させるという手がある。このソフトは、赤外線通信機能を使ってデータの受け渡しを行う。しかし、ザウルスとPalmではアドレス帳の項目名が異なるので、そのまま利用できるわけではない。細かな修正は手作業で行う必要があるが、それでもゼロから入力し直すよりは格段に労力が少ない。それぞれの対応は、販売元のWebページに詳しく記載されているので参考にしよう。ちなみに、Palmのデータをザウルスに移行させる手段については、シャープ製の「ザウルスサポート」に詳細が記載されている(<http://zaurus.spacetown.ne.jp/palmtoz/palmtozaurus.asp>)

また、「PocketPC」などのウィンドウズCE搭載機からデータを移行する際は、それぞれのデスクトップ管理ソフトで、データをタブ区切りテキスト形式のデータとして書き出し/読み込みをするという方法がある。さらに、Palmのデータを英国生まれのPDA「PSION」サイオンシリーズに移行したい場合には、あらかじめPSION側にソフトをインストールしておくだけでいい。住所録の場合は「CntUSCvt」を、予定表の場合は「AgnUSCvt」というフリーウェアをPSIONにインストールする(<http://www.ne.jp/asahi/home/384/>)。そのあとで、Palmのアドレス帳のデータを、カテゴリごとに赤外線ですIONに送信すると、PSIONのアドレス帳にデータが入力される。これだけでは文字化けを起こすので、次にCntUSCvtを起動し、文字コードを「ShiftJIS」から「UTF-8」に変換する。これで住所録のデータの文字化けは修正されるはずだ。予定表の場合も同様で、赤外線ですIONしてあとで「AgnUSCvt」を使えば移行は完了だ。

質問

27

Graphic Converterで変換した
画像を表示できない

Palmの世界で画像のデファクトスタンダードと言えば、FireViewer形式。この形式は、あらかじめパソコン上で変換しておかないとPalmにインストールすることができない。FireViewer形式に対応したコンバーターは、ウィンドウズ上で動くものは開発元の米ファイアーファイアーコンバーター「Fire Converter」



図2 Graphic Converter 4.0で変換してもPalmで表示できない

だが、マック版では独レムクソフトウェア社(<http://www.lemkesoft.de/>)の画像変換ソフト「Graphic Converter」(CD-ROM収録、131ページ参照)に頼るしかなかった。

ところが、Graphic Converter 4.0以下では、256色カラー画像のコンバートに対応した仕様になっているにもかかわらず、実際にコンバートしたFireViewer形式のファイルは、Palm上で閲覧することができなかったのだ(図2)。この不具合を回避するには、今年1月にリリースされたばかりのバージョン4.0.2以降を使うか、FireViewer形式専用の画像コンバーター「おまかせ 炎のびるごむふあいやあつ」(<http://homepage.mac.com/torakoyama/mac-visor.html>、CD-ROM収録、121ページ参照)を準備しよう。ただし、どちらもVisor Prismの6万5536色カラーには対応していない。

質問

28

テキストデータを扱いたい

テキストデータのやり取りには、2つの方法がある。1つはPalm Desktopのメモを利用する方法で、使い勝手はいいが最大容量が4KBまで。もう1つは、DOC形式と呼ばれるフォーマットに変換する方法(121、133ページ参照)。パソコン側もPalm側も、専用ソフトを用意する必要があるが、メモリーが許す限り大きなテキストを扱える。



質問

29

フォルダーで分類したメールを同期してくれません

パソコンに届いたメールをフォルダーを使って管理するのはいまや常識。しかし、ウィンドウズ版「Outlook Express」のフォルダーで仕分けしたメールをPalmと同期してみても、「受信トレイ」の中にあったメールしか同期されない。残念ながらPalm Desktopでメールを同期した場合、このように「受信トレイ」の中身しか同期することができないのだ。

マックの世界なら、標準ではないが「Postino Conduit」や「ARENA!Sync」といったフォルダーの同期にも対応しているメールコンジットソフトが用意されている。

質問

31

PalmでPDFを読みたい

インストール支援ソフト「InstallBuddy for Windows」(CD-ROM収録、P.135参照、<http://www.bluenomad.com/>)を使えばPDF形式のファイルを参照できる(図3)。もっとも、正確に言えばPDF形式の文書をDOC形式に変換して読むということになる。つまりPalm側ではDOCリーダーを使って閲覧するのだ。

本ソフトは、独自のプラグインを使ってさまざまな形式のファイルをPalm用の形式に変換できる。PDF文書のほかに、「Excel」や「Word」にも対応。ただし、現時点ではマック版はなく、日本語もサポートしていないのが残念だ(図4)。

米ファイアーパッド社(<http://www.firepad.com/>)の「FirePublisher」は、さまざまな形式の文書をPalmで閲覧可能な形式に変換するサーバー向けソフトで、PDF形式の文書をFireViewer形式に変換する。Palm側では画像ビューアー「FireViewer」(CD-ROM収録、P.130参照)を使うが、企業向けソフトのため個人での利用は難しく、やはり日本語の動作も確認されていないのが実状だ。

質問

32

GIFアニメをPalmで見たい

Palm用の最も有名なWebブラウザが「PalmScape」(CD-ROM収録、124ページ収録)。このソフトを使ってWebページに掲載されているGIFアニメを見ることはできない。それでも、気に入ったGIFアニメをコレクションしたり、保存して閲覧したい場合もある。

そんなときは、パソコン側で一度GIFアニメを保存して、ほかのファイル形式に変換する。画像ビューアー「FireViewer」(CD-ROM収録、P.130参照)最新版は動画再生機能を持つので、それで閲覧できる形式に変換すればいい。

もう少し具体的に言うと、GIFアニメをAVI形式のムービーファイルに変換するということになる。「QuickTime Pro」をはじめ、インターネットにはこれを行う多数のソフトが公開されている。例えば、GIFアニメをQuickTime Proで開き、AVI形式を選択して保存し

質問

30

Outlook Expressのメールが文字化けしてしまう

Palmのメールソフトとウィンドウズ版の「Outlook Express」を同期させると、Palmに取り込んだメールの本文が、文字化けしてしまう場合がある。そんなときは、「メールコンジット(非公式)日本語対応版」(<http://hp.vector.co.jp/authors/VA011708/>)を使おう。日本語の文字化けを簡単に解消できる。

これはPalmにメールが転送される際に、ヘッダを含むすべてのメールデータをShift JIS形式に変換するもので、Palm Desktopに標準添付されているメールコンジットと入れ替えて使う。インストール方法は簡単。同じフォルダーにある「MAIL20.DLL」をPalm Desktopがインストールされている「C:\Palm」などのフォルダーに上書きコピーするだけ。ただし、「C:\Palm」などのフォルダーには、すでに「MAIL20.DLL」と同名のファイルが存在しているため、念のためにバックアップを取っておこう。

このコンジットは、Outlook Expressのほかに「Netscape Messenger 4.5」以降にも対応しており、ウィンドウズ95以上の環境で動作する。動作そのものには問題はないが、あくまでも非公式版なので自己責任で使おう。

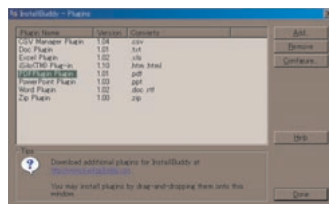


図3 「InstallBuddy for Windows」の豊富なプラグインソフト。主なファイル形式に対応しているので、ウィンドウズ派には心強い

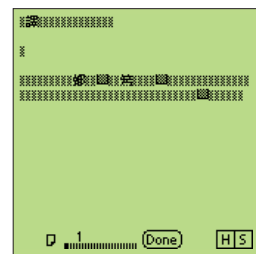


図4 日本語のPDF形式の文書を変換してみたが、どのDOCリーダーを使ってみても文字化けを起こして、表示できなかった

直す。次に、このAVI形式に変換したムービーを「Fire Converter」などを使って保存し、HotSyncをしてPalmに取り込む。あとはFireViewerで表示させればOKだ。

元の画像のコマ数によってはかなり大きなデータになる可能性もあるが、ちょっとした画像を取り込んでおくのに便利だ。基本的には、元の画像よりは小さなファイルサイズになる。

質問

33

ウィンドウズNTでHotSyncができない

複数のユーザーによる共用を想定するウィンドウズNTや同2000は、一般のユーザーがHotSyncをすることはおろか、Palm Desktopのインストールすらできない。「管理者」と呼ばれる特権的なアクセス権を持つユーザー以外は、Palmとの同期は難しい。どうしても、というならシステム管理者に相談する以外にない。

システムソフト編



Palmの魅力はPalmウェアをインストールして、自分仕様に仕立て上げられること。ついつい、たくさんインストールしすぎると、動きが遅くなったり、不安定になってしまう。使わないソフトやデータはこまめに削除したり、パソコンにバックアップしておくというメンテナンスが必要なのだ。

質問

34

同時にたくさんのソフトを使いたい

Palmは基本的には「シングルタスク」といって、ひとつの画面でひとつの処理しかできない。つまり、「メモ帳」を書いているときに「予定表」を立ち上げたら、「メモ帳」はいったん終了していることになる。しかし、例えば英語のニュースを読んでいるときに、わざわざ辞書を立ち上げて単語の意味を調べ、またニュースに切り替えるのは面倒だ。

そのような処理をたやすく行うために作られたPalmのソフトのひとつが「DA」(Desk Accessary)だ。

同じような動きをするものに「Hack」というソフトもあるが、これは、Palm OS自体にパッチをあてている状態になるので、動作が重くなったり不安定になる可能性がある。これらの状況を回避すべくJ-OSの作者・山田達司氏が提唱したのが「DA」なのだ。

「DA」を使うにはDAを起動するための「DA Launcher」(DAL)というソフトが必要だ。まずこのDA Launcherをインストールしてから、使いたい機能のDAソフトをインストールしてみよう。これらのDAソフトには、メモ帳、電卓、カレンダーなどさまざまな種類がある。なお、DA Launcherを使うには、別途「HackMaster」が必要だ。詳しくは114ページを参照のこと。

質問

36

DA、Hackを削除したい

Palmではホームの「アプリケーション」メニューにある「削除」で追加したソフトを削除できるが、DAやHackソフトは削除できない。無理に削除しようとしてもエラーがでてしまうので、ここでは「B4DAH」(<http://member.nifty.ne.jp/yamakado/>)を紹介しよう。

このソフトは、もともとDAやHackを赤外線送信できるようにするユーティリティだが、Palmに入っているDAやHackの表示や削除ができるのだ。B4DAHを開き、右上のメニューで「DA」や「Hack」を選ぶとそれらソフトが一覧表示されるので、削除したいソフトを選び「Delete」ボタンをタップすればいい。

質問

35

Palmのシステムカラーを変更したい

システムカラー変更ソフト「Mitekure」(http://www.geocities.com/b_palm_ug/)を使えばできる。フォーム、ダイアログ、アラートなどのフレーム色や文字色、メニューなどの選択反転色、文字列を選択したときのハイライトカラーなど、Palmの見た目を変えられる。カラー液晶デバイス専用だ(図1)。

初期状態のシステムカラーに戻りたい場合は、Palm本体背面のリセット穴にピンを挿して、ソフトリセットすればOK。逆に、何かの拍子にソフトリセットがかかってしまっても、「Revert Color」をタップすれば、一発でソフトリセット前の設定色に戻すことができる。

「Frame Color」や「Text Color」などのボタンを押すと、カラーパレットが表示される。気に入った色を選択して「OK」ボタンをタップするだけでイメージチェンジ完了だ(図2)。



図1 その日の気分に合わせて思いきって色を変えてみよう

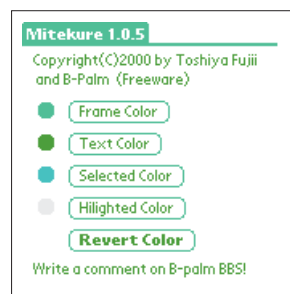


図2 色の変更は即座に反映されるので、確認しながら設定できる

質問

37

標準のソフトは削除できますか？

残念ながら、「アドレス」や「予定表」などの標準搭載のソフトは削除できない。これらはROMに入っているため、ホームの「アプリケーション」メニューから「削除」を呼び出し、削除できるソフトの一覧を見ても、その中に標準のソフトは入っていない。置き換えソフトをインストールしても消えないようになっている。



質問 38 Palmでも脱力フォントを使いたい

いわゆる脱力系文字（へた字／ダサ字／ダメ字）というものがある。マックやウィンドウズでおなじみのこれらのジョーク文字は、「Yomeru」(http://www.geocities.com/b_palm_ug/) を使えば Palm でも表示できる (図3)。

Yomeru は、Palm のシステムフォントのうち、ひらがなとカタカナをダサ字などのフォントに置き換えて表示する。もともと、英語版の Palm OS デバイスで手軽に日本語を表示するために作られたものだが、日本語版の Palm OS デバイスで使うと簡単にフォントを変えられて楽しい。さらに、チェックひとつで縦書き表示も可能だ (図4)。

ソフト本体「Yomeru.prc」ファイルのほか、2種類のフォント「dasaji.prc」および「elisa.prc」をインストールして「ホーム」から「ランチャー」を選び「Yomeru」をタップ。表示された画面で「Enable Japanese」と「Enable Elisa」をチェック。これだけで文字の雰囲気脱力するのだ。詳しくは「B-palm」(http://www.geocities.com/b_palm_ug/) へ。



図3 設定を手軽に切り替える補助ソフト「Yomuno DA」もある

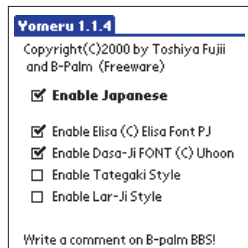


図4 「Enable Tategaki Style」では90度左に文字が回転する

質問 40 Palmで時報を鳴らしたい

「stime」(<http://www.geocities.com/nagamatu/stime/>) を使ってみよう。ソフト本体と音声データベース「stime.pdb」をインストールして「stime」を起動する。画面をタップすれば、現在 (= Palm デバイス内蔵のシステム時計) の時刻を声で教えてくれる。「Options」メニューにある「Preference」で各種設定が可能だ (図6)。「Opening」「Ending」「Hour」「Minute」「Second」にチェックを付け「OK」ボタンをタップすれば、「只今の時刻は 時 分 秒です」と時を告げる。ソフトを切り替えてもバックグラウンドで鳴っている、まさに時計いらずだ。

標準の音声は男性だが、女性のデータベースも入っている。なお、Palm のシステム音をオフにしても本ソフトは鳴り続ける。音量のコントロールはできない。

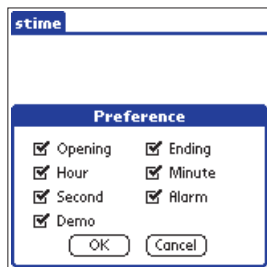


図6 クレドールに乗せて電源をオンにしておけば時計代わりに

質問 39 フォントを見やすいものに変えたい

標準でフォントを切り替える場合、例えば「メモ帳」の場合はメモ帳を開いたところで「メニュー」ボタンをタップし「オプション」から「フォント」を選択する。すると「標準」「標準ボールド」「ラージ」「ラージボールド」の4種類のフォントを選択する画面が出てくる (図5)。日本語の Palm デバイスでも「J-OS」をインストールすると、さまざまなフォントを利用することが可能だ。専用のラージフォントコンバーターも公開されている (<http://www2.osk.3web.ne.jp/~kgt/jos-fcnv.html>)。



図5 選べるフォントの種類は4つ。見やすいフォントを選ぼう

質問 41 Palm内蔵のシステム時計を正確にしたい

Palm の時刻を合わせるには、基本的に HotSync の際にパソコン内蔵のシステム時計を利用する。そのため、まずパソコンの時刻を正確にしておくことが必要だ。マックの場合は「コントロールパネル」の「日付&時刻」で、ネットワークタイムサーバを利用するといいだろう。

マックの場合は、「ClockSync!」(<http://www.umap.net/>) が便利だ (図7)。マックのハードディスク内の「Palm」フォルダー (Palm Desktop が入っているフォルダー) にある「コンジット」フォルダーに「ClockSync!」を入れ、「HotSync」メニューの「コンジット設定」で「ClockSync!」を選択。設定画面が表示されたら「Adjust clock」および「Make Default」をクリックして「OK」ボタンを押す。あとは HotSync するだけで、その都度自動的に時刻が調整される。Palm 側にソフトを一切インストールせずに時刻を合わせられるのが最大のメリットだ。

一方、ウィンドウズの場合は「TimePALm」(<http://www.ufp.com/palm.html>) が便利 (図8)。「Setup.exe」を起動すると必要なソフトが自動的にインストールされるので、あとは Palm と HotSync するだけだ。「TimePALm」には、Palm 単体で時刻合わせができる「CoolSync」という機能もあるので、万が一、HotSync ができなくなった場合にも安心だ。時刻が修正されたかどうかは、Palm のランチャーから「TimePALm」を起動すれば確認できる。

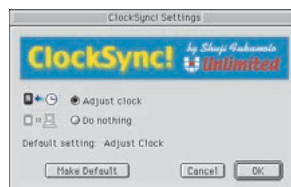


図7 「Make Default」にすると HotSync で時刻合わせが行われる

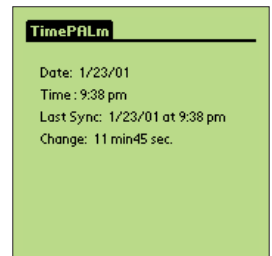


図8 「Change」に誤差が表示される。11分45秒も狂っていた

Palmには標準で「メール」という機能があるが、これ単体でメールを送受信することはできない。パソコンと連携して使うことを大前提としているPalmでは、この「メール」は、パソコンで使っているメールソフトと連携することを意味している。パソコン側のメールを読み取り、それに対する返信や新規のメールを外出先で書いたらパソコンと同期して、今度はそのデータをパソコン側から送信するという仕組みだ。つまり、Palm上で書かれたメールであっても、実際の送信はパソコンでということになる。

もしもPalmデバイス単体でメールの送受信を行いたい場合は、あらかじめ別途メールソフトが必要になる。代表的なものに、「PapiMail」「POPJ」「PalmscapeMail」「MultiMail」などがある。このようなソフトをインストールして、送受信の設定を行い、通信に必要なモデムを用意することで初めてPalmでのメール送受信が可能となる。

Palmには標準で「アドレス」という住所録ソフトが搭載されている。しかし、このアドレスの機能に飽き足りず、アドレスのデータの赤外線送受信機能を大幅に拡張したパームウェア「NoM502i」(CD-ROM収録、124ページ参照)や、アドレスリストの表示方式を変更した「AddrJ」(CD-ROM収録、122ページ参照)などのソフトを利用しているユーザーも多いだろう。

これらのアドレス互換ソフトを利用していると、名刺交換の際に受信したはずの名刺が記録されていない、という現象が発生することがある。これは、アドレス互換ソフトに付属したHackMasterエクステンションと深い関係がある。

例えば、NoM502iに付属する「NoM502 HACK(NEW)」は、名刺の受信をNoM502iで行うための機能拡張である。これをインストールしていない場合は、標準のアドレスが名刺を受信するが、NoM502iなどのほかのアドレス互換ソフトを起動した状態だと、名刺を受信してもPalmに書き込まれない。同様に、NoM502 HACK(NEW)を「HackMaster」で有効にしているときに、NoM502i以外のアドレス互換ソフト(標準のアドレスを含む)が起動した状態だと、名刺を受信してもPalmに書き込まれない。

つまり、アドレス互換ソフトを使うなら付属のHackソフトも有効にし、ほかのアドレスソフトを起動しないようにアドレスボタンにも割り当てれば安心だ。複数のアドレスソフトを併用するなら、名刺交換のときには起動しないように十分注意しよう(図1)。

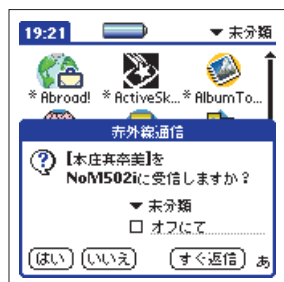


図1 アドレス互換ソフトが起動していないように気をつけよう

Palmはいろいろなソフトをインストールしてカスタマイズする楽しさがある。しかし、どんどん新しいソフトを入れると途端に動作が不安定になったり、エラーが頻発するようになる。

まずチェックしたいのはメモリー容量の残量だ。ぎりぎりの容量で何らかのデータを作成したら、もちろんエラーが起きるからだ。メモリー容量のチェックは起動画面から「メニュー」ボタンをタップし、「アプリケーション」の中の「情報」を選ぶ。もしも、メモリー残量が少なくなっていたら、使わなくなったソフトやデータを削除してみよう。

容量はまだゆとりがあるのにエラーが頻発して困るという場合、一度リセットしてみると安定することがある。この場合のリセットは「ソフトリセット」(26ページ参照)。Palm本体裏のリセットボタンを押してリセットする。ただし、リセットを行う際には、その前に必ずバックアップを取っておこう。

それでも安定しない場合には、インストールしたソフト同士の相性が悪いケースだ。まず、インストールしているソフトの中に「Hackソフト」があるか確認しよう。インストールしている場合、一度それらのHackソフトを「HackMaster」でオフにしてソフトリセットする。動作が安定したら、どれかのHackソフトの相性が悪い可能性があるので、ひとつずつオンにしながら、どれが不安定になる要因なのかをチェックしよう。

まず所有者情報を作る。「環境設定」の「所有者」を選択。ここに自分の連絡先などを記入する(図2)。次に「ホーム」をタップし、「データ保護」でPalmデバイス本体のパスワードを設定。最後に「電源オフ&ロック」ボタンをタップすれば、Palm本体の電源が切れて、Palmデバイスにはセキュリティーロックがかけられる。次回起動時に「システムの起動」画面が現れて、そこに先ほど作成した所有者情報が表示される(図3)。この画面では正しいパスワードを入力しなければ、そこから先には進めない。万が一Palmを紛失しても、本体メモリーの中身を他人に一切見られることなく、連絡先だけを表示できるので便利だ。

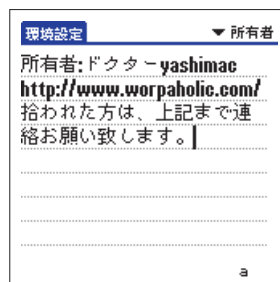


図2 いざというときのために緊急連絡先などをしっかり書こう

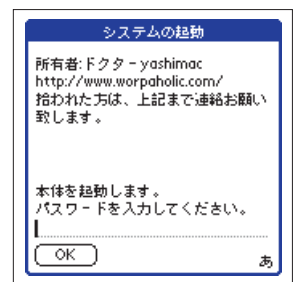


図3 セキュリティーロックがかかった後に起動したところ



質問

46

データ保護で設定した
パスワードを忘れた

プライベート情報を見られないために、データ保護を設定しておいたもののパスワードを忘れてしまった、という状態に陥った場合、パソコン側にバックアップを取ってあるなら、プライベート情報を復活させる望みはある。

まず、HotSyncで現在のデータをパソコン側と同期させる。次に「データの保護」で「パスワードを忘れた場合」という項目をタップする。「パスワードの削除」(図4)という画面が出て、プライベートデータが削除されるむねの警告が出るが、「はい」をタップしてパスワードとプライベート情報を削除する。最後にHotSyncしてパソコンとデータを同期させよう。これでパスワードが削除され、パソコンに保存したプライベートデータがPalm側に反映されるはずだ。

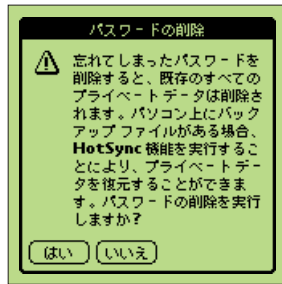


図4 データを削除してもバックアップしてあれば大丈夫だ

質問

48

CLIEで手書き文字認識ソフトが
うまく使えない

CLIEで日本語手書き認識ソフト「GOGO Pen」(ネオスコポレーション(株))や「楽ペン」(株エム・ディ・エス)を使った場合、システムが不安定になったり、使っているはずの手書き認識ソフトが使えなくなる場合がある。

これは、CLIE付属の「ATOK Pocket」(株ジャストシステム)のATOK設定を「使用」に設定していると引き起こされる現象で、手書き認識ソフトが使えなくなることが原因だ(図6)。また、ATOKも手書き認識ソフトも、同じような方法でPalm OSを拡張しているので、コンフリクトを起こす可能性が高いといえる。これは、CLIE以外のPalmデバイスやキーボードに付属しているATOKであっても基本的に同じ。もっとも簡単確実な解決法は、どちらかの使用をやめることだ。

どうしてもATOK Pocketと手書き認識の両方をインストールしておきたいのなら、その都度、必要とするほうだけを使用状態にしよう。これが面倒ならば、パッケージ版のATOK Pocketを購入し、その手書き認識機能を使用するのが一番安全だ。

そのほかの不具合として、ひらがなとして入力したテキストをあとから変換させたい場合も、ATOK Pocketが働いていると変換させることができない。これは、プリインストールのATOK Pocketにこの機能がないからである。パッケージ版は対応している。

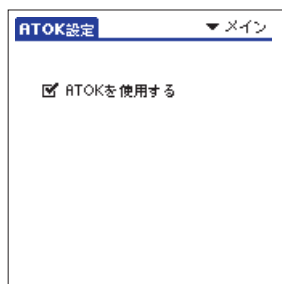


図6 ATOKを使っていると、ほかのソフトが無効になるケースも

質問

47

登録したはずのソフトが
未登録といわれる

Palm用のソフトはほとんどがオンラインで配布されている。そのため、有料なソフトは、ほとんどがシェアウェアとして提供されている。シェアウェアの中には、登録の際にHotSync時のユーザー名やHotSync IDを要求されるものがある。

このようなシェアウェアは、Palmデバイスを新しい機種に買い替えたり、ハードリセットしてから再インストールするときに、たとえすでに登録を済ませてあっても、ユーザー名を変更すると「未登録」と同じ扱いになってしまう(図5)。この場合、元のユーザー名に戻すか、HotSync時に新しいユーザー名で登録するしか対策がない。

このような事態を避けるためにも、Palmをフルリセットしてもユーザー名の変更は安易に行うべきではない。



図5 ユーザー名を登録のキーにしているソフトがあるので注意

質問

49

メモリーカードに保存した
テキストファイルを読みたい

CLIEシリーズでメモリースティックを利用しているなら、メモリースティック上のテキストファイルを直接閲覧する方法がいくつかある。DOCビューアー「J-Doc Reader」(CD-ROM収録、123ページ参照)は、メモリースティック上のディレクトリーである「¥PALM¥PROGRAMS¥TEXT」にあるテキストファイルに直接アクセスし、その内容をDOCファイルと同じように表示できる。ジョグダイヤルにも対応している。また、CLIE付属のファイルユーティリティー「McFile」なら、背景色と文字色をカスタマイズできるほか、メールなどの引用符が付いた行を別の文字色に設定できる(図7)。



図7 McFileを使うと、テキストの視認性はかなり高くなる

質問

50

日本語のユーザー名が文字化けする

もともと英語圏生まれのPalm。せっかく日本語OSを使っている、海外のPalmウェアの登録に、ユーザー名を使用するケースも多々あるので、ユーザー名はアルファベットのほうが好ましい(図8)。

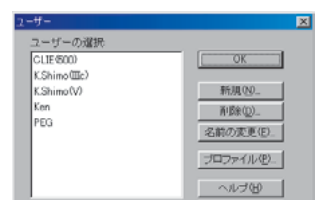


図8 筆者の場合は機種名をユーザー名に入れている

Hackと呼ばれる、常に起動されているソフトをたくさん利用するようになると、Palmデバイス全体の反応速度が購入時よりも遅くなったり、システムエラーが発生することがある。また、キーボードなど周辺機器を接続するようなソフトは、常にポートからの信号を確認しているため、極端に反応速度が下がるものがある。これらのユーティリティを使うときは、必要なものだけ起動するように気をつけよう。

また、気がつかないうちに本体内にショートカット（15ページ参照）と呼ばれるファイルが必要以上にたまり、動作が不安定になることがある。この場合は、「近道」（図1 <http://www.fatal-error.com/jp/>）や「DataBk3」「同4」（<http://www.PimlicoSoftware.com/>）に付属する「DB Scan」などを利用してクリーンアップすることができる。不必要なデータは削除し、システムの安定を計ろう。

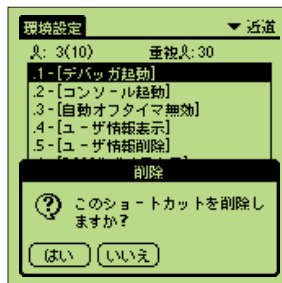


図1 近道ではショートカットの削除のほか編集も可能だ

「メモ帳」などの標準ソフトはROMに書き込まれているので問題はそれほど起こらないが、何らかの原因で、追加した特定のソフトの起動に必要なデータが壊れてしまい、起動できなくなることがある。まずは不具合の起きたソフトを上書きでインストールしてみよう。それで動くようであれば大丈夫だが、やはり動作が不安定な場合は、そのソフトの起動に必要なファイルが壊れてしまった可能性がある。データを完全に削除し、ソフトをインストールし直さなければならない。

追加ソフトの削除はホームの「アプリケーション」メニューにある「削除」で該当するソフトをチェックすれば行える。

ソフト自体を削除してしまうと、そのソフトで作成したデータはすべて失われてしまうが、Palmの動作を安定させるという点では安全な方法だ。消えたデータがパソコンに残っていれば復旧できるので、バックアップはこまめにやろう。削除の際に現れるダイアログで「パソコンにバックアップ」（図3）にチェックマークを付けておけば、「DB Explorer」（CD-ROM収録、133ページ参照）などでバックアップビットをオンに設定しておけば、次回のHotSyncのときに自動的にパソコン側にデータが保存される。



図3 パソコンにデータが残っていれば復旧は可能だ

CLIE独自機能のジョグダイヤル。その専用ソフトをCLIE以外の機種でも使えるようにするジョグエミュレーター「CLIEmu」（http://www.geocities.com/b_palm_ug/）を使えばいい。本ソフトはPalm OS 3.0以上のPalmデバイスを対象とし、画面左端の横20ドット×縦160ドットのエリア（目安として指1本分）をジョグダイヤルの動作に割り当てるもの。特に、なごみ系ソフト「JOPPO!」（CD-ROM収録、113ページ参照）との相性が良く、ジョグダイヤルを搭載していない機種でもジョグダイヤル気分を味わえるのがスグレモノだ。

本ソフトをインストールして「Emulate JogDial」にチェックする。さらにPalmデバイスの「コントラストの調整」を起動することで、本ソフトが機能するようになる（図2）。

「コントラストの調整」方法は機種によって異なるが、例えばPalm IIIcの場合は、電源ボタンを数秒間押すと起動できる。起動したら「終了」ボタンをタップする。画面左端のエリアは、大きく3つに分けられる。上が上回し、下が下回し、真ん中がジョグダイヤルを押す動作が割り当てられているのだ。例えば、真ん中から下にスタイラスを滑らせれば、押し回しが体験できるというワケ。これから数が増えていくジョグダイヤル用ソフトも十分楽しめるはずだ。

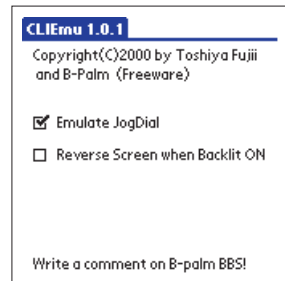


図2 「コントラストの調整」を起動するのを忘れずに

やはり、機種によっては使えないPalmウェアはある。例えば、英語版のPalm OS搭載機で日本語のソフトを使う場合は、あらかじめJ-OSをインストールしておく必要がある。また、日本語OSを使っていて、メールソフトを追加でインストールした場合、そのソフトが日本語に対応していないと、文字化けしてメールが読めなくなってしまう。

最近には特に、ゲームなどでカラー対応ソフトが出てきているが、カラー表示させたい場合はVisor PrismやCLIE（カラー対応）などPalm OS 3.5を搭載した機種が前提となる。また、「FireViewer」などのグラフィックを表示させるソフトは、カラーを表示できる機能は持っているが、Palm OS 3.0以前のモノクロ液晶の機種だと、カラー画像の表示はできない。

CLIEのように、ジョグダイヤルやメモリースティックなど独自機能を持った機種の付属ソフトも、基本的には他機種では使えない。しかし、このような機種に依存したソフトをほかのPalmデバイスでも使えるようにするエミュレーターなどが次々とオンラインで配布されるのがPalmの魅力だ。



質問

55

通信関係以外にもNM502iと相性のいいソフトを教えてください！

赤外線ポート付きのNTTドコモの携帯電話「NM502i/NM207」もPalmからインターネットに接続する際に利用するのは今や当たり前の感があるが、それだけではもったいない。Palmに蓄積された電話番号などのアドレスデータも活用したいものである。

そんなときに便利なのがアドレス置き換えソフト「NoM502i」(<http://www.04.u-page.so-net.ne.jp/ca2/kaneko/palm/>)、電話番号やメールアドレスなど、Palmのアドレスをカテゴリーまるごと「NM502i/NM207」に送信できるうえに、iモードメールを作成して「NM502i/NM207」に送信できるのだ。

さらに、赤外線名刺交換にも威力を発揮する(図4、5)。通常、Palmには1枚しか名刺を登録できないが、本ソフトを使えば最大3枚まで登録可能。TPOに応じて使い分けられるのだ。また、受信した名刺を、あらかじめ設定しておいたカテゴリーに登録したり、名刺交換のその場で任意のカテゴリーに分類できる。Palm OS 3.5よりも前のバージョンにはこの機能がないため、オフ会で重宝すること間違いなしだ。

フル機能版(iモードへのメール送信機能あり)および機能縮小版(メール送信機能なし)がセットになっていて、「P502i」とアドレスを1件ずつ送受信することもできる。なお、現時点ではカテゴリーの一括受信はできない。

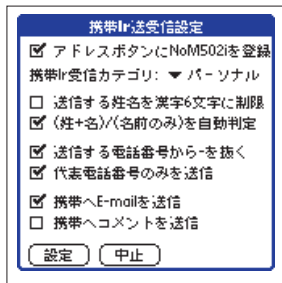


図4 きめ細かい設定が可能。受信カテゴリ設定も可

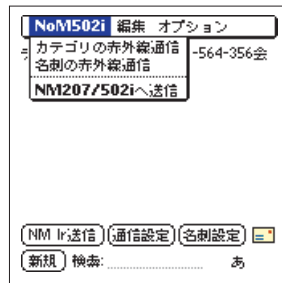


図5 赤外線送信の機能はメニューにまとめられ操作しやすい

質問

58

OSはバージョンアップできる？

OSの不具合を訂正するパッチなどは各メーカーから配布されている。しかし現在、英語版OSのアップグレードソフトは配布されているが、日本語版は配布されていないので現実的にはOSのバージョンアップは不可能だ。また、日本語のPalm OS 3.0搭載機種を、英語版のPalm OS 3.3にアップグレードすると、中身は英語版のPalm OSになってしまう。

加えて、VisorやCLIEはOSを独自にチューンアップしており、付属するソフトもそれに合わせて仕様を変えている場合もある。例えば、CLIEに付属している「ATOK Pocket」をVisorにインストールしても使えないのだ。

質問

56

クレードル上でVisor Prismの電源を常にオンにしておきたい

オンクレードルオン「OnCradleOn」(<http://www.asahi-net.or.jp/~cs8k-cyu/>)を使えば可能だ。

充電可能なタイプのPalmデバイスには、本来、オートオフ無効化機能が付いている。オートオフ無効化機能とは、クレードル上でオートオフ(電源をオンにしたまま放っておくと自動的に電源が切れる)機能を無効にする機能で、「環境設定」を開いて右上のをタップし、「一般」を選択すれば設定できる。「クレードル上で常に(または常時)オン」という部分だ。つまりこの機能をオンにすれば、充電中はPalmの電源を入れっ放しにできるのである。

ところが、Visor Prismには、なぜかこのオートオフ無効化機能が付いていないのだ。

そこで、このOnCradleOnの登場だ。このソフトをインストールしてから、起動したら「Disable AutoOff on Cradle」(図6)チェックボックスにチェックを入れる。これだけでクレードルにセットしたPalm Prismの電源をつけっ放しにできるのだ。常に画面を表示させておきたい人は、ぜひお試しあれ。

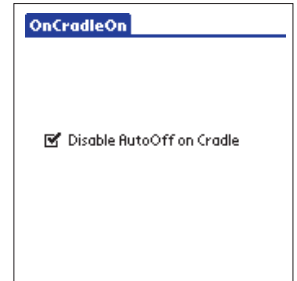


図6 「Disable AutoOff on Cradle」にチェックを入れればOK

質問

57

Palmでエクセルやワードを使いたい

パソコン用の「マイクロソフト エクセル」や「同ワード」とのファイル連携に対応しているソフトが発売されている。米カッティング・エッジ・ソフトウェア社(図7 <http://www.cesinc.com/>)の「Quickoffice」や「QuickSheet」「Quickword」だ。例えばQuickSheetでは、関数SUMを入力して計算したり、「Quickchart」という付属のソフトを使って、データのグラフ化が可能だ。もちろん、作成したデータをパソコン用のエクセルに反映できるし、その逆も可能。同じような表計算ソフトでは「TinySheet」(<http://www.iambic.com/japan/>)という製品もある。



図7 仕事のデータもこれでパッチリ連携できる

質問

59

PrismとPlatinumに支払メモがない

Visor Deluxeに比べOSが大きくなっているため、ROM領域が足りなくなったことが原因だ。あるイースターエッグを外せば「支払メモ」も入ったらしい……。付属CD-ROMから追加でインストールしよう。

ハード編

見た目にはわかる故障ではなく、トラブルの原因がソフト的なことなのか、ハード的なことなのか判断がつかねるケースもある。もちろん初期不良というケースもあるだろう。ハードのトラブルは自分ではどうしようもない場合が多いので、このコーナーを読んで、あわてずに対処してほしい。

質問

60

ソフトリセットとハードリセットの違いは？

Palm背面の小さな穴にピンを差し込んで、内部のスイッチを押す操作をリセットという(写真1)。このリセットにも種類がある。画面がフリーズした場合や、暴走した際に使われるのが「ソフトリセット」(写真2)。この場合、使用中のデータ以外の内部ソフト、データは消去されずに保管されている。ソフトがエラーを起こすと表示されるダイアログのボタンをタップすると自動的にPalmにリセットがかかるが、ダイアログが正常に表示されないときにも使える。

ソフトリセットをしてもPalmが正常に動かない場合は上スクロールボタンを押しながらソフトリセットを行う。これが「クールリセット」(写真3)だ。この段階でもソフト、データは消えない。

これでもダメな場合は「ハードリセット」(写真4)を行うしかない。電源ボタンを押したまま、リセット穴を押す方法だ。これを行うとソフトやデータは洗いざらい消去されてしまう最後の手段だ。

■ソフトリセット



写真1 Palmデバイスの裏面に「Reset」用の穴がある



写真2 背面の小さな穴を押すだけ。ソフトやデータは消えない

■クールリセット



写真3 クールリセット後、再度ソフトリセットで動作確認しよう

■ハードリセット



写真4 ハードリセットを行うと買ったときの状態に戻る

質問

61

気づいたら初期状態になっていた

Palmの電源をオンしたら、初めて起動したときに表示される初期画面が出てきて驚いたことがある人はいないだろうか。特にリセットをしたわけでもないのに、突然にデータが飛んでしまうと悲しいものだ。

この原因は、電池が切れたままの状態、数時間放置したときにリセットがかかると起こる症状だ。充電電池を電源とするPalmの場合は、電池が完全に放電してしまうとリセットがかかって初期状態になってしまうため、電池容量が少なくなってきたなら忘れずに充電すべきだ(16ページ、質問20参照)。

また、TRGproやVisor Deluxeといった乾電池を電源とする機種の場合、電池切れでもないのにリセットがかかってしまうことがある。これは、Palmを持ち歩いているときに生じてしまう振動により、電池ボックスの中で電池がわずかに揺れて接触不良になることが原因である。

もしこのような経験があるなら、Palmを保護するケースをクッシ

ョン性の強いものに変えてみるといいかもしれない。また、電池ボックスの中で乾電池が揺れないように、薄いスポンジを挟み込むようにしてから電池ボックスのフタをするなどの対策をとったほうがいいだろう。

質問

62

買ったばかりなのに、100パーセント充電されない

この場合はPalmデバイス本体に初期不良の疑いがある。

購入直後にもかかわらず、いくら充電してもバッテリーゲージが満タンにならない。あるいは、まったく使っていないのに、約1日程度で電池残量が半分以下に減ってしまう。そんな症状に見舞われたらすぐに各メーカーのサポートセンターに連絡することだ。初期不良は自分では手の打ちようがない。症状を細かく伝えて新品と交換してもらおうのが最良の方法なのだ。

ただし、保証期間内(通常は購入日から1年間)であることはもちろん、メーカー発行の保証書(通常はPalm本体に付属)が必要になるので忘れずに準備しておこう。



質問

63 8MB DRAM問題ってなんですか？

'99年10月～2000年5月までの間に生産されたPalmデバイスのうち、Palm Vx、IIIc、IIIxe（日本未発売）WorkPad c3、Visor Deluxe、TRGpro英語版の一部には、使用されている内蔵8MBメモリー（DRAM）に欠陥があるものが混じっている。

不具合の内容は、任意の値がメモリー上のどこかに勝手に書き込まれてしまうというもの。書き込まれる場所がどこかによってPalm本体が受ける影響は変わる。例えば、未使用の領域に何か書き込まれてもまず何も影響は出ないが、データが格納されている領域に書き込まれれば、「アドレス」や「メモ帳」をはじめとするソフトに入力した情報の一部が変わってしまったり、（データの管理情報が書き換えられて）データ全体が壊れる可能性もある。最悪の場合、ソフトやOSのプログラムの一部が書き換えられ、致命的なエラーの発生や、動作不能に陥る可能性もある。動作不能に陥った場合、ハードリセットするしかない。どこに書き込まれるかは特定できないので、当然、空き容量（未使用領域）が多いほど、不具合の影響を受ける可能性は低くなる。この欠陥DRAMを搭載している場合でも、不具合が表面化する確率はかなり低いようだ。回避策も発表されているので安心してほしい。

生産時期と機種が該当しても、必ずしも欠陥DRAMを使用していると

は限らない。テスト用のソフトを入手し、自分のPalmデバイスで問題のDRAMが使われているかをチェックしよう（図）。使用されていた場合は、不具合回避用のパッチをインストールすることで不具合を抑えることが可能だ。なお、TRGpro英語版では、現在のところテストソフトもパッチも提供されていないが、Palm OSを3.5.1にアップグレードすることで対処可能だ。TRGpro日本語版は、最初から3.5.1で出荷されているので心配はない。

2MB搭載機などをショップのメモリー増設サービスで8MBにした場合は、テスト用のソフトが正しくチェックを行ってくれないので、増設サービスを受けたショップに問い合わせよう。

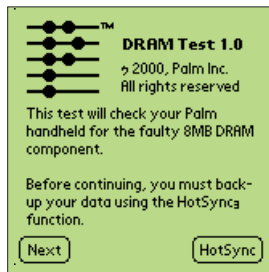


図 英語表記だが、各メーカーサイトの解説は日本語だ

■テストパッチ入手先

パーム コンピューティング㈱	対応状況	URL http://www.palm-japan.com/support/dram/index.html
	入手先	URL http://www.palm-japan.com/support/dram/serialcheck.html Palm IIIxeに関しては、URL http://www.palm.com/support/dram/index.html を参照 ユーザー登録が済んでいれば、テストソフトとパッチを収録したフロッピーが送付される
日本アイ・ビー・エム㈱	対応状況	URL http://www.jp.ibm.com/pc/workpad/news/50j07.html
	入手先	URL http://www.palm-japan.com/support/x_ibm/index.html URL http://www.palm-japan.com/support/x_ibm/possible_dram.html
ハントスプリング㈱	対応状況	URL http://www.handspring.co.jp/support/ts_errors.asp
	入手先	URL http://www.handspring.co.jp/support/ts_handspring_update_download.asp 上記URLからダウンロードできるHandspring Updater V1.0.0は、8MB DRAM問題以外のいくつかの不具合にも対応する。Visor Deluxeユーザーで、Palm OSのバージョンが3.1H2以前の場合にインストールを推奨されている。このアップデーターを実行することで、8MB DRAMに欠陥があるかどうかのチェックも行われ、欠陥がある場合にはそのパッチもインストールされる
*TRG Products社	対応状況	URL http://www.trgpro.com/support/faq_dram.html
	入手先	URL http://www.mds2000.co.jp/OS3.5.html エム・ディ・エス㈱のWebサイトでアップデーターをダウンロードできる

質問

64 勝手に電源が入っていた（特にPalm Vx系機種で）

Palm VxやWorkPad c3を使っていると、鞆やポケットから取り出したときに、すでに電源がオンになっていて驚いたことがあるかもしれない。これらの機種に限って、アプリケーションボタンがポディーから飛び出しているの、知らず知らずのうちに何かに当たってボタンが押し込まれてしまうのだ（写真5）。

特に、WorkPad c3(40J)は、付属しているフリップカバーを利用していると、カバーを閉じただけで簡単にアプリケーションボタンが押し込まれてしまう。その後、フリップカバーは改良されて、アプリケーションボタンの当たる部分に凹みがつけられるように改善された。



写真5 電源ボタンが少し出ているので、押し込まれる場合がある

質問

65 電源をオンしたら、液晶表示が非常に薄くなっていった

WorkPad (30J)やTRGproでは、電源を入れたときに液晶の表示がかなり薄いことがある。これは、これら前述の機種モノクロ液晶が、外気温によって液晶のコントラストが大きく変わることが原因だ。特に冬場は、暖かい室内で使ったあとに、外出してこのようなトラブルに見舞われることが多くなる。このようなときは、液晶のコントラストつまみで再調整しよう。

質問

66 液晶ディスプレイが汚れて画面が見にくい

指で画面を触る場合もあるPalmでは、表面にほこりや油が付きやすい状態にある。汚れた画面はスタイラスの滑りが悪いので力が入り、これも画面を傷つける原因になる。

画面を拭くには、清潔な綿のハンカチなどでも十分だが、一番適しているのはメガネ拭き用の布。柔らかくて傷つきにくいので、ちょうどいい。

67 液晶が壊れた!

Palmデバイスを落とした、あるいは携帯時に不用意に力を加えてしまった、ぶつけた……。Palm Computing m100以外の機種は液晶部分の保護カバーがガラス製なので壊れやすい。このような理由で、液晶部を壊してしまった場合、ハードの破損なので、最終的には修理に出すか買い替えるかのどちらかしか手段がない(写真1)。ただ、ユーザーにとって諦めきれないのは、入力してあるデータだろう。

そんな場合、破損したのが液晶部分だけで、本体基板に被害が及んでいなければ、表示されないだけで機能する可能性はある。ダメでもともとと思い、クレードルにセットしてHotSyncボタンを押してみよう。うまくすればHotSyncでバックアップが取れるかもしれない。もちろん、ここでHotSyncができなくても、常日頃からHotSyncしていれば、被害は最小限で済むはずだ。

次にハード部分の修復だが、こちらのほうは、メーカーのサポートセンターに連絡を取り、交換してもらおうしかない。ハンドスプリング㈱とソニー㈱(図1)では、いくらかかるのかがわかる料金表がWebサイトに掲載されているが、ほかのメーカーでは被害の程度を知らせて確認するしかない。よって、料金はケース・バイ・ケースが前提となり、部品代として1万円前後、それに技術料が加算され、1万~2万円強になる感じだ。

手続きの手順は、メーカーに連絡してから故障した機器を送付、故障を確認したあと、修理品あるいは良品が届くというパターン。メーカーによって、Webのサポートページで、故障の程度をチェックするコーナーが設けられている場合もあるので、まずはそこを確認してから連絡してみよう(連絡先については29ページ参照)。ハンドスプリング㈱は、修理ではなく良品交換が基本のようだ。ただし、液晶破損の場合は1年間の保証期間中でも有償でのサポートとなる。ほかのメーカーでも良品交換で対応している場合がほとんど。また、修理期間中の代替サービスをうたっているメーカーはない。メーカーのサポート在庫がある場合は、送った翌々日に良品が届く場合もあるようなので、その代替サービスを想定していないのかもしれない。しかしその間、ユーザーは手元にPalmがない状態だ。大切な手帳を取り上げられているのと同じなので、これは改善してほしいものだ。



写真1 液晶が破損しても、まずはデータをバックアップしよう

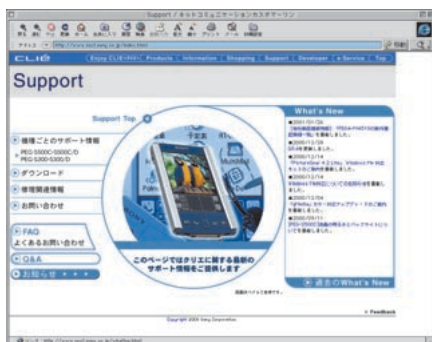


図1 被害の程度によって料金は異なるので要チェック

68 オススメの液晶保護シートは?

画面の汚れや擦り傷が気になるなら、液晶保護シートを貼ろう。いろいろなタイプのものが市販されているが、表面がツルツルしているタイプがお好みなら、Arvel(アーベル) (<http://www.arvel.co.jp/>)の「液晶保護フィルム」がオススメ。A4/A5サイズの汎用で、価格も1240円から2500円までと手頃。パソコンショップや家電量販店などで手軽に入手できるのもうれしい。Palmの液晶画面に合わせてカットする手間を惜しまなければ、1枚当たり200円未満とコストパフォーマンスにも優れている。「Visor-Japan.com」(<http://visor-japan.com/>)ではPDF形式のテンプレートファイルが紹介されているので、この機会にぜひ活用してみよう。

一方、自分でカットするのは面倒くさいし、表面がザラツとした感じのほうが好き。そんな人には、米コンセプトキッチン社(コンセプトキッチン社) (<http://www.conceptkitchen.com/>)の「WriteRights」がいろいろある。WriteRightsは、Palm V用など機種ごとに発売されており、いちいちカットする必要はない。特にPalm V系の画面は下端の曲線に合わせてカットするのが難しいので、指先に自信がない人にはこちらがオススメだ。12枚入りで27.99ドル(1枚当たり約2.3ドル=200円強)と、Arvelと比べて若干割高。表面がザラツとしてスタイラスの滑りは悪いが、脂などの汚れが目立ちにくいという利点もある。

いずれも貼る際のポイントは気泡が入らないようにすること。毎日見つめるものだからこそ、丁寧に貼って快適に使いたいものだ。

69 購入時に付いていた保護シートを使ってもいい?

Palm購入時に液晶ディスプレイに貼り付いていた透明保護シートは、あくまでも製造から搬送までの間の画面保護のためにある。使うときは必ずゆっくりとはがそう。

貼ったままの状態でも無理して使うと、保護シートの柔らかさからスタイラスがひっかかって使いづらだけでなく、保護シートに付いている糊が液晶ディスプレイに転写してしまい、液晶がベタベタしてしまうこともある。液晶ディスプレイには、やはり専用の保護シートを使うようにしよう。

70 購入時に付いてきた箱がじゃまだから捨てたい

Palmデバイスが入っていた箱は、じゃまなら捨てても構わないが、付属の保証書やマニュアル、CD-ROMは必ず残しておくようにしよう。

しかし、できるならば箱は残しておくことをお勧めする。理由は、故障したときなど、Palmを送付するときに最適な梱包箱だからだ。また、中古で販売するときやネットオークションに出品する際には、梱包箱があったほうが査定が高い可能性がある。



質問

71

サポートセンターに問い合わせるコツは？

せっかく買ったPalmだけど、なんだか動作がおかしかったり故障してしまった場合などに問い合わせる先がサポートセンター。サポートセンターでスムーズに手続きを済ませるには、いくつかのコツがある。

まず、問い合わせをする前に、どういう状況なのかを簡単にまとめてメモを書いておくといい。故障した箇所や状況、動作の不良の場合はどういふことで、どのようなことをすると、不安定な状態になるのかをすぐに伝えられるようにするためだ。また、メーカーによっては、Webサイトに簡単なフローチャートがあるので、電話をする前に確認しておくのもいい。

そして必ず用意するのが保証書。保証書がないと、サポートを受けられない場合もあるので、必ず大切に保管しておこう。これらの用意ができたならサポートセンターに連絡する。

下記の表に記載したように、ほとんどのメーカーがフリーダイヤルでの対応なので、携帯電話やPHSではつながらない。時間は平日の午後5時までで、土日祝日は連絡がつかないので注意。なお、TRGproは基本的に英語版のみ正式サポートとなる。

■各社サポートセンター連絡先

パーム コンピューティング㈱	☎ 0120-564-380 🌐 http://www.palm-japan.com/support/dram/index.html 月～金 9:00～18:00 (祝祭日、年末年始および指定休日を除く)
日本アイ・ビー・エム㈱	☎ 0120-04-1992 🌐 http://www.jp.ibm.com/pc/support/companion/ 月～金 9:00～18:00 (祝祭日、12月31日～1月3日を除く) サポートサイトからそれぞれの状態に応じて詳細をチェックできる
ハントスプリング㈱	☎ 0120-517-301 🌐 http://www.handspring.co.jp/support/ 月～金 10:00～19:00 (土日祝祭日除く)
ソニー㈱	サポートセンターへの問い合わせ電話番号は製品に同梱されている「CLIEサービスサポートのご案内」に記載 🌐 http://www.nccl.sony.co.jp/repair/index.html 月～金 10:00～18:00 (土日祝祭日除く)
米TRG Products社	🌐 http://www.trgpro.com/jp/trgpro/palm_faq.html ユーザー登録が完了したらサポート対応が可能になる(英語版のみ) 【エム・ディ・エス㈱の連絡先】 ☎ 03-3834-5250 🌐 http://www.mds2000.co.jp/ 月～金 10:00～18:00 (土日祝祭日除く) TRGproは英語版のOSをJ-OSにより日本語化しているため、基本的にはサポートはない

質問

74

WorkPadの画面が真っ黒(真っ白)

WorkPad(Palm III)に装備される液晶ディスプレイのコントラスト調整ダイヤルは、側面の簡単に触れられる場所に付いている。そのため、ケースからの出し入れ時にダイヤルが何かに触れてしまい、最大または最小になってしまうことがよくある。

もしも、液晶画面が真っ黒(真っ白)になってしまったときは、まずは落ち着いてコントラストダイヤルを回してみることから始めよう。

質問

72

カラーのCLIEの液晶が暗いので文字が読みにくい

発売当初から言われていることだが、カラー液晶のCLIEの場合、反射半透明型液晶というものを使っていることから、まわりの光量によって液晶の輝度がずいぶんと変化してしまう。したがって、アウトドアでは比較的に見やすい液晶画面なのに、室内の蛍光灯の下では暗く見えてしまい、どうしても文字が見づらいという人も多いだろう。

この現象に対応するためにまずは輝度の調整を行って、自分が一番見やすい位置というものをおお程度決めておくといい。

また、ソフト的に見やすく調節する方法もある。実は20ページでも紹介した、Palmのシステムカラーを変更できるユーティリティ「mitekure」(🌐 <http://www.geocities.com/>)で、画面の色調を変化させる方法だ。これは本来Palmのフレームやテキストの色を変更できるソフトだが、この機能を使ってテキストのカラーを変えるだけでも、かなりフォントが見やすくなるのだ。Palmの性格上、スケジュールやアドレスといった文字情報を確認する使い方が多くなるので、フォントだけでも見やすくなると、使い勝手が向上するだろう。

質問

73

WorkPadの外装が傷んできた。買い替えたほうがいい？

Palmそのものの性能に不満がないのなら、外装を交換してしまうのも手だ。WorkPad 30J(Palm III)にはたくさんの交換用ボディが販売されている。カラフルなスケルトンケースやナチュラル感覚の木製のもの、ハードなイメージのアルミケースなどだ。交換は非常に簡単で数十分でできる。WorkPad 30J(Palm III)ならば保証期間も終わってしまっているユーザーも多いだろう。無理にとは言わないが、思い切って自分でやってみるのもPalmの楽しみだ。もちろん、保証期間が残っている場合は保証対象外になってしまうので注意が必要。また、改造についてはすべて自分の責任においてやることというのは念頭に置いてほしい。

改造はちょっと……、という場合は、フリップカバーの交換などがお勧めだ。ボディが新しいものに変わればまた新鮮な気分でも使い続けられるだろう。

質問

75

バックライト点灯中にジーという音がする

Palmのバックライトを点灯させると、まるで蚊の羽音みたいな「ジー」というような音が聞こえるときがある。故障ではないかと気になっている人もいるのではないだろうか。

これは、液晶ディスプレイのバックライトとして使われているEL素子を点灯させるための、昇圧回路から発生している音だ。発生する音質や大きさには個体差があるが、故障ではないので安心していい。

質問

76

ゲームに最適なスタイラスを教えてください

Palmはそもそもゲーム専用機ではないので、スタイラスも重くてゴツイ。しかし、ゲームをするときはある程度軽くて滑りが良く、液晶画面にも優しいスタイラスが欠かせない。

オススメは機パイロットの「べんとびあ」(写真1 http://www.pilot.co.jp/line_up/pentopia/index.shtml)。ラインアップは豊富だ。中でも特に、クッション強度調整機能付き樹脂チップ搭載のタイプがオススメ。丸みを帯びたペン先は、興奮して思わず画面を力を入れてツンツンしてもスプリングが衝撃を吸収してくれるので安心感がある。ゲームに熱中しても、肩が凝らない軽さも。替え芯(別売)完備のボールペンや、もしものときのリセットピンも付いている。さらに色も豊富で値段も手頃だ。国産なので比較的手に入りやすいのもPalmユーザーにはうれしいところ。たかが棒されど棒なのである。

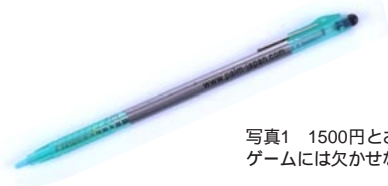


写真1 1500円とお手頃価格。ゲームには欠かせないアイテムだ

質問

78

市販の周辺機器は、どのPalmでも使えるの？

キーボードや通信用のコネクターなどの周辺機器は、Palmデバイスの底部に付いているシリアルポートの形状に合わせて作られている。しかし、機種によってこのシリアルポートの形状が異なるため、市販の周辺機器は、指定された適合機種でしか使えないのが現状だ。

つまり、同一メーカーのPalmデバイスであっても、機種によっては同じ周辺機器を使えないこともあるのだ。例えばパーム コンピューティング株のPalm c、同 V、同 m100のシリアルポートの形状は、同一メーカーの製品でありながらそれぞれ異なっているので、周辺機器の流用はできない。複数のPalmデバイスを所有するユーザーにとっては頭の痛いところだが、基本的には機種ごとに周辺機器を買いそろえるしかないのだ。とはいえ、裏ワザのグッズもないワケではない。

Palm III用の周辺機器をPalm V、同 Vx、WorkPad c3で使えるようにするアダプター「The Bridge V-Clip」(<http://www.ask-corp.co.jp/>)を使えば、今まで買いそろえた資産を無駄にせず済む。オープンプライスとなっているが、実勢価格は2000円前後とお手頃なものらしい。

ただし、Palm Vの周辺機器をPalm IIIでという使い方や、そのほかの組み合わせでも使える夢のような製品は市販されていない。このような無駄を省くためにも、シリアルポートの規格を統一してもらいたいものだ。

質問

77

ケータイみたいに緊急充電用バッテリーはないの？

Palm IIIcやCLIEなど、リチウムイオン充電電池搭載の機種は、万が一電池が切れたら、最悪の場合データはすべて消えてしまう。外出先でそんな目に合ったら大変だ。そんな目に遭わないようにするためのお助けツールがある。

市販の9ボルト電池を使ってPalmに充電できる「NBパワーレスキューボックス」だ。PDA工房(<http://www.u-systems.co.jp/pda/>)で入手できる。9ボルト電池ならコンビニでも手に入るの、イザというときに安心だ。ただし、本製品はあくまでも緊急用なので、やはり日頃はこまめに充電するよう心がけよう。



図1 ちょっとしたアイデア商品を数多く扱っているPDA工房

質問

79

充電池を使っていると、バッテリー表示がおかしい

乾電池と充電池とでは電池の容量が異なるため、バッテリー残量によって現れる警告メッセージがずれてしまう。メッセージが出ないうちにバッテリーが切れるとデータが完全に消えてしまうので、本体バッテリーのタイプの変更しておこう。手順は次のとおりだ。「メモ帳」を起動し、新規にメモを作成。文章入力欄に筆記体の「ル(英語の筆記体エルの小文字)」、「.(半角のドット)」、「7(半角)」を入力する(図2)。「バッテリーモード」が表示される。このショートカットを入力するたびに、「NiCad」(ニッケルカドミウム乾電池)、「Rechargeable Alkaline」(充電式アルカリ乾電池)、「Alkaline」(アルカリ乾電池)というように切り替わるので、自分が使用するバッテリーのタイプを選ぼう。

しかし、ニッケル水素タイプの充電池(NiMHと書いてあるもの)は選択できない。おおよそのバッテリー放電特性が似ている「NiCad」を選択しておけばいい。ただし、乾電池タイプのPalmシリーズで充電池を利用するのはメーカーサポート外になる。

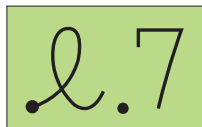


図2 ショートカットを入力するとバッテリーモードが表示される





質問

80

WorkPad50JとPalm Vxの違いは何？

薄型でコンパクトなボディーが人気のWorkPad50J（以下、WorkPad）とPalm Vx。WorkPadが黒、Palm Vxが銀色とボディーの色が違うだけで、実はそれぞれの基本性能は、ほとんど違いがない。Palm Vxのほうがやや軽い程度といったところだ。では一体何が違うのだろうか。

一番の違いは、付属ソフトのラインアップだ。WorkPadのほうが付属ソフトの種類が多い。具体的には、「Palmscape for WorkPad」「JotMail for WorkPad」「MultiMail for WorkPad」「WebSketch」の5製品。Palmでメールを送受信したい人は、すぐに使って試すことができる。

また、Palm Vxには、ウィンドウズマシンとシリアル接続するためのシリアル変換コネクタが付属しているが、WorkPadには付属していない。とはいえ、Palm Vxを使っていて、マックやUSBポートのあるウィンドウズマシンとUSB接続をしたい場合は、別途「Palm Connect Kit」（4480円）が必要になる。

しかし同パッケージにはUSB変換コネクタ（ウィンドウズ/マック両用）とマック用シリアル変換コネクタがセットになっており、トータルで考えると、Palm Vxのほうが無駄のない買い物ができるのだ。

なお、日本アイ・ピー・エム(株)では3月末まで「Intellisync」や「GOGOPen」といった市販ソフトが収録された「WorkPad BoosterKit」CD-ROMが付いてくるキャンペーンを展開中だ（図3）。このようなキャンペーンで購入すると、少しお得感がある。あとは各自の好みによるだろう。



図3 各メーカーのキャンペーン中に購入するとお得だ

質問

82

Visorのボタンのマークが薄れて消えちゃった

残念ながらVisorではボタンの上にマークがプリントされているだけなので、しばらく使っているうちに、よく使うボタンからマークがはがれてきてしまうのだ。特に、ゲームなどでボタンを激しく使っていると、あっという間にはがれてくるという声も聞かれる。

交換できるボタンが発売されているわけではないので、できればボタン操作はあまり激しく行わないか、またははじめからボタンをコーティングしてしまうという手もある。

現状では、ボタンのマークが消えてしまうのは、その固体によるトラブルではない。

質問

81

バッテリーがすぐなくなる

Palmデバイスのバッテリーが予想以上に減少する原因としては、乾電池モデルのPalmデバイスをクレードルに載せっ放しにしている、接続を切ってもモデムを長時間つなぎっ放しにしている、鞆の中やポケットの中などで、アプリケーションボタンが押されているなどの原因が考えられる。

クレードルに載せている間やモデムをつないでいる間に電池を消耗するのは、Palmから接続されているかどうかの信号が送られているためだ。

また、鞆の中などでアプリケーション起動ボタンが気がつかないうちに押され続け、長時間電池が消費されているような状況になることも考えられる。取り出したらずで電源が入っていたというようなことがある場合は、不用意にボタンが押されないようなカバーなどを利用するのがいいだろう。

特に、通信では大量の電池を消耗する。Palmデバイス本体の電源を利用するようなモデムでは、数時間でバッテリーがなくなってしまうのだ。

これらに当たらない場合は、製品不良も考えられるので、メーカーサポートに相談しよう。

質問

83

マック用のUSBキットをウィンドウズでも使いたい

マック用として販売されている「Palm Connect USBキット」（写真2）だが、ドライバーソフトを用意すればUSBを装備したウィンドウズマシンでも使える。ウィンドウズマシンで使用する場合は、パーム コンピューティング(株)のWebサイト（<http://www.palm-japan.com/support/windows/palmconnectusb/index.html>）からウィンドウズ用のドライバーをダウンロードして、「Palm Desktop」をアップデートしてから使おう。また、米キースパン社のUSB-シリアル変換アダプターもウィンドウズ機で使うことができる。

なお、対応OSはウィンドウズ98、98SE、MEだ。また、Palm Desktop 3.0以上をインストールしていることが前提となる。USBキットとクレードルを接続する前に、ダウンロードしたファイル「win98_USB.zip」を解凍し、ローカルディスクに移動してからUSBキットとクレードルを接続しよう。すると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されインストールが始まる（図4）。



写真2 「Palm Connect USBキット」（4480円）はドライバーさえ手に入れば、ウィンドウズマシンでも使える

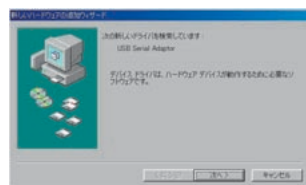


図4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら、指示にしたがってインストールすればいい

質問

84 スタイルスやCD-ROMをなくした

まずはメーカーのサポートセンターに相談してみよう。そのためにも、購入直後にユーザー登録を済ませておくのがベストだ。スタイルスなどはこの機会に、メーカー純正品ではなくサードパーティ製のものを購入するのもひとつの手だ。画面にやさしいクッション機能を内蔵したものや、カラフルなラインナップの製品が、Palmデバイス各機種ごとに発売されている。

Palmとの同期に必要な「Palm Desktop」が収録されているCD-ROMの場合でも、サポートプログラムとしてWebサイトでバージョンアップ版を提供しているメーカーもあるので、まずはWebサイトを確認してみよう。

質問

86 バックライトをつけると反転して見にくい

バックライトをつけると、表示される文字が緑色に光って、反転したように見える。Palm までの機種では、バックライトをつけると黒地に白い文字が表示されたが、それ以降の機種では、バックよりも文字のほうが光る仕様に変更されたのだ。

この表示が見にくいという人は、Hackソフト「LightHack」(図1 <http://www.quartus.net/products/lighthack/>)を使ってみよう。ソフトをインストールしてから画面が表示された状態で電源ボタンを2秒以上押し続けると、バックが黒、文字が白になる。



図1 黒地に白文字というバックライトは結構見やすい

質問

88 改造をしてみたい

Webサイトでは、Palmに改造を施した大変おもしろい作品がたくさん紹介されている。しかし、自分で改造して引き起こした故障はサポートの対象外になるので、あくまでも自己責任の上で行おう。ショップ独自の改造サービスもあるので、まずはそこからチャレンジしてみたいかがだろうか。

質問

89 Palm Vのボタンが折れてしまった

Palm VxやWorkPad50Jは、アプリケーションボタンやスクロールボタンが折れやすい。強く押しすぎると内部で割れてしまう場合もある。このようにボタンが割れたり折れてしまった場合は、やはりメーカーのユーザーサポートに連絡し、修理に出して直してもらおう。

質問

85 液晶がちらつく、点灯しない

液晶部分の配線がゆるむと、いくら電源ボタンを押しても画面が点灯しない場合がある。まず最初に、HotSyncできるかどうかを確認しよう。もしHotSyncができるのなら、液晶部分だけが故障している可能性が高い。その場合は、まずはパソコンにデータのバックアップを取り、メーカーのサポートセンターに連絡して、修理に出そう。

Palmデバイスの中でもPalm cなどは、自分でボディーを開いて液晶部分の配線を直すこともできるが、ボディーを開いた時点でメーカーサポートの対象外になるので、よっぽど自信のある人以外はお勧めしない。

質問

87 IrGEARの赤外線通信が不安定

アイアールギア IrGEARは、携帯電話のコネクターに装着して、Palmデバイスの赤外線通信機能でデータ通信するためのアイテムだ。赤外線通信を利用するので、一般的な赤外線通信の注意点が当てはまる。蛍光灯下ではなるべく手をかざして光が当たらないようにしたり、赤外線ポート同士の距離を変えて試すなど、通信が不安定な場合はいろいろ工夫してみよう。なお、初期に出荷した製品では、上記の注意点を守っても通信が安定しないというトラブルが報告されている。該当する製品は、メーカーが無償でファームウェアのアップデートを行っているので、シリアル番号を調べてサポートセンターに連絡するといい(図2)。



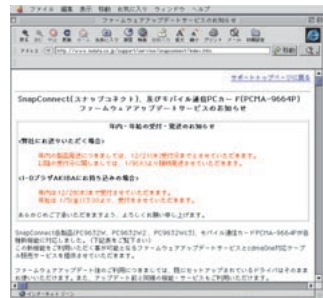
図2 不具合を解消するアップデートが無償で実施されている

質問

90 Palm VxやIIIcで SnapConnectが動かない

PalmやWorkPadシリーズで利用できる通信アダプター「SnapConnect」のうち、旧型製品となるPC9632W、PC9632W2、およびPC9632Wc3は、Palm OS 3.5搭載機には対応していない。これらの旧製品をPalm OS 3.5搭載機で使いたいときは、(株)アイ・オー・データ機器(図3)のサポートで有償のファームウェアアップデートサービスを受けよう(2001年3月末でサービス終了)。

図3 旧型SnapConnectにはファームウェアアップデートが必要





質問 91 NTTドコモのドッチーモで接続できない

NTTドコモのドッチーモ端末のPHSモードを利用したデータ通信を行うには、「環境設定」の接続パネルやネットワークパネルに追加設定をする必要がある。そうしないと、携帯電話モードで発信しようとするので、正常にインターネット接続できないのだ。

PalmおよびWorkPadシリーズで㈱アイ・オー・データ機器の通信アダプター「SnapConnect」シリーズを利用しているなら、モデムパネル（Palm OS 3.1）あるいは接続パネル（Palm OS 3.5）でコマンドの入力欄に「AT&FX4#CLS=3S142=1」と入力しよう（図4）。なお、旧型のSnapConnect（PC9632W、PC9632W2）では、ファームウェアをアップデートしない限りドッチーモ端末のPHSモードを利用できない。

サン電子㈱の「PocheTail」^{ポッシュテール}を利用しているか、CLIEシリーズでモバイルコミュニケーションアダプターを利用しているなら、ネットワークパネルでアクセスポイントの電話番号の末尾に「#64」を追加すればいい。アクセスポイントや通話エリアが32Kbps通信にしか対応していない地域では、「#64」の代わりに「#32」を追加入力する（図5）。なお、CLIE用のモバイルコミュニケーションアダプターとN821iやP821iの組み合わせで、PHSモードで通信できない不具合が報告されている。その場合は、まずソニー㈱のサポートセンターに連絡しよう。



図4 ドッチーモのPHSモードでの通信では設定に注意

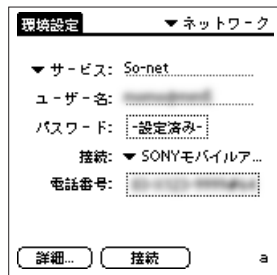


図5 通信機器によって異なる追加設定をする必要がある

質問 93 NTTドコモの208/209iとSnapConnectで接続できない

PalmおよびWorkPadで利用できる通信アダプター「SnapConnect」は、通信に使用する携帯電話がバケット方式のデータ通信に対応している場合は、自動的にバケット通信で接続しようとする。この仕様により、バケット通信に対応したNTTドコモの携帯電話の208シリーズと209iシリーズをSnapConnectで利用しようとする、通常のアナログモデムのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの電話番号の末尾に「J」を追加入力しよう（図7）。



図7 208/209iにつなげるときは電話番号の末尾に「J」を加える

質問 92 TRGproとP-in Comp@ctの接続が不安定

「P-in Comp@ct」には、一般的なPHS端末のように液晶画面が付いていないので、PHS電波の受信感度を確認する方法がない。受信感度が悪い場所で通信を始めても接続が不安定になるだけで、それが受信感度のせいかわからない。この問題を解消するには、P-in Comp@ctの電波受信感度を表示する「P-in Status」^(URL: http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/)をインストールすればいい（図6）。通信する前に電波の受信感度がわかれば、あらかじめ感度を確認して、できるだけ感度のいい地点でデータ通信を開始できる。

また、PHSの親機、子機関係を実現するP-link機能に対応したPHS端末を導入して、P-in Comp@ctを子機として使用方法もある。この方法では、PHSの回線契約は親機だけであればよく、P-in Comp@ctは内線モードで利用することになる。親機までの内線通信であれば、多少距離が離れていても（およそ100mまで）安定したデータ通信ができるので、親機であるPHSが公衆回線としっかり通信できる電波状態になっていればいいことになる。

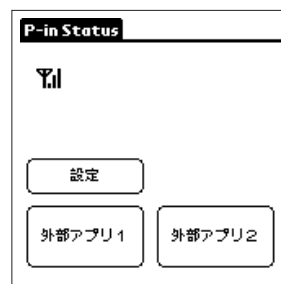


図6 TRGproに接続したP-in Comp@ctの電波感度を表示する

質問 94 TRGproでP-in Comp@ctを使うと電池がもたない

データ通信で威力を発揮するTRGproとP-in Comp@ctのコンビだが、データ通信することによって電池の持続時間が著しく低下する。また、電池残量が少なくなってくると、通信開始時にTRGproの電源が強制的にオフされるという現象も見られる。

これは、P-in Comp@ctがTRGpro本体から電力供給を受けるので、通信中に大電流を消費して本体の電池に大きな負荷をかけることによる。このとき、乾電池にアルカリ乾電池を使用していると、電源がオフされる現象が発生するわけだ。この現象は、単4型のニッケル水素充電電池を使えば防ぐことができる。さらに、データ通信の速度を32Kbpsに落としたり、データ通信中のP-in Comp@ctのインジケータLEDを点灯しない設定にすれば、通信中の消費電力を抑えられる。通信速度を32Kbpsにするには、ネットワークパネルでアクセスポイントの電話番号の末尾に「#32」を追加入力すればいい。また、LEDを点灯させないためには、接続パネルのコマンド欄に「+PLE=0」を追加入力する（図8）。



図8 モデムコマンドを追加入力してインジケータLEDを消灯



通信編

メールを読んだり、Webサイトで情報を入手したり……アウトドアでインターネットに接続できるのが魅力のPalm。しかし、せっかくのメールが文字化けしていたり、接続がうまくいかない、などのトラブルもよく耳にする。ここでは、敷居が高いと思われるがちな通信での問題を一挙に解決しよう。

質問

95

アクセスポイントへの接続ができない

Palmで直接インターネットに接続しようとするときに、アクセスポイントに正常に通信できない原因は多岐にわたる。案外、初歩的なミスが原因の場合もあるので、落ち着いて対処しよう。

まず、接続するときの情報が正しく入力されているかどうかを確認しよう。特に、グラフィティーで入力する必要があるログインIDやパスワードは、正しく入力できているか再確認したほうがいい(図1)。パソコンの場合は接続に必要な設定はキーボードで入力するので、この段階での間違いは少ないが、Palmは設定をグラフィティーで入力しているので、これらの初歩的な入力ミスがトラブルにつながりやすい傾向がある。また、入力した文字列の前後に不要な空白(半角スペース)が入力されていないのかも確認しよう。

次に、接続先のアクセスポイントが、利用している通信手段にマッチしたものかどうかを確認する。携帯電話をデータ通信に使っているときは、アナログモデムと同じアクセスポイントが、携帯電話専用のものを利用しよう。NTTドコモとアステルのPHSを使うのなら「PIAFS 1.0」「同 2.0」に対応したアクセスポイントを、DDIポケットの「H^{エッジ}」やPHSなら「PIAFS 1.0」「同 2.1」対応のアクセスポイントをそれぞれ接続先に指定する。

また、ICカード公衆電話を赤外線モデムとして利用するときは、ISDN TAで利用できるINS同期通信をサポートしたアクセスポイントを使おう。

そのほかに、「環境設定」の「ネットワーク」パネルの「詳細」画面で、「クエリーDNS」を使用していると接続できないプロバイダーが多く見られる。念のためクエリーDNSのチェックは外し、「プライマリーDNS」と「セカンダリーDNS」の設定をしたほうが安全だ。



図1 プロバイダーへの接続情報は、念を入れて確認しよう

質問

96

POPJでメールの受信をしてくれない

標準搭載の「メール」と組み合わせてメールの送受信を行う「POP J」(CD-ROM収録、132ページ参照)は、受信フィルターを細かく設定できるので、必要なメールだけを受信したいときに便利なメールソフトだ。しかし、メールを送受信するためのサーバーの設定だけでは、実際にメールの送受信をしてくれない。

これはフィルター設定をしていないのが原因だ。「Options」メニューの「Filter」では、Retrieve画面に「Retrieve mails less than 8KB」(8KB以下のメールを受信)というフィルターがある。インストールしたままの状態だと、このチェックが外れているので、該当するメールを受信しないようになっているわけだ。このフィルターにチェックをすれば、メールの受信ができるようになる(図2)。同様に「Send」画面の「Send all mails」(すべてのメールを送信)というフィルターをオンにしないとメールの送信がされないので、フィルターをオンしよう。



図2 POPJはフィルター設定をするとメールの送受信が可能

質問

97

ダウンロードしたメールが文字化けした

メールソフトが日本語に対応していないと文字化けする(図3)。例えば、Visorsシリーズ用の「SpringPort 56モデムGlobalACCESS」に付属する「MultiMail」は日本語メールの送受信ができない。また、「Eudora」のPalm版「Eudora for the Palm OS」や「iambic Mail」なども日本語メールの送受信ができない。



図3 日本語メールの送受信に対応していないと文字化けする



質問 98 メールチェックで失敗する (接続がうまくいかない)

せっかくインターネットに接続できても、メールの送受信ができないというトラブルでは、インターネットへの接続自体は問題ないので、ソフトの設定を再確認しよう。ここでも、グラフィティーで入力するPOPサーバー名、POPアカウント、パスワード、SMTPサーバー名を注意して確認しよう。

また、メールの受信はできるが送信ができない場合は、SMTPサーバーにアクセスする前に、POP認証をするように設定すればいい。例えば「PalmScapeMail」(CD-ROM収録、124ページ参照)では、送信設定画面にある「POP before SMTP」にチェックをすればいい(図4)。CLIEシリーズに搭載されている「MultiMail」なら、SMTP設定画面で「送信前に認証」にチェックをする。



図4 PalmScapeMailでは「POP before SMTP」をオンにする

質問 100 赤外線インターネットできる 携帯電話はどれ?

赤外線を使ってインターネット接続するには、相手にも赤外線ポートが装備されている必要がある。赤外線ポートが装備された機器はだいたい以下がある。

ICカード型公衆電話は、特に駅や公共施設の中に設置されていることが多い。外出時にちょっとメール確認したいときなどに便利だ。Palm以外の周辺機器が必要ないので手軽。

携帯電話では、「NOKIA NM207i」(販売終了)「同NM502i」(価格は発売地域により異なる。関東では1万円)「IrGEAR for KEITAI」(オープンブライス、実売価格で1万円弱)などがある。赤外線モデム機能が搭載されたNTTドコモの携帯電話には、赤外線ポートが装備されている。ほかに赤外線ポートが装備された製品もあるが、モデム機能は搭載されていないので、赤外線を利用したインターネット接続には使えない。

赤外線ポートを装備していない携帯電話の場合は、リンクエポリューション側の「IrGEAR for KEITAI」を携帯電話のデータポートに付けることで、赤外線での接続が可能となる。携帯電話の場合は、場所を選ばずにPalmをインターネットに接続させることができるのが最大のメリットだが、通信速度は9600bpsと遅い。NTTドコモ製の携帯電話に限られるのが残念だ。

そのほか、赤外線ポートが付加されたアナログモデム「Pegasus III」(2万4800円)「Psion 56K Travel Modem」(2万9800円)がある。どちらも携帯に便利なポケットモデムで、接続速度も56Kをサポートしているので速度面は十分だ。アナログ電話回線が確保できる場合は、このモデムを使うと便利だろう。また、ノートパソコンなどにも使えるので共用できるのもメリットだ。

質問 99 メールが途中で切れてしまう

パソコンのメールと同期しているときに、メールが途中で切れることがある。これは、標準搭載の「メール」の「HotSyncオプション」で、メールの最大サイズが小さく設定されていることが原因だ(図5)。ただし、この設定を大きな値に変更しても、標準のメールでは最大で8KBのサイズまでしか対応できない。この制限は、メールソフトに「ThumbMail」(CD-ROM収録、132ページ参照)を使って、HotSyncオプションを設定し直すことで解消する。ThumbMailでは、最大30KBまでのメールを同期することが可能だ。また、Palmで直接メールの送受信をしているときにメールが途中で途切れるなら、メール送受信ソフトで受信容量に制限がされていないかを確認しよう。

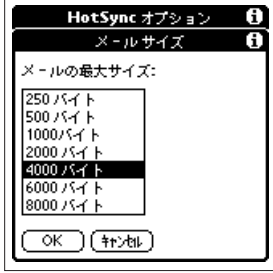


図5 「HotSyncオプション」で、同期するメールの容量を設定

赤外線を利用してインターネットに接続するためには、事前に準備が必要となる。Palm OS 3.0、同3.1搭載機種(Palm III、同V、Workpad、同c3、Visor Deluxe)では、米Palm,Incが提供する「Enhanced Infrared Update(irenhanc)」(http://www.palm.com/support/downloads/irenhanc.html)が必要だ。自分の機種のOSのバージョンに合わせてインストールしよう(図6、7)。なお、Palm OS 3.3、同3.5.x(Palm IIIc、同Vx、同M100、Workpad 50J、Visor prism、Ptanium、CLIE、TRGpro)を搭載した機種では、最初から赤外線通信がサポートされているので、モデムの設定で赤外線を選択すれば、すぐに赤外線通信が利用できる(図8)。

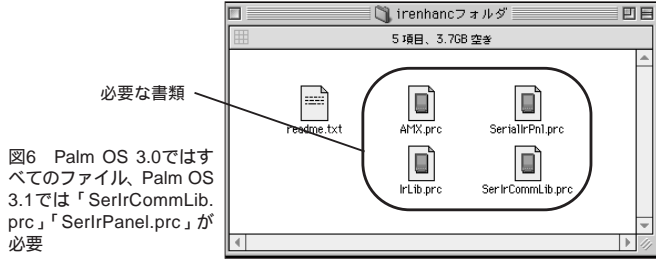


図6 Palm OS 3.0ではすべてのファイル、Palm OS 3.1では「SerIrCommLib.prc」「SerIrPanel.prc」が必要



図7 「メニュー」の「アプリケーション」にある「情報」で確認



図8 バージョン3.3、同3.5.xの機種では接続方法を選ぶだけで

手書き

笠原 崇寛 文
長部 透 イラストレーション

入カソフト・徹底大解剖



Palmにおける文字入力、グラフィティーを覚えるのが面倒だ
という意見は多かったのではないだろうか。
そのグラフィティーに変わる入力方法として、
昨年、Palmに対応した手書き入力ソフトが続々と発売された。
ここでは代表的な3つの手書き入力ソフトを徹底分析。
もうグラフィティーを覚えなくてもカンタンに文字入力ができる！

● 3大手書きソフト・一覧表

製品名	ATOK Pocket手書き入力対応版	NEOS GOGOPen	楽ペン
発売元	㈱ジャストシステム	ネオスコポレーション㈱	㈱エム・ディ・エス
発売日	2000年12月	2000年7月	2000年11月
URL	http://www.justsystem.co.jp/	http://www.neoscorp.co.jp/	http://www.mds2000.co.jp/
価格	標準価格：6800円 優待価格：3800円	パッケージ版：7300円 オンライン版：3500円	標準価格：オープンプライス (4800円程度)
容量	手書き入力機能 約650KB 基本機能 約1.3MB ラーン辞書 約2MB	SMALL 約415KB LARGE 約553KB	約700KB
文字種	手書き文字：全文字種対応 ひらがな手書き：ひらがなのみ	文字種選択機能の付いた全文字種対応	全文字種対応
入力エリア	手書き文字：縦2.45X横2.45cm ひらがな手書き：縦2.1X横2.1cm	縦2.3X横2.3cm	縦2.3X横2.3cm
候補数	10個まで	5個X	5個X2まで
編集文字数	手書き文字：12文字X3行 ひらがな手書き：12文字X4行	12文字X2行	12文字X2行
製品特徴	ひらがな手書きは入力エリアが2つ。 賢い連文節変換を使って、 長文入力が簡単にできる。	高度な認識率を誇り、 辞書はJIS第2水準漢字も 収録されている充実のソフト。	ジェスチャーエリアが魅力。 グラフィティー操作と手書きを 併用し、らくらく入力できる。
こんな人におすすめ	賢い日本語変換を生かし、 長い文章を入力したい人に最適。	認識精度は非常に高い。 乱筆の人にも安心して使える。	グラフィティーをうまく使ったジェスチャー エリアが気に入った人におすすめ。

● 手書きソフトの魅力とは？

グラフィティー文字を覚える必要なし!

Palmの文字入力に特有のグラフィティー文字の存在が、Palm購入をためらう大きな要因となっていたのではないだろうか。覚えてしまえば意外と簡単なグラフィティー文字の入力も、「そんなの覚えるのは面倒くさい」という人も多いことだろう。そんな人に絶対おすすめなのが、この手書き入力ソフトだ。どのソフトも、紙にペンで文字を書くように、スタイラスで入力エリアにそのまま手書き文字を書き込めばOK。スタイラスをフルに活用し、手帳感覚で文字入力ができる手書き入力ソフトで、Palmがより便利なものになるだろう。

文字種が多い日本語には最適ソフト

Palmの文字入力グラフィティーは、アルファベットと数字のみで成り立つ英文には最適な方法。しかし日本の文章は、ひらがなや漢字、カタカナ、英文字など、文字種が非常に多い。アメリカ生まれのPalmを、日本でも快適に使えるようにするためのツールが、手書き入力ソフトなのだ。手で書いたさまざまな文字種を認識してくれるので、文字入力には大変便利。グラフィティー入力に慣れた人も手書き入力ソフトを併用することで、文字入力がスムーズになること間違いない。手書き入力ソフトの導入で、Palmがより身近な存在になる。

驚異の変換精度で長文入力にも最適な手書き入力ソフト

ATOK Pocket for Palm OS 手書き入力対応版

パソコン用の高精度な日本語変換ソフトとして高い評価を得ている「ATOK」^{クライアント}。すでに発売されている「CLIE」^{クライアント}、「Palm Computing Portable Keyboard 日本語版」^{クライアント}、「Visor」^{クライアント}には、「ATOK Pocket for Palm OS」がバンドルされている。その上位バージョンとして、手書き入力に対応したのが、今回ご紹介する「ATOK Pocket for PalmOS 手書き入力対応版」だ。

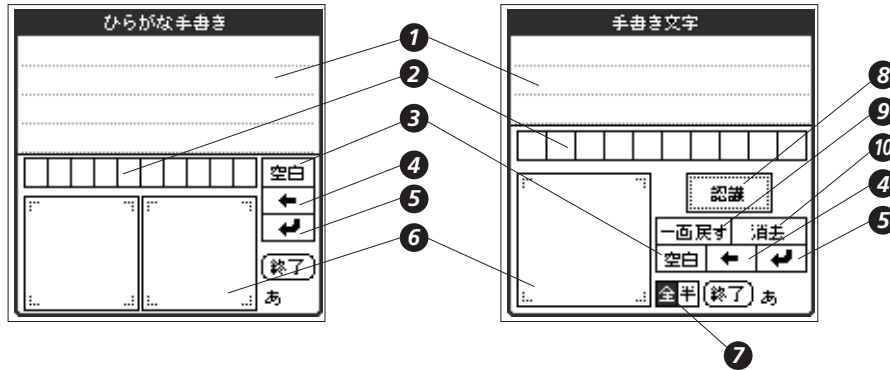
国 株式会社システム

http://www.justsystem.co.jp/

標準価格：6800円

優待価格：3800円

1 入力画面を徹底大解剖



- 1 編集フィールド
- 2 候補表示エリア
- 3 「Space」キー
- 4 「Back Space」キー
- 5 「Enter」キー
- 6 入力エリア
- 7 全角半角指示
- 8 入力した文字の候補を表示
- 9 直前に書いた一画を消す
- 10 手書きした文字の消去

2 ここがポイント!

Good Point

用途に合わせた2通りの入力方法

上記の画面解説の通り、手書き入力方法が2つある。ひらがなを入力して変換していく「ひらがな手書き」と、ひらがなだけでなく、漢字や英文字、記号や数字など、さまざまな文字種がそのまま入力できる「手書き文字」の2つだ。入力する文章の用途に合わせて使い方を分けることができるATOK Pocketだけの独自機能だ。

入力エリアが2つで、すいすい入力できる!

特におすすめなのが「ひらがな手書き」。特におすすめなのが「ひらがな手書き」。「ひらがな手書き」は、ひらがなを次々と入力し、ATOKならではの高性能の変換機能を生かして長文を作成できる。入力エリアが2つあるので、メモ帳にペンでメモを書いていく感覚で、左→右→左→右と文字を入力していける。またほかのソフトに比べて一度に表示される編集フィールドの行数が多いので、いちいちスクロールせずに、長文を編集できる。メールやメモ作成など長文入力には最適

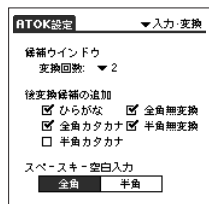
なソフトといえるだろう。

Weak Point

- ・「手書き文字」は、書き終えたあとに「認識」ボタンをいちいちタップしなくてはいけないのが面倒。
- ・「ひらがな手書き」の場合、スタイラスで描いた字がすぐに表示されず、遅れて実線が表示される。「手書き文字」のように、スタイラスの動きに合わせて実線がすぐに表示されるほうが、使いやすい。

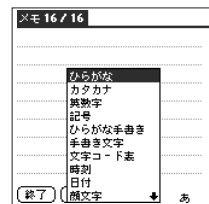
3 さあ、使ってみよう

STEP 1



インストール後、「ATOK設定」アイコンを選択。入力や辞書などの設定を行う

STEP 2



グラフィティエリアの右下123部分をタップすると、入力パネルの一覧が表示。「ひらがな手書き」が「手書き文字」を選ぶ

STEP 3



ひらがなを次々に入力。連文節変換機能で一挙に長文が作成できる



手書き文字は、かな・漢字・英数字はもちろん、記号も入力できる

日本初のPalm用日本語手書き入力ソフト NEOS GOGOPen

Palmにおける国内初の手書き入力ソフト「NEOS GOGOPen」。文字認識の処理速度、および認識率の完成度は非常に高い。容量も軽く、それでいて収録されている漢字も豊富。乱筆でもほとんど間違いなく認識されるこのソフトの登場で、Palmの文字入力の常識が変わる！

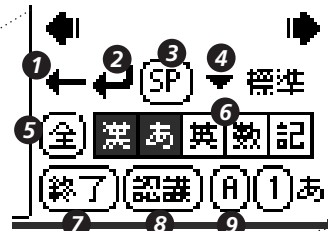
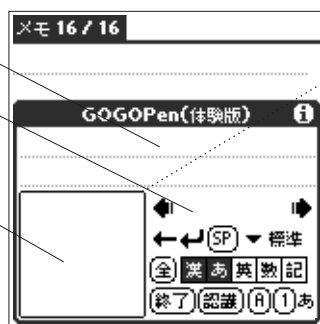
■ネオスコポレーション㈱
 URL <http://www.neoscorp.co.jp/>
 パッケージ版：7300円
 （実勢価格4800円）
 オンライン版：3500円

1 入力画面を徹底大解剖

編集フィールド

候補表示エリア

入力エリア



- 1 戻る
- 2 改行
- 3 スペース
- 4 認識文字種選択
- 5 全/半換
- 6 認識文字種選択
- 7 終了ボタン
- 8 認識ボタン
- 9 キーボード表示

2 ここがポイント!

Good Point

乱筆の方にも安心の高度な認識率

「GOGOPen」の最大の特徴は、高度な認識率だ。余程の乱筆でない限り、ほとんど正しく認識される。さらに認識率を高める手段として、文字種指定機能が付いているのも特徴。漢字・ひらがな・英文字・数字・記号と5つのカテゴリーに分かれていて、入力する文字種に合わせて設定を変えていける。もちろん複数選択できるので、全文字種に対応す

るモードにもできる。特定の文字種だけの入力であれば、指定したほうが圧倒的に認識率は高くなる。自分の入力スタイルに合わせて文字種の指定を決められるカスタム機能もあるので、大変便利だ。

軽い容量で充実した辞書機能

ほかのソフトと違う点は、候補数が多いこと。ほかの2つのソフトは最大10個までしか表示されないが、「GOGOPen」は可能性のある文字がいくつも表示される。またPalm上ではどうしても入力できなかったJIS第2

水準の漢字にも対応。それでいてメモリーはほかのソフトより軽い。用途や容量に応じて、使用頻度の低い第2水準の漢字を除いたモデル辞書（約415KB）も選ぶことができる。

Weak Point

- ・編集フィールドにスクロール機能がないので、2行以上入力した場合には、前に入力した文章が見られないのが不便。
- ・人によって使いやすさはまちまちで、文字種指定が面倒だという人もいるかも。

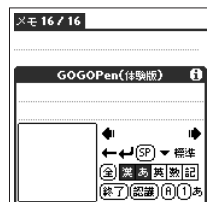
3 さあ、使ってみよう

STEP 1



インストール後GOGOPenのアイコンを選択し、認識スピードなどの設定を行う

STEP 2

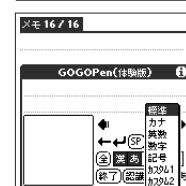


グラフィティーエリアの右下123部分をタップすると、GOGOPen入力画面が表示される

STEP 3



こんな文字でも認識できるぞ



文字種指定機能で、カスタム設定することも可能

らくらく手書きで日本語入力！ジェスチャエリアが特徴的。 楽ペン

ジェスチャーエリアというユニークな機能が付いた手書き入力ソフト「楽ペン」。全文字種に対応した手書き入力に加えて、Palmならではのグラフィティー文字も生かせる仕組みになっている。手書きとグラフィティーが調和した入力システムで、文字入力がカンタン・スムーズになるだろう。

開発 エム・ディ・エス
http://www.mds2000.co.jp/
標準価格：オープンプライス
(実勢価格4800円程度)

1 入力画面を徹底大解剖

編集フィールド
候補表示エリア
手書き入力エリア

ヘルプ表示
スクロール

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

- ① 選んだ文字をフィールドへ
- ② 候補一覧の表示を取消
- ③ 指定した文字の半/全角指定
- ④ フィールド上の文字をアプリケーションへ
- ⑤ 「楽ペン」を終了
- ⑥ ジェスチャーエリア

2 ここがポイント！

Good Point

ジェスチャーエリアを使ってカンタン入力

「楽ペン」の最大の特徴は、ジェスチャーエリアの存在だろう。手書き入力エリアの隣にあるサブ的なもので、入力をスムーズに行うために設置されている。使い方は簡単。特定のグラフィティー文字を入力すれば、いちいち操作ボタンをタップすることなく、指示が可能なのだ。例えば「/」というグラフィティー文字を入力すれば、採用ボタンを押さなく

でも決定になり、入力途中でジェスチャーエリアをタップすれば、認識開始時間にかかわらずすぐに認識してくれる。グラフィティーを使わなくても操作はできるが、ソフトの特徴を生かして、グラフィティー操作を併用することで、文字入力がスムーズになるだろう。

全文字種対応で、可能性の高い候補を表示

ジェスチャーエリアばかりが目立つが、通常の入力エリアの認識率および処理速度は快適だ。全文字種に対応しているのも、手書き入力エリアに、ひらがなや漢字だけでなく、

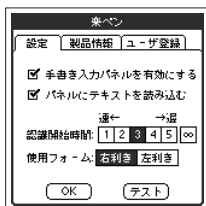
記号や英数字を直接書き込んでも、きちんと認識してくれる。候補は可能性の高いものが表示されるので、非常に使いやすい。

Weak Point

- ・候補が最大10個だけで全文字種に対応しているのも、候補表示の中になければ、もう一度書き直ししなければならない。
- ・ほかの2つのソフトにはあるが、この楽ペンにだけないのが「改行」ボタン。改行はグラフィティー文字で行う。

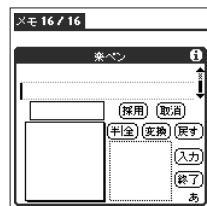
3 さあ、使ってみよう

STEP 1



インストール後、「楽ペン」のアイコンを選択し、設定を行う

STEP 2



グラフィティーエリアの右下にある123部分をタップすると、楽ペン入力画面が表示される

STEP 3



サウスパーにはうれしい左利きフォーム



大抵の文字は認識できるが、あまりに字を崩しすぎるとエラー表示が現れる

Palmの魅力を増倍させる手書き入力ソフトの

手書き入力ソフトはPalmの世界を広げる決定打となるか

ソフト開発のきっかけは？

製品への工夫



ATOK Pocket
for Palm OS 手書き入力対応版

㈱ジャストシステム
営業企画室 主任
永田 弘行氏

「ATOK」としては、手書き入力ソフトの前に、まず日本語変換ソフトとして「ATOK Pocket」をPalm向けに発売しました。「ATOK11」から「ATOK12」にバージョンアップする際に、どんなデバイスにも対応できるエンジンへと大幅に改良。当然、Palmへの移植もその時から想定していました。

ただPalmにおいて、文字入力の際のグラフィティが面倒だということが前からありました。㈱シャープ「ザウルス」には手書き入力があるので、当然「Palmにも手書きを」というユーザーからの要望は強かったと思います。そこで今回、手書き入力もできるソフトとして発売することになったというわけです。

入力方法には「ひらがな手書き」と「手書き文字」とがありますが、特におすすめなのが「ひらがな手書き」です。メモのように走り書きする場面では、漢字よりひらがなで書いていくことが一般的だと思います。そう考えると、Palm上での入力もひらがな書きでどんどん入力していくほうが、最も思考を妨げない自然な方法ではないでしょうか。

ひらがな手書きは、入力エリアが2つあるのが特徴です。左右の入力エリアに交互に手書きしていけば、メモ書きのようにスムーズに文字を入力できます。次々にひらがなで入力した文字を、一文節ごとではなく連文節で変換していけば、簡単に文章が入力できるのです。ATOKならではの、優れた変換機能を生かした手書き入力方法といえます。



NEOS GOGOPen

ネオコーポレーション㈱
企画開発部 主任
金 雅宏氏

もともとウィンドウズ向けに、タブレットと組み合わせさせた手書き認識ソフトの開発を行っています。1999年に、ウィンドウズ向けに「ネオスパット」という手書き認識ソフト付きのタブレットを発売しています。そんなことがあって、当社にPalm対応の手書き認識ソフトを作ってみないか、という話をいただいたのです。

一部のPalmユーザーには「グラフィティ文字を使いこなせてこそ、本物のPalmユーザーだ」といった意識を持っている人もいられるかもしれませんが、多くの人はグラフィティ入力のためにPalmに敷居の高さを感じていたのではないのでしょうか。Palmのすそ野を広げていくうえで、手書きソフトの開発は当然の要望だと思います。

手書き認識のエンジンについては自信がありましたが、Palm用に移植する最大の課題は容量でした。容量が少ないPalmにおいて、手書き入力ソフトがほかのソフトに比べて出しゃばってはいけないうんです。そのために容量を多く取られてしまったら、何のためのデバイスかわからない。かといって容量を小さくするために認識できる文字が少なければ、文字入力の方法としては不便なものになってしまう。

そこで認識辞書は、文字全体のイメージデータを記憶するのではなく、文字の特徴を数値化して形状認識を行えるようデータベース化したのです。それによって軽量かつ多くの文字を取り入れることができたのです。認識精度と辞書の軽さではうちが一番。それでいてJIS第2水準漢字まで収録した点は、自信を持ってお勧めできます。



楽ペン

㈱エム・ディ・エス
プロダクトマネージャー
山光 博康氏

Palmの特性はカンタン素早く入力できる点にあります。しかしPalmというと、どうしても「グラフィティ入力」という難点があるので、敷居の高さを感じる人も多いのではないのでしょうか。ザウルスとの比較においても、「手書き入力ができれば」という考えは、当然のこととして、前から頭にありました。手書き入力ソフト実現化の話が持ち上がったのは去年のこと。きっかけは松下電器さんの「ピロシキ」という携帯端末用に作られた手書きソフトを、Palm用に製品化したら面白いのではないかという話からでした。トントン拍子に実現化に向けて話が進み、それで去年の11月発売に至ったわけです。

初め考えていたのは入力エリアが複数あるものでした。しかし入力エリアを増やすと、処理速度が落ちてしまう。かといって、入力エリアが1つだけでは使いにくい。そこで考え出したのがジェスチャーエリアだったのです。メインの入力を助けるこのエリアを使えば、いちいち認識や削除といったボタンを押さなくても、簡単に入力できるのです。

手書き認識で難しいのは、いつ字を書き終えたかを判断すること。スピード設定を速くすると、書き終わらないうちに候補表示されてしまうし、スピード設定を遅くすると、候補が出るのを待たなくてはならない。そこでジェスチャーエリアで強制指示することによって、個人のペースや文字に合わせた認識速度を自由にできるようにしたのです。

舞台裏に迫る!!

昨年、Palm市場で次々と発売された手書き入力ソフト。「ATOK Pocket 手書き入力対応版」、「NEOS GOGOPen」、「楽ペン」と、それぞれのソフト発売元に、開発の経緯からソフトの特徴、そして今後の展開についてインタビューを試みました。Palmの世界を大きく広げる、重要なカギとなる手書き入力ソフトの舞台裏に迫ります。

発売後の感触は?

文字入力考えた場合、入力方法のストレスよりも、入力したあとに自分の思っていた文章が正しく表示されないことへのストレスのほうがはるかに大きいのではないのでしょうか。どんな入力方法であろうと、せっかく書いた文字が正しく変換されず、書き直すことほどストレスを感じることはないと思います。文字入力にとって一番大切なのは、認識率や入力方法より、変換能力ではないかと考えています。

今回のソフトは、単にほかのOSで使われている変換機能をそのまま移植したのではなく、Palmを使う場面を想定して、単語の候補順位を変えて作っているので、変換精度に関してはどこにも負けないという自信があります。

認識率についてはまだまだ不満だと考えていたのですが、ユーザーからは意外にも高評価を得ました。Palmのメモリーや性能をよく知っているユーザーにとっては「よくここまでやってくれた」という感想が多かったようです。

文字の認識率についてはかなり力を入れています。せっかく手書き入力した文字が正しく認識されなければ、また書き直さなければなりません。自分が手書き入力した文字が第一候補に表示されるかどうかは、非常に重要なことだと思います。そこで、候補の絞り込みを行える文字種を選択機能を付けて、認識精度を上げる工夫を施しています。また文字種を選択は、ユーザーにカスタマイズする余地を残しているため、自分の使いやすい設定にできるようにしています。

グラフィティー文字に抵抗のあるPalmのまったくの初心者より、Palmをそれなりに使っていてグラフィティー文字もわかるけど、やっぱりグラフィティーより手書きのほうが便利だよなというユーザーに受けているようです。ジェスチャーエリアの設置によって、グラフィティーをうまく併用できることが一番の魅力だと思います。

ただ、まだまだ手書き入力の利便性が浸透していないというのが実感です。もっと手書き入力の利便さを広めていければと思います。

Palmでメールするのが活発になれば、文字入力方法としての手書きの利便性がわかってもらえるのではないのでしょうか。メールソフトとバンドルして販売するなどして、手書きソフトを広めていきたい、と考えています。

今後の展開

今後の展開については、ひらがな手書きをとことん突き詰めていこうか、認識率や反応速度、変換能力を上げていこうか、いろいろな方向性があるにせよ、ATOKとしては総合力で勝負していきたいと思っています。

ATOKはいわば空気のような存在。さまざまなOSやデバイスに当たり前のよう搭載されていて、よくよく調べてみると「これってATOKだったの?」ということがこれからは増えていくでしょう。あちこちからのユーザーの声をフィードバックして製品を作っていくのが、ATOKならではの強みです。

ユーザーにとってPalmでの入力がいかにスムーズになるか、今後も考え続けていきたいと思っています。

ユーザーから多くの要望をいただいたのが、入力枠が少ないということでした。それを踏まえて、次期バージョンには入力枠を2つにしたものを今年3月に発売する予定です。

次期バージョンのもうひとつの特徴は学習機能の搭載です。手書きの場合は個人によって入力のくせがあります。使えば使うほど認識率が高まる学習機能で、文字入力がより便利なものになっています。

さらに手書き入力の認識率を高めていくために、先読みする機能の充実などを考えています。全部、文字を入力する前に、コンピューターが先を予測して候補を表示できるようになれば入力の手間が省けます。今後も、文字入力におけるよりよい環境作りをしていきたいと思っています。

今でも省略文字を認識でき、認識精度は高いと思いますが、今後さらにアップグレードを行っていききたいと思います。また、現状では、どの手書きソフトもアプリケーションを開いてから、1.2.3をタップしないと立ち上がらないので面倒です。メモならメモにそのまま書き込めるものであれば、もっと楽に文字入力ができると思います。

今年は、Palmの世界が盛り上がる大きな山場だと考えています。そのキーとなるのが、ソフト開発。いろんなソフトが開発されれば、Palmはもっと大きく広がっていく可能性を秘めています。Palmのすそ野を広げていくソフトの一つとして、この「楽ペン」が役立てばいいなと思います。



自信を持っておすすめする「ATOK」。今やどんなOSにも「ATOK」は当たり前!



ATOK Pocket for Palm OS 手書き入力対応版
標準価格：6800円
優待価格：3800円
詳しくは、<http://www.justsystem.co.jp/>



宮崎社長自ら、今回のソフトへの思い入れを語る。今後の展開に要注目!



NEOS GOGOPen
パッケージ版：7300円(実勢価格各4800円)
オンライン版：3500円
詳しくは、<http://www.neoscorp.co.jp/>



海外営業担当の石田さんとともに、Palm関連製品の企画開発を行っている



楽ペン
標準価格：オープンブライズ(実勢価格各4800円)
詳しくは、<http://www.mds2000.co.jp/>



Information

文 M.Hirose、編集部

ソフトニュース



ファイルメーカー Mobile がついに発売

ファイルメーカー(株)は、ウィンドウズおよびMac OS 版ファイルメーカーとPalm OS間でのデータの同期を実現したデータベースソフト「ファイルメーカー Mobile」を3月下旬に発売することを発表した。

Palm デバイス上でもそのままレコードの表示、編集、追加、削除、検索、ソートなどができ、外出先でのデータベースの活用や最新情報の収集が行える。Palm デバイスへ転送するデータベースのフィールドを最大20フィールドまで選ぶことがで

き、フィールド順 / 転送するレコードなどの指定も可能。ただし、計算 / 集計 / フィールドの定義はパソコンで行わなければならない。アプリケーション本体の必要メモリー容量は100KB未満であるものの、全体の容量はパソコンから同期したデータファイルのサイズによる。

なお、この製品はシングルユーザー用の「ファイルメーカー Pro 5」プラグインコンパニオンのため、利用には、別途ファイルメーカー Pro 5.0v3が必要。



■ ファイルメーカー(株)
■ 8900円
■ 03-5977-7256
■ <http://www.filemaker.co.jp/splash/ebullion.html>

業界ニュース



検索エンジン Google がモバイル機器で利用可能に

モバイル向けポータルサイト「E-Chilipadi」と検索サイト「Google」は、モバイルポータルからのワイヤレス利用について提携を行った。さまざまなワイヤレス機能を搭載するPDAから、E-Chilipadiのページにアクセスすることにより、Googleの検索を利用したり、GoogleがWeb上で取得したHTMLなどのインデックスデータを参照できるようになる。

E-Chilipadi ■ <http://www.chilipadi.com/>
Google ■ <http://www.google.com/>

ハードニュース



CLIE カラーモデル「PEG-S500」が単体で発売

ソニー(株)は、2月10日に「PEG-S500」のパッケージからモバイルコミュニケーションアダプター、通信ケーブル、メモリースティックの付属品を省いた「PEG-S500C/D」の店頭販売を開始した。

同製品は、Palm OS 3.5日本語版を搭載し、CPUはドラゴンボールEZ(20MHz)、本体サイズは幅70.9×奥行き15.2×高さ114.7mm、約120gという仕様。USBクレードル、ACアダプター、スタイラスペン、インストールCD-ROM、ソフトカバーが付属する。これまで同社が運営するオンラインショップ「PDA Style」でのみの取り扱いとなっていた。



■ オープンプライス
■ ソニーマーケティング(株)
■ http://www.sony.co.jp/sd/CLIE/index_2.html

業界ニュース



秋葉原にPDA専門ショップ 「秋葉館PDA」が新たにオープン

秋葉館(株)は、秋葉原に「秋葉館PDA」をオープンした。各種PDA、デジタルカメラ、インターネット端末、MP3プレーヤー、携帯電話、PHS、モバイルバッグ、関連書籍、各種アクセサリなどデジタル機器を中心に広く取り扱う。

オンラインショップ「秋葉館PDA」での購入も可能で、銀行振り込み、代引き、クレジット、Webクレジット、コンビニエンスストア払いなどの支払方法を用意している。



☎ 03-5256-1092
 ① <http://www.akibakan.com/>
 ② 営業時間 11時～20時(金曜は22時)不定休
 ③ 3月中旬より金曜24時まで営業

ハードニュース



Visor Prism/Platinumの 16MBメモリー増設サービス開始

(有)マスターは、Visor Prism / Platinumの内蔵メモリーを標準の8MBから16MBに増設するサービスを開始した。

本サービスは、同社Webサイトから申し込んだ後、Prism / Platinum本体を同社へ送ると、16MBに増設した後に返送される仕組みとなっている。データは消去されるため、事前にバックアップをしておく必要がある。



アップグレード料金 1万4800円
 ① (有)マスター
 ② <http://www.master-corp.co.jp/>
 Mail webmaster@master-corp.co.jp

ハードニュース



CLIE、cdmaOne対応 モバイルコミュニケーションアダプターがついに登場

ソニー(株)は、cdmaOne方式携帯電話専用のモバイルコミュニケーションアダプター「PEGA-MA510」を発売した。

これまでCLIEに付属していたモバイルコミュニケーションアダプターはPDC方式携帯電話、PHSのみの対応となっていたが、本製品の登場により、cdmaOne方式でPacketOne契約している場合、64kbpsの高速通信環境が実現される。



① オープンプライス
 ② ソニーマーケティング(株)
 ③ <http://www.sony.co.jp/sd/ProductsPark/Consumer/PEG/PEG-S500C/acce.html>

業界ニュース



米パーム社、フラッシュメモリー 不足による生産力低下を解消へ

米パーム コンピューティング社は、フラッシュメモリーの供給不足による生産力低下を避けるため、2003年の末まで米アドバンスト・マイクロ・デバイス社からメモリーチップの供給を受けることを発表した。

フラッシュメモリーはPDA、携帯電話などに広く用いられ、昨年には消費者需要に製造が追いつかず、Palmデバイス自体の生産にも支障をきたしていた。

業界ニュース



オラクルとイリックス、Palmデバイス 向けソリューションを共同展開

日本オラクル(株)と(株)イリックスが、「Oracle9i Application Server」と「Palm scope」「Palmscape DataServer」で企業向けWebソリューションを提供する。このソリューションにより、営業支援や在庫管理、受発注など、さまざまなWebアプリケーションの展開が可能になる。

この両製品を組み合わせたシステムをPalmデバイスで使用することで迅速な企業活動を可能にする。

日本オラクル(株) ① <http://www.oracle.co.jp/>
 (株)イリックス ② <http://www.ilinx.co.jp/>

業界ニュース



サムソンが次期OS、Palm OS 4.0と新ライセンス

米パーム コンピューティング社は、昨年未開催されたデベロッパーズコンファレンス「PalmSource」にて現在開発中のPalm OS 4.0の仕様を公開した。次期OSでは、16ビットカラー、Bluetoothへの対応、パソコンとの接続を容易にするUSB接続、電話機能をそれぞれサポートする。

また同時に、新たなPalm OSライセンスに、韓国のサムソン エレクトロニクス社が加わったことを発表。

韓国サムソン エレクトロニクス社
 ① <http://www.samsung.com/>

業界ニュース



インテル、ザーコムを 7億4800万ドルで買収

米インテル社は、米ザーコム社を7億4800万ドルで買収すると発表した。2001年第1四半期に完了し、ザーコムは完全子会社になる。取引は現金で行われ、ザーコム株1株あたり25ドルが支払われる。

インテルは、モデムおよびネットワークカードのメーカーであるザーコムのリソースを、デスクトップPCやサーバーを中心とした同社のネットワークアクセス事業に活用するのが狙い。

米インテル社 ① <http://www.intel.com/>
 米ザーコム社 ② <http://www.xircom.com/>

業界ニュース



1株.comが米パームコンピューティング社株の取り扱いを開始

米ワンシェア オブ ストック社の代理店にあたる1株.comは、米パームコンピューティング社株の取り扱いを開始した。

価格は株券のみで2万1800円、額入りが3万1800円、My First Stock 額縁が3万2800円。

ワンシェア オブ ストックとは、特定の会社の株を1株だけ代理購入し、顧客に提供するサービスのこと。



1株.com <http://www.hitokabu.com/>

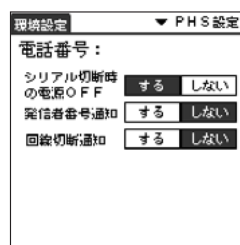
ハードニュース



WorkPad 30J向け、PHSモジュール組み込みサービス

(株)アイテスは、WorkPad 30J(日本アイ・ビー・エム(株)用 PHS モジュール組み込みサービスを開始した。

本サービスは、すでに発売されている WorkPad (31 J) に搭載の PHS モジュールを WorkPad 30J に組み込むもので、PHS ユニット本体とドライバー、インターネット関連ソフトが付属する。価格はユニット代と組み込み費用で1万9900円。DDIポケットとの回線契約代行もする。



最新のドライバーは同社 Web ページからダウンロードする
価格 1万9900円
販売 (株)アイテス
電話 077-587-9098
URL <http://www.ites.co.jp/phs/index.htm>

ソフトニュース



アップル、Palm Desktop 2.6.1 を Mac OS 9.1 にバンドル

アップルコンピュータ(株)は、同社が1月に発売したマック用 OS の最新版「Mac OS 9.1」のパッケージに Palm 純正 PIM ソフトである「Palm Desktop 2.6.1」をバンドルした。

Palm Desktop を組み込むには、32MB 以上のメモリーと24MB 以上のハードディスク空き容量、パワー PC 以上の CPU が必要になる。インストールするには、CD-ROM の「Mac OS 特別付録」フォルダー

にあるインストーラーから自分で組み込まなければならない。また、デフォルトの設定ではメニューバーにクイック Palm Desktop メニューは表示されない。

さらに Palm Desktop は、同時期に発売された同社のプロシューマー向けノート型パソコン「PowerBook G4」シリーズ、およびプロシューマー向けデスクトップ型パソコン「Power Mac G4」シリーズの最新機種にもバンドルされている。



価格 1万2800円
販売 アップルコンピュータ(株)
URL <http://www.apple.co.jp/>

業界ニュース



ハングスプリングショップ、期間限定で送料無料に

ハングスプリング(株)は、同社のオンラインショップ「ハングスプリングショップ」にて送料無料キャンペーンを2月1日から3月31日まで展開する。

キャンペーン対象者は、ハングスプリングショップにて発売されている商品を購入した全員で、購入商品や購入金額にかかわらず、最高で4600円の送料が無料になる。



販売 ハングスプリングカスタムセンター
電話 0120-517-301
URL <http://www.handspring.co.jp/>

ハードニュース



id-ee、スタイラスペンのリプレイスパーツ「Accent III」を発売

アイディ・イーストエンドは、Palm シリーズ純正スタイラスペンのリプレイスパーツ「Accent III」を発売した。

アルミ製でカラーアルマイト処理が施され、重量は従来の金属部分と比べて約50パーセント以下と軽量化されている。取り扱い店舗は、同社オンラインショップ、Vis-a-Vis、PowerLab 新宿店、PX Store となっている。



価格 オープンプライス (税2380円)
販売 アイディ・イーストエンド
電話 048-290-3317
URL <http://www.id-ee.co.jp/>

ハードニュース

アスク、Visor 用の充電器セットを国内で販売開始

(株)アスクは、米ICU アクセサリーズ社が製造・販売するVisor用のパワーアクセサリキット「HPA-01」の日本国内での取り扱いを開始した。

本製品は、Visor Deluxe / Platinumの電源となるアルカリ電池の代わりにNiMHバッテリーを使用する。また専用カバーを使用することで、Visor本体に電池を入れたまま充電できる。パッケージには、NiMH電池2本、専用バッテリーカバー、自動車用DCアダプター、家庭用ACアダ

プター、英語版マニュアル、キャリングケースが含まれる。ACアダプターを利用すれば家庭やオフィスで、また、自動車用DCアダプターを利用すれば自動車のシガレットライターから充電可能になる。さらに、充電表示ランプが備わっているので、充電状況も把握できる。

価格はオープンブライズ(市場予想価格6000円くらい)で、販売は全国の量販店、専門店にて行う。なお、アスクは近日中に日本語版のマニュアルを作成する予定。



☎ オープンブライズ
 ④ (株)アスク
 ☎ 03-5215-5650
 ④ <http://www.ask-corp.co.jp>

ハードニュース

ネックストラップ付きの PalmV シリーズ用ボディーケース

(株)デバイスネットは、Palm V / WorkPad c3シリーズ用ケース「SnapColors」を発売した。

素材はポリカーボネートを採用し、液晶カバー部分は携帯中の誤操作を防止し、ケース装着時でもそのままクレードルに置いて HotSync が可能。カバーは取り換え可能になっており、別売のカバー(12色)に付け替えることもできる。



☎ 4700円
 ④ (株)デバイスネット
 ☎ 03-5765-6487
 ④ <http://www.device.net.co.jp/>

ハードニュース

これぞ新発想の X ペンスタイラスがデビュー

Blue-Design は、筆記具とスタイラスをスムーズに切り替えて使用できる「X ペンスタイラス」を発売した。

この製品は、アルミ合金削り出しのジョイント部分にスタイラスペンとシャープペンシルをX型に取り付けたもの。ジョイント部を支点にして、ペンを回転させながら切り替える。



☎ 3800円(XペンスタイラスセットAセット)
 ④ Blue-Design
 ☎ 0258-25-3819
 ④ <http://homepage2.nifty.com/blue-design/index.htm>

ハードニュース

国立商店が Palm デバイス用 新作ケースを発売

国立商店は、Palm 用高級ケース「ウルトラハードケース」シリーズを発売した。

厚さ2.7mmの多脂牛革、削り出しの純銀製ボタンを使用したハンドメイドのケースで、各 Palm デバイスに最適なサイズで製作されている。フタの有無で「ウルトラハードケース+」と「ウルトラハードケース」の2モデルがある。



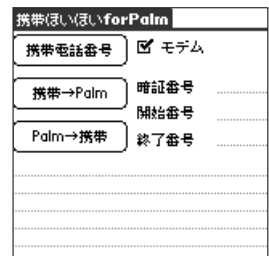
☎ 1万6800円(ウルトラハードケース)
 1万9800円(ウルトラハードケース+)
 ④ 国立商店
 ☎ 042-576-7567
 ④ <http://www.kawaya.com/>

ソフトニュース

「携帯ほいほい」に Palm 版が登場

(有)電機本舗は、Palm 用の携帯電話メモリー編集ソフト「携帯ほいほい for Palm OS」の発売を発表した。

クレードルのシリアル端子に、携帯電話用の変換コネクタを接続。PDC / cdmaOne 方式携帯電話と PHS の内蔵メモリーの保存や編集が行える。価格、発売時期は未定。



☎ 未定(発売時期未定)
 ④ (有)電機本舗
 ☎ 03-5449-7057
 ④ <http://www.dnki.co.jp/>

ハードニュース



Palm VxでHotSyncと充電が同時に実現、シンクロトラベルチャージャー

KMKK Ltd/AA ケータイは、Palm V / WorkPad c3シリーズ用の充電機能を備えたHotSyncケーブル「シンクロトラベルチャージャー」を発売した。

ACアダプターは100Vから240Vまで対応しており、Palmデバイスとはシリアル端子で接続する。Pームコンピューティング(株)純正のトラベルキットでは、不可能な充電中のHotSyncを実現している。



価 5980円
図 KMKK Ltd/AA ケータイ
☎ 043-422-1489
URL <http://www.rakuten.co.jp/ketai/index.html>

ハードニュース



Visor用グラフィティエリアシールが登場

(株)パワーサポートは、Visor Deluxeのグラフィティエリア部を保護するシート「バイザーフィルム」を発売した。

本製品は、従来の製品のような透明タイプではなく独自のアイコンが描かれたファンシーなデザイン。シール部には液晶画面にのりが残らない処理が施されている。1セット2枚で、カラーはイエローとグリーンの2種類ある。



価 500円
図 (株)パワーサポート
☎ 03-3441-3442
URL <http://www.pawasapo.co.jp/>

ハードニュース



ガーミンがPalm OS内蔵のGPSを開発へ

米ガーミン コーポレーション社と米Pームコンピューティング社は、ガーミン社がPalm OSのライセンスを受けることについて合意に達したことを発表した。

ガーミン社は、GPS機器メーカーである同社が持つロケーション技術とPalmの持つPIM機能を融合させた製品を開発、製造販売を行う。同社は、このGPS技術こそが今後のモバイルコンピューティングの中核を成すと予想している。

URL <http://www.garmin.com/>

ハードニュース



IrGEAR for KEITAI、一部初期ロットをバージョンアップ

リンク・エボリューション(株)は、「IR GEAR For KEITAI」初期出荷分の一部の不具合を解消するバージョンアップを行う。

Palm / Pocket PC各デバイスの赤外線通信などで一部に不具合が確認され、これらの現象が起こる場合には、同社が無償で引き取り、バージョンアップ後にユーザーへ返送するとしている。対象製品は製品本体の裏側に記載されているシリアル番号00000から00900までの製品となっている。

URL <http://www.linkevolution.com/j/irgear/>

ハードニュース



プーマテック、シンクロナイズ・ソリューションで提携

プーマテック ジャパン(株)と(株)グローバルワイズがシンクロナイズ・ソリューションで提携した。

この提携で、グローバルワイズはプーマテックのシンクロナイズ技術を使い、日本インテグレート(株)のASPグループウェア「WebHello!」とOutlook、PalmデバイスなどのPDAとのシンクロナイズを実現し、企業に対してのモバイルソリューションを提供していく、としている。

プーマテック ジャパン(株)
URL <http://www.pumatech.co.jp/>

ソフトニュース



地球の歩き方 On Palm ニューヨーク ~ミッドタウン編~

ダイヤモンド・ビッグ社は、海外旅行ガイド「地球の歩き方」シリーズのPalm用電子図書「地球の歩き方 On Palm ニューヨーク ~ミッドタウン編~」を発売した。

本製品は、ニューヨークの地図/地下鉄情報やレストラン、ショップ、最新お勧めスポットの紹介など、知っておきたい基本情報などが収録された完全ガイド。閲覧には、Palmscape 3.0以上が必要になる。



価 500円
図 ソニースタイル
URL <http://www.jp.sonystyle.com/peg/Store/software.html>

ハードニュース



Pームコンピューティング(株)&(株)オンワード樫山、m100内蔵スーツを発表

Pームコンピューティング(株)と(株)オンワード樫山は、m100を内蔵したビジネススーツ「ICB//Palm Computing」を3月10日に20着限定で発売する。

スーツはオンワード樫山の「ICB」ブランドで、m100専用収納ポケットが設けられており、素材はウールトリコ、3つボタンのシングル、カラーはブラック、サイズはM・Lの2サイズとなっている。



価 5万9800円
図 (株)オンワード樫山
☎ 03-3272-2377
URL <http://www.onward.co.jp/>

m100 Magazine

m100のすべてがわかる情報ページ
m100・マガジン



m100だってメールしたい！

まずは「メール」互換ソフトを

「Palm Computing m100」(以下、m100)は他のPalmデバイスに標準で内蔵されている「メール」を搭載していない。そのため、m100ではパソコンのメールデータを同期することはもちろん、m100単独でメールの送受信を行うのも不可能である。

しかし、あきらめるのはまだ早い。オンラインウェアを利用すれば、m100でもばっちりメールを楽しめてしまう。まず他機種では内蔵されている純正のメールソフトと互換性のある「ThumbMail」をインストールしよう(図1)。ただし、これだけではパソコン側のメールソフトとデータを同期できない。というのは、m100に付属するPalm Desktopには、Palmデバイスとパソコンとのデータの同期に欠かせない「コンジット」というプログラムが装備されていないからである。この場合、独自のコンジットを用意しているメールソフトをパソコン側にインストールしなければならない。ウィンドウズならば「Paseri」(図2、3)、マックならば「ARENA Internet Mailer」や「Postino」がコンジットを用意している。

メールの送受信もできないと

さらに、m100単体でメールのやり取りをするのであれば、メールの送受信機能を備えたPDAウェアが必要になる。Palm用メールソフトの定番「POP J」な

らばフィルター機能も備え、しかもThumbMailと連携できるのでメールの作成から送受信までの基本的な操作をm100で実現できるようになる(図4)。あとは「PocheTail」や「IR GEAR for KEITAI」のような通信アダプターを用意すればメール環境はOK。

と言いたいところだが、まだ安心するのは早い。実はPOP JもThumbMailも英語版なのである。ただでさえ、わかりづらい言葉が並び、細かい設定が要求されるメールソフトで英語表記はつらいところだ。そこで、これらを日本語化する「日本語ローカライザ」というPDAウェアが用意されている。さらに、この日本語ローカライザを利用するには「HackMaster」と「LocalizeHack」というHackソフトをm100にインストールしておかなければならない(表)。もしこのような手間を省きたいのであれば、「Palmscape Mail 日本語版」がオススメだ(図5)。こちらも送受信の機能はもちろん、メール作成/閲覧機能を備えており標準の「メール」とも互換性がある。しかも、Palm OS標準の「アドレス」から送信先の選択も可能だ。これならば、POP JやThumbMailのように日本語化するためにわざわざHackソフトを追加する必要がない。

かなり骨の折れる作業ではあるが、あなたのm100がメール端末として活用できるのであれば苦労してみる価値は十分にあるのではないだろうか。

master's profile

岡田 吉博

数少ないPalm Computing m100向けWebサイト「なば～む」の管理人。いくつかのPDAやモバイル機器を乗り継いできたが、何の気なしにm100を購入して以来、Palmにはまってしまっている。ちなみに、現在所有のm100のフェイスプレートは木目調。

http://yokada.hoops.livedoor.com/
yokada@livedoor.com



図1 ThumbMailの画面。作者：Katsuhiko Endo フリーウェア
http://www.fatal-error.com/jp/

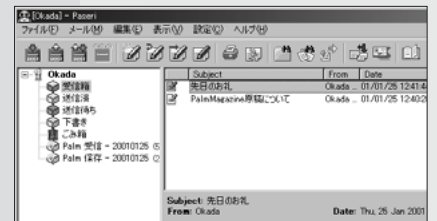


図2 Paseriの画面。作者：日本コントロールシステム株式会社
2000円 http://www.nippon-control-system.co.jp/



図3 PaseriコンジットがHotSyncマネージャに組み込まれることで、Paseriとのメールの同期が可能になる

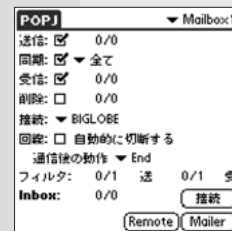


図4 POP Jの設定画面。作者：村上正幸
1000円 http://www.as.to/mu/



図5 Palmscape Mail 日本語版(無料版)の画面。作者：(株)リンクス
フリーウェア http://www.iinrx.co.jp/

POP JとThumbMailを日本語化するのに必要なソフト

ソフト名	作者	価格	URL
HackMaster 0.9.1	DaggerWare	5ドル	http://www.daggerware.com/
LocalizeHack 0.2 2	山田達司	フリーウェア	http://simplepalm.com/
ThumbMail 日本語ローカライザ	後藤哲司	フリーウェア	http://hp.vector.co.jp/authors/VA018397/
POP J 日本語ローカライザ			



佐藤 歩

PalmV(英語版)で初めてパームに出会いそのスタイルと軽快な動作に惚れ込む。その後、Visor Deluxeに「安いしスケルトンだから」というだけの軽い気持ちで浮気したところすっかり虜に。現在のメイン機はPrism。Visorの情報サイト「Visor-Japan.com」を主宰。

http://www.clicclub.com/
spa@clicclub.com

DeluxeにもPalm OS 3.5の機能を!

Visor Deluxe(以下、Deluxe)に搭載されているOSはPalm OS 3.1をベースにハンドスプリング㈱が独自に機能拡張したPalm OS 3.1Hだ。一方、新機種である同Platinumと同PrismにはPalm OS 3.5をベースにしたPalm OS 3.5.2Hが搭載されている。Deluxeが日本でデビューしたときすでにOS 3.5はリリースされていた。にもかかわらず、OS 3.1が採用されたことを不満に感じた人もいるだろう。この件に関して、ハンドスプリング㈱のロブ灰谷氏は「OSをバージョンアップすることで失うものも多い。Deluxeは軽快に動くことに重点を置いて開発した」と述べている。確かに、Deluxeにカラー表示機能は必要ない。しかし、OS 3.5にはDeluxeにもぜひ追加してほしい機能がいくつかある。

標準で赤外線HotSyncをサポート

スクリーン左上タップでドロップダウンメニューがポップアップ

プライベートに指定したデータをマスク表示

裏を返せば、これらの機能をパームウェアによって補えばDeluxeもOS 3.5に近い操作性を実現できるわけだ。

の赤外線ポート経由のHotSyncは、「Enhanced Infrared Update」(このうち、SerIrcCommLib.prcとSerialIrcPnl.prcのみ使用)と「BeamSync for Visor」という2つのパームウェアを利用すればいい。これらをインストールすると「環境設定」のカテゴリーに「Serial/IR」および「BeamSync」という項目が追加されるので、それぞれ「Infrared」「ON」をチェックする(図1、2)。これでDeluxeでも赤外線HotSyncが可能になる(図3)。ちなみに、赤外線ポート搭載の携帯電話や公衆電話を使った通信を行う場合にもEnhanced Infrared Updateが必要だ。

に関してはMenuHackというHackソフトを使えば大丈夫(HackMasterが別途必要になる)。インストール後、HackMasterを起動してMenuHackの機能を有効にする(図4)。これで、わざわざ「メニュー」ボタンをタップしなくてもスクリーン左上をタップするだけでメニューが表示され、操作性がぐんと向上する。

については、残念ながらパームウェアによる機能追加は不可能だ。しかし、とをクリアすればDeluxeでもOS 3.5に近い環境を実現することができる。



図1 BeamSync for Visorの設定画面。作者: 山田達司 フリーウェア http://simple-palm.com/

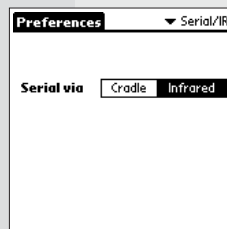


図2 Enhanced Infrared Updateの「SerialIrcPnl.prc」と「SerIrcCommLib.prc」だけインストールすること。作者: 米パームコンピュータリング社 フリーウェア http://www.palm.com/support/downloads/irenhanc.html

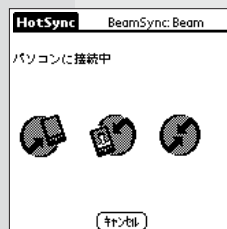


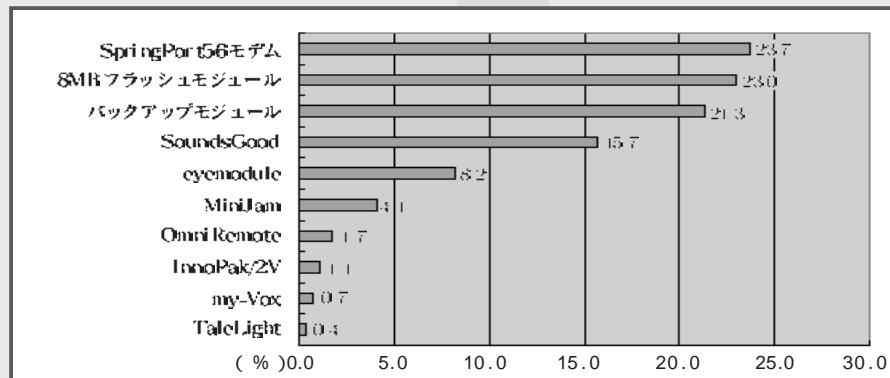
図3 BeamSyncとEnhanced Infrared Updateによる赤外線HotSyncを行っている状態



図4 MenuHackを有効にするには、HackMaster Extensionsの一覧をチェックする。HackMaster 0.9.1は5ドル、MenuHack 1.2はフリーウェア。米ダガーウェア社 (http://www.daggerware.com/) で入手できる

おすすめスプリングボードは何? 人気アンケート結果を発表!

昨年暮れに筆者が運営するVisor-Japan.comでは「ずばりオススメのスプリングボード・モジュールは?」というアンケートを実施した。結果は「SpringPort56モデム」がトップで、ほぼ同率で「8MBフラッシュモジュール」と「バックアップモジュール」が続く(グラフ参照)。これで、多くのユーザーが通信環境に注目していることがうかがえる。





SPA

CLIE ユーザーのコミュニティスペースとして「CLIE User Club! <クリクラ>」というWebサイトを主宰。ホワイトブルースとTVゲームをこよなく愛する昭和30年代後半生まれ。最近、随分ご無沙汰の「海外旅行に行きたい病」にかかっている。

http://www.clieclub.com/
spa@clieclub.com

ますますハマる！ CLIE 最強化計画

CLIE はジョグダイヤルやメモリースティックなど独自のギミックを搭載しているものの、使い勝手がイマイチだと感じているユーザーも少なくはないだろう。そこで今回は、CLIE の操作性をぐっと向上させるパームウェアを2本紹介していく。

「PowerJOG」はあらゆるパームウェアでジョグダイヤルを利用可能にするユーティリティだ(図1)。ジョグダイヤルを押し続けると、PowerJOGのメニューが現れ、パームウェアやDAをいつでも起動できる「アプリ起動」「DA起動」、ランチャーに戻る「ホーム」と、さまざまな機能が盛り込まれている。また、従来はスタイラスペンによるタップを必要としたポップ



図1 第1回クリエプログラムコンテストで大賞を受賞。ジョグダイヤル操作がすべてのパームウェア上で可能に。HackMasterなしでDAも利用できる作者：山田達司、価2980円
http://simple-palm.com/

アップリストの選択、スクロールなどの操作をジョグダイヤルを使って片手で実行できるようになった。さらには、「HackMaster」をインストールしなくてもDAソフトを使用できる点も見逃せない。標準のジョグダイヤル機能では物足りない人はぜひ試してみよう。

物足りないといえば、メモリースティックにもPalm OSの制約によって大容量ファイルのやり取りや外部拡張メモリーとしてうまく機能しないなど難点がある。

そこでオススメしたいのが「McFile」だ(図2)。本パームウェアにより、Palmデバイス本体とメモリースティック間、メモリースティック内部でのファイルコピーなど



図2 同コンテストではメモリースティック賞を受賞。データをメモリースティックから直接読み込み、uencode方式でメールに添付できる。作者：今関弘明、価フリーウェア
http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/

の操作が軽快に実行できる。特筆すべきは「コピーするデータの2.5倍以上の空きメモリー容量がPalmデバイス本体に必要」というPalm OS上の制約から解放してくれた点だ。さらには、データのバックアップ/リストアも可能だ。一部制限はあるが、本体のデータをまるごとメモリースティックへバックアップできるので、外出先でのトラブルにも心強い。実際、筆者もハードリセットの憂き目に遭ったが、McFileのおかげで事なきを得たときは、そのありがたみを痛感したものだ。

このようにCLIEには、ほかのPalmデバイスにはない機能をいくつか装備しているものの、実はまだまだ改善の余地が残されているものが多い。実際、読者の中にも「PEG-500のあのディスプレイの暗さはなんとかならないものか?」とお嘆きの方もおられるはずだ。次回も引き続き、CLIE最強化計画第2弾として、ディスプレイ関連の問題を解決してくれるユーティリティを紹介する予定だ。

CLIEの楽しさをマックユーザーにCLINGOがその夢を叶える!

周知の通り、CLIEはマックをサポートしていない。そんな苦虫を噛む思いをしたマックユーザーのために、筆者がプロデュースしたのが「Mac USB Driver for CLIE」(愛称はCLINGO)だ。

CLINGOは、USBを標準で搭載するマックとCLIE間のHotSyncを実現するドライバソフトだ(図3)。なお、CLINGOはVis-a-VisとPDA Styleの2店舗のみのオンライン販売となっている。

インストールは簡単、「システムフォルダ」に「CLIE SerShim」と「CLIE USB

Driver」の2つの機能拡張書類をドラッグし再起動するだけである(図2)あとは、「HotSync マネージャ」の初期設定にあるシリアルポート設定から「USB for CLIE」を選べば、ほかのPalmデバイス同様にCLIEもマックとHotSyncが可能になる(図4)。以下の例は、動作保証外であるが、シリアルアダプターを用いればシリアルポートを装備した旧機種のマックと、あるいは、赤外線ポート経由でPowerBookと問題なくHotSyncできるのを確認した。

ただし、CLIEにバンドルされる「PictureGear Lite」や「Palmscape Cruiser」といったウィンドウズ用ソフトは利用できないので注意してほしい。



図3 左図の機能拡張書類をシステムフォルダへ、再起動後、マックとCLIEのHotSyncが実現する。価2980円
http://www.iris.dti.ne.jp/ymizu/macusb/index.html



図4 CLIEとHotSyncするには「HotSyncソフトウェア設定」にあるポート欄を「USB for CLIE」に設定する。詳しくは添付のマニュアルを参照

番外地

ここBuying Advice 番外地では、世界の珍品や逸品を讀者に代わって体当たりでレビューするコーナーだ。とはいえ、Palmというデジタル機器の世界で一風変わった製品を見かけることはほとんどない。と思っていたら、奇妙なロボットを発見。さっそくレビューをお届けする

ロボットブームはPalmにも波及？

ここ最近、ソニー製のペット型ロボット「AIBO」や本田技研の人間型ロボット「ASIMO」などがメディアで取り扱われる機会が増えている。

「一家に一台ロボットがいれば、家事も楽チンだろうなあ〜」など思いを馳せていると、ワザとらしいくらいのタイミングで編集部より「Palmロボットのキットを入手したので作成せよ」との連絡が入ってきた。これまでこの世に登場してきたどのロボットも、当代の先端技術の粋を結集させて製作されてきたものだけに、果たしてPalmにその大役が務まるのか、一抹の不安を覚えた。

案の定、その不安は見事に的中。編集部で手渡されたPalmロボットのキットは、安っぽい白箱の中に車輪とラジコン用のサーボ、赤外線センサーにそれぞれのデバイスコントロール用のボード、アルミ製のフレーム、電池、そしてマニュアルがきっちりと収まっていた。ちょうど田宮模型の「楽しい工作シリーズ」を彷彿とさせるパッケージだ。マニュアルには完成予想図もなければ写真すらない不親切ぶり。しかも、そのマニュアル自体もHTMLで作成したものをプリントアウトしてホッチキス

で束ねたというチープな代物(写真1)。ちなみに、本キットの値段がなんと約250ドル！なぜ通常のレビューコーナーではなく、このコーナーで紹介されるのかがよくわかる。

PPRKって何だ？

だいぶ話がそれってしまったけど、今回紹介するPalmロボットについてちょいとウンチクを。今回入手したキットは正確には、米アクロネーム社の「Palm Pilot Robot Kit」(以下、PPRK)といい、Palm

シリーズ用、同シリーズ用のラインアップが用意されている。米カーネギー・メロン大学のロボット工学研究所のイッラー・ヌールバクシュ氏が「ロボットを個人で所有して遊ぶことでもっとロボットを理解してもらおう」というプロジェクトとして立ち上げられたものだ。カーネギー・メロン大学といえば、ロボット工学では世界的にも有名ですすでに数々のロボットを開発しているうえ、人工知能に関する研究もさかんなところだ。一見するとインチキくさい製品ではあるが、じつはとても由緒正しかったりする。

さて、さっそくロボット製作に取りかかってみた。PPRKのWebサイトで掲載され

ている写真や情報などをマニュアルにメモを取りながらチェック。内容はすべて英語で記述されているが、「AとBを使ってCに取り付ける」といった感じなので特に困ることはないだろう。なお、この作業中、赤外線センサーに接続するケーブルコネクタの欠品が発覚。いくらなんでもお粗末すぎるぜ、PPRK！

大まかな流れが把握できたらよいよ組み立て開始だ。まずは赤外線センサーから。部品の向きを間違えないように注意して同じ物を3つ作る。それらを3つ組み合わせることでロボットのフレームとなる。これにサーボを付ければフレーム部は完成(写真2)

お次にシャーシ部。まず、サーボやセンサーを駆動するための基板をネジ留めする。ここだけ樹脂製のネジが使われている(あまり意味がないような気がするが)ので注意。さらに、メインパワースイッチを取り付けて、さきほど作ったフレームをネジ留めして合体(写真3)。電池ボックスは邪魔にならない場所に配置しておくこと。

各パーツの固定が済んだら配線作業だ。はっきり言ってマニュアルにはちゃんと場所の説明がなされていないので、ボードの部品配置を自分でいちいち確認しなければ



写真1 PPRKのパッケージ内容。組み立てる前に米アクロネーム社のWebサイトで完成図を確認しておいたほうがいい <http://acroname.com/>

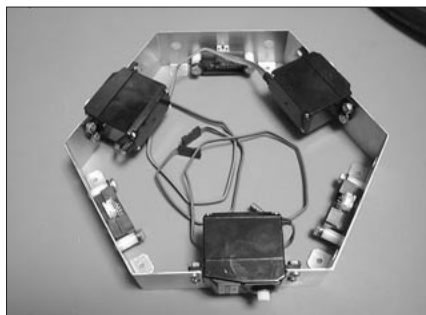


写真2 センサーモジュールにサーボを付けたもの。写真は逆にサーボを付けてしまっている状態(マニュアルどおりに組み立てるとこうなってしまう)

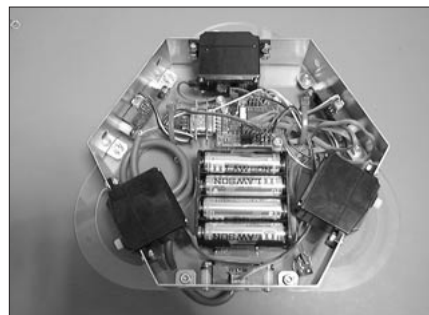


写真3 シャーシにフレームユニットをドッキングした状態。だんだんそれらしい形になってきた。あとは配線をまとめれば完成したも同然だ

ならない。こんなときはWebサイトに掲載されているPPRKの写真が少しは役に立つかも。そして最後に、ケーブル類が散らからないように、付属の束線バンドでまとめて本体部は完成だ。

最後の仕上げはホイールの取り付け。このとき注意しなければいけないのがサーボへのネジ留め。あまり力を入れすぎると、サーボモーターの出力板（サーボセーバー）からホイールが外れてしまう。これでPPRKの完成だ（写真4）

プログラムを動かしてみよう

完成した姿は何ともマヌケな形だ。「メカメカしさ」があまり感じられない。ロボットというよりはひと昔前のゼンマイ仕掛けの玩具を見ているようだ。まあ、眺めていても始まらないので、さっそくコイツを動かしてみよう。

まずは頭脳となるPalmデバイスの準備だ。今回はPalmはcを使用。筆者が確認した限りでは、Palmシリーズ、同Vシリーズ、WorkPadシリーズ、TRGproでも動作するようだ。コネクターさえ合えばOKなのかな？ Palmが準備できたら、PPRKのWebサイトからプログラムファイルを手する。最低限必要なのは次の3つのプログラムだ。これがあればとりあえずPPRKは動く。

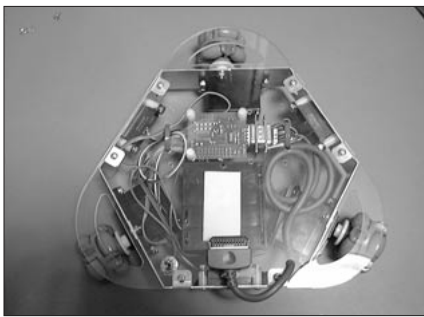


写真4 シャーシユニットにホイールを取り付ければ、PPRKの基本ユニットの完成だ。これにPalm cを載せればロボットになるのだが、……ピンとこない？

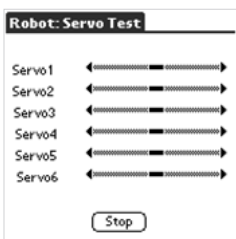


図1 Robot: Servo Testではその名のとおり、サーボが正常に動作しているかを確認できる

Robot1.prc -- 基本プログラム

ServoTest.prc -- サーボモーターの確認用プログラム（図1）

MathLib.prc -- ほかのプログラムで使う数値演算ライブラリー

このほかにも「Pen Follow」というプログラムが公開されている（図2、写真5）。これはスタイラスでPalmデバイスのディスプレイを触ると、スタイラスの先端部とディスプレイの中心部がちょうど重なるようにPPRKが移動するものだ。スタイラスの下でロボットがガリガリと音を立てながらじわじわと動く姿はいじらしくもある。

さらには、現時点で最もPPRKの機能をフルに使いまくるプログラムもある。その名もズバリ「Palm Pilot Robot Kit」^{パームパイロット ロボットキット}（図3）。このプログラムはPPRKが部屋中を徘徊し、目印となる場所を見つけてはランドマークとして記憶する作業を繰り返す。ひととおりランドマークがそろるとPPRKはその情報を基に地図を作成する。あとはPPRKに目的地点、すなわちランドマークを指示すれば、そこに向かって動き出す。このほかにも壁を避けて移動したり、スピンしたり、ターゲットを追って移動することもできる（写真6）

現在公開されているプログラムはすべてソースコードが公開されているので、プログラミングに自信のある人はオリジナルの

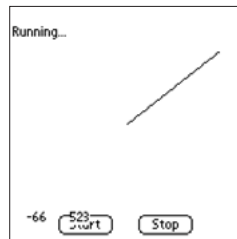


図2 Pen Followはディスプレイ上でスタイラスペンがなぞった方向にPPRKが動くプログラムだ



写真5 あまり勢いよくなぞると、Palmデバイスのディスプレイからスタイラスペンがはみ出してしまう。慎重になぞらないとうまく反応しない

プログラム作成にチャレンジするのもいいだろう。

個人でロボットを楽しむという考えはレゴ社のマインドストームという教材にもあるが、このPPRKはハード、ソフト面でマインドストームより自由でかつプログラマビリティが高い。PPRKはPalmと同じように最初から環境を十分に与えるのではなく、ユーザー自身が少しずつ構築してゆくに楽しみがあるようだ。

あれれ？ でも、こんなに敷居が高いと「ロボットを個人で所有して遊ぶことでもっとロボットを理解してもらおう」というPPRKの理念に反しているような気がするんだけどなあ……。 （しもけん）

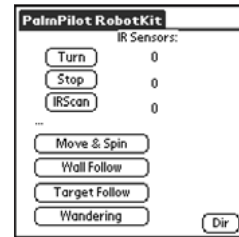


図3 Palm Pilot Robot Kitは、PPRKの能力を目いっぱい引き出してくれるプログラムだ

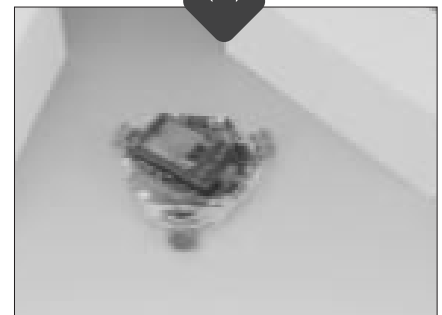
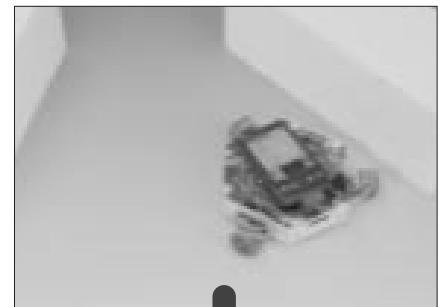


写真6 壁あるいは障害物があるとセンサーが反応して、そこから待避していく様子。考えながら動く姿はなかなか見事なものである

パーム社COO、アラン・ケスラー氏に訊く

これから大きな転換期を迎える「Palm」の今後について、日本での今年の展開を交えながら、アメリカ、パーム社の最高執行責任者（COO）であるアラン・ケスラー氏に話を伺った



Alan Kessler : アメリカ、パーム社の最高執行責任者としてリーダーシップを発揮する。プラットフォーム・製品担当。米3Com社に13年間勤めたベテランで、1999年現職に就く

「Palm OS 4.0」による 通信機能、マルチメディア環境の 強化に期待

— データ通信機能が強化される次世代型携帯電話の登場で、ハンドヘルドマシンの環境は変わりつつあります。今後はどう差別化を図るおつもりですか？

アラン ちょっとあなたの携帯電話を見せてください。iモードですね。確かにiモードのような携帯電話はこのようにコンパクトなほうが使いやすいわけですが、Palm ユーザーはむしろ画面をより大きく、鮮明にしてほしいと考えている。逆にPalmを耳に当てて電話みたいに話したいとは誰も思わないでしょ？ ハンドヘルドも携帯電話も互いの得意分野を生かして補完し合う関係で、差別化によって何かひとつにすべてが集約するわけではない。現在はパソコンとハンドヘルドを組み合わせるユーザーが大半ですが、それと同じように今後は携帯電話とハンドヘルドを組み合わせる使い方が出てくるでしょう。

— 価格についてはどうですか？ 機能を強化すると価格が高くなり、マイクロソフト社の「PocketPC」などとの競争を余儀なくされると考えられます。

アラン PocketPC との比較でいうと、効

ハンドヘルドと携帯電話は、 互いの得意分野を生かして 補完し合う関係だと思えます

率の良い電力使用、高い処理能力、メモリーに関する配慮などの点で優れていると思っています。さらに私たちは、液晶画面などの各コンポーネントごとに、常により革新的な技術を導入する努力を続けています。一方で、私たちはハンドヘルド業界のマーケットリーダーですから、主体的にいろいろなプライスポイントを設けることができるわけです。

先頃、低価格商品である「m100」の購入者をアメリカで調査したところ、その80パーセントが初めてハンドヘルドを購入したと答えています。私たちの製品がそれだけマーケットを大きく広げている証ですが、そうはいつでも、ユーザーにとっては価格がすべてではないと思います。「いくらか」よりも「何ができるか」のほうがず

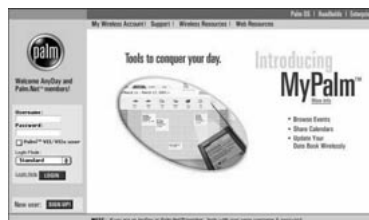
っと大事なのです。

— 日本で「Palm」をいっそう広げるために、今後どんな手を打つ予定ですか？

アラン 今回の講演の最後でも触れたように、今年半ばをめぐりに、ワイヤレス一体型の製品（無線通信機能内蔵の「Palm VI」）を発表します。さらに、同じく今年半ば以降に発表予定の「Palm OS 4.0」では、メモリースティックやSDカードなどに対応します。これによって将来、動画などの大きなデータをパソコン、ビデオカメラ、携帯電話、Palmなどの間で自由にやり取りすることが可能になります。こうした展開によって今後は日本でも、コンテンツだけでなく、サービス配信という意味でもPalmはますます注目されることになるでしょう。



m100の購入者を調査したところ、
その80%が初めてハンドヘルドを
購入したと答えています。



アメリカではすでにスタートした「My Palm」。インターネットに直接接続して、電子メールの送受信やアプリケーションのダウンロードが可能に。
URL <http://www.palm.net/>

**スタンダードを守りながら
拡張性を高める。
オープンソースモデルのいいところ取り**

—現在の解像度では、残念ながら漢字を見やすく表示することはできません。解像度が上がるのはいつ頃ですか？ 例えば「ザウルス」は、解像度が高くて漢字も見やすいのですが.....。

アラン 具体的にいつというお話はできませんが、OSのバージョンアップごとに常に品質向上を図っていますから、画素数を上げる努力は続けていきます。ただ「どこに重きを置くか」という問題があると思います。(愛用の「Palm VII」を指でつまんで)

こんなに薄い「ザウルス」を見たことがありますか？ 画面を大きくすればそれだけバッテリーを食いますし、マシンのサイズも大きくなり、コストも高くなる。私たちは小型化、軽量化、効率的なバッテリー消費を重視していますので、そのバランスのなかで将来実現することになるでしょう。

—日本でも「Palm」の開発者は増えています。ホビーレベルで個人的に開発している人が多く、会社でビジネスにしているところは少ないのが現状です。

アラン 現在、世界各国におよそ14万人の開発者がいますが、デベロッパーには「もともとはホビイストだった」という人が少なくありません。有名な「City Time」の作者もそうですよね。日本でもこの度「NS Basic/Palm」が出荷されて、パソコン上で気軽にプログラムできるようになりましたから、日本のデベロッパーにとって大きなチャンスだと思います。こうしてデベロッパーの裾野が広がるのが、ビジネスとして企業向けのソフトウェアを開発する人が増えるきっかけになるのでは、と考えています。

—ライセンスは「Palm OS」を独自に拡張しています。そうして拡張した成果はどんなふう「Palm OS」に吸収されていくのか、教えてください。

アラン いい質問ですねえ。ライセンス先が「Palm OS」を拡張したいときは、事前



**ワイヤレス一体型機の登場など
今年はいまだにない、
エキサイティングな年になります！**

に私たちと協議します。そして基本的な合意に達したうえで、ライセンスが開発をスタートします。こうして拡張された内容については、将来の「Palm OS」のバージョンに組み込んで発表することで、全ライセンスが自由に使えるようになります。標準化の利点を守りながら発展していく、オープンソースモデルのいいところ取りというわけです。自動車王として有名なヘンリー・フォードは、かつてこんな名言を残しました。「自動車の色はどんな色でもかまわない。黒という色を守ってさえくれれば、どんな色でもかまわないんだ」と。それと対照的に、Palm デバイスにはいろいろな色があるし、形もさまざまだし、拡張性の自由度も高い。私たちはPalm エコノミーのリーダーとして、このような動きを活性化させる役割を担っていきます。

—「My Palm」も今年半ばから日本でも利用できるようになるのですか？

アラン その予定です。今年半ばに発表するワイヤレス一体型だけでなく、ほかのPalm OS 4.0対応デバイスでも、「My Palm」や「Web Clipping」といったインターネット経由のサービスが受けられる環境が整います。もちろんPalm OS 3.5のユーザーでも、Palm ブランドのデバイスならフラッシュメモリーを内蔵している機種で、4.0へのOSバージョンアップが可能になります。

—日本で本格的なワイヤレス展開を始めるにあたり、御社はNTTドコモをパートナーに選びました。そのNTTドコモは日本ではAOLと組んでいるわけですが、「Palm」とAOLはどんな関係ですか？

アラン とても良好な関係ですよ。私のPalmを見てください。「My Palm」はオープンプラットフォームなので、いろんなポータルにアクセスできます。もちろんAOLにも。ご覧のように「AOL Mail」のサービスはすでに始まっていますし、「AOL Instant Messenger」も開発中です(註・ともに英語版)。

—個人的にお好きなソフトは？

アラン お見せしましょう。「DietLog」というのですが、何を食べたかを入ると、カロリーや栄養素ごとの目標値達成率を計算してくれます。昨日は、ええと3721キロカロリー摂取してますね。ちょっとダイエットが必要かな(笑)。

—今年、これから一体どれくらいの製品を出す予定なのですか？

アラン これだけは言えます。今年はいまだになかったほど、エキサイティングな年になります。ワイヤレス一体型製品、SDカード関連、m100シリーズの拡張など、Palm OS 4.0対応の新しいプロダクトが次々と出てきます。Palm ファンにとっては、とにかく忙しい一年になると申し上げておきます。

メモリースティックが時代を変える

メモリースティックに秘められた想いとその可能性について、企画から携わり、その製品の普及と推進に努める最前線部隊の3氏にお話を伺ってみました。



メモリースティック事業センター（左から）
プロモーション企画担当係長 坪井 隆展氏
プロモーション企画担当部長 佐藤 亮治氏
商品化推進グループ担当部長 野口 不二夫氏

モノには適度な大きさがある。 考え抜いた使いやすさがこのサイズです。

単三電池が理想的なサイズ

佐藤 小型メディアとして知られるメモリースティックですが、単にメディアが小さくなればなるほどいいとは考えていません。扱いやすいサイズとはどのぐらいなのか。そこでいろいろと考えた末の結論が、単三電池の大きさでした。持ち運びやすく、なくさずに済む大きさで、かつ操作性に優れた大きさ。メディアにラベルを貼って文字が書けるというのもひとつの目安でした。それでこのサイズにしたのです。これ以上、大きくても小さくてもいけないと思います。

野口 メディアの小型化と大容量化が進む中、もちろん当社もさらなる技術開発をしています。しかし、単なる大きさ比べの競争には意味がないと考えています。モノには適度な大きさがあり、使う用途によって

適度な容量がある。そういったことのほうが大切なのではないのでしょうか。

大容量だけが製品の指標じゃない

坪井 これから先、動画や画像など重いデータのやり取りの際に、大容量のメモリースティックが必要とされるケースのために、近未来的な展望として1~2GBの製品を目指しています。大容量化は技術的にはそれほど難しいことだとは考えていません。高いお金を出せばいくらでも大容量の製品を作ることはできます。問題はむしろ、手ごろな価格でいかに実現するかということに尽きると思います。

佐藤 メモリースティックはそのもの自体を使うことが目的ではありません。これを使って何をしたいかが肝心なのです。使い方によって、アプリケーションによって、それぞれに適度な容量があるのではないのでしょうか。

野口 例えばカセットテープで音楽を聴くには、120分や160分といった長いテープより、60分程度のテープで聞いたほうが便利です。それと同じことがメモリースティックにも言えます。容量が大きくなればいいということではなく、いくつかのサイズに分けて、用途に応じた使い分けをしていくことが便利ではないでしょうか。

モノに込められたこだわり

佐藤 長さわずか50mm、重さ約4gの小さなこのメディアには、さまざまな配慮が施されています。持った瞬間、前後がわか

る。見た瞬間、どうやって差し込むかがわかる。ロック装置を付けて誤動作を防止する。端子に直接触れないように境をつける。使いやすさを実現するためにあらゆる工夫を凝らしています。

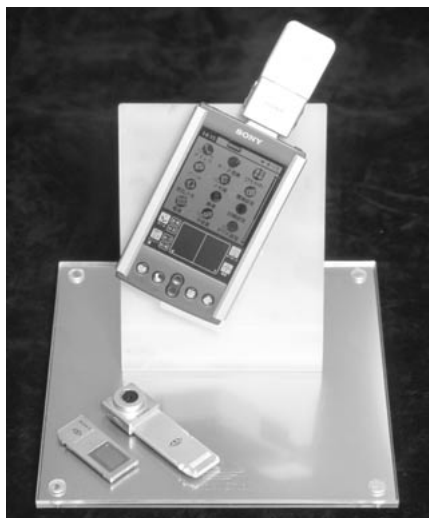
坪井 またメモリースティックの特徴として、著作権保護の技術が施されています。あらゆるメディアをつなぐメモリースティックにおいて、違法コピーが野放しになってしまうことはあってはならないと考えています。

佐藤 そこでパソコン上で音楽を取り扱うOpenMGという技術を開発しました。著作権を保護したうえで、個人が楽しむためにあらゆる機器をつなぐことを可能にしたもので、これだけの拡張性を有したSDMI*に準拠したソリューションは、メモリースティック以外にはないと思います。

野口 この小さなメモリースティックひとつに、モノづくりのこだわりが凝縮されているのです。



メモリースティックのケースが欲しいとの要望も多い。単なるケースではつまらないと、オーディオ機能付きのものを考案。ケースひとつとっても、アイデアによって世界が無限に広がる



拡張モジュールでPalmがパワーアップ。写真は、メモリースティック搭載の「CLIE」に、GPS機能の付いた拡張モジュールを接続している

今やこれなしで仕事はできない

坪井 メモリースティックを発売してからわずか2年で1000万台の出荷数。これほどの勢いになるとは驚きました。もちろん社内でもメモリースティックを使っていますが、今やこれなしで仕事はできないほどです。例えば会議があると、それぞれ自分のメモリースティックを持って来る。会議の終了後、おのおののメモリースティックにデータを交換し合う。廊下でデータのやり取りをするなんてこともあります。そんな手軽さがメモリースティックの魅力であり、これほど急速に広まった要因だと思います。

佐藤 またこれだけ短期間のうちに普及した要因のひとつには、さまざまなメジャーな製品にメモリースティックが搭載されていることが挙げられます。

デジカメやビデオカメラ、パソコン、プリンター、テレビ、携帯、

ウォークマン、PDAなどメモリースティックが幅広い製品群に搭載されたことにより、それぞれの製品販売とメモリースティック販売とが相乗効果を生み、出荷数が増えていったのではないのでしょうか。

野口 これほど環境に左右されないメディアはありません。メモリースティックを差し込むスロットさえ付いていればいい。こんなに便利なメディアはないと思います。

あらゆるメディアを“つなぐ”こと

佐藤 メモリースティックというと、単なる小型記憶媒体と捉えるかもしれませんが、記憶メディアとして開発されたわけではありません。

野口 あらゆるデジタル機器をつなぐことによって、そこで新しい何かができるのではないかと。こうしたコンセプトのもとに作られたのがメモリースティックなのです。どういう発想から出発して製品が開発され

ているかは、とても大切なことだと思います。単なる小型記憶メディアなのか、それともそうではないのか。それによって今後の製品展開は大きく違ってくるでしょう。

新しいライフスタイルを提案

坪井 メモリースティックでどんなことができるか。例えば車にメモリースティックを搭載した場合、まずキーとしての役割があって、家族それぞれ自分のメモリースティックを差し込むと、座席やミラーの位置などをカスタマイズしてくれるのです。

佐藤 ナビゲーターとしてはもちろん、音楽やお気に入りのレストラン情報なども入る。メモリースティックひとつで、いろいろなメディアをつなぎ、今までにない生活が楽しめるのです。新しいライフスタイルが実現できる、便利なメディアなのです。

あらゆるメディアをつなぐネットワークのプラットフォームと言えるところまで来た

拡張モジュールとしての可能性

坪井 メモリースティックを使うことで、製品に新たな機能を付加することもできます。カメラ付きのメモリースティックやGPS機能付きのもの、指紋照合機能付きのものなど、メモリースティックを差し込むだけで、メディアにまったく新しい機能が付け加えられるのです。メモリースティックの拡張モジュールとしての存在意義は、今後ますます高まっていくでしょう。

「Duo」がメディアの世界を広げる

佐藤 98年に“つなぐ”というコンセプトのもと登場したメモリースティック。翌年にはさまざまな拡張モジュールのラインナップを提案。そして昨年、超小型メモリースティック「Duo」を開発しました。

野口 このサイズを開発する意味があるの

か、常に自問自答してきました。ただ単に小さいだけの製品では意味がありません。佐藤 使いやすさなら通常のメモリースティックのほうが上。それでもこの「Duo」を開発したのは、小さい製品にメモリースティックを搭載するためには必要なものだという認識からです。例えば時計や超小型オーディオなど、そういった製品には普通のメモリースティックでは大きすぎます。野口 あらゆるメディアをつなぐからこそメモリースティックの存在価値がある。その幅を広げるには、超小型メモリースティックが必要だったのです。この「Duo」の開発により、メモリースティックの世界はますます広がっていくことでしょう。

今後の展開

佐藤 メモリースティックは、今、新しいステージに入ったと考えています。メモリースティックを使って何ができるか？ それは

ソニーだけでは到底考えられないほどの広がりがあります。だから今、多くの賛同会社と協力し、いろいろなアプリケーションの開発に取り組んでいます。

坪井 賛同会社はメモリースティックを搭載するハードウェアの企業だけでなく、サービスだけの企業も増えています。2001年2月現在で、実際131社の賛同企業を得ています。

野口 メモリースティックによっていろいろなことができるという可能性があるからこそ、多くの企業が賛同しているのだと思います。これまでに1000万台という出荷台数の実績を作り上げたので、ビジネスの土台はできたと考えています。これからさらなるメモリースティックの発展のために、多くの賛同企業を巻き込んだかたちで、ビジネス展開ができるのではないかと考えています。

*SDMI(Secure Digital Music Initiative).....著作権を保護しながらデジタル音楽の普及を推進する規格を策定する団体

Buying Advice

ちょっと気になるあの製品。
考えあぐねるあなたの背中を
Palm Magazineがそっと押しましょう。
実際に試してみた感想を
新鮮なうちにお届けします。

CONTENTS

- 56 PocheTail
- 57 Shuriken Pro/R.2
- 58 Intellisync For Palm
- 59 MemorySafe
- 59 GamePad
- 60 フラッシュモジュール
- 60 DIM@2000
- 61 gMovie Maker



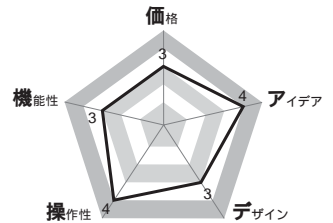
モバイル通信アダプター

モバイルしたいPalmユーザー必携！

PocheTail

開発元 サン電子株式会社 対応通信機器 PDC方式の携帯電話、ドッチーモ (PIAFS 64Kbps対応) 電源 単4形乾電池 本体サイズ 幅35×奥行58×高さ16mm、重さ約30g 対応機種 Palm c、同Vx、m100、WorkPad c3 (50J)

ズバリ!
どこでもPalmと携帯で
メール&ネットサーフィン!



サン電子株式の「^{ポッシュテイル}PocheTail」は、Palm IIIc、Palm Vx / WorkPad c3、m100に対応した携帯電話用通信アダプターだ。

基本的にはPalmデバイスは初期状態ではインターネットに接続できる環境は用意されていない。しかし、携帯電話とPocheTailを使用すれば、いつ、どこからでも、Palmデバイス単体でメールのやり取りやネットサーフィンが可能になる。

本製品は、携帯電話のコネクターと本体までのパーツは共通で、Palmデバイスのシリアルポートの形状別に3種類のケーブルが用意されている。このケーブルは別売りされているので、多機種で使用する場合は、別売のケーブル (各3000円) だけ買い足して使い回すことが可能だ。

PocheTail本体には、通信状態と電池切れを示すインジケータと接続コネクターがあるだけだ。サイズは幅35×奥行58×高さ16mmと非常に小さく、逆に携帯電話側のケーブルの長さが気になるほどだ (写

真)。連続通信可能時間はカタログ値で3時間程度と長持ちするとは言えないが、入手しやすい単4アルカリ電池1本で駆動する点はモバイルユーザーにはありがたい。

PocheTailを使用するには、Palmデバイスの「接続」で接続方法や回線種別を指定したあと、「環境設定」の「ネットワーク」で利用するプロバイダーの設定を行う (図)。もちろんメールソフトやブラウザの設定も必要だ。あとは「環境設定」の「ネットワーク」メニューにある「接続」ボタンをタップするだけだ。これで、どこからでもメールチェックが可能になる。

PHS (ドッチーモを除く) やcdmaOne携帯電話に対応しておらず、上記3機種のPalmデバイスでしか利用できないものの、^{スナップ・コネクト}SnapConnectに比べると格段に小さく手軽だ。また、「IRGear for KEITAI」のように赤外線接続ではないので、揺れる電車内でも安定した接続が可能。通勤途中のメールチェックに最適だ。 (小島 始)



写真 Palm VxにPoche Tailと携帯電話を接続してみた。Palmと比較すると、モデム本体の小ささがわかる。本体の白い部分が乾電池のふたになっている

図 Palmデバイスで「環境設定」の「ネットワーク」と「接続」を設定すればインターネット接続環境は整う。あとはメールソフトやブラウザなどをインストールおよび設定を行うだけだ



- 価 1万5800円
- 問 サン電子株式会社
- TEL 03-3235-8481
- URL <http://www.sun-denshi.co.jp/>



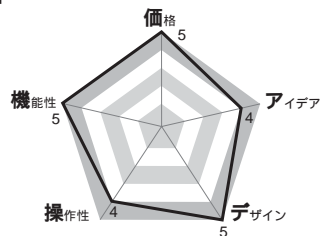
Palm対応メールソフト

Palmと連動できる高機能メールソフト

Shuriken Pro/R.2

開発元 (株)ジャストシステム 対応OS ウィンドウズ Me / 98 / 95 / 2000 プロ
 フェッショナル / NT 4.0、対応CPU ペンティアム 150MHz以上 (ウィンドウズ
 Meの場合) 必要メモリー容量 32MB以上 (ウィンドウズ Meの場合) 必
 要ハードディスク容量 45MB以上

ズバリ!.....
 OEより高機能なメール
 ソフトを使いたい人に



(株) ジャストシステムの「Shuriken Pro /R.2」(以下、Shuriken Pro)は、Palmデバイスとの連携機能が充実しているウィンドウズ用メールソフトだ。

Palm OSには標準で「メール」というパー
 ームウェアが付属するが (m100を除く) 、
 これは、パソコンのメールソフトから取り
 込んだメールデータを閲覧するビューアー
 のような役目を果たす。Palmデバイスに取
 り込んだメールに返事を書いたり、メール
 を新規作成した場合には、HotSyncでパソ
 コン側へ転送してからメールソフトで送信
 する、という手順を踏むのが一般的だ。例
 えば、外出先のちょっとした暇時間にメ
 ールを作成しておき、職場や自宅に帰っ
 てから送信するスタイルは、時間に余裕の
 ない人には便利に感じるだろう。

「Outlook Express」といった他のメール
 ソフトでもPalmデバイスと同期できるが、
 Shuriken Proの場合、同期させるメールフ
 ォルダーを選択できたり、長いメールを分
 割できる点が優れている。例えば、まず
 Shuriken Proに「Palm」というフォルダー
 を作成し、その中に同期させたいメールを
 移動させておく。次に、Palm Desktopの
 「HotSync機能の動作設定」画面を開き、
 Shuriken Mailの設定変更画面で同期対象
 のメールボックスを「Palm」にすればいい
 (図1)。またShuriken Proの「アドレス帳」
 とPalmデバイスのアドレスの同期もでき
 るが、この場合、Palm Desktopのアドレ
 スに代わって同期が行われることになる。アド
 レスの同期機能は利用する場合だけイン
 ストールするといいい。

さらに、メールをDOC形式に変換し、自
 動的にPalmに送り込む機能もある。この機
 能を利用すれば、購読しているメールマガ
 ジンも複数のファイルに分割することなく

Palmデバイスで読むことができる (図2)、
 複数のメールを選択して、インデックス付
 きDOCファイルにできるので、メーリング
 リストなどをカテゴリーごとに保存する際
 に非常に便利な機能といえる。

もちろん通常のメールソフトとしての機
 能も充実している。プレビューウィンドウ
 が2分割できるので、メール本文を読みな
 がら添付されてきたHTML文書やJPEG形
 式の画像を即座に確認できる (図3)。ま
 た、添付ファイルが複数ある場合も、タブ
 で切り替えて表示できる。今までは、いち
 いち新規保存して他のソフトで確認しな
 ければならなかったことを考えれば、デジカ
 メ画像などのやり取りが多いユーザーには
 待望の機能といえるのではないだろうか。

さらに、携帯電話 / PHSのアドレスに宛
 てたメールの場合には、各社メールサー
 ビスの文字数に合わせて、自動的に分割して
 メール送信を行う。最近では携帯電話にメ
 ールを送る機会が増えているので、この機能
 も重宝しそうだ。また、PostPet形式のメ
 ールにも対応しているため、ペットを添付
 書類として吸い込むこともない。

このほかに、Shuriken Proならではの画
 白い機能として、画面を10種類のデザイン
 から選べる。デザインはパステル調のかわ
 いいものから、黒を基調としたサイバーな
 ものまでである。デザインツールが付属し
 ているので自分で作ることも可能だし、標準
 のものに飽きたら同社のWebページから追
 加デザインをダウンロードできる。

主要メールソフトからのデータ移行には
 「Shurikenメール変換ツール」が付属して
 いるので、安心して乗り換えられる。Palm
 との連携に加えて、かゆい所にも手が届く
 機能を満載した、至れり尽くせりのメール
 ソフトといえる。 (國島 康之)



図1 Palmデバイスとのデータの同期も強力。同期
 先にShuriken Pro側の任意のフォルダーを選べるな
 ど、細かい設定が可能だ



図2 メールマガジンのような長いメ
 ールは分割してPalmデバイスと同期
 できる。上図は1つのメールマガジ
 ンを3分割にした状態



図3 メール画面はオーソドックスで使いやすい。画
 面下のビューアー画面に添付の画像ファイルやHTML
 ファイルを表示できるのが便利。添付画像が複数あ
 る場合はタブを切り替えて表示できる

5800円
 (株)ジャストシステム
 03-5412-3939
<http://www.justsystem.co.jp/>

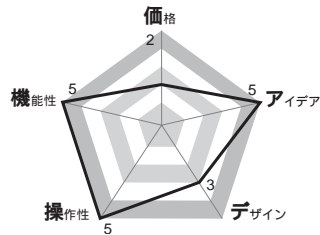
ズバリ!.....
Palm DesktopのPIM機能では満足できない人に

シンクロソフト

好きなPIMソフトとPalmをHotSync

Intellisync For Palm 3.7J

開発元 プーマテック ジャパン(株) 対応OS ウィンドウズ 98 / 95 / 2000 プロ
フェッショナル / NT 4.0 対応CPU ペンティアム以上 対応アプリケーション
マイクロソフトOutlook 2000 / 98 / 97、ロータス オーガナイザー2000 / 97、ロー
タス ノーツ R5.0 / 4.6 / 4.5、Palm Desktop 対応機種 日本語版Palm OS搭載の
Palmデバイス 備考 HotSyncマネージャ3.0以上



Palmデバイスには「Palm Desktop」という純正PIM（個人情報管理）ソフトが付属し、このソフトを利用してパソコンとPalmデバイスとのデータを同期するのが一般的である。では、「Outlook 2000」や「ロータスノーツ」などほかのPIMソフトをすでに使用しているユーザーはどうすればいいのだろうか？

基本的に、これらのPIMソフトはPalmデバイスとの連携は考慮されていない。データをPalm Desktopに移動させることは可能だが、これでは根本的な解決にはならない。企業によっては特定のPIMソフトで社員のスケジュール管理をしているので、Palmデバイスとのデータの同期のために勝手にPIMソフトを乗り換えるわけにもいかない。このような場合、威力を発揮するのがプーマテックジャパン(株)のウィンドウズ用シンクロソフト「Intellisync for Palm」(以下、Intellisync)だ。

Intellisyncは、パームコンピューティング(株)のPalm Desktopでしか行えなかったHotSyncをサードパーティー製のPIMソフトでも実現するソフトだ。IntellisyncをインストールするだけでOutlook 2000 / 98 / 97、ノーツ4.6 / 4.5、ロータスオーガナイザー2001 / 2000 / 97をはじめとする定番PIMソフトとPalmデバイスのデータを同期させることが可能だ。インストール作業は簡単。あらかじめPalm Desktopがインストールされている必要があるが、ウィザードに従えば5分ほどで完了する。ここで「ToDo」や「予定表」などをどのPIMソフトと同期させるかを設定する(図1)。

Intellisyncをインストールするだけでほとんど特別な設定もなく各PIMソフトとHotSyncできるが、「詳細設定」ダイアログを使えばもっとPalmデバイスとの同期が便利になる。「詳細設定」ダイアログには「確

認」「矛盾回避」「フィルタ」など、それぞれのデバイスによって異なったタブが表示される。中でも「矛盾回避」の設定は、しばしば起こりがちな、PalmとPIMソフトとの同期ミスを防ぐことができる。例えば、同じ項目をPalmデバイス側とPIMソフト側で別々に修正したとする。するとHotSyncしたときに、どちらを同期させればいいのかかわからないという矛盾が生じてしまう。最悪の場合、残しておきたかった項目が消えてしまうこともあるだろう。そのようなするために「矛盾回避」の設定には、矛盾が起こったときに通知してくれる機能がある(図2)。この場合、矛盾した項目をどうするのかを選択するが、もし面倒な場合には、矛盾項目をどちら側にも追加したり、または矛盾がある項目は無視するなど細かい設定も可能だ。

最後にIntellisyncには面白い使い方があ。もし新たなPIMソフトへ乗り換えたとき、当然ながらまだデータは何も移行されていない状態にある。このときにIntellisyncの設定を「シンクロナイズ」ではなく「エクスポート」にすると、Palmデバイスのデータをそのまま新しいPIMソフトに反映させることができるのだ(図3)。この機能を利用すれば、PIMソフトの乗り換えや、パソコンの再インストールのときなどに便利に使えるだろう。

IntellisyncはPIMソフトとPalmデバイスの同期を手助けするという性格上、ユーザーが認識しないところで動いている。派手なソフトではないので、価格が高く感じられるかもしれないが、使ってみるとその利便性を実感できるはず。いままでパソコンのPIMソフトを使いたいが、Palmデバイスとの連携を考えて、泣く泣くPalm Desktopで我慢していた方はぜひ使ってみてほしい。

(國島 康之)



図1 「ToDo」や「アドレス」などの項目はそれぞれに同期するPIMソフトを選択できる。複数のPIMソフトを利用している場合に有効な機能だ

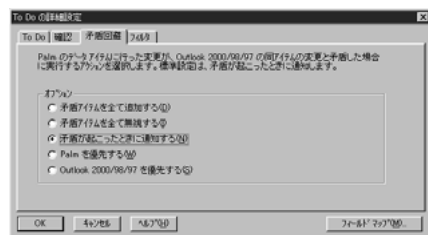


図2 Palmデバイス側とPIMソフト側で同項目を別々に編集してしまった場合、「矛盾回避」の設定ダイアログでデータの同期ミスを防げる

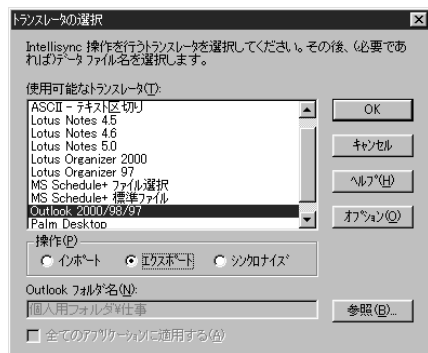


図3 もし新規にPIMソフトをインストールしたときは、Intellisyncを使ってPalmデバイスのデータをエクスポートするのが便利。PIMソフトの乗り換えにも役立つ

価格 1万2800円
問 プーマテック ジャパン(株)
TEL 03-5627-5435
URL <http://www.pumatech.co.jp/>

Buying Advice



バックアップモジュール

どこでも簡単バックアップ

MemorySafe

ノーススターシステムジャパン(株) メモリー容量 2 / 8 MB カラー ブラック
 本体サイズ 幅30×奥行き16×高さ44mm、重さ10g 対応機種 m100、Palm シリーズ、同 シリーズ 備考 日本での販売は8MB版のみ、評価は2MBの英語版で行った

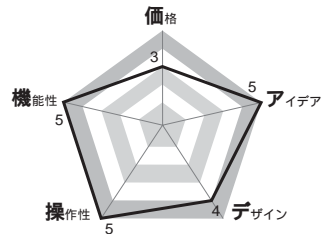
「MemorySafe」は、m100、Palm III系、Palm V系の機種に対応した拡張メモリーモジュール。Palmデバイスと一緒に持ち歩くのに十分なほどコンパクトなサイズだ。付属する「M'Safe」というユーティリティをPalmデバイス本体にインストールし、シリアルポートにMemorySafeを接続すればセットアップは完了する。

M'Safeを起動すると、Palmデバイス内にあるすべてのデータをMemorySafeに丸ごとバックアップするボタンと、個々のファイルを選択してコピーするボタンの2つが表示される。バックアップなら、ボタンを

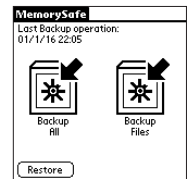
一度タップするだけと操作はいたってシンプル。MemorySafeからファイルを呼び戻すことも、同様にシンプルだ。パスワードによるデータ保護機能もあり、セキュリティも考慮されている。ファイルの転送時間は1MBあたり1分程度。m100ならば気軽にバックアップできるスピードだろう。

フラッシュROMを利用できる機種ならば、ROM側にM'Safeを移動しおこう。M'SafeごとPalmのメモリーが消えてしまった場合に、データの復元がスムーズになること請け合いだ。これで出先でのトラブルにも迅速に対応できる。(吉沢 正敏)

ズバリ!.....
 データを失うことが許されない
 ヘビーユーザーに



m100に装着した状態。サイズがコンパクトなだけでなくデザインもマッチしている点がうれしい!



M'Safeを起動したら、あとは目的に応じてボタンをタップするだけという簡単操作。転送スピードは1MBあたり1分程度となかなか高速

価 7980円
 問 ノーススターシステムジャパン(株)
 URL <http://www.northstarmobile.com/>



ゲーム用コントローラー

Palmでゲーム三昧もいいじゃない

GamePad

米ワールド ウィジット ワークス社 カラー ブラック 本体サイズ 幅79×奥行き29×高さ95mm、重さ90g 対応機種 Palm c、同 c、WorkPad、TRGpro

「GamePad」はPalm IIIc、WorkPad 30JなどのPalm III系筐体のPalmデバイスで使用できるゲームコントローラーだ。携帯ゲーム機と見まごうばかりの十字ボタンや2つのトリガーボタン、そしてSELECTとSTARTボタンまで付いている。シリアルポートに接続することで、Palmデバイスは携帯ゲーム機に変身してしまうのだ。電源は本体から供給されるので電池は不要。

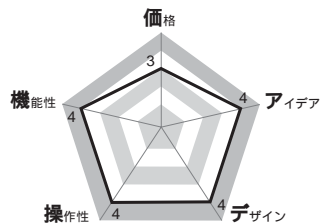
付属のドライバーをPalmデバイスにインストールすることにより、既存のゲームソフトがGamePadで操作できるようになる。Palmデバイス本体のボタンではイマイチ押

しづらかったり、激しい操作がためらわれたりするが、GamePadなら大丈夫。特に、4/8方向に移動するようなゲームや複数のボタンを同時に押さなければならないようなゲームでは効果絶大だ。Palmとは左右のツメでがっちりホールドされるので、多少の動きなら外れてしまうこともない。

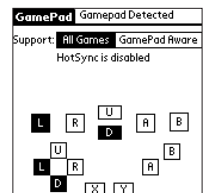
ただし、Palmデバイスに装着すると重量バランスがかなり上方に片寄るので、長時間使用すると手が疲れてしまう。

とはいえ、GamePadを使うことでPalm用ゲームの新しい魅力を発見できる可能性もある。(吉沢 正敏)

ズバリ!.....
 ゲームを120%楽しみたいなら
 試してみる価値あり



がっちりPalmデバイスと合体。ホールド感、操作感は上々だが、重量バランス的にはややアンバランス



HotSyncを実行する場合には付属ユーティリティでドライバーのモードを切り替える必要がある

価 19.95ドル
 問 米ワールド ウィジット ワークス社
 URL <http://www.palmgamepad.com/>



スプリングボードモジュール

差し込むだけでメモリーを増設 フラッシュモジュール

開発元 ㈱ハギワラ シスコム メモリー容量 8 / 16MB 本体サイズ 幅54 × 奥行き10 × 高さ57mm、重さ15g
 インターフェース スプリングボード 対応機種 Visorシリーズ

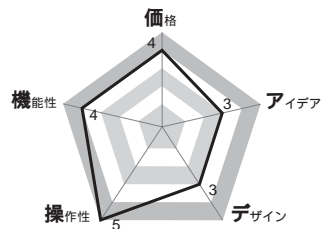
株 ハギワラシスコムの「フラッシュモジュール」は、8または16MBのフラッシュメモリを搭載したVisor用のスプリングボードモジュールだ。ハングスプリングの「8MBフラッシュ・モジュール」と比較すると、最大2倍の容量までラインアップされている。

フラッシュモジュールは、Visorの増設メモリーと考えていい。重要なデータやPalmウェアを収納しておいて、必要なときにVisorに挿せば内蔵メモリーと同じようにデータを呼び出したり、Palmウェアを起動できるが、いくつか制限がある。

フラッシュモジュールにデータを書き込むには、一度Palmデバイス本体の内蔵メモリーにHotSyncでインストールしてから、「FileMover」という専用ソフト（フラッシュモジュールに内蔵）を使ってモジュールへ移動させることになる。Palmウェアによっては、フラッシュモジュールに置いたデータを認識できないものがあるので注意が必要だ。またHackソフトもフラッシュモジュール上では動作しない。

Palmの世界でも、動画やカラー画像などを扱う機会が増えているので、16MBの大容量は重宝するはずだ。（吉沢正敏）

ズバリ!.....
 動画やフォトアルバムを
 活用したいユーザーに最適



Visorに挿すだけで利用可能になるのがスプリングボードの長所。すぐに増設メモリーとして活用できる



FileMoverの操作は、ファイル一覧の中から必要なものをチェックして「移動」あるいは「コピー」ボタンをタップするだけで

実 8700円（8MBモデル） / 1万6000円（16MBモデル）
問 ㈱ハギワラ シスコム
TEL 0120-307-456
URL <http://www.hscjpn.co.jp/>



ウィンドウズ用PIMソフト

各PDAに対応したPIMソフト DIM@2000 製品版

開発元 新潟キャノテック㈱ 対応OS ウィンドウズ Me / 98 / 95 / 2000 プロ
 フェッショナル / NT 4.0 対応機種 IBM PCおよびその100%互換機 必要メモリー容量 32MB
 備考 日本語版Palm OS 3.0~3.5搭載Palmデバイス、Palm DesktopおよびHotSyncマネージャ3.0以上が必要

新 新潟キャノテック㈱の「DIM@2000」は、ウィンドウズ用のPIMソフト。Palmデスクトップ、Palm Desktop同様、「予定表」「アドレス」「To Do」「メモ帳」の基本機能を備えている。ユニークなのは、モジュールを追加することにより機能を拡張できる点だ。そのひとつに「Palm OS接続モジュール」があり、これを追加するとPalm Desktopの代わりにPalmデバイスとの同期が可能になる。

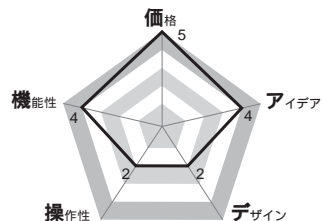
さらに、このほかのモジュールを利用して携帯電話やザウルス、Pocket PCなどともデータを同期できる。要するに、DIM@2000上で管理したデータを各PDAデ

バイスに送り込むようにすれば、Palmと携帯電話のアドレス帳データを常に同じものにしておくといったことが可能になる。

インターフェースについては、Palmのシンプルさに慣れた身としてはやや煩雑な印象を受ける。HotSyncの時間もPalm Desktopよりも微妙に長くなる傾向があるようだ。期間スケジュールやリンクの機能などは便利な機能だが、Palm側には反映されないものがある点に不満が残る。

しかし、低価格で各PDAとも連携できることを考えればコストパフォーマンスは決して悪くはない。（富田 靖）

ズバリ!.....
 ケータイもPalmもデータを
 一致させたいマメな人に



スケジュールにスタンプを押せたり、情報同士リンクを張れたりする点は便利だがPalmには反映されない

実 8000円（製品版）
問 新潟キャノテック㈱
TEL 025-244-6445
URL <http://www.niigata-canotec.co.jp/>

About gMovie

gMovie

Version 1.1.2b1

www.genericmedia.com/gmovie



Copyright 2000, Generic Media, Inc.
All Rights Reserved.

OK

動画作成・再生ソフト

gMedia互換の高機能コンバーター！

gMovie Maker

開発元 米ジェネリックメディア社 対応OS Palm OS 3.1以上 (gMovie Player) ウィンドウズ 95/98/Me/NT/2000 プロフェッショナル、Mac OS 8以上 (gMovie Maker) 備考 gMovie Makerを利用する際はパソコン側にQuickTimeがインストールされていること、記事の作成は開発中のベータ版で行った

ジェネリックメディア社の「gMovie Maker」は、各形式の動画/画像ファイルをgMovie形式に変換するコンバーターで、ウィンドウズ版とマック版が用意されている。どちらもQuickTimeがインストールされていることが条件となっている。同社のWebページから無償でダウンロードできる専用プレーヤー「gMovie Player」をPalmデバイスにインストールすることで、手のひらで動画を楽しめるようになる。このgMovie Playerは、ソニー(株)製Palmデバイス「CLIE」シリーズにバンドルされている動画再生ソフト「gMedia」と同等の製品であり、今回、その他のPalmデバイス向けにリリースされた。

gMovie Makerがサポートしているファイル形式は、動画はAVI、DV、MPEG1、QuickTimeの各形式、アニメはGIF、Flash、FLCの各形式、静止画はBMP、JPEG、Photoshop、PICT、PNG、Targa、TIFFの各形式で主なフォーマットに対応している。

変換作業はいたって簡単。まずは動画ファイルをgMovie Makerのアイコンに直接ドラッグ&ドロップするか、あるいはメインウィンドウにある「select items」欄で「add item」ボタンを押し、ファイルダイアログから選択する(図1)。ファイルの複数選択/変換も可能だ。

次に「settings」欄で各種設定を行う。「Color」ではモノクロ/4あるいは16階調グレースケール/256色カラーの中から色数を選択。「Frames per second」でフレームレートを指定。1bpsから15bpsまでの間で選択。「Size」では80×60ドット、120×92ドット、160×120ドットの中から画像サイズを選ぶ。「export to」欄で、ファイルの保存先を設定するが、メモリースティックへの保存にも対応している。最後に、「Convert」ボタンをクリックして変換作業

を実行すれば、gMovie形式ファイルが完成する(図2)。

一方、Palmデバイス用のgMovie Playerは、カラー表示に対応した再生ソフトだ。gMovie Playerを起動すると、まずメディアリストという画面が表示される。画面下にあるボタンをタップすることで、ファイルタイプ、画像サイズ、再生時間、ファイル容量の表示切り替えが可能だ。またリストの右端にあるアイコンをタップすると、そのファイルの詳細が表示される。ファイルを再生するには、リストから目的のものをタップすればいい。画面が切り替わり自動的に再生が開始される。画面下には、再生、一時停止、頭出しの各ボタンと再生地点を示すスライダーがあり、ここで動画の再生を制御する(図3)。

画面右上にある三角ボタンをタップすると、前あるいは次のファイルを頭出し再生する。また、動画再生中に画面右上にある三角ボタンを1秒以上タップし続けると、連続再生モードに切り替わる。解除するには再度、三角ボタンを1秒以上押せばよい。メディアリストに戻るには、三角ボタンの間にあるアイコンをタップする。

このほかにも、gMovie Playerには、動画ファイルをほかのPalmデバイスに赤外線ポート経由で転送する機能がある。シンプルなインターフェースなので、まず操作に戸惑うことはない。

gMovie最大の注目点はgMovie Makerである。これまではウィンドウズ環境でしかgMovie形式への変換作業ができなかったが、同種のソフトの中では唯一マックにも対応している。グラフィックやビデオ関連のユーザーを多く抱えるマックというプラットフォームを取り込むことにより、Palmデバイスによる動画再生の気運が一気に高まるかもしれない。(八島伸之)

ズバリ!.....
Palm用のオリジナル動画を作成したい人に

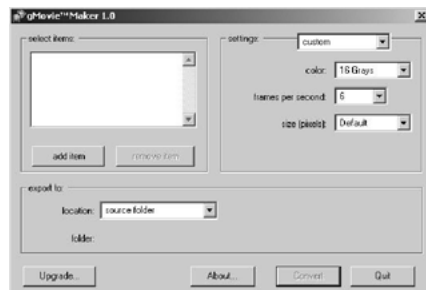
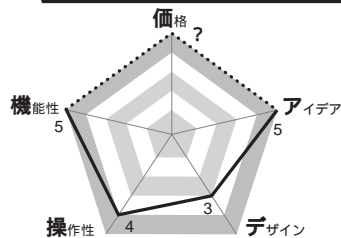


図1 gMovie Makerの画面。保存先に「HotSync」フォルダーを選んでおけば、Palmデバイスへのインストール時の手間が省ける

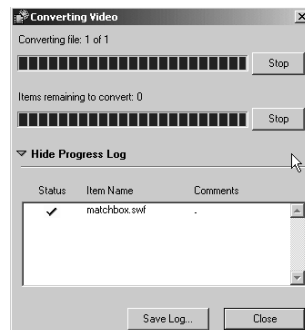


図2 gMovie形式へ変換中はダイアログに進行状況が表示される。変換する残りのファイル数も把握できる



図3 gMovie Playerの操作画面。インターフェースはいたってシンプルだ。音声をサポートしていないのが残念

未定
米ジェネリックメディア社
http://www.genericmedia.com/

21世紀はモバイルがあたりまえ！

てのひら 通信生活

今回のテーマ

Palm.NetとWebブラウザ

第1回

文 丸山弘詩(FocV Project)

注目の新サービス Palm.Net

昨年後半からようやく米国と同様に国内でも、ワイヤレスによる常時接続のインフラ整備の話がちらほらと聞こえ始めた。折しも「Palm Source Tokyo 2001」が2月14、15日に開催されることもあり、本稿が読者の目に触れるころには、パームコンピューティング側から「Palm.Net」(図



図1 Palm.Netの画面。Web Clippingサービスのほか、パソコンのWebブラウザ上でスケジュールやアドレスの管理も可能だ

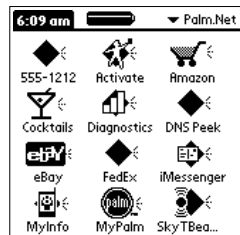


図2 Palmデバイス上で表示したランチャーのPalm.Netカテゴリ。「MyPalm」やWeb Clippingアプリが並ぶ



図3 パソコンのWebブラウザと同様にポータル(入り口)としての機能を搭載。ただし現時点ではベータ版公開

1)のサービス内容や接続料金に関して、正式に発表があるだろう。

米国ではすでに開始されている「Web Clipping」サービスは、「Palmscape」に代表されるWebブラウザとは異なったアプローチによるWebアクセスのソリューションである。もちろん、各個人専用のポータル(入り口)となる「MyPalm」と呼ばれるソフト(本国

でもベータ版公開)は、通常のWebブラウザとしても利用できるが、Palm.Netがその真価を発揮するのは、Web Clipping技術を活用してサイト独自で作られたソフトだ(図2、3)。amazon.com、eBay、FedExなどが公開しているソフトでは、在庫一覧からの検索や荷物のトラッキングが簡単にでき、amazon.comではその場で注文も出せる(図4、5)。

共通しているのは検索を開始した時点で初めてネットワーク接続することである。実際に情報をやり取りするのは、検索文字列や検索結果などの動的に変化する内容のみで、可能な限りデータ転送量を抑制している。したがって、仮にパケット通信を基本にした料金体系が採用されても、リーズナブルな維持費に収まることだろう。BeamPagerなどの例でわかるとおり検索のみではなく、携帯電話などにメッセージを送信することも可能だ。ソフトはMyPalmからダウンロードしてインストールできる。

このようにWeb Clippingソフトの応用範囲は極めて広範囲で、今までの概念を大きく超え有効性も



図4 amazon.com提供のソフト。カテゴリ分類された商品リストから簡単に検索できる。当然発注も可能である



図5 「Palm Programming」をキーワードに検索した結果。「CodeWarrior」や「Satellite Forms」が表示されている

高い。国内サービスが開始される際には、米国同様に優れたソフトがコンテンツとして並ぶことを望みたい(図6、7)。なお、今回はWeb Clippingを中心に概略を説明したが、Palm.NetのサービスはPalmデバイスのみならず、パソコン上でスケジュールやアドレスの管理も集中的に管理する機能が提供されている。アカウントの取得は可能だが、PalmデバイスとのHotSyncの際に文字コードの問題でデータが破損するため、あえて詳細は語らずに画面イメージだけを紹介した。



図6 新しく公開されたWeb Clippingソフトと、ダウンロードランキング上位のリストが表示されている

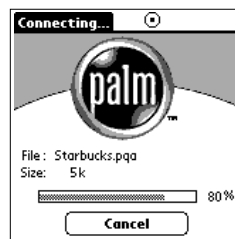


図7 トップにランキングされたStarbucksのソフトをダウンロード。ダウンロード後は自動的にインストールされる

Palmscape にライバル出現 Blazer

前述したとおり、米国ではすでに Web Clipping を利用したサービスが開始されている状況でも、現時点で国内での旬の話題のものと言えばやはり Web ブラウザーだ。WAP や i モードに特化したブラウザーもあるが、やはり王道を行くのは、画像もちゃんと表示できるブラウザーだろう。国内では現在憐リンクスの Palmscape が標準の地位を築いている状況である。しかし世界は広い。いろいろなブラウザーが開発されている。

今回は、そのパフォーマンスを前面に売り出している、米ブルーラーク システム社が開発した Web ブラウザーである「Blazer Personal Edition 1.0」(以下、Blazer)を紹介しよう。

このソフトをダウンロードする前に、まず最初に開発元サイトで最低限の個人情報を登録する必要がある。登録が完了すると登録したメールアドレス宛てに、最終的なダウンロード手続きに進む情報が届く。

情報が届いたら、指示に従ってユーザー名とログインパスワードを設定しよう。ここで初めてソフトのダウンロードが可能となるのだ(図8、9)。

さて、パフォーマンスをウリにしている Blazer だが、実際のところはどうか？ 利用してみれば体感できるが、



図8 ログイン後に表示される「QuickStart」ページ。「NEWS」「MONEY」「TRAVEL」といった項目が並ぶ



図9 「QuickStart」の「Portals」カテゴリに含まれる「excite to go...」をクリックしたところ。表示が速いのがうれしい

Palmscape と違って、デフォルトは画像を表示する設定になっているにもかかわらず、その表示速度には目を見張るものがある。やはり、バケットをすべてサーバー側で最適化しているからであろうか。携帯電話でのインターネット接続でもすこぶる快適な Web サイトの閲覧が可能となる(図10)。

しかし、やはり落とし穴は待っている。

開発元が英語圏で国際化を意識していないことが原因であるが、Palm OS 日本語版や J-OS が採用している Shift-JIS 以外を Web サイトの文字コードに使用している場合は、サイトが正常に表示されないという現象だ。Palm 関係のほとんどのサイトは今までの経験から Shift-JIS を採用しているが、ほかの分野のサイトは必ずしもそうとは限らない。例えば、Yahoo! Japan の場合は文字コードに EUC を採用しているため、日本語部分が文字化けして表示してしまうのだ(図11)。

Blazer の現在の周辺状況は、すでに8年以上も昔のことだが「Mosaic」や「Gopher」が登場した時代を彷彿させる。当ても実用に耐えるブラウザーは表示できる日本語文字コードが限定されていた。そのための解決方法として文字コード変換プロキシサーバーを利用した記憶があるが、今回も同様のプロキシサーバーを用意した(図12、注)。

URL を入力する際に必ず文字コード変換プロキシサーバーの URL を入力する手間がかかるが、Blazer から直接接続してそのまま表示したときとは違って、先ほどは文字化けしてしまった Yahoo! Japan のサイトも図13のようにきちんと日本語で表示できるようになる(ここでは「ブックマークを編集」画面で、Yahoo! Japan の URL の前に特別に用意した文字変換プロキシサーバー http://px1.shinmu:10080/-_- を



図10 「Palm Magazine vol.3」の表紙を表示してみた。画像の表示も速く、快適なブラウジングが可能だ



図11 Blazer から直接接続した場合の Yahoo! Japan サイト。文字コードが EUC のために文字化けしている

入力した)。

バイナリーサイズも200KB程度で、容量300KB強を占有する Palmscape と比較しても小さく軽い。そのうえ画像の表示速度も比較的速いので、携帯電話での接続が前提となる外出先でのアクセスのために、手持ちの Palm デバイスにインストールして利用するのもいいのではないだろうか。

ところで開発元の米ブルーラーク システム社だが、じつはすでに米ハングスプリング社による買収がアナウンスされている。今回紹介した Blazer の日本語版が正式にリリースされるか、どのような扱いになるかは、現時点ではまったく不明であるので了解してほしい。

注「Blazer Personal Edition 1.0」の文字化けを解消する Shift-JIS 変換プロキシサーバーを、FocV Project のご厚意により一時的なサービスとして提供を予定している。詳細は FocV Project (<http://www.shin.nu/FocV/>) で公開



図12 文字コード変換プロキシサーバーを経由するために、プロキシサーバーの URL をブックマークに直接埋め込む



図13 文字コード変換プロキシサーバーを経由した場合の Yahoo! Japan の画面。日本語も問題なく表示する

そろそろ次のPalmが欲しくない？

Palm乗り換え & 共存テクニック

この
パーム野郎がっ…
勝負だ!!

各社から個性豊かなPalmが登場した。
でも、いざ購入するとなると、
いままで蓄積したデータの移行に不安が残る。
そこで、データのバックアップからレストア、
複数のPalmを活用するノウハウまで、
Palmの乗り換えテクニックを細かく紹介。
本特集を読んで、
心おきなく新しいPalmを使ってみよう。

CONTENTS

- 隣のPalmはいいPalm? P.66
- Palmのデータをバックアップ P.67
- Palm Desktopのデータ移行 P.70
- データをPalmに復元する P.71
- 周辺機器を活用できるか P.72
- ウェブマスターの使いこなし術 P.74

隣のPalmはいいPalm?

.....
 個性的なPalmが勢ぞろい
 どれを買ったらいいの?

'99年、日本アイ・ピー・エムが初の日本語版Palm OS搭載機「WorkPad 30J」を発売。そして今日に至るまで、国内だけでも実に5社から13種類のさまざまな特色を持ったPalmデバイスが登場した(うち2機種は販売終了)。つい1年前まではモノクロ液晶が当たり前だったが、いまやカラー液晶隆盛の時代を迎えている。2000年春に登場した初の256色カラー液晶搭載機「Palm c」に始まり、「CLIE PEG-S500C」を経て、現在は独自の技術で6万5536色対応を果たした「Visor Prism」が人気だ。

当初はソフト側のカラー対応が遅れていた

が、徐々にカラー対応ソフトも増加。ゲームを楽しんだり写真や地図を持ち運ぶなら、やはりモノクロよりもカラー液晶という認識も定着しつつあるようだ。次期Palm OS 4.0も6万5536色のサポートを予定しているの、これから出てくる新機種もカラー液晶タイプが増えていこう。

カラー液晶だけでなく、外部拡張スロットも見逃せない(写真)。現在では、Visorシリーズの「スプリングボードモジュール」や、CLIEの「メモリースティック」、TRGproの「コンパクトフラッシュカード」(以下CFカード)などがあるが、Palm コンピューティング機も次期Palmデバイスに「SDカード」スロットを搭載すると明言。これらのスロットはメモリー用途以

スプリングボードモジュール



メモリースティック



CFカード



写真 現在は「スプリングボードモジュール」スロットの対応製品が最も多いのでお勧め。ほかの外部拡張スロットについては、今後の動向に注目だ

外にもさまざまな可能性を秘めており、特にスプリングボードモジュールでは、ゲームやMP3プレーヤー、GPS、モデム、デジカメなどの製品がある。

ほんの1年前には考えられなかったことだが、現在はどれを買ったらいいか迷うほど。もし手元のPalmに飽きてきたなら、絶好の買い替え時かもしれない。

現行Palmデバイス一覧

お勧めポイント	ボディの薄さはダントツ。メタリックカラーも魅力のひとつだ	初のカラー液晶搭載機。透過型TFT液晶モニターの発色がきれい	お手頃サイズにお手頃価格。フェイスプレートの交換もできる	反射型カラー液晶搭載。ジョグダイヤルで片手操作もススイ	ジョグダイヤルにメモリースティック。欠点の少ないいい選択技
機種名	Palm Vx 	Palm c 	Palm m100 	CLIE PEG-S500C 	CLIE PEG-S300 
メモリー容量	8MB	8MB	2MB	8MB	8MB
CPU(クロック周波数)	ドラゴンボールEZ(20MHz)	ドラゴンボールEZ(20MHz)	ドラゴンボールEZ(16MHz)	ドラゴンボールEZ(20MHz)	ドラゴンボールEZ(20MHz)
表示色数	16階調グレースケール	256色カラー	16階調グレースケール	256色カラー	16階調グレースケール
電源	リチウムイオンバッテリー	リチウムイオンバッテリー	単4形電池2本	リチウムイオンバッテリー	リチウムイオンバッテリー
拡張スロット	x	x	x	メモリースティックスロット	メモリースティックスロット
お勧めポイント	スプリングボードモジュールが魅力。全5色のカラーラインアップ	圧倒的な6万色のカラー液晶が美しい。付属ソフトも充実だ	Palm随一の処理速度を誇る。スプリングボードモジュールも装備	PHSユニット内蔵だから、コレだけでインターネットが利用できる	CFカードスロット(TYPE II)搭載。スロットの汎用性は高い
機種名	Visor Deluxe 	Visor Prism 	Visor Platinum 	WorkPad 31J 	TRGpro 
メモリー容量	8MB	8MB	8MB	4MB	8MB
CPU(クロック周波数)	ドラゴンボールEZ(16MHz)	ドラゴンボールVZ(33MHz)	ドラゴンボールVZ(33MHz)	ドラゴンボールEZ(16MHz)	ドラゴンボールEZ(16MHz)
表示色数	16階調グレースケール	6万5536色カラー	16階調グレースケール	16階調グレースケール	16階調グレースケール
電源	単4形電池2本	リチウムイオンバッテリー	単4形電池2本	単4形電池2本	単4形電池2本
拡張スロット	スプリングボードスロット	スプリングボードスロット	スプリングボードスロット	x(PHS内蔵)	コンパクトフラッシュスロット

詳しくはP.142へ

Palmのデータをバックアップ

HotSyncでバックアップしたデータはどこに保存されるのか

新しいPalmを購入すると、最初に問題になるのは、今までのデータをどうやって移行するかだ。そこで、まずはデータのバックアップから話を進めていこう。

Palmはパソコンと違い、ハードディスクを持っていない。予定やアドレスに入力したデータ、インストールしたソフトなどは、すべて内部のRAM (Random Access Memory) に保存される。RAMは、書き換え可能なメモリーのこと、何度もデータを読み書きできる代わりに、常に電気を流し続けないとデータが消失してしまう。電池が切れたり、ハードリセットなどでソフトやデータが消えてしまうのはこのためだ。しかし、ハードリセットを行ったあと、Palm OSや予定表、アドレスなどの標準ソフトが消えることはない。それは、これらのソフトがROM (Read Only Memory) あるいはフラッシュROMにインストールされているからだ。

ROMは、その名の通り読み込み専用メモリーのこと。ユーザーが自由にデータを書き込むことはできないが、電池が切れてもデータは消えない。フラッシュROMは、専用のソフトを使って書き換えができるうえ、電池が切れてもデータが消失しないスグレモノだ。デジカメでよく使われるCFカードやスマートメディアも、フラッシュROMの仲間になる。フラッシュROMにPalm OSがあると、将来OSがバージョンアップしてもデータを書き換えて最新版にで

メモリーの種類

RAM

書き込みも読み込みも高速だが、常に電気を送り続けないとデータが消失してしまう

ROM

読み込みだけで書き込みはできないが、電気が切れてもデータが消失することはない

フラッシュROM

電氣的に書き換えが可能なROMの一種。電気が切れてもデータが消失することはない

きるといった利点がある。

さて、Palmの標準ソフト「予定表」「アドレス」「To Do」「支払メモ」のデータは、パソコンとHotSyncする際にPalm Desktopと同期している(ただし、支払メモはウィンドウズのみ)。もしPalmのデータが消えてしまっても、もう一度HotSyncすれば最後にHotSyncした状態まで復元できる。また、コンジットの設定画面には「バックアップ」という項目もある(図1、2)。これは、ユーザーがPalmにインストールしたソフトやデータなどのバックアップを、パソコンのハードディスクに保存する機能だ。つまりHotSyncは、Palmのデータをパソコンへバックアップする作業ということもできる。

では、バックアップしたファイルはパソコン上のどこに保存されているのか。ウィンドウズでもマックでも、ハードディスク内に「Palm」フォルダー(Palmの機種によって名前が異なる)があるはずだ。その中にはPalm Desktopの本体やHotSync用のソフトが入っており、ウィンドウズではユー

HotSync Manager

Windows



図1 「HotSyncマネージャー」では、「同期」「Palmによる上書き」「Palm Desktopによる上書き」「何も行わない」など、同期の動作を機能ごとに設定できる

Macintosh

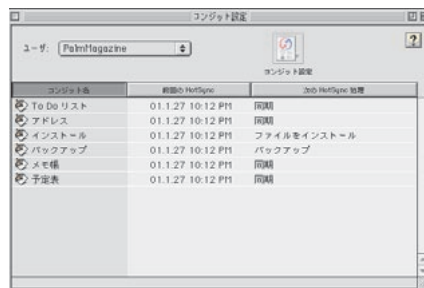


図2 マックのHotSyncマネージャーも基本的にはウィンドウズと同じ。データの同期は、機能ごとに用意された「コンジット」と呼ばれるソフトが担当する



ザー名 (HotSync ID) が付いたフォルダーがある(図3)。マックの場合は、Palmフォルダー内の「ユーザ」フォルダーをのぞいてみよう(図4)。このユーザー名の付いたフォルダーに、Palm Desktopが使用するデータ、つまりはPalmのバックアップデータが入っている。複数のユーザーがPalm Desktop使っていれば、ユーザーの数だけフォルダーが作成される。Palm Desktopのデータのバックアップを作成するなら、このユーザー名が付いたフォルダーを別のメディアに保存しておけばいいわけだ。

バックアップの保存場所

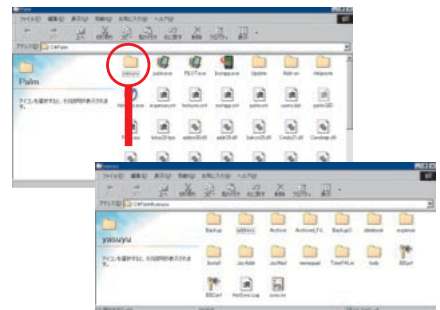


図3 ウィンドウズでは、コンジット名のフォルダーごとにフォルダーが作られ、その中にデータが保存される

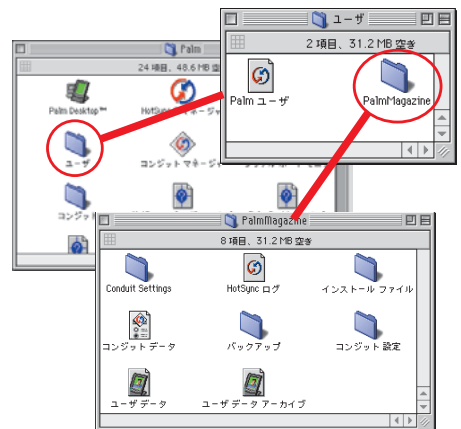


図4 マックの場合、Palm Desktopのデータは「ユーザーデータ」ファイルひとつにまとめられている

Windows

ウィンドウズでPalmのフルバックアップ

BackupBuddyを使って
超カンタンにバックアップ

前のページでHotSyncすると自動的にバックアップできると書いたが、バックアップといっても、実はPalmのデータすべてをバックアップしているのではない。一度でもPalmをハードリセットさせてしまった人なら経験していると思うが、HotSyncをしても、データは完全に復元できないのだ。

これは、HotSyncによるバックアップは、ソフトの開発者がそのソフトをバックアップさせる必要があるのか否かをあらかじめプログラムに設定しているためだ。HotSyncではその設定に従ってバックアップを実行し、バックアップしない設定のソフトは、「バックアップ」フォルダーにバックアップデータを作成しない。つまり、標準ではPalmのデータすべてをバックアップすることはできない。これでは、万が一データがなくなったときに不安だし、Palmを乗り換えるときにもう一度ソフトのインストール作業が必要になってしまう。しかし、こんなときのためにPalmのデータをフルバックアップできるソフトウェアがあるのだ。

バックアップパディ-
「BackupBuddy」は、インストールするだけでPalmのフルバックアップが行えるようになる便利なソフトだ(図1)。特別な操

作は必要なく、インストールしたあとにHotSyncすれば、自動的にPalmのすべてのデータをバックアップしてくれる(図2、3)。その秘密は、Palmのデータをそのままコピーしてしまうことで実現している。だから、もしPalmのデータが消えてもHotSyncするだけで元通りの環境に復元できるのだ。「いちいちすべてのバックアップをとっていたら、HotSyncに時間がかかってしょうがない」という不満も不要だ。初回こそすべてのバックアップをとるが、次回以降は更新のあったファイルのみをバックアップの対象にするので余分な手間をかけない。

そのままでも十分便利なBackupBuddyだが、さらに細かいバックアップの設定も可

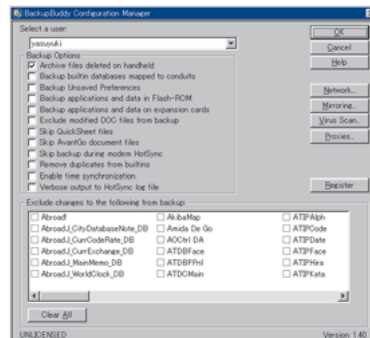


図1 デフォルト設定でフルバックアップが可能だが、時刻の同期や除外設定など、設定画面でより細かいバックアップを指定できる

BackupBuddy



価格 29.95ドル
制作 米ブルー ノマド ソフトウェア社
URL <http://www.bluenomad.com/>

能だ。例えば、DOC形式のデータを除外したり、フラッシュROMに記録されているデータのバックアップも行える。また、アドレスや予定表のデータは、「バックアップ」フォルダーとは違う場所にバックアップされているが、もちろんこれらのデータを対象にすることもできる。

何も考えずに使えるし、設定を考えながらも使えるので、ハードリセットで泣きを見る前にぜひ一度試してみよう。

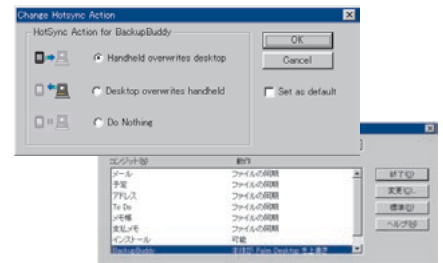


図2 ほかのコンジットと同様に動作設定を行える。動作させなかったり、ストアの指定もこの画面で行う

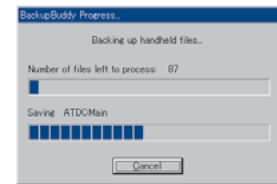


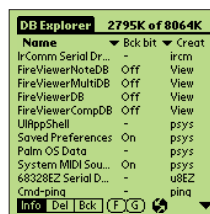
図3 別ウィンドウで進行状況を表示。少しHotSyncの時間が延びるが保険と考えよう

バックアップビットを変更しよう

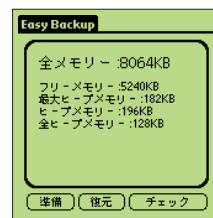
Palmにインストールされたファイルには、HotSyncでバックアップするか否かを決定するフラグ属性が付いている。これが「バックアップビット」だ。普通はソフトによってバックアップビットのオン/オフが決められており、ユーザーが操作することはない。しかし、すべてのファイルのバックアップビットがオンにならなければ、フルバックアップを行うことはできないのだ。

こんなときに便利なソフトが「DBExplorer」と「Easy Backup」だ。どちらもPalm本体からバックアップビットを変更できる。DBExplorerは、バックアップビットの切り替えをはじめ、各種ファイルの設定を変更するユ

ーティリティー(図1)。バックアップするファイルを自分で選択できるのが魅力だ。一方Easy Backupは、一時的にすべてのバックアップビットをオンにして、簡単にフルバックアップを可能にするソフトだ(図2、3)。



価格 10ドル
制作 Katsuhiko Endo
URL <http://www.fatal-error.com/jp/>
図1 ファイルの日付やサイズなども参照可能だ



価格 メールウェア
制作 FocV Project
URL <http://www.shin.nu/FocV/>
図2 「準備」ボタンでフルバックアップの用意をする



図3 バックアップビットの状況を記録しておくので、すぐに標準の状態に戻すこともできる

Macintosh

マックでPalmのフルバックアップ

Finderライクな操作で
ラクラクファイル管理

パディー

Palm Buddyは、現状のPalmのファイルをそのままバックアップするソフトだ。Palmの中身を分類して表示し、マックのFinderと同じ感覚でインストールやバックアップが行える。ただし、現バージョン(1.2b4)ではVisorシリーズやCLIEシリーズなど、USBクレードルを使用した接続をサポートしていないので注意しよう。

Palm Buddyは、Palm用ソフトとマック用ソフトの2つから構成されている。まず、Palm Desktopを使って「Palm Buddy.prc」をPalmにインストールする(図1)。次に、Palm側でPalm Buddyを起動して、「Communicate At(接続速度)」と「Connected Via(接続ポート)」の設定を行う。必ずマック側のPalm Buddyと同一の接続速度に設定しよう(図2)。接続ポートでは「Cradle(クレードル)」と「Infrared



図1 「Palm Buddy.prc」をインストール。必ずマック側と同一バージョンのファイルを用意すること

(赤外線)」が選択できるので、自分の環境に合わせて設定しよう。

今度はマック側のPalm Buddyを起動して設定を行う。シリアルポートの設定、接続速度を確認しよう。接続速度(Palm側/マック側で同一速度を設定)は、最高速度の11万5200bpsでかまわないが、もしうまくいかなければ徐々に速度を落とそう。設定が完了したらクレードル経由でPalmをマックに接続し、マックとPalm双方のPalm Buddyを起動する。うまく接続すると、マック側のPalm BuddyにPalmのファイルが階層表示されるはずだ(図3)。このウィンドウとFinderとの間で、ドラッグ&ドロップ操作をすればファイルのやり取りを行える(図4)。なお、接続の際は必ずHotSyncを「使用停止」にしておかないと、ポートが競合してうまく動作しない。

肝心のフルバックアップだが、「Backup」ボタンを押してデータ保存先を指定するだけ。初回は「Full(すべて)」を指定する必要があるが、2回目以降は「Incremental(差分)」を使って、変更があったぶんのバックアップで済むようになる(図5)。

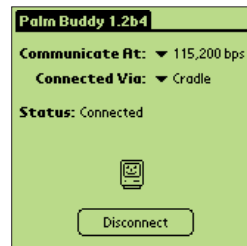


図2 マックとの接続に成功すると、ステータスが「Connected(確立)」になり、マックアイコンが笑顔に変わる。切断時は「Disconnect(切断)」ボタンを押す

Palm Buddy



価格 20ドル
制作 フローレント ビレ
URL <http://perso.wanadoo.fr/fpillet/>

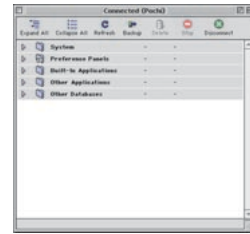


図3 無事Palmとの接続が確立すると、マックのウィンドウにPalmの中身を表示。操作性はFinderのリスト表示そのものだ

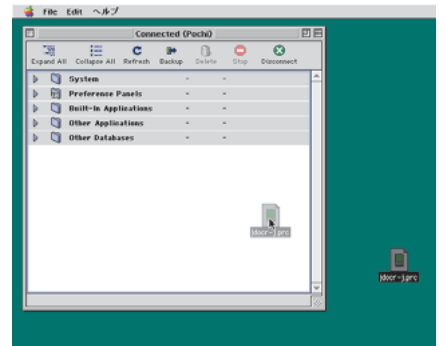


図4 テキストファイルをドラッグ&ドロップすると、DOC形式やJFile形式に変換するプラグインもある

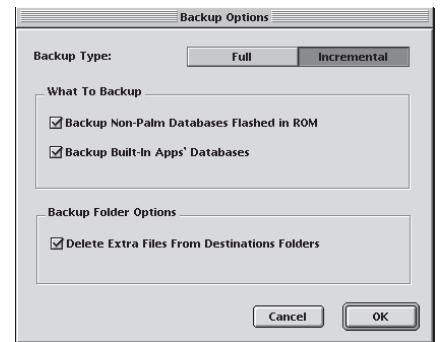
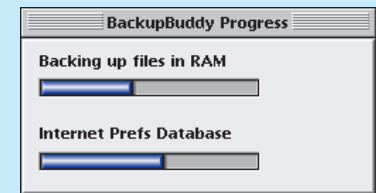


図5 「Backup Folder Options」をチェックすると、Palmで削除したファイルをMacのバックアップからも消す



マック版のBackupBuddyは?

実は「BackupBuddy NG for Mac」も存在する。標準の「バックアップ」コンジットに置き換えて、Palmのフルバックアップをとるソフトだ。ウィンドウズ版のように細かいバックアップの設定こそ行えないが、あまり考えずに使える便利なソフトだ。しかし現バージョン(1.01)は、日本語版のPalm OS 3.5搭載機では動作しないのが残念なところ。今年の後半には対応させるとのことなので、マックユーザーは楽しみに待っていよう。



BackupBuddy NG for Mac
価格 29.95ドル
制作 米ブルー ノマドソフトウェア社
URL <http://www.bluenomad.com/>

Palm Desktopのデータ移行

ユーザーフォルダーをコピーして新しいPalm Desktopに移行しよう

新しくPalmを購入すると、それぞれ専用のクレドールやPalm Desktopが付属する。古いPalmで使用していたPalm Desktopを、そのまま新しいPalmで使用するのあまり勧められない。新しいバージョンでは、バグ修正が施されていたり、そのPalm特有の機能拡張を施してある場合も考えられるからだ。では、どうすれば以前の環境を新しいPalmに移行できるだろうか？

ウィンドウズでもマックでも、Palm Desktopのインストール時にユーザー名を入力する。これは「HotSync ID」と呼ばれ、その名前が付いたフォルダーに、Palmの情報がすべて収められる。つまり、新しいPalm Desktopへそれを移せばいいのだ。

まず、移行前のPalm Desktopからユーザーフォルダーを丸ごとバックアップする(図1)。そのあと以前のPalm Desktopを削除し、新しいPalm Desktopをインストー

ル。このときに、必ず以前のPalm Desktopと同じユーザー名にしよう(図2)。そうすれば、新しいPalm Desktopのフォルダー内にも同じ名前のユーザーフォルダーができる。次に、そのフォルダーを削除し、バックアップしていたユーザーフォルダーを同じ場所にコピーして置き換える(図3、4)。これでPalm Desktopの移行は完了だ。日本語対応のPalm Desktopならバージョンの違いも問題ない。もしものために、完全に動作確認がとれるまで、バックアップは消さないようにしよう。

1 ユーザーフォルダーをバックアップ

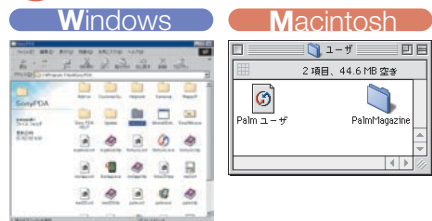


図1 インストール時に決めた名前の付いたユーザーフォルダーがある。これを丸ごとバックアップしよう

2 移行先のパソコンで同じ名前のユーザーを作成

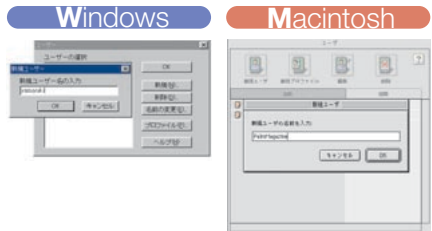


図2 新しいパソコンにPalm Desktopをインストールして、以前と同じ名前のユーザーを作成する

3 ユーザーフォルダーの中身を削除

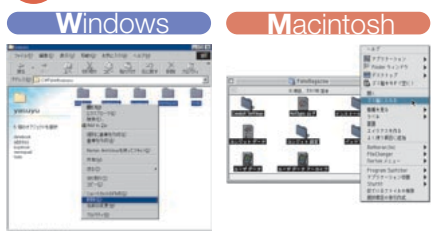


図3 Palm Desktopを終了して、ユーザーフォルダーを削除する。この段階ではまだHotSyncしてはいけない

4 移行前のデータをコピー

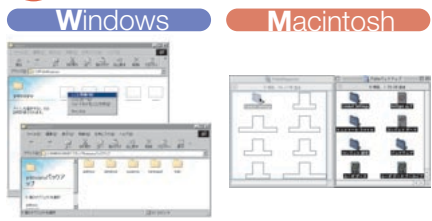


図4 バックアップしていた以前のユーザーフォルダーを、同じ場所にコピー。これで移行は完了だ

ウィンドウズとマックとの間でPalmのデータを移行する

今回は、ウィンドウズとマックの間でPalm Desktopを移行する際の話しよう。ウィンドウズからマック、もしくはマックからウィンドウズへPalm Desktopのデータを移行するときは、ユーザーフォルダーをそのまま移動させる手段が使えない。同じPalm Desktopでも、ウィンドウズとマックではデータの管理方法が違うのだ。基本的にはPalmを仲介させて、2つのOS間でデータを移行することになる。

しかし、ウィンドウズとマックのPalm

Desktopでは、まるで別のソフトになっている。特にアドレスは、入力する項目が異なっているために、PalmのHotSync経由では表示されない項目ができてしまう。Windows用のPalm DesktopはPalm上のソフトに対して過不足なく対応しているが、

マック用のPalm DesktopはPalm上のソフト以上に多機能なのだ。完全に対応させようと思ったら、Palm Desktopからのインポート/エクスポート機能を使ってタブ区切りテキストとして保存し、表計算ソフトで修正して形式を合わせていかなければならない。

Mac版 Palm Desktopの注意項目

アドレス: Mr./Ms.、敬称、通称、部署
 予定表: カテゴリー
 支払メモ: マック版未対応

アドレス



予定



データをPalmに復元する

データの復元は簡単だが機種特有のファイルに注意

基本的に、PalmはデータをRAMに保存しているので、不慮の事故でデータ消失の可能性もある。乾電池やバッテリー切れでデータがなくなる場合があったり、大量のHackソフトをインストールしてPalmの動作が不安定になり、ハードリセットを余儀なくされることもある。そんな不測の事態や、計画的な機種乗り換えに際しては、バックアップしたデータやソフトを、新しいPalmに復元することになる。「バックアップ」フォルダー内のデータの復元は、HotSyncの

設定でも可能だし、通常のソフトのインストールと同様に、バックアップしたファイルをインストールしてもいい(図)。

パソコンのPalm Desktopが無事なら、パソコンによるPalmの上書き設定でHotSyncをすれば、ほとんどのデータは復元できる。しかし、前述のように完璧に復元したいならBackupBuddyやPalm Buddyなどのバックアップソフトを使うことになる。また、いつデータが消えても大丈夫のように、こまめにHotSyncしておこう。前回HotSyncしたときの状態が復元されるので、その期間が短いほど復元できるデータが多くなる。ただし、新しいPalmに乗り換えた場合、こ

のフルバックアップがアダとなることもある。次々と新機種が発売されるPalmでは、メーカーごとにPalm OSの機能を拡張したり、特別な機能を付加している。同じメーカーでも機種が違えば、中に入っているファイルも異なるのだ。例えばBackupBuddyを使用すると、機種特有のデータもバックアップされてしまうので、移行先のPalmにもデータが復元されてしまう。機種特有のファイルを違う機種に復元すると、それがトラブルのもととなる。

CLIEのジョグダイヤル用のファイルがVisorに入っている場合、百害あって一利なしだ。もちろん機種特有のファイルが入っても、何事も起こらないかもしれないが、余計なものをインストールする必要はない。「復元の不要なファイル」のリストを参考に、フルバックアップしたフォルダーから機種特有のファイルを取り除き、インストールするようにしよう。

Windows



Macintosh

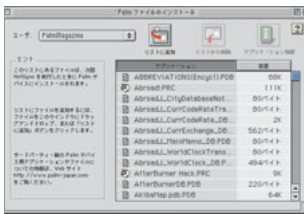


図 フルバックアップしたデータから機種特有のファイルを除き、移行後のPalmにインストールする

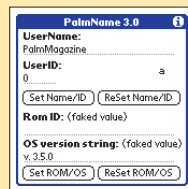
復元不要なファイル(機種固有もしくは共通ファイル)

68328AEZ Serial Driver (_jp) / 68328EZ Serial Driver (_jp) /
 68EZ328RefSerialDrvJpJPr / AMX / ATDBDics/Face/IPnl/PPnl /
 ATDCMain / ATIPAlph/Code/Date/Face/Hira/Kata/Symb/Time /
 ATOKInIn/Pnlm/Prop/RTbl/Veri / ATPPCov/Dics/Pnls / BigHAL /
 Buttons_jpJP / Calculator_jpJP / CardSetupShell / cclkPalmClock (_jp) /
 CityTime / clkp / Cmd-nettrace / Cmd-ping / Connection (_jp) / DateBk3h /
 DateBookPlus / DefConnectionDB / Digitizer_jp / ExpansionMgrjpJP /
 Expense_jp / Formats_jp / FormFixExtension / General_jp / HAL /
 HostExgLib / HotSync_jpJP / HSButtonExtension / HsExtensions
 /3.5/3.5.2v.1.2 / HsExtUIRsc / IntlMgrExt (_jp) / IrComm Serial Driver (_jp) /
 Launcher_jp / LdbMgr Library / LibATOKA/B / Mail_jpJP / Modem / MS Gate /
 MSFSLibJ / Network_jp / Note Pad (_jp) / Palm OS Data (_jp) / PPP
 NetIF_jp / Preferences_jp / psysLaunchDB / Security_jpJP /
 SerialDriver68Z328 / Auto/UsbPhillips / SerialLib / Setup_jp / SilkScreenJP /
 SLIP NetIF_jp / SlotDrvLib / SmallHAL / SmallROMSys / sonyres /
 System_jp / To Do List_jp / Tsm Library_jp / TxtEncodingExtJ / Update
 3.5.1/3.5.2H / USB Library / UserDict_jpJP / vdrvUSBcolor / Welcome

ユーザー名を変更する

基本的にユーザー名は、Palm Desktopをインストールしたときに設定する。ユーザー名は、ローマ字のほかに漢字で入力できるので、自分の名前を漢字で入力している人も多いだろう。しかし、海外のシェアウェアなどでは、ユーザー名を参照して登録コードを発行するものもある。この場合、メールで作者にユーザー名を知らせるのだが、漢字のユーザー名では文字化けしてしまう。こんなときには、「PalmName」を使おう。これは、ユーザー名をPalm上で書き換えるツールだ。これさえあ

れば、ユーザー名を適当に付けて悩んでいたユーザーも安心。もっとも、ユーザー名を最初からローマ字で入力しておくのが理想的だ。



Palm Name
 自由ウェア
 作者 Collin Richard Mulliner
 URL <http://www.mulliner.org/palm/>



周辺機器を活用できるか

同一メーカーのPalmでも
ポートの形状が異なる

Palmを買い替えるとき、手持ちの周辺機器が新しいPalmで使えるかどうか、その後の出費を左右する大事なポイントだ。

Palmは、シリアルポートの形状によって7つのグループに分類される。同じPalmコンピュータ製でも、同m100をとって見ても、シリアルポートまわりの形状がまったく異なっており、基本的には周辺機器の互換性はない。Palm cとWorkPad 30Jも見た目は同じように見えるが、微妙にボディーの形状が異なり一部周辺機器の使い回しはできるものの、周辺機器を留めるロックが効かないなど、完全に互換性があるとはいえない。

またVisorシリーズでも若干厚みを増しているPrismだけが、ほかのVisorシリーズとボディー形状が異なりクレードルやケースなどを共用できない。ただし、ボディー形状に関係ないHotSyncケーブルだけは共用できるので覚えておこう。

WorkPad 30Jが日本で最初に発売されたPalmで、先行した分だけ周辺機器も豊富にそろっている。そのため、Palm Vxのシリ

アル形状をWorkPad 30JやTRGproと同じにするゲタ状の変換アダプター「DockV」^{ドックファイブ}といった製品もある(写真)。これを使えば、WorkPad 30J対応の周辺機器をPalm Vx、WorkPad c3で使い回すことも可能だ。

拡張スロットに挿して使うタイプの周辺機器もあるが、拡張スロットの仕様もメーカーごとに異なるため、こちらについては互換性がまったくないと考えよう。

また、形状に互換性があっても、ソフトウェアのアップデートや、ファームウェアのアップデートを行わないと動作しないものもある。そういった情報は、周辺機器の開発元のウェブページに掲載されているので製品購入前に確認しておこう。



写真 シリアルポートの仕様は同じなので、「DockV」の対応機器は多い <http://www.solvepoint.com/>



赤外線を活用しよう

赤外線はどのPalmでも共通のインターフェースになる。赤外線経由で使用できる周辺機器は少ないが、機種間の互換性はバッチリだ。複数のPalmを使いこなす場合は、赤外線も積極的に活用するといいたいだろう。

赤外線通信機能のある携帯電話や、PDC方式の携帯電話に赤外線通信機能を付加する「IrGEAR for KEITAI」といった製品では、Palmの機種間での互換性を心配する必要はない。通信関連機器は比較的高価な周辺機器なので、どの機種でも使えるというメリットは大きい。赤外線ポートを使用する周辺機器としては、このほかにPalm OS対応のモバイルプリンターなどもある。

また、パソコンとのHotSyncを赤外線HotSyncで済ますのも手だ。これなら自宅

用、会社にと予備のクレードルを用意する必要もないし、複数のPalmを使いこなしているとそれぞれのクレードルを置くスペースもばかにならない。Palm OS 3.1を搭載するWorkPad 30JやVisor Deluxeには赤外線通信機能がないが、「BeamSync for Visor」

(<http://simple-palm.com/>)と、米Palm社が提供するライブラリーをインストールして、赤外線通信環境を整えることができる(図)。ウィンドウズマシンなら、パソコン側に赤外線ポートがなくても、USB接続の赤外線アダプターといった製品もある(写真)。

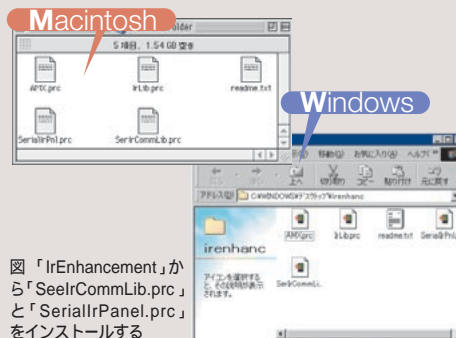








図 「IrEnhancement」から「SerCommLib.prc」と「SerialPrn.prc」をインストールする
<http://www.palm.com/support/downloads/irenhanc.html>



写真 USB接続で赤外線通信機能を付加するウィンドウズ用のアダプター「ACT-IR2000U」

●ACT-IR2000U
 問 (株)アスク (☎03-5215-5650)
 価 オープンブライズ(税)1万4000円
 ㊟ <http://www.ask-corp.co.jp/>

主な周辺機器の対応表

	Palm Vx, WorkPad 50J/40J	Palm IIIc	Palm m100	CLIE	Visor Prism	Visor Deluxe 同Platinum	WorkPad 30J, TRGpro
 GoType!	1		×	×	×	×	
GoType! Pro for Palm V		×	×	×	×	×	×
GoType! Pro for Visor	×	×	×	×	×		×
 HotSyncケーブル (III系用)	1		×	×	×	×	
HotSyncケーブル (Vx系用)		×	×	×	×	×	×
HotSyncケーブル (Visor用)	×	×	×	×			×
 SnapConnect (30J用)	1, 2	2	×	×	×	×	2
SnapConnect (40J用)	2	×	×	×	×	×	×
 PalmPix	1		×	×	×	×	
 Gameface	×	×	×	×	×		×
 IrGEAR For KEITAI							

1 「DockV」などの変換アダプターで対応

2 旧モデルをPalm OS 3.5搭載機で使う場合は、ファームウェアをアップデートする必要あり。ファームウェアのアップデート期限は3月31日で、開発元(株)アイ・オー・データ機器が実施中 <http://www.iodata.co.jp/>

折り畳みキーボードの互換性は？

折り畳めて携帯時には荷物にならないキーボード「Palm Computing Portable Keyboard」が最近一番人気だ。Palm Vx用とPalm m100 / c共用タイプの2種類が発売されている(ターガス・ジャパン(株)から同様のVisor用製品「Targus Stowaway Portable Keyboard」も発売)。もしもあなたがPalm Vxと同m100を持っているとしたら、いったいどちらのタイプを買うのが得策だ

ろう？ その場合はPalm m100 / c共用タイプを購入して、「DockV」などのアダプターを使ってPalm Vxでも使えるようにする方法がお勧めだ。こうすればPalm Vx、同m100、同 c、WorkPad 30J、TRGproなどで同じものが使えるようになるのだ。すでに2機種以上のPalmを持っている場合も、周辺機器購入時に工夫して、周辺機器にかかるコストをなるべく少なくしよう。



●Palm Computing Portable Keyboard
問 パーム コンピューティング(株) (TEL 03-3834-5250)
価 1万2800円
URL <http://www.palm-japan.com/>

eyemoduleをVisor Prismで！

いくつも買うとなると無視できないVisorのspringボードモジュール。デジタルカメラモジュール「eyemodule」はVisor Deluxe専用なのだが、ソフトをPalm OS 3.5搭載機用の「eyemodule v.3.50」にアップデートすることで、Visor Prismや同Platinumでも使えるようになる。製造元のウェブページから無償でダウンロード可能だ (<http://eyemodule.com/>)

これをダウンロードしてVisor Prismや同Platinumにインストールするだけ。しかも、eyemodule v.3.50はVisor Prismの6万5000色カラー表示にも対応し、ビューアソフトでも画像をカラーで確認でき、そのままほぼ写真画質を楽しめる。ただし、eyemodule v.3.50はVisor Deluxeに対応していないので、Visor Deluxeユーザーはアップデートしないように注意しよう。



●eyemodule
問 (株)エム・ディ・エス (TEL 03-3834-5250)
価 オープンプライス (税1万9800円)
URL <http://www.mds2000.co.jp/>

ウェブマスターのPalm使いこなし術

いざ新しいPalmを購入する気になっても、ついつい「今までのPalmで十分じゃないのか」「複数のPalmを持っていても意味がないんじゃないのか」など、ちょっと及び腰になるかもしれない。それならばと、Palmに熱い思いを注ぐウェブマスターに、Palmの購入動機や使いこなしを伺った。

ドクター yashimacさん

現在のメインマシン

メモ帳の延長がウェブブラウズに進化

メモ帳の延長でPalmを購入しました。紙のメモ帳はあとで整理するのが面倒だし、走り書きが自分でも判読できなかったので……。当初は、WorkPad 30Jをスケジュール管理とメモに使っていましたが、出先でのメールチェックとウェブブラウズの必要性が高くなり、ジョグダイヤルで片手操作のできるCLIE PEG-S300にしました。すべての環境をCLIEに移行したいまでも、WorkPad 30Jはゲーム専用機として活躍中です。

●WorP@holic
<http://www.worpaholic.com/>



ほぼ毎日更新されるPalmの総合情報サイトで、業界の周辺の話も手広く扱う。ベタベタだが親しみがわく語り口も人気の秘密だ

O-Yanさん

現在のメインマシン

最初はスタイルにひと目惚れ 今度は実用性にひと目惚れ

Palm関連情報サイトで英語版「Palm V」の写真を見つけ、そのスタイルにひと目惚れしました。その後、容量2MBしかないPalm Vのメモリー増設を考えていたところ、英語版のVisor Deluxeの発売を知り、値段と拡張性にコレマタひと目惚れ。乗り換えを決意しました。現在は主にVisor Prismを使っていますが、屋外で使うときは液晶が見にくい同Platinumや同Deluxeなどの、モノクロ液晶版と併用しています。

●Visor-Japan.com
<http://visor-japan.com/>



Visorに特化した読者投稿型の情報サイト。ケースやスプリングモジュールなど、Visorの周辺機器レビューも素早く、詳しい

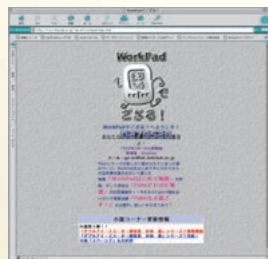
ilovemacさん

現在のメインマシン

カラー液晶は「癒し」ゲームには必須でしょう

最初に買ったWorkPad 30Jが壊れてしまい、次に何を買おうか考えたときに、「やっぱりカラーが使ってみよう！」ということでPalmデバイスで初のカラーマシンPalm cを買いました。カラー液晶なんて必要ないという意見もありますが、その一方でカラー液晶は持っているだけで満足するという「癒し」の効果があります。このおかげでだいぶ癒されました。それに、やっぱりゲームはカラーでなきゃダメでしょう!!

●WorkPadでござる!
<http://www.linkclub.or.jp/go-eri/workpad-index.htm>



自身の体験に基づいたPalmの使いこなしをおどけた口調で語るエッセイサイト。小説も公開しており、最近ではザウルスの記事も登場

えりえり / 小田嶋絵里さん

現在のメインマシン

マシンの特徴を踏まえればおのずと使い分けもできる

特徴のあるマシンはとりあえず買ってます。CFカードが使えるからTRGpro、通信機能を内蔵するからWorkPad 31J - -と、特徴がつかめれば、使い分けも簡単。いまは、ゲームマシンにPalm c、フェイスプレートでめかし込んでちょっと持ち歩くのにPalm m100、通信用のメインマシンにVisor Prism、eyemoduleを挿しっ放して、写真撮影を楽しんでいます。

●今宵Palmであいましょう。。
<http://www.withpalm.net/>



カフェやレストラン、紅茶リストなどのデータ集が魅力。わかりやすいコンテンツの中にディープな記事も兼ね備えたサイトだ

モーリーさん

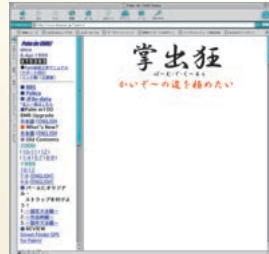
現在のメインマシン

改造王が選ぶのは最高級機と入門機

CPUに最速の「Dragon Ball VZ」を搭載したカラー Palm。以前、カラー機としてPalm cを所有していたが、描画の遅さから敬遠してしまった。もともとVisor Deluxeを持っており、その拡張性の魔力からは逃れられず、そこへ待望のVisor Prismが登場。改造の新ネタを求むべく、すぐに英語版を輸入した。現在は16MB化して活躍中。また、「割れない」プラスチック液晶のPalm m100は、普段持ち歩くのに一番安心だ。

●Palm de COOL!

http://www.fureai.or.jp/mori-t/



ハードウェアの改造情報を発信。海外からの注目度も高い、日本が誇る技術系No.1サイト。スマールアイコン集も見逃せない



みのたん(藤田 実)さん

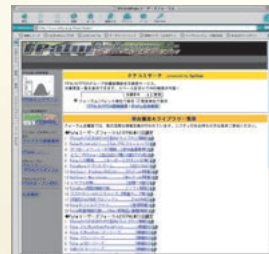
現在のメインマシン

派手な新型モデルより長く付き合う定番モデル

軽快な動作と可能性広がるHack環境の存在で、Palmにハマる。PIM情報やDOCビューアなど、メイン環境としてVisor Deluxeを使用。いつもかばんがポケットに入っている。また、カラー対応ゲームやムービー、デジカメにはVisor Prismを使う。そのほかに、クレードルを持っていけない長期出張の場合は、VAIOノートとCLIEでメモリスティックを活用し、通信環境を利用したい場合はTRGproとP-inComp@ctを持ち歩く。

●FPALM

http://www.nifty.ne.jp/forum/fpalm/



日本のPalm創世記を支えた、現@ニフティのフォーラム。現在も活発な議論が展開されるが、参加には登録IDが必要だ

ポチさん/Yuko Tanakaさん

現在のメインマシン

仕事・通信・娯楽得意分野を生かす

興味本位で買ったときは、こんなに使えるなんてまったく期待していませんでした。現在のメインマシン(Visor Platinum)を選んだ理由は、スピードが速く、大きさも手ごろ、そして電池の持ちがいいという、仕事でバリバリ使うにはバランスの取れたマシンだから。P-inComp@ctを挿したTRGproはデータ通信には最適。Visor Prismは画面の美しさと拡張性を生かして、MP3プレーヤーやゲーム、デジカメ撮影を楽しんでいます。

●Palmをポケットにつめこんで

http://www.mobile-dog.com/palm.html



初心者優しい「PalmWorkPad ワン×2ポイント講座」や「同クリニック」あり。特にマックユーザー向けのTIPS満載の定番サイトだ



Pal Macさん

現在のメインマシン

持ち運ぶものだけにポイントはズバリ携帯性

パソコンとの充実した連携機能や、豊富なソフト、活発なコミュニティに引かれて、Palmに注目するようになった。現在のメインマシンはPalm Vだが、その理由は携帯性のひと言に尽きる。バックアップ用として、CFカードによりメモリーを大幅に搭載できるTRGpro、カラー環境を楽しむためにCLIE PEG-S500Cも使用。スプリングボードモジュールに期待してVisor Deluxeもあるが、いまのところは期待外れの感が強い。

●Pal Mac 2001!

http://pal-mac.com/



MacとPalmに関するTIPS掲載のほか、本誌CD-ROMにも収録の「青空文庫Palm本の部屋」や「英文メール講座」も注目の記事だ

骨の髄までPalmをしゃぶる

複数のPalmを所有するウェブマスターがそろって口にするのは、同じPalm OSを搭載したPDAでも、よく見ると1つ1つが個性的なマシンであるということ。PIM情報を管

理するメインマシンのほかに、ゲームや通信などの用途によって、最適なマシンをチョイスしている。Visor Prismの人気が高かったのも、最高スペックという強烈な個性のなせる技だろう。

もう1つ際立ったのは、彼らがPalmを骨

の髄までしゃぶり尽くそうとしていること。ちょっとうがった見方をすれば「Palmでそこまでやるか」という気もするが、インターネット端末や携帯音楽プレーヤーとしても、Palmが十分役立つことを、身をもって示してくれているのだ。

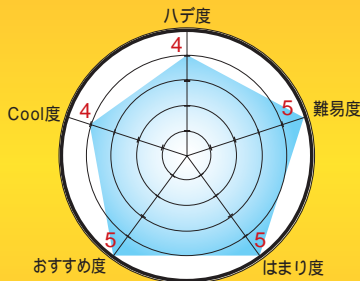
160×160ドットで**遊び倒せ!**

小田嶋 絵里 文

GO GO Palm Gamers!

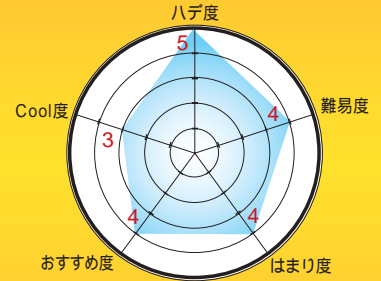
Palmを単なる電子手帳だと思っていたら、それは大きな間違い！
仕事の息抜きにゲームだって楽しめる頼れる相棒なのだ。
このコーナーでは、そんなPalm用ゲームを紹介していこう！

手のひらの上のPalmの中を縦横無尽に駆け巡る
熱いレーシング2大ゲームが激突！



Race Fever

対応OS Palm OS 3.0以上、カラー対応
作者 デジタルフィクション社
価 24.95ドル
URL <http://www.digital-fiction.com/>



V-RALLY

対応OS Palm OS 3.0以上、カラー対応
作者 パームトップソフトウェア社
価 29.99ドル
URL <http://www.palmtop.nl/palm/vrally.html>



Point 1 似て非なる両ゲームを比較してみる

今回紹介するのはPalmの2大カーレーシングゲーム「Race Fever」と「V-RALLY」だ。同じジャンルのゲームでありながら、それぞれ特徴が異なる。では、さっそく両者を比較していこう。

Race FeverはPalmの中に3Dを再現した恐るべきゲーム。16種類もの豊富なコースを用意し、プレイヤーを飽かさせない。さらに驚くべきことに、赤外線による2P対戦が可能だ。Palmならではの機能を盛り込んだ点は評価できる。

一方、V-RALLYは「Peugeot 306 MAXI」「Mitsubishi Lancer」などの

WRCカーが実名で登場し、激しいバトルを展開する。非常に多彩なコースを用意しており、それぞれの環境によってさまざまな障害がプレイヤーの前に立ちはだかる。例えば、雪が降り出したり、急な段差、水たまりによるドリフト、障害物やほかの車との激突によるクラッシュなどを再現。また各国のコースに合わせて現れる障害物と背景のグラフィックがとても楽しく、ついその景色に引かれて先に進みたくなる。

対戦プレーを選ぶか？ それともクセのあるコース設定を選ぶか？ ころころ選別のポイントになってくるだろう。

V-RALLYは「Peugeot 306 MAXI」「Mitsubishi Lancer」などのWRCカーが実名で登場するのがうれしい





Point 2

スタイラス派？ ボタン派？ どちらを選ぶかが運命の分かれ道

タイプこそ異なれど、実はRace FeverとV-RALLYには一つ共通点がある。それは通常のボタンだけでなくPalmならではのスタイラスペンによる操作が可能だ。しかし、それぞれのゲームでどちらの操作方法を選ぶかで運命が分かれてしまうのである。

Race Feverの場合、コーナリングや障害物を避けるといった細かい操作には、ボタンよりもスタイラスのほうが向いている。ボタン操作では、一押しするだけで大きな角度で車がガラリと向きを変えると

うシビヤな設定になっており厄介だ。

一方、V-RALLYはその逆で、ボタン操作のほうがコーナリングワークがより細かく、容易に行える。コーナーをまわろうと思ったら小刻みにボタンを押し、角度を調整しながらスピードを落とす、これで綺麗にまわってしまうのだ。

スタイラスペン操作にするか、ボタン操作にするか。ハイスコアを叩き出すには、この見極めがポイントになってくる。

「Palmならではの楽しみ方を」というならばスタイラスペンで

「使い慣れたものがいちばん」ならばボタン操作で



Point 3

Palm最強のカーレースゲームはどっちだ？

Race Feverはチームによる2P対戦モードに対応！



V-RALLYは英、独、仏、西の4カ国語に対応。下図はフランス語表示だ

では、どちらがPalm最強のカーレースゲームと呼ぶに相応しいのだろうか？ リアルティを求めるならば、Race Feverを推したい。プラクティスモードをクリアしないとレースに参加できない点やチームによる対戦モードが用意されている点は、こだわり派を納得させるものがある。一方、いわゆる「ゲームらしさ」を求めるならば、ちょっと昔ながらのアーケードゲームを彷彿とさせるグラフィックのV-RALLYのほうが筆者としては「ゲームらしい」と感じる。

どちらが最強のゲームなのかは、読者の皆さんが実際にプレーして決めていただくのがベスト。さあ、今すぐプレーしよう！

Palmデバイスによって楽しみ方が変わる！

今回紹介したゲームは使用しているPalmデバイスによってまた楽しみ方が変わってくる。

Race Feverは、CLIEシリーズが搭載するジョグダイヤルに対応しており、シフトのアップダウン操作が可能である。V-RALLYには、バームトップ ソフトウェア社のWeb

ページから入手するオンライン版だけではなく、Visor用のスプリングボードモジュール版「V-RALLY for Visor」も用意されている。この手のゲームはなにかとメモリーを消費してしまうもの。メモリーに余裕がない場合、スプリングボードモジュールを挿すだけで手軽にゲームを楽しむのはうれしい。



V-RALLY for Visorは、国内ではオンラインショップ「Vis-a-Vis」が取り扱っている。
4980円
<http://www.visavis.co.jp/>

基本ソフトを使いこなそう



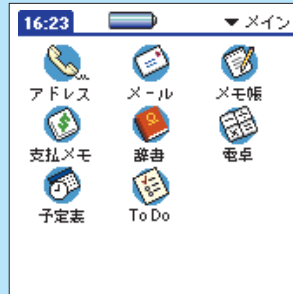
Palmの基本ソフトのひとつ「アドレス」PIM（個人情報管理）と呼ばれる4つのアプリケーションの中でもアドレスは便利至極。今回はその機能を紹介するとともに、スマートに使いこなすためのちょっとしたコツを伝授しよう。 八島伸之/ドクター-yashimac 文

Palmのアドレス帳はココが便利！

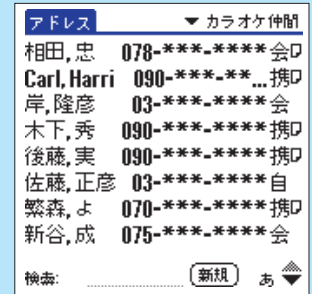
便利な点を挙げれば切りがないが、Palmのアドレスを使えば、分厚い紙の住所録はもう必要ない。これが最大のメリットだ。

Palmのアドレスは、最大約1万6000人分もの情報を登録できる（本体メモリー8MBの機種の場合）。連絡先の記入はもちろん、コメントを付けたり、項目をカスタマイズすることも可能。また、素早く検索／閲覧ができるのも便利な点だ。起動はハードウェアボタン一発。カテゴリー分け／かな検索が必要なデータに素早くアクセスできる。さらに赤外線による名刺交換も可能。紙の名刺のようにかさばらず、転記したり整理したりする必要もない。

こんなに便利なPalmのアドレスを使わない手はない。すでにPalmを持っている方も購入検討中の方も、本記事を読めば自然とPalmの底力を実感できるだろう。



ほかの基本ソフトと同様に、アドレスは「メイン」というカテゴリーに分類されている。アイコンをタップするか、あるいはハードウェアボタンの「アドレス」を押して起動する



「オプション」メニューにある「フォント」の項目で、文字の大きさ／太さを4種類から選択しているのと同じと試してみよう。フォントを変えるだけでもかなり見やすくなる

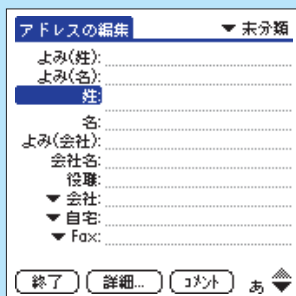
1 アドレスを新規登録する

アドレスを起動すると一覧画面が表示されるので、「新規」ボタンをタップして編集画面に切り替えよう。まずは姓名と会社名を入力する。入力欄は細かく設けられているが、すべての項目を入力する必要はない。入力データは自動的に保存されるので保存作業は不要だ。次に住所や電話番号などを入力。なお、画面下の「コメント」ボタンをタップして追加情報を入力することも可能だ。

最後に「終了」ボタンをタップすれば1件分の登録が完了する。

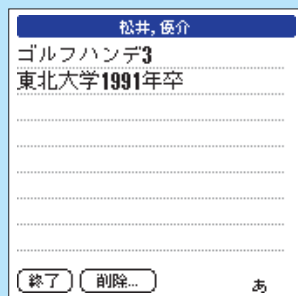
Palm上でアドレスを入力するのが面倒な場合は、Palm Desktopのアドレスに住所や電話番号などを入力してHotSyncすれば、パソコンに保存してある住所録データをPalmで活用できる。もし、住所録ソフトを使っているなら、そのデータをタブ区切り形式で書き出してPalm Desktopで読み込むことも可能だ。

1 必要事項を入力



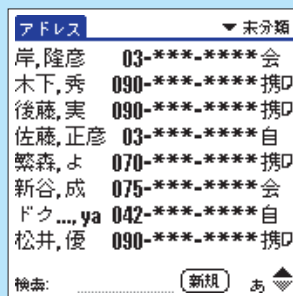
姓名の「よみ」は、姓名を入力すると自動的に入力される。連絡先は最大5個まで入力可能。「携帯」「E-mail」など、8種類の中から選べる

2 フリーコメントを付ける



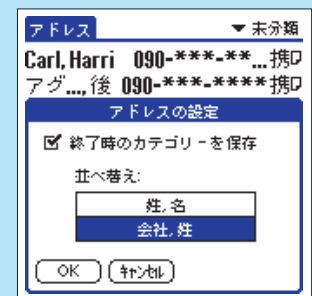
入力し終わったら「終了」ボタンをタップする。一覧画面のアドレス右端にある空白部分をタップすると、コメントを追加することができる

3 スクロールも自由自在



アドレスが増えたら、右下の「終了」または上下ボタンで一覧画面をスクロール。右端のアイコンは、コメントが付いていることを示す

4 姓名以外で並べ替え



一覧画面のアドレス表示を「会社、姓」で並べ替えられる。「終了時のカテゴリを保存」にチェックしておけば、常に前回の状態で起動できる

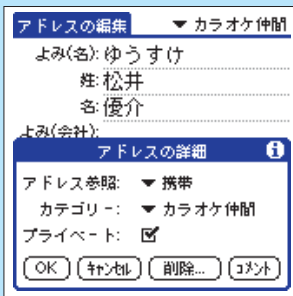
2 アドレスを編集する

編集したいアドレスを一覧画面で選び、閲覧画面に切り替えて、さらに「編集」ボタンが画面のどこかをタップすれば任意の項目を編集できる。「よみ」の先頭にアルファベット(例えば「鈴木」なら「sz」など)を付けておくと、最小限の入力で検索でき便利だ。

画面下の「詳細...」ボタンをタップして現れる「アドレス参照:」の項目で一覧画面に表示する連絡先を変えられる。メニューの「オプション」にある「カスタムフィールド...」の項目で、ア

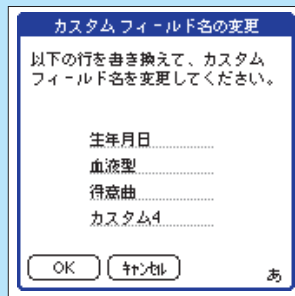
ドレスごとの付加項目を最大4つまで自由にカスタマイズ可能だ。他人に見られたくないアドレスは、「詳細...」ボタンをタップして「プライベート」チェックボックスにチェックするとプライベートデータとして扱える。一覧画面に戻り、メニューの「オプション」にある「データ保護」を選び、「データをマスク」または「データを非表示」にすればデータを隠せる。ただし、「ホーム」にある「データ保護」でパスワードを設定しておく必要がある。

1 表示項目を変更



「アドレス参照:」の横にある「」をタップして一覧画面に表示させたい項目を選択。携帯電話など、よく使う連絡先を指定しておくとう便利だ

2 項目名もアレンジ



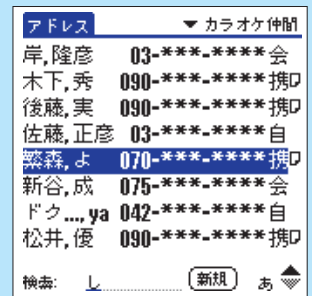
カスタムフィールド名の変更はアドレスすべてに反映される。個々のアドレス、カテゴリごとに変更できないのが、唯一残念な点だ

3 セキュリティを強化



灰色に塗りつぶされているのがマスクされたアドレスで、右端には鍵アイコンが表示される。これらを表示するにはパスワードが必要だ

4 いつでも素早く検索



かな検索が可能。ちなみに、検索したアドレスを選択したままGraffitiエリアに「(スラッシュ)」を書けば、閲覧画面に切り替えることができる

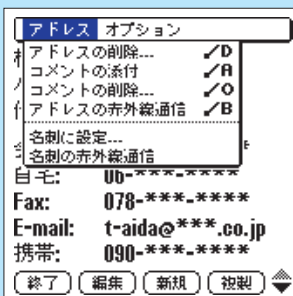
3 赤外線で名刺を交換する

赤外線の名刺を交換するには、まず自分のアドレスを名刺に設定しておく必要がある。一覧画面で自分のアドレスを選択し、閲覧画面または編集画面に切り替える。メニューの「アドレス」にある「名刺に設定...」をタップして表示される「名刺に設定」画面で「はい」をタップすればOK。あとは、相手のPalmデバイスに向けてアドレスボタンを2秒以上押し続ければ名刺を送信できる。

同様に「アドレス」にある「名刺の赤外線通信」をタップしても名刺を送れる。

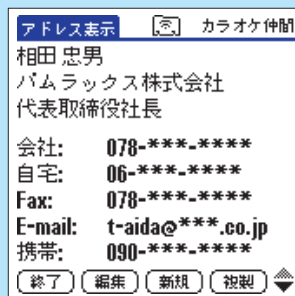
また、名刺以外の任意のアドレスを個別に送信することも可能だ。送信したいアドレスを一覧画面で選択して閲覧画面に切り替える。あとは、メニューの「アドレス」にある「アドレスの赤外線通信」をタップすればいい。

1 アドレスを名刺に設定



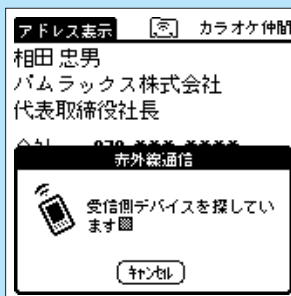
名刺に設定できるのは、すべてのアドレスデータの中からひとつのみ。ほかのアドレスを名刺に設定すると、従来の名刺設定情報は解除される

2 名刺アイコンが付けばOK



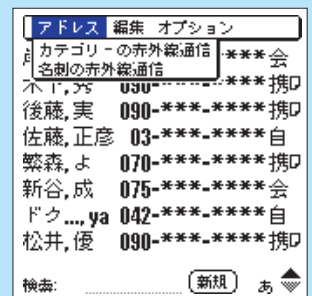
名刺として設定されたアドレス画面の上部には、「名刺」アイコンが表示される。赤外線ポートの設定をしていなくても、名刺の送信は可能だ

3 アドレスボタンで送信



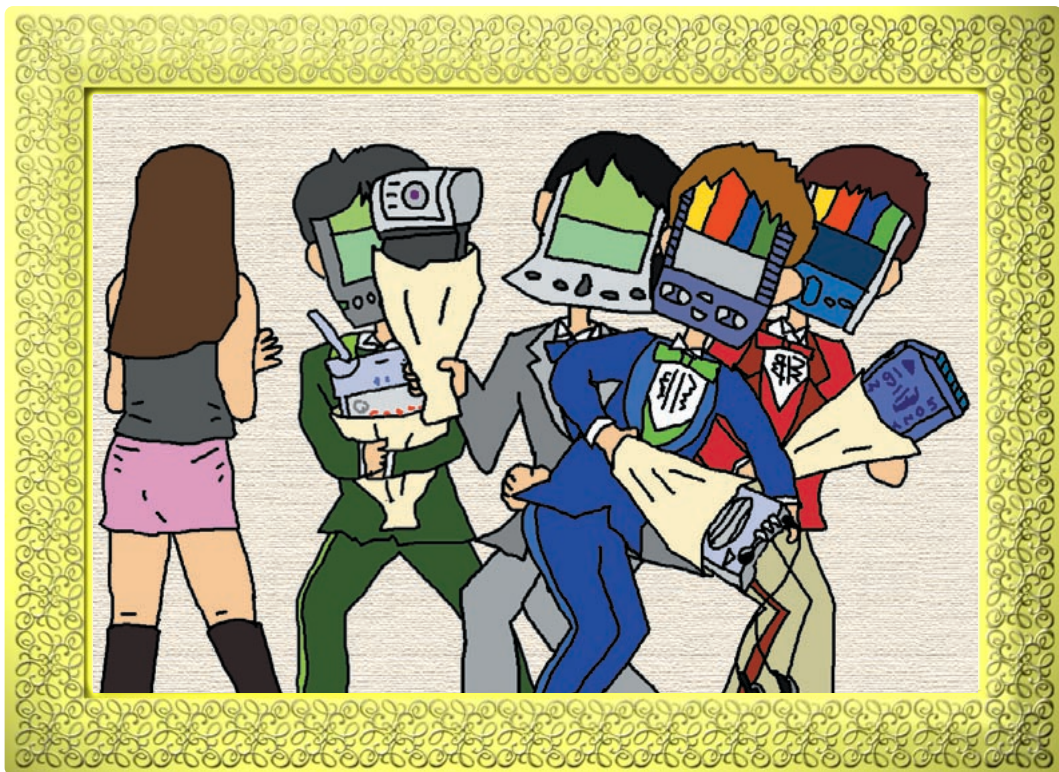
受信側のPalmは、「環境設定」にある「赤外線通信の受信」項目を「オン」にする。Palm OS 3.5以降では、受信時にカテゴリ分けも可能だ

4 カテゴリ丸ごと送信



メニューの「アドレス」にある「カテゴリの赤外線通信」をタップすれば、現在表示しているカテゴリの全アドレスを一括して送信できる

パーム美術館



作品名 「module」



「シ

ンプルさ！」を何よりも大切に
するPalmには、「モジュール」という概念がある。マシン自体のシンプルさを守るために、すべての人が使うとは思えない機能は搭載しないで「オプション」にとどめておこうという考えだ。いくら魅力的で、先進的でも、あくまで個人の趣味によって追加する、と。

これが最も顕著なのはハンドスプリング
機製のVisorで、こいつは独自の
スプリングボード
「Springboard モジュール」というゲームボ
ーイも真っ青の拡張スロットを持っている。標準以外の機能は、すべてこの追加モ
ジュールというかたちで提供しようという
わけだ。すでに、メモリーカードやゲーム
ソフト、デジタルカメラ、MP3プレーヤー、
ボイスレコーダー、モデム、携帯電話など
が登場して話題を振りまいている。

そのほかのPalmでも、CFスロットを搭
載した米TRGプロダクツ社のTRGpro、自



社製品の圧倒的なパワーで普及を進めるメ
モリースティックに対応したソニー機製の
CLIEと、各メーカーはそれぞれの規格で
機能追加の道を追求している。本家パーム
コンピューティング機も、モバイルの新しい
標準を目指すSDカードスロットを次期
製品に搭載すると明言している。

PalmOS 4.0ではこれらすべての拡張性
に門戸を開いていくようだが、それぞれの
カード間に互換性はほとんどない。つまり、
このモジュールこそが、新しいOS内シェ
ア戦争の決定打になりそうな雲行きだ。

では、今後登場しそうなモジュールにど
んなものがあるのか？この辺の質問には、
どのメーカーも口が重い。素晴らしいアイ
デアほど、ほかのモジュール規格に奪われ
たくないからだろうが。

ところが今回、匿名を条件にいくつかの
アイデアを語ってくれた善意の企業関係者
がいた。それをこっそり紹介しよう：



絵と文 機長@パーム航空
http://palm.org/

出張先の朝のホテルの洗面所で便利。ヘ
ッドは水洗いもOK！
胸ポケットに入れておくだけで、磁気
の力で肩凝りにさようなら！
鼻腔の不快感を防止！デートの前に最低
限のマナーでもある！
夜間でもつめが飛ばないだけじゃなく、
深つめ防止機能付き！
超小型CCDカメラによって、耳穴の中
をリアルタイム表示しながら快適に！
靴の中に足を挿入するための補助的役割
を果たしながら、同時に電磁波の力で嫌
なにおいもシャットアウト！

.....この、あまりに奇抜なアイデアを聞いて、私は企業関係者に尋ねた。「このアイデアはいつごろ現実化するのですか？」と。すると、「その前に、これらのアイデアを買
ってくれそうな企業をあなたは知っていますか？」って、たぶんそんな企業はない。あつたら私が知りたいぞ。

個性で選ぶ 外付け キーボード

Palmの文字入力に少しでも
ストレスを感じていたら、
今すぐこのコーナーをチェック！
個性豊かなキーボードの中から
自分に合った製品が
きっと見つかるはず。

西野嘉憲 文

もっと快適に! さらにスピーディーに! 入力作業を強力サポート

用途と場所に合わせて選ぶ オススメキーボード

「グラフィティーでの入力にどうしてもなじめない」「大量のテキストをPalmに直接入力したい」

.....そんな人にとって強力な助っ人になるのが外付けキーボード。

オフィスで、出先で、旅先で、いつでもどこでも快適な文字入力を実現してくれる。

まずは、自分が使うシチュエーションを想定して、目的に合ったキーボードを選びたい。

携帯性
&
実用性

外出先でもOK。 これぞPalmの生きる道

システム手帳代わりにPalmを使っている人にとっては、もはや旅行や出張時にも手放せない荷物のひとつに違いない。出先で仕事の文書を整理したり、取材の原稿を下書きしたり、といった作業は普段使い慣れたパソコンのキーボードの感触に限りなく近いものであってほしいもの。そして同時に携帯性も考慮に入れなければならない。そんなわがままに応えてくれたのがこれらのキーボードだ。



カバー付きのキーボードは、らくらくカバンに入る大きさ。Palmと合わせてもB5のノートパソコンよりも小さくて軽いのがうれしい。



もちろん出張には手放せない。この通り新幹線の座席テーブルにもジャストフィット。省電力のPalmだからバッテリーの心配が少ない点は、他のモバイルよりも大きなアドバンテージ。



折り畳み式だから、旅のお供に最適。いつでもどこでも手軽に開いて、旅の雑感をしたためる.....なんてこともお手の物。



GoType! Pro
(米ランドウェア社)
P.84



Portable Keyboard
(パーム コンピューティング株式会社)
P.85



Targus Stowaway Portable Keyboard
for Handspring Visor
(ターガス・ジャパン株式会社)
P.85

オフィス
で
活躍

実用性を最優先。 オフィスのデスクでも快適入力

なにより操作性を優先させたい人にはこの2機種をお勧めしたい。普段使っているパソコンのキーボードをそのままPalmと接続できるHappy Hacking Cradle。クレードルをシリアルポートに差し込むだけのPDA Keyboard Pro。オフィスや自宅のデスクで、快適に入力作業を進めることができる。



パソコンのPS/2キーボードをそのまま差し込むことができるHappy Hacking Cradle。またシリアルケーブルを使ってHotSyncも可能だから、オフィスまたは自宅のどちらかに置きっ放しにするのもひとつの使い方。



メカニカルスイッチのキー感が魅力のPDA Keyboard Pro。Palmとの位置を自由に変えることができるので、散らかったデスクの上でも苦にならないかも。



Happy Hacking Cradle
(株PFU)
P.86



PDA Keyboard Pro
(株テックパーツ)
P.86

いつでも
どこでも
気軽に入力

小さいけれど、 頼れるキーボード

Palmの大きな魅力のひとつであるコンパクトな携帯性を犠牲にたくないならコレ。人目を気にせず、まるでゲームでもするような雰囲気ですりげなく入力できるのはうれしい。いつもの感覚で、いろんなシチュエーションで、スタイラスを併用しながらフレキシブルに活用したい。



電車の中で、スケジュールを書き込むのはPalmユーザーの日課。でも、万ースタイラスを落としてしまったりすると大変。これで、その心配からも解放された？



会議や、打ち合わせのときに、大げさなキーボードをテーブルに置くのはちょっと気が引ける。でも、これなら人目も気にならない。ちょっとしたメモなら紙に書くよりずっとスマート。



SH-Keys
(富士通高見澤コンポーネント株)
P.87



ThumbType
(リンク・エボリューション株)
P.87

全7機種 キーボード徹底分析

自分の入力スタイルをイメージできたら、次は各キーボードの詳細を検証しよう。対応機種はもちろん、大きさ、重さ、電源の種類など、十分に確認のうえ購入に踏み切りたい。

GoType! Pro

対応機種

Palm Computing® III,Vシリーズ
Work Pad c3
Visor Deluxe

操作性

携帯性



携帯性
&
実用性

クレードル機能を備えた 頼れるキーボード

まず外見的特徴として、キーボード全体を覆うカバーが付いていることが挙げられる。つまりこの製品の開発コンセプトとして、携帯性を重視していることがうかがえる。さすがに次のページで紹介しているポータブルキーボードにはかなわないものの、幅約25cm、高さ3.8cmだから普段雑誌や書類を入れているカバンにらくらく入る。重さも340gだからまったく気にならない。

カバーの裏面にはクレードルが一体となっており、しっかりと差し込めるので、Palmとの一体感、安定性は非常に高い。少し慣れれば膝の上に載せてタイピング……なんて芸当も十分にこなすことができる。

機能的な特徴は、側面のシリアルポートでパソコンと接続して、Palmをキーボードに装着したままHotSyncができること。電

源はPalm本体から供給されるが、PalmシリーズおよびWork Pad c3用には充電用のポートも用意されているので、長期の旅行でもこのセットだけで大丈夫なのは頼もしい。逆にこれ以外、特にカラー液晶画面のPalm cを使う際はバッテリー残量のチェックを忘れないようにすることが大切だ。

キーはASCII配列なので、パソコンのキーボードでローマ字入力に慣れている人ならすんなりと移行できるだろう。キーピッチは17mm、キーストロークは2.3mm。ファンクションキーは、主なアプリケーションのほか、「Shift」+「Alt」キーとの組み合わせでさまざまな機能を割り当てられる。

なお、Visor Deluxe用は日本語OSでの使用時、日本語変換の候補選択をスクロールキーで行うことができない。スペースキーで変換候補を呼び出す必要があるので注意が必要だ。



Palmの差込口の下には、クレードル機能とキーボード機能の切り替えスイッチがある



シリアルポートは左側面にある



キーボードの下には、引き出し式のステーがあるので安定性は抜群。また、スタイラスを立てておくことができる穴が左右にある

サイズ：幅254×奥行き102×高さ38mm
(キーボード収納時)

重量 340g

■ 1万2800円 (for Palm ,Work Pad c3)
1万1800円 (for Palm ,Handspring)

問 ㈱ミヤビックス

(E-mail info@visavis.co.jp/)

URL http://www.visavis.co.jp/

Portable Keyboard

対応機種

Palm Computing®
 IIIc・m100(Work Pad 30J,31Jに対応),
 Vx(Work Pad 40J,50Jに対応)
 Visor Deluxe, Platinum, Prism

操作性

携帯性

Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor

携帯性
 &
 実用性



Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor



Portable Keyboard

折り畳むと パーム本体並みの大きさに

この2つのキーボードの最大の特徴である折り畳みギミックには誰しも意表をつかれるはずだ。4つに折り畳むと写真の通り、手のひらサイズ。Palmデバイスとほぼ変わらない大きさになる。両機種とも機能、操作方法に変わりはなく、対応機種が異なるだけだ。

フルサイズのキーは携帯性を重視しているため、高さは抑えられているが、キータッチの感触には程よいクリック感があり、ストロークの深さも十分だ。コンパクトさと操作性が非常にバランス良くとられている。ちなみにキーピッチは19mm、キーストロークは3mm。普段使い慣れているパソコンのキーボードと交互に使い分けても、意外に違和感はない。

キーはJIS配列、5段68キーで日本語106キーに準じたもの。加えてキーボード右側には4つのファンクションキーがあり、「予定表」「アドレス」「ホーム」「メニュー」「変換」「確定」など、ファンクションキーと「コマンド」キーに対応した3色に色分け

された文字がキートップにプリントしてあるので一目瞭然。また「コマンド」キーには9つのアプリケーションを割り当てることができる。そのほかショートカットキーも豊富に用意しており、いずれもドライバーソフトで簡単に設定、確認することができるので、入力作業中にスタイラスを使う必要はほとんどないだろう。

そしてこのキーボードには力強い味方「ATOK Pocket」がバンドルされている(パーム コンピューティング㈱販売の製品のみ)。あの「賢い日本語」変換をフルに使うにはやはりキーボードからの入力がベスト。ガンガン打ち込んでドンドン変換！これで最強のパーム入力環境が揃ったというわけだ。

感動的な携帯性を実現したこのキーボードにこれ以上の注文は酷かもしれないが、最後に気になった点を少々。全体の作りがややきゃしゃなこと。そして広げて使用時の状態にした際に、真ん中の折れ目が固定されないの、置き場所にちょっとした段差があると途端に不安定になること。これらが解決されればもう何もいうことはない。



折り畳めば、Palm本体と変わらない大きさ。この折り畳みギミックは感動的

サイズ：幅129×奥行き91×高さ20mm
 (キーボード収納時)

重量 224g

Palm Computing® Portable Keyboard

価 1万2800円

問 パーム コンピューティング㈱

(E-mail japansupport@jp.palm.com)

URL http://www.palm-japan.com/

Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor

価 1万2000円

問 ターガス・ジャパン㈱

(E-mail tech@targus.co.jp)

URL http://www.targus.co.jp/

Happy Hacking Cradle

対応機種

Palm Computing® III, m100
Work Pad 30J
TRG-Pro

操作性

携帯性

パソコン用PS/2キーボードがそのまま使えるグレードル

普段使っているパソコンのキーボードをPalmでも使えたら.....、そんな素朴な願望をかたちにしたのがHappy Hacking Cradleだ。クレードル機能を持つ本体に消費電力5V/50mA以下のパソコン用PS/2キーボードを接続することができる。

電源は単三乾電池2本。アルカリ乾電池の場合、同社のキーボードHappy Hacking Keyboardで約20時間、Happy Hacking Keyboard Liteで約500時間の連続使用を動

作時間の目安としている。

また本体にはシリアルポートとHot Syncボタンがあり、純正クレードル同様の操作でHotSyncを行うことができる。ということは、パソコンがある場所なら、PalmとHappy Hacking Cradleさえ持っていけばいいわけで、移動先が決まっている人には非常にお勧めできる製品だ。オフィスのデスクにはHappy Hacking Cradleを置きっ放しにするというもひとつの使い方だろう。



サイズ：幅85×奥行118×高さ24mm
重量 105g（キーボードを除く）
価格 オープン（PFU通販価格4200円）
問 株式会社PFU
（E-mail：hhc@pfu.co.jp）
TEL 0120-144-541
URL http://www.pfu.co.jp/

オフィス
で
活躍



ふたを開くようにしてクレードルをセッティングする

PDA Keyboard Pro

対応機種

Palm Computing® シリーズ全機種
Work Pad
Work Pad c3

操作性

携帯性

メカニカルスイッチのキーボードPalmシリーズ全機種で使用可能

キーボードにあるシリアルポートにクレードルのケーブルを直接差し込む形式で、使い方はいたってシンプル。バッテリーは単四乾電池3本。キーボード左側面の電源スイッチは非常に小さく、ついつい切り忘れることが多くなるので注意が必要だ。

キーボードの大きさはちょうどGo Type! Proと同じくらいだが、こちらはクレードル

がキーボードにない分キーが大きく、操作感は上々。キー配列はASCII配列で、6つのファンクションキーにはドライバーソフトで機能を自由に割り当てることができる。

Palmとキーボードに加えてクレードルまで持ち歩くのはやや煩わしいので、どちらかというど据え置きとして利用するほうが向いているだろう。クレードルのケーブルの長さを利用して、デスク上にPalmとキーボードを自由なレイアウトで配置して入力できるのは、これだけだ。



左側面の電源スイッチ。切り忘れに注意

オフィス
で
活躍



サイズ：幅259×奥行119×高さ29mm
重量 280g
価格 1万2800円
問 株式会社テックパーツ
（E-mail tecparts@din.or.jp）
URL http://www.tecparts.ab.psiweb.com/

SH-Keys	対応機種	Palm Computing® IIIc,Vx Work Pad Work Pad c3	操作性
			携帯性

いつでも
どこでも
気軽に入力



サイズ：幅95×奥行80×高さ20mm
重量 75g
価 オープン
問 富士通高見澤コンポーネント㈱
TEL 03-5449-7014
URL <http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/ft/>

いつでも どこでも
片手で入力OK

18個のキーで片手入力が可能なキーボード。右手用と左手用が用意されている。写真の通り、キーボードを合体させた状態でも非常にコンパクトなため、手に持って立ったままでも入力できる。またスペースが限られた場所や、会議中などで大きなキーボードを広げにくい状況でもこれなら抵抗なく使えるだろう。また、スタイラスが使えない(なくした)ときにも有効だ。

それぞれのキーにはアルファベット、記号、数字が3~4種ずつ割り当てられている。ローマ字入力すると、専用のドライバーが複数あるアルファベットのうちいずれかを自動選択し、正しい日本語に変換していくという仕組み。

フルキーの使用感とは隔たりがあるが、このキーボードの存在価値は別次元にあり、先述したように使用目的が明確な人にはかえられない魅力を持ったキーボードだといえる。

ThumbType	対応機種	Palm Computing® III,Vシリーズ Work Pad Work Pad c3	操作性
			携帯性

いつでも
どこでも
気軽に入力



価 6800円
問 リンク・エボリューション㈱
TEL 03-5301-2700
URL <http://thumbtype.com>

手軽さは文句なし
操作性も想像以上!

Palmの「グラフィティーエリア」に張るだけのお手軽キーボード。「Palmの携帯性を絶対に損ねたくない! けどグラフィティー入力には抵抗が.....」という人にぴったりだ。まずドライバーで指位置のキャリブレーションをする。そのあと文字入力中にタイプしたキーと違う文字が入力されてしまう場合は、間違った側のキーを連続して何回もタイプすると、キー学習機能が働いてよ

り正確なキー認識を行うようになる。

実際の使用感は想像以上に快適で、マニュアル通り、親指の腹で軽くタッチするだけで入力できる。ThumbTypeのシールで隠れている部分は、入力画面上に呼び出すこともできるので、従来の機能が制限されることもない。裏面は特殊シートで貼ったり、はがしたりすることができるので、使わないときはPalmの裏にでも貼っておくといいたいだろう。Palmの携帯性を存分に発揮できるユニークなキーボードだ。

Column

続々登場! 最新 Palm 用入力ハードウェア&ソフトウェア

Matias Half Keyboard for Palm

幅150×奥行82×高さ15mm、Palm本体とほぼ変わらない大きさのキーボード。22個のキーで構成され、それぞれが複数の役割を持っているのはSH-Keysと同様だが、こちらは「スペース」キーなどで切り替えながら入力する。詳しくは下記URLで。

URL <http://www.halfkeyboard.com/product/hk4palm.html>



Mocha W32 Keyboard

ウィンドウズパソコンのキーボードからPalmに入力することができるソフトウェア。クレードルでパソコンと接続し、「Mocha W32 Keyboard」を起動すると、Palmの画面がパソコンのモニターのウィンドウ上に現れる。このインターフェースを介して、パソコンとPalmの双方向の入力を行うという仕組み。

URL <http://www.mochasoft.dk>からダウンロードすることができる。シェアウェア・9.95USドル。



一流ブランドの存在感



HERMÈS CASE for Palm V/Red

価 12万円(参考価格)

問 Vis-a-Vis

@ info@visavis.co.jp

URL <http://www.visavis.co.jp/>

こだわりのケースを纏え!

文 水谷成智【モバイルショップ Vis-a-Vis 代表取締役社長】



シャフトに刻印された「HERMÈS」の文字。ブランドケース中でも、使用時には目に触れることのない部分にまでこだわりを見せたのは、エルメスが初めて



ステッチも非常に丁寧な作業が行われており、アクセサリの役割も果たす。名刺やカードが入るポケットを備えるが、何枚も入れて膨らませるのは無粋の極みだ

ブランド名に甘んじない 作り手のこだわりを見る

数あるPalm用ケースの中でも超一級の存在感を誇るエルメス製Palm Vケース。アメリカのPalm普及率は高く、一流ブランドからもさまざまなPalm用ケースが発売されている。コーチやルイ・ヴィトンなど、知名度の高いブランドからケースが発売されるたびに驚きの声が上がったものだが、今回エルメスからケースが登場したときの声は一段と高いものとなった。

エルメスといえば、パーキンをはじめとして「入手困難」の代名詞とも言えるブランド。そして、そのブランドイメージも一流ならば価格も一流だ。入手が非常に困難なモデルでは定価が20万円を超え、流通価格は30万円に迫ろうかという勢いを見せる。

Palm本体の固定にシャフトを使用するが、エルメスのケースは端にシャフトが取り付けられ、本体をくるむ格好だ。使用されている革はさすがに高級感あふれるもので、キメの細かさや柔らかさなど、純正ケースとは比べるべくもない。私は指紋が付くのも恐ろしく、いつもティッシュを使って写真撮影などを行っていたが、こういう人間は持ってはいけない、まさに選ばれた人々のためのケースだろう。

次に紹介するのは、首からつり下げる
スナップ カラーズ
「Snap Colors」だ。液晶を保護するだけで

なく、装着したままホットシンクできるという、使い勝手にこだわったPalm V用ケースだ。ユーザーの声をメーカーが吸い上げてデザインしたもので、幾度にもわたる仕様の変更の末に今の形に落ち着いた。また、液晶保護カバーは着脱可能でさまざまなカバーを別売するとのこと。その中には京友禅作家・林裕峰先生の作品も予定されている。

「VisorでもPalm やm100のように片手で手軽に扱えるカバーが欲しい」という声に応えるのが、香港生まれの「Smart Cover」だ。Visorに合ったトランスルーセントのケースで、機構自体はm100に付属するカバーに近い。少し慣れれば片手でカバーを開閉できるようになる。

最後は、革製シャツからノートPC用バッグまで手広く革製品を扱う国立商店から登場した「XTRA Palmオーガナイザー」だ。Palmとシステム手帳を丸ごとジッパーでくむわたちのケースで、やや大ぶり。もちろんコンセプトを同じくする製品は今までも多数リリースされてきたが、これはすべてのPalmデバイスに対応している。ベルトに固定されてPalmのスムーズな出し入れは難しいが、紙との連携を重視するユーザーには最高のケースだ。

the other specials

Snap Colors



Snap Colors

価 オープンブライズ(異) 3800円)

問 (株)デバイスネット

TEL 03-5765-6487

URL <http://www.devicenet.co.jp/>

端にある短いシャフトでPalm本体を固定する。左側にシャフトを挿入するため、スタイラスは右側に付ける

InnoPocket Smart Cover



InnoPocket SmartCover

価 2480円

問 Vis-a-Vis

@ info@visavis.co.jp

URL <http://www.visavis.co.jp/>

Visor付属のカバーと同じく、本体上部と下部で固定。本製品を付けたままで、ホットシンクはできない

XTRA Palmオーガナイザー



XTRA Palmオーガナイザー

価 1万2800円

問 国立商店

TEL 042-576-7567

URL <http://www.kawaya.com/>

外側に引き手があり可搬性に優れ、大きな収容力が魅力。Palm本体は革製ベルトによって固定される

Best Transfer Adviser

電車経路検索ソフト

徹底比較

電車経路検索ソフト、どれが便利？どれが正確？

マックス諸星：文
三浦健司(M2)：写真

Palmデバイスとの組み合わせによって、最大の効果が得られる電車経路検索ソフト。フリーからパッケージまで、いくつかリリースされている。しかし、これらを一度の試す機会はなかなかないもの。ここでは、それらのソフトの実際使い勝手を試してみた。

両国から表参道

新宿

代々木

明治神宮前

原宿

渋谷

表参道

青山一丁目

六本木

JR山手線

都営大江戸線

営団千代田線

日比谷

新御茶ノ水

御茶ノ水

水道橋

都営三田線

神保町

九段下

営団半蔵門線

赤坂見附

営団丸ノ内線

四谷

JR総武線



神保町

九段下



ENTRY



TRAIN for PalmPilot

フリーソフトとして手に入る本格乗り換えソフト

URL: <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>

種類: フリーソフト

作者: 今関弘明

対応: Palm OS 3.x

データ容量: エリアによる



JRトラベルナビゲータ for Palm OS

JRが発売する全国対応の経路検索ソフト

URL: <http://www.jnavi.ne.jp/>

種類: 市販ソフト (3619円) PC版と同梱

発売: ジェイアール東日本企画

対応: Palm OS 3.x

データ容量: 約110KB以上 (最大約1.4MB)



ハイパーダイヤ

路線検索と時刻表の両機能を備える

URL: <http://www.hyperdia.com/>

種類: 市販ソフト (3000円)

時刻表別途 (1000円)

発売: 日立情報システムズ

対応: Palm OS 3.5

データ容量: 約1.5MB



両国

TRAINの第一候補

Jナビ・ハイパーダイヤの第一候補

「両国」から「表参道」はレートが多く、どれも時間・料金が近接している。今回はこのレートをサンプルしてみた!



秋葉原



岩本町

都営新宿線

森下



有楽町

月島



新橋

大門

Palmデバイスの本質は、ズバリそのモバイルリピーターにあると言っても過言ではない。移動というポイントに特化して考えると、Palmと電車経路検索ソフトの組み合わせは、非常にしっくりとなじむものだ。

多くのビジネスマンの仕事の足は電車だろう。しかし、特に都心の電車の乗り換えはすこぶるわかりにくいのである。昨年末、東京都では都営地下鉄大江戸線が開通した。これで便利になるかと思えば、実は目的地への行き方がさらに複雑になってしまふ場合もあるのである。どの経路を使っていくのが最も速くもっとも経済的か。これを手のひらでアドバイスしてくれるのが、電車経路検索ソフトなのである。

今回取り上げたソフト3本は、どれも出発駅と到着駅を入力することで、最適と思われる電車乗換経路を検索してくれるもの。

それぞれのおおよその所要時間がわかる。

しかしながら、Palmデバイスという制限の中では、パソコンと同様の機能を持つことはできない。たとえば、その検索の範囲である。Palm用の場合は、そのデータが地域ごとに分割されており、地域データをまたがった経路検索ができないものもある。これは、Palmのメモリー容量を考えれば仕方ないことだ。しかし、通常の行動のなかで、急に地域をまたがった移動が発生するという事はあまりないと思われるし、Palmデバイスの性格上、それで充分でもある。必要なデータだけを絞り込んで携帯するというのが、Palmの思想であると考えられるからだ。

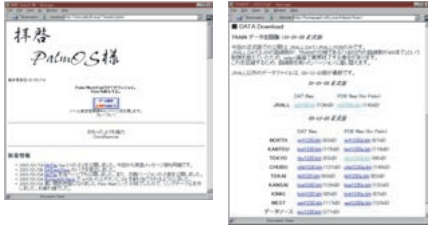
なお、この経路検索以外にも時刻表表示ソフトなど、移動する人にとって便利なソフトがある。これらについては、まとめて96ページで紹介しているので参照してほしい。

A 入手方法

B インストール

C 路線エリア&データサイズ

TRAIN



TRAINはもともとHP200LX、ウィンドウズCE用の同名ソフトであったが、Palm OS用に移植された。プログラムはフリーソフトなので、Webページから自由にダウンロードできる。路線データは、(<http://homepage1.nifty.com/kibojin/train/index.html>)にて入手可能。感謝して使おう。

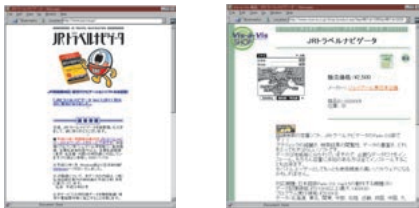


ダウンロードしたアーカイブを解凍すると生成される「train.prc」と、利用したいエリアのPDBファイルを、Palm Desktopを使ってHotSyncでインストールするだけである。最初の起動時だけは、データの読み込みに少し時間がかかるが、2回目からは快適な動作を得られる。

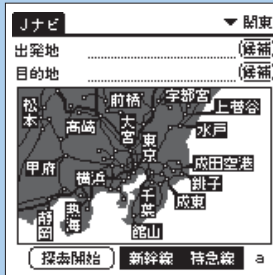
全国：主要JR	Jrall.pdb	194KB
広域：北海道/東北	North.pdb	135KB
広域：関東	Kantou.pdb	165KB
広域：中部	Chubu.pdb	187KB
広域：関西	Kansai.pdb	188KB
広域：中国/四国/九州	West.pdb	169KB
地域：東京周辺	Tokyo.pdb	93KB
地域：東海地区	Tokai.pdb	84KB
地域：近畿/京阪	Kinki.pdb	96KB

TRAINのデータでPDB化されているものは上記の表のとおり。メモリーの空き状況に応じて、広域データと地域データのどちらをインストールするかを選べる。データ容量はコンパクトになっている。プログラムやデータがフリーということもあって、データはユーザが自発的に作っていくというスタイル。ユーザーからのフィードバックや意見を掲示板を通して双方向にやり取りしている。

JRトラベルナビゲータ



JRトラベルナビゲータは、JR東日本企画が発売するパッケージソフト。ウィンドウズ版、CE版、Palm OS版がワンパッケージで店頭販売されている。「ベネフィットオンライン」(<http://www.benefit-online.co.jp/spec/bomart/jnavi.html>)からの購入も可能。また、Palm OS版については「Vis-a-Vis」(<http://www.visavis.co.jp/shop/>)でダウンロード販売されている。



まず最初にセットアッププログラムに従って、JRトラベルナビゲータをパソコンにインストールする。次に、JRトラベルナビゲータのプログラムファイルと、必要な路線データファイルをHotSyncでPalmにインストールする。路線データは入れすぎるとメモリーエリアを圧迫することになる。空きエリアを確認しながらインストールすること。

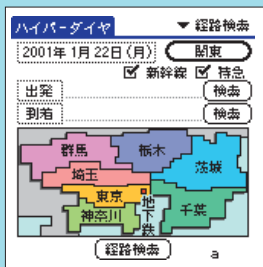
北海道	jnavhokk.prc	83KB
東北	jnavtoho.prc	146KB
北陸	jnavhoku.prc	112KB
関東	jnavkant.prc	304KB
中部	jnavchbu.prc	205KB
近畿	jnavkink.prc	230KB
中国	jnavchuu.prc	106KB
四国	jnavshik.prc	70KB
九州	jnavkyuu.prc	113KB

各エリアごとに9つのデータに分かれている。データ容量はやや大きめと言える。また複数のデータをインストールしていても、地域データをまたがる検索はできない。交通機関は新幹線・特急を含む電車のみで、飛行機や船を使った経路は検索できない。データのアップデートは年間サポート契約(1万円/年)を申し込むことによって、年4回CD-ROMが配布されるようになっている。

ハイパーダイヤ



ハイパーダイヤは、機能が一部制限されたデモ版が「CLIE」に標準添付されているが、基本的には日立情報システムズの市販ソフト。フルセット版は同社のWebサイトでも販売されているが、Palm版は「Sony Style」(<http://www.jp.sonystyle.com/peg/Store/software.html>)でダウンロード販売されている。



「hyperdia.zip」を解凍して、プログラムである「Hyper.prc」と、使用する検索用データをHotSyncでPalmにインストールする。時刻表を利用する場合には、こちらに必要なエリアのものをインストール。なお、ハイパーダイヤは日本語版 Palm OS 3.5以上でないと動作しないので注意。メーカーでは「CLIE」以外の動作は保証していない。

検索データ		JR時刻表データ	
北海道	Search_hokk.pdb 77KB	JRtime_hokk.pdb 131KB	
東北	Search_toho.pdb 112KB	JRtime_toho.pdb 237KB	
関東	Search_kant.pdb 259KB	JRtime_kant.pdb 1,024KB	
甲信越	Search_kous.pdb 89KB	JRtime_kous.pdb 222KB	
中部/北陸	Search_chbu.pdb 195KB	JRtime_chbu.pdb 382KB	
関西	Search_kans.pdb 194KB	JRtime_kans.pdb 638KB	
中国/四国	Search_shik.pdb 142KB	JRtime_shik.pdb 374KB	
九州	Search_kyuu.pdb 115KB	JRtime_kyuu.pdb 329KB	

全国8つのデータでカバーしている。検索データは小さめだが、時刻表データはかなり大きい。常用するものだけをインストールしたほうがいだろう。複数のデータをインストールしても、地域をまたがる検索はできない。新幹線・特急を含む電車以外の交通機関の検索はできない。最新版のデータはホームページからダウンロード可能。一定期間は無償でダウンロードできる。

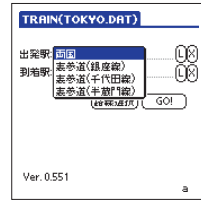
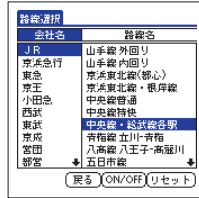


D インターフェース



文字だけのシンプルなインターフェース。入力画面も文字だけ、結果表示画面も文字だけである。それだけに軽快な動作が小気味よい。必要最低限な情報を正確に表示するという意味では、最もPalmらしい経路検索ソフトといえるのではないだろうか。

E 駅名入力



駅名の入力はローマ字でおこなう。ひらがなやカタカナで入力できないし、直接駅名を入力することもできない。途中まで入力してLボタンをタップすれば、駅名候補選択画面に瞬時に切り替わる。このリストの中から、目的の駅名を選択すればいい。また、一度選択した駅名は、をタップすることで表示できるので、2度目からはスピーディーな検索が可能となる。

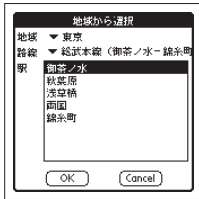
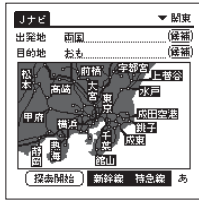
F 検索機能



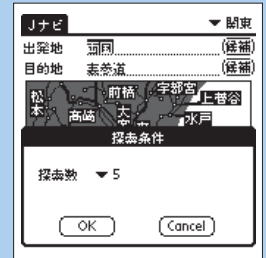
検索の機能としては、最も早いルートを一っただけ表示してくれるというもの。特に条件の設定や優先設定などはできない。表示は通常の乗換ポイントのみの表示と、詳細な駅ごとの所要時間の表示が選べる。検索結果の表示は速い。



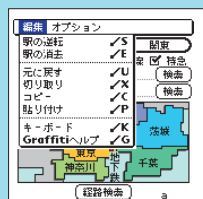
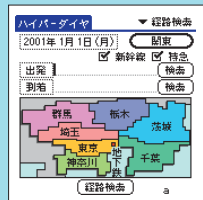
地図からの路線・駅名選択が可能。見た目のインターフェースはとつきやすい。しかし、地図はリアルで細かくて地域の選択がちよっとしにくいのが難点。東京を選んでタップしたつもりが、千葉だったりするのは残念なところである。もう少しタップしやすいグラフィックだとよいと感じた。とはいえ、操作は比較的軽快。快適に利用できる。



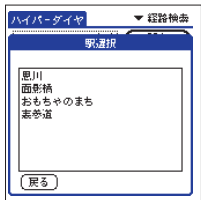
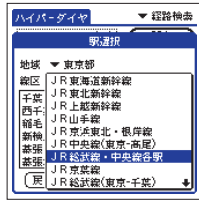
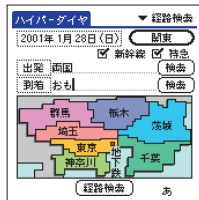
駅名入力はアルファベットでもひらがな・カタカナでもOK。途中まで入力して「候補」をタップすれば駅名リストがポップアップ表示される。そこから駅名を選択する方式。駅名を直接入力することはできない。また、履歴を保存することはできないので、検索ごとに駅、路線選択時の並びが頻度順になっていないため、選択に時間がかかる。



検索に対して、条件をつけることはできない。ただし、検索ルートの数は1~5まで選ぶことができる。すべて検索し終わるまでには少々時間がかかるが、検索が終わったもの、つまり最も時間の短いものから先に表示されるため、終了の遅さは気にならない。新幹線・特急線を含むかどうかを検索時に指定することが可能。



こちらも地図からの路線・駅名選択ができる。特に地図はデフォルメされていてわかりやすい。エリアがしっかりと県別に区切られており、タップしやすくなっている。さらに東京や大阪の場合は地下鉄を簡単に選択できるのがよい。通常のエリアで選択するとJRがリストの上に来てしまうだけに、これは便利。



駅名入力はアルファベット・ひらがな・カタカナのどれでも、途中まで入力して検索することができる。ポップアップした駅名リストから選択できるようになっている。駅名の履歴は保存されないため、検索ごとに入力しなければならない。路線からの入力では、「東京地下鉄」という区分もあり、非常に便利である。全体的に直感的に操作しやすい。



検索に関して、条件設定はない。検索ルートの数の指定もない。最も早いルートが複数表示される。ただし、第一候補が先に表示され、その裏でそれ以外の検索が行われる。従って、検索に時間がかかっても気にならない。新幹線・特急を含むかどうかの指定も可能。

G 複数エリア検索

TRAIN



複数エリアのデータの検索はできない。また、一度にインストールできるデータはひとつだけである。複数のデータファイルをインストールして切り替えるという使い方はできない。ひとつのデータを広域のエリアに対応していればエリアをまたがる検索が可能。全国JRのデータなら、全国のJRの乗換情報を検索できる。

H 検索結果



検索結果は文字だけで表示される。シンプルな表示で、最初はそっけなく感じるかもしれないが、慣れれば不満を感じることもない。最大の難点は、検索されるルートがひとつしかないこと。他のルートとは比較できない。ただし、標準の表示と詳細な表示ができるのはTRAINだけの特長。詳細画面では、駅ごとの到着時間を表示するので、あと何分程度で到着するか、すぐにわかる。

I 正確性

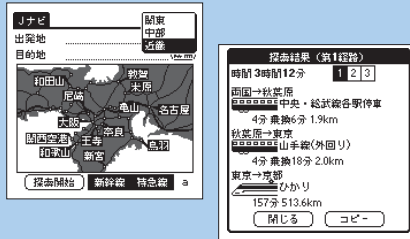
[両国～表参道] 推奨路線

第1候補: [両国] - JR総武線 - [四谷] - 丸の内線 - [赤坂見附] - 銀座線 - [表参道] 【所要時間】37分

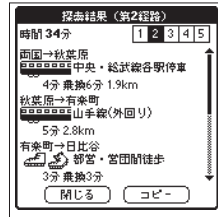
結果はひとつしか表示されないが、かえってそのほうが迷わずによいともいえるかも。ほかのソフトの検索結果と見比べても、ルートの大きく異なっていない。だが、時間は大きく差がいつている。他に全く同じルートを挙げたソフトはない。この[両国～表参道]では、やや遠回りの結果を選んでしまったようである。



JRトラベルナビゲータ



複数エリアのデータをインストールして、切り替えて検索することができる。しかし、複数のエリアデータにまたがる検索はできない。ただし、新幹線の駅だったら他のエリアでも検索ができる。渋谷～新大阪だったら、関東エリアのデータで対応している。しかし、近畿のデータで新大阪～渋谷の検索はできない。路線で選べる駅のみしか検索ができないということである。



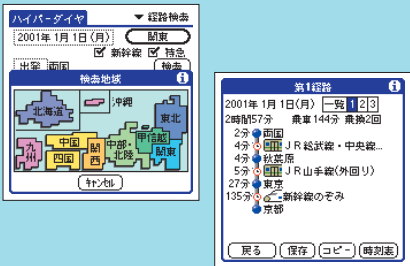
最大5ルートまで検索し、右上の番号をタップすることで比較も容易にできる。電車・徒歩・新幹線・特急ごとに、異なったイラストで表示される。どのような経路で何に乗るのが、わかりやすく親しみやすい表示だ。乗り換えが多いと画面は上下に長くなり、スクロールさせなければならない。結果はクリップボードにコピーできるため、さまざまなソフトで利用できる。ただしコピーできるのはテキストのみ。

[両国～表参道] 推奨路線

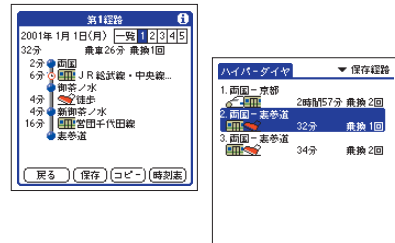
- 第1候補: [両国] - JR総武線 - [御茶ノ水] - (徒歩) - [新御茶ノ水] - 営団千代田線 - [表参道] 【所要時間】29分
- 第2候補: [両国] - JR総武線 - [秋葉原] - JR山手線 - [有楽町] - (徒歩) - [日比谷] - 営団銀座線 - [表参道] 【所要時間】34分
- 第3候補: [両国] - JR総武線 - [秋葉原] - (徒歩) - [若本町] - 都営新宿線 - [九段下] - 半蔵門線 - [表参道] 【所要時間】36分
- 第4候補: [両国] - JR総武線 - [水道橋] - 都営三田線 - [神保町] - 営団半蔵門線 - [表参道] 【所要時間】38分
- 第5候補: [両国] - JR総武線 - [四谷] - 営団南北線 - [永田町] - (徒歩) - [赤坂見附] - 営団銀座線 - [表参道] 【所要時間】39分

第1候補、第2候補については、ハイパーダイヤと同じルートを選択。しかし所要時間については、多少誤差が出ている。これは、JRトラベルナビゲータでは乗換時間を入れて表示しているため。徒歩や乗換が多くなると、それに要する時間をどうとるので、結果に違いが出てくるのだ。

ハイパーダイヤ



エリアをまたがるデータの検索はできない。複数のエリアのデータをインストールして切り替えて利用する。こちらも新幹線の駅ならば、他エリアの検索もできる。路線から選ぶことのできる駅なら検索が可能となる。渋谷～新大阪は、関東のデータで検索が可能となっている。JRトラベルナビゲータとほぼ同じ仕様といえる。



最大5ルートまで検索し、右上の番号をタップすることで比較も容易。乗り換えが多くても、1画面で表示されるのはGood。スクロール不要。電車・徒歩・新幹線・特急がわかりやすいアイコンで表示される。タイムラインが表示され、途中経過がわかりやすい。また、検索結果(ルート)が丸ごと保存できるのはハイパーダイヤだけ。同じルートを何度も使う場合には、非常に便利だ。

[両国～表参道] 推奨路線

- 第1候補: [両国] - JR総武線 - [御茶ノ水] - (徒歩) - [新御茶ノ水] - 営団千代田線 - [表参道] 【所要時間】32分
- 第2候補: [両国] - JR総武線 - [秋葉原] - JR山手線 - [有楽町] - (徒歩) - [日比谷] - 営団銀座線 - [表参道] 【所要時間】34分
- 第3候補: [両国] - JR総武線 - [秋葉原] - JR山手線 - [新橋] - 営団銀座線 - [表参道] 【所要時間】35分
- 第4候補: [両国] - JR総武線 - [代々木] - JR山手線 - [原宿] - (徒歩) - [明治神宮前] - 営団千代田線 - [表参道] 【所要時間】35分
- 第5候補: [両国] - JR総武線 - [御茶ノ水] - JR中央線快速 - [四谷] - 営団丸の内線 - [赤坂見附] - 営団銀座線 - [表参道] 【所要時間】36分

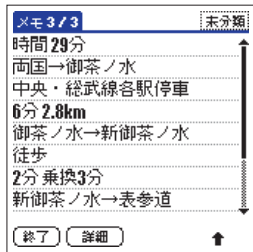
ハイパーダイヤとほぼ同じ結果。第1候補と第2候補は同じルートを検索してきた。時間の誤差は、前述した通りの事由である。第3候補以降では結果は微妙に異なっているのだが、これはもう誤差的な部分かと思われる。通常は、第1候補が第2候補を選択する場面が多いのではないだろうか。



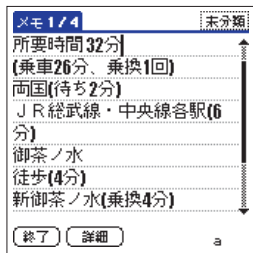
J アプリとの連携



検索結果をPalm標準の「メモ帳」に直接出力することができる。結果表示画面で「メモ」をタップするだけでよい。この場合メモタイトルは、「両国 表参道」のようになる。「コピー」をタップすることで、クリップボードにコピーが可能である。



検索結果は、クリップボードへのコピーができる。もちろん、テキストのみである。書き出したデータは、ほかのソフトで自由に利用することが可能。保存しておきたい検索結果のデータは、メモ帳などに貼り付けておけばいい。



こちらも検索結果は、テキストのみをクリップボードに書き出すことができる。ほかのソフトで利用する場合は便利。しかし、ハイパーダイヤの場合は、検索結果そのものを保存する機能があるので、結果を残すにはこの機能を使ったほうが便利だろう。



K その他の機能



シンプルさが特徴のTRAINゆえ、経路表示以外の機能はほとんどない。検索される経路も1ルートのみ。しかし機能の拡張は、DAなどの外部プログラムを利用することで実現されているし、それがTRAINの魅力でもある。例えば「DA TRAIN Viewer」を利用すれば、いつでも最後の検索結果を呼び出せる。「TrainTime」を使えば、時刻表もOKなのだ。



JRトラベルナビゲータもまた、経路検索以外の機能はない。むしろ、その経路検索をいかに正確にわかりやすく行うかを追求しているのではないだろうか。結果表示の親しみやすさなどは、やはり特筆すべき点といえる。しかし、やはり駅名の履歴保存や検索結果の保存などの機能があれば、さらに使い勝手がよくなる。

列車/路線	両国	御茶ノ水
J R 総武線・中央	04:57	05:03
J R 総武線・中央	05:16	05:22
J R 総武線・中央	05:32	05:38
J R 総武線・中央	05:51	05:57
J R 総武線・中央	06:07	06:13
J R 総武線・中央	06:21	06:27
J R 総武線・中央	06:36	06:42
J R 総武線・中央	06:41	06:48
J R 総武線・中央	06:48	06:55
J R 総武線・中央	06:55	07:02

ハイパーダイヤのルート検索以外では、やはり時刻表が便利な機能。検索結果画面から時計のアイコンをタップするだけで、その駅の時刻表が、現在時刻に近い時間をハイライトして表示される。しかし、残念ながら、このデータはJRしかない。また、データとしてもかなり大きなものとなってしまう。コンパクトなデータで地下鉄の時刻表などがあると、ありがたいのだが……。

まとめ

これまで3本のソフトをさまざまな角度から見てきたが、総合的に見てどうなのだろうか。まず、TRAINはなんといってもフリーソフトであることが魅力。とりえず経路検索ソフトをインストールするなら、やはりこのTRAINが第1候補となるだろう。JRトラベルナビゲータは、そのコストパフォーマンスが特徴といえる。パッケージで購入すれば、ウィンドウズ版とセットで3619円。Palm版だけで購入すれば、2500円である。それでこの性能なら文句はない。ハイパーダイヤは最後発だけあって、非常によくできている。機能的にも使い勝手の面からもベストといえる。カラー表示や時刻表もハイパーダイヤだけ。難点は時刻表のデータがかなり大きいこと。メモリーに余裕のあるCLIEユーザーは、購入してみてもいいだろう。

東京高層ビル：九段下	時刻
11	11.26.41.56
12	11.26.41.56
13	10.26.41.56
14	11.26.41.56
15	11.26.41.51
16	06.11.16.35.47.58
17	02.11.21.31.41.51.58
18	01.11.22.36.39.49.55.58
19	14.25.36.46.58
20	11.18.28.38.49.59
21	10.19.28.34.44.55

02月06日 九段下
東京高層ビル方面

乗換案内 Palm版

あの乗換案内のPalm版。時刻表しかないのが残念

<http://http://www.jordan.co.jp/>

種類：市販ソフト（1万3800円）

発売：ジョルダン

対応：Palm OS 3.1（データ抽出ツールはウィンドウズ版専用）

乗換案内製品版パッケージに付属している、Palm版。残念ながらこのPalm版にはルート検索の機能はなく、時刻表データ専用のビューアーなのだ。自分が利用したい駅の時刻表データをインストールし、それをPalmで閲覧するというもの。いまのところはPC版のオマケ的な位置づけのようだが、Palm上でも検索できるソフトをぜひ開発してほしいところ。



Metro

これひとつで世界中の地下鉄がわかる！

<http://http://home.worldnet.fr/patrice/Technique/Metro/Metro-jp.html>

種類：フリーソフト

作者：Patrice Bernard & Frank Van Caenegem

対応：記載なし

とにかく、そのデータがスゴイ。世界160都市のデータが利用できる地下鉄経路検索ソフトである。日本だけでなく、福岡、広島、京都、名古屋、大阪、札幌、仙台、東京-横浜のデータが用意されている。さすがに、その経路の正確さは劣るのだが、見知らぬ外国の都市を旅するときなどは非常に重宝することだろう。海外旅行の際には、ぜひどうぞ。

他にもあるぞ! 電車関連ソフト

都市の電車乗換に便利なソフトは、経路探索ソフトだけではない。他にも時刻表ビューアーや地下鉄マップなどの都市での移動に役立つソフトがいくつもある。時刻表についても単なる紙の時刻表のデジタル化ではなく、現在時刻から直近の電車の発車時刻までの残り時間を出してくれたり、DAでどんなソフトを使っているかポップアップで見せてくれたりと、さまざまな機能を持ったものがある。さらに駅周辺情報などを見ることができたり、データベース化も進んでいるのだ。これらのソフトを簡単にみておこう。



時刻表	00:17	22:12:43
Alo Moana Center Eastbound(Weekday)		
18	05	17 26 55 56
19	10	33
20	08	08 43
21	08	13 48
22	08	18 48
23	08	14 44
24	14	
22:13	Waikiki	
22:48	Waikiki	
23:08	Waikiki	
23:14	Waikiki	

00:17

TimeTable Viewer

次の電車までの残り時間がひと目でわかる
URL : <http://www.gcd.org/TimeTable/Welcome.ja.html>
種類 : シェアウェア (1000円)
作者 : 仙石 浩明
対応 : Palm OS 3.0

NextTrainというフリーソフトがあるが、この時刻表データを利用して、次の電車の発車までの時刻をリアルタイムで表示してくれるPalm用ソフトがこれ。標準搭載の「メモ帳」にこの時刻表データをおくことで、そこからデータを読み込んでくれる。時刻表の一覧はもちろん、最大の特徴は巨大文字で次の電車までの残り時間を表示してくれる機能だ。実に便利。これで、終電を気にしながら飲む事もなくなる?

DA Train Time		22:13:04
Alo Moana Center Eastbound(Week...		
次の発車まで 2月6日 火曜日		
▼ 00:34:56		
先発	22:48	Waikiki 19
次発	23:08	Waikiki 47
	23:14	Waikiki 19
	23:44	Waikiki 19

DA Train Time

リアルタイムな時刻表を、いつでもポップアップ
URL : <http://www.jade.dti.ne.jp/imazeki/palm/>
種類 : フリーソフト
作者 : 今関 弘明
対応 : Palm OS 2.0

TimeTable Viewer同様に、NextTrainと同じデータ形式のリアルタイム時刻表。アプリケーション版とDA版がセットになっている。DA版を利用すれば、いつでも簡単にポップアップさせて、時刻表が表示できる。現在時刻から最も近い時刻の発車時刻までの残り時間をリアルタイムで表示。任意の時刻にアラームを鳴らせるため、電車に乗り遅れる心配がなくなる非常に便利なソフト。カラー版も開発中とのことだ。

RightNow!		22:13:17
上石神井 上り		
14	00	20 30 47
15	05	33 52
16	11	27 36 55
17	15	30 43
18	01	24 41
19	02	30 57
20	05	25 39 59
21	18	40
22	00	10 20 27 28 29 30
23	01	

RightNow!

電車やバスの時刻表をPalmで閲覧
URL : <http://www09.u-page.so-net.ne.jp/cb3/ysuzuki/>
種類 : フリーソフト
作者 : 田村 博
対応 : Palm OS 2.0

Palmで電車やバスの時刻表を閲覧するためのソフト。行き先、急行などの情報やコメントなども表示することができる。ただし、データは独自の形式であり、公開されている数は少ない。自分で入力しなければならないケースが少なくないと思われるが、最初にそれさえすれば便利なソフトである。データはメモ帳で作成するため、電車やバスを待っている間にPalmでさくっと入力するのがいいだろう。

DoKoIKU		2/6(TUE) 22:13
Line	名古屋地下鉄 東山線	
Station	栄	
Time	栄 高畑行き	
18	0	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55
19	0	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55
20	0	5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55
21	0	10 20 30 40 50
22	0	10 20 30 40 50
23	0	15 30 45

DoKoIKU

時刻表/駅図/周辺情報/路線図ビューワー
URL : <http://www.pop.ne.jp/dokoiku/>
種類 : フリーソフト
作者 : 太田 英治
対応 : Palm OS 3.0

時刻表、駅図、周辺情報、路線図を表示できる、総合的な移動情報ツール。時刻表はもちろん、駅の内部図や駅の周辺図、さらにはその路線図までも1本で連動して管理しようという発想は非常に面白い。残念ながら、開発があまり進んでおらず、また公開されているデータもない状態。図を自分で作成すると、そこそこの手間が必要となる。主要路線のデータなどを開発してくれるといいのだが。



RailMap


東京地下鉄路線図をPalmで
URL : <http://www09.u-page.so-net.ne.jp/cb3/ysuzuki/>
種類 : フリーソフト
作者 : 田村 博
対応 : Palm OS 2.0


いわゆる路線図のPalm版である。地下鉄と山手線が表示される。4段階の拡大縮小表示が可能。さらにペンのドラッグによる表示部分の移動が可能となっている。よく見かけるポケットサイズの路線図をPalmで再現したものと考えてよいだろう。ちょっと路線を確認したいときなどは便利。インストールしておくといい。ただ、残念ながらデータが少々古い。大江戸線を付け加えた最新版のリリースを望むところ。



文 山田達司
イラスト nom

21世紀を迎えてPalmが大躍進を遂げるように、今回も自称「Palm無認可エバンジェリスト」が、皆さんの質問に答えていきましょう。

 パームウェアを開発したいのですが、どういふうに勉強するのが皆目見当が付きません。なにかアドバイスをいただけませんか。

 Palmでプログラミングをするのはとても素晴らしい経験です。24時間手元に置ける装置に自分が望む機能を付けられるのは、あなたの生活を魔法のように豊かにすることでしょう。また、その体験をほかの人と共有し、喜んでもらえるのはさらに素晴らしいことです。ぜひ、私と同じ経験をしていただきたいと思います。

プログラミングの経験がなければ、まずはMacやWindowsでの練習をお勧めします。残念ながらPalm用の開発環境は、パソコン用に比べると不親切で、資料も少ないです。まずはパソコンのプログラミングから勉強していきましょう。

プログラミング言語については、自分の忍耐力と持続力に自信があれば、C言語がお勧めです。Palmで本格的なソフトを作る場合、C言語が最も適切なのです。まずは手軽な部分からやってみたいのなら、Basicはいかがですか？パソコン用の「Visual Basic」などで勉強したあと、Palm



Palmの可能性をいろいろ聞きましたが、結局なにかを購入して実現するようです。やはりお金がかかるものなのですか？



「Palmはカスタマイズこそ命」と、言われることも多く、ソフトウェアを追加したり、周辺機器を付けなくてはいけないように感じるかもしれませんが、まずは本体だけで使ってみてください。

Palmの良さのひとつは、買ったそのままの状態でも十分な機能を持ち、戸惑ったり、イライラしたりすることなく直感的に使えること。そして、私たちの生活をうまくサポートしてくれることなのです。もちろん、全員が標準の状態で満足できるとは限りません。その場合は、何千とある追加ソフトウェアと周辺機器が大いに助けられるでしょう。

「お金がかかるのではないかな？」という心配はごもっともです。実際、私の周りにはソフトやケース、キーボード、改造などに常識では考えられないお金を使っているPalmユーザーが多数います。しかし、「結婚詐欺も最後までだまし通せば詐欺ではない」のです。Palmにお金をつぎ込んで、そうしている自分に満足していれば、何ら問題はありません。彼らの幸せそうな顔を見ていると、「Palmは最高の詐欺師である」という気がします。

用の「NS Basic」や「Satellite Forms」^{サテライト フォームズ}「HotPaw Basic」に移ってみてください。



パームを使って1年になりますが、グラフィティーが書けませんが、こんな私って邪道ですか？



いいえ、データ入力をパソコン経由やソフトウェアキーボードで十分こなせるなら、まったく問題ありません。便利なPalmの使い方はあっても、正しいPalmの使い方は存在しないのです。

ただし、あくまでも「今」の話です。数年後には、小学校でグラフィティーが必修になるかもしれません。そのときお子さんに、「えー、ママはグラフィティーも使えないの？」と言われないよう、練習したほうがいいかもしれませんね。



Pilot時代から使っていますが、いまだにPalmをしたことがありません。ちょっとむなしいです。



PalmはPalmの大きな魅力ですが、簡単に考えてはいけません。Palmをするまでには、Palmを持つ人と出会い、交流を重ね、お互いに十分な信頼感を築くという着実な歩みが必要なのです。最近では会ったその日にPalmをすることも珍しくないようですが、本当にそれでいいのでしょうか？

確かに、Palmは楽しく、わくわくする体験です。手軽に経験してみたいという気持ちもわからなくはありません。そういう人は、オフ会と呼ばれるユーザーグループの会合に参加してみましょう。オフ会にはあなたと同じ気持ちの人が多数参加しており、嫌というほどPalmを体験することができるはず。日本全国には多数のユーザーグループがあり、頻りにオフ会を行っています。「全国PalmUG連絡会」(<http://pugo.fishbone.tm/pugj/>)で、探してみてください。

え、近くにユーザーグループはないですか？それでは最後の手段です。Palmを買ったお店に行き、「Palmがうまくいかないんですけど、試させていただけますか？」とお願いしてみましょう。

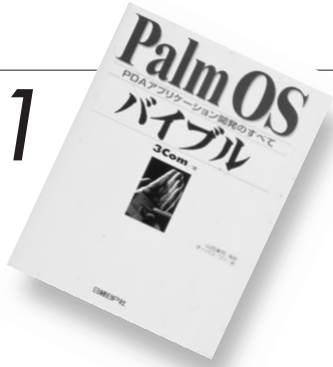
質問大募集!!

「Palmの達司」では、達人山田氏に答えてほしい疑問や質問を募集しています。ご応募は氏名(ペンネーム)、性別、年齢、使用機種、電子メールアドレスを明記のうえ、次の宛先まで電子メールでお送りください。

メール宛先
palm-magazine@ml.ascii.co.jp
標題(Subject)に「Palmの達司」と明記のこと

日本語で読める プログラミング おすすすめ

本



1

Palmプログラマー必携!
Palm OSの全貌がわかる

Palm OSバイブル

3Com(スリー・コム) 著
山田達司 監訳 / 榎オース・ワン 訳
7800円 日経BP社 刊

メーカー自身によるPalm OSの日本語の解説書。英語で書かれた原著はPalm, Inc.のホームページでPDFとHTML形式のファイルで配布されている。約800ページものボリュームがある本だが、CおよびC++言語を使ってPalm OS上でプログラミングを行う人には必携の一冊だ。第1章はPalmデバイスの特徴やPalm OSのソフト開発方法の概要で、メモリー、プロセス、通信、GUI管理を総合的に紹介。1章を読めば、Palm OSの全体像を把握できる。続く2章がGUI、3章がシステム、4章が通信の解説という構成。必要に応じて参照しよう。



2

C言語プログラマーのための
実用ガイド

Palmプログラミング Palm/WorkPadアプリケーション開発ガイド

Neil Rhodes (ニール・ローデス)
Julie Mckeehan (ジュリー・マッキーハン) 共著
青柳隆也 監訳 / 佐藤信彦 訳
4800円 榎オライリー・ジャパン 刊

中級者から上級者レベルのC言語の知識のあるプログラマーが対象。CodeWarriorとGCCでのGUI、データベース、通信関連のプログラミング、さらにコンジットの開発までも網羅。幅広いアプリケーション開発を手助けする実用ガイドだ。執筆陣にPalm, Inc.の多くの開発者や開発者サポートのメンバーが関わっており、OSのバグや将来的な互換性を保つ方法なども紹介されている。なお、コンジットの開発にはC++がJavaの知識が必要となる。



3

シェアウェア作家の
テクニックが満載

ここまでできる! Palm/WorkPad プログラミング Windows版

漆畑広樹 著
3200円 榎オーム社 刊

日本語による初めてのPalmプログラミングの解説書。著者は「HandWrite」や「JotMail」などの作者である漆畑広樹氏である。CodeWarrior for PalmOS Release5を使い、ペンの動きにスムーズに従従するソフトの作り方や、赤外線によるデータ交換の方法など、シェアウェア作家ならではの遊び心のあるアプリケーション作成の具体的なノウハウを披露している。本書で紹介したサンプルファイルを収録したCD-ROMが1枚付属する。C言語の基礎を修得した人向け。



4

わかりやすいBASIC言語で
手軽にプログラミング

Basicで作ろう Palmアプリケーション

相沢文雄 著
2000円 榎ナツメ社 刊

本誌Vol.3でも紹介したBASIC言語を使うPalm専用開発環境「NS Basic」の解説本。Palm OSと開発環境の紹介から始まり、NS Basicのインストール、プログラミングの心得、サンプルを使った実際の操作と、はじめてPalm OSでプログラミングする人にもわかりやすい内容になっている。「デジタル時計」「住所録」「伊豆観光マップ」といった身近で興味をそそるサンプルのソースが掲載されており、Palmウェアを自作する際には大いに参考になる。付属CD-ROMにはNS Basicのデモ版とサンプルプログラムが収録されている。



5

DA、Hackソフト開発にチャレンジ!

パーム プログラミング入門 Palm OS APIの使用法ガイドライン

Glenn Bachmann (グレン・バックマン) 著
山門均 監訳 / 小泉精一朗 訳
4500円 榎ピアソン・エデュケーション 刊

日本語のPalmプログラミングの書籍としては初めてPalm Query Application (PQA) を解説した本。ワイヤレスインターネットサービス「Palm.Net」サービス開発の参考となる。さらに、これまで詳しい情報の少なかったDA、Drag&Dropモジュール、Hackソフトの開発方法についても解説し、Palmの機能拡張を実現するアプリケーション作成にも役立つ。CodeWarriorを用いたコンパイラーやエディター、デバッガーの使い方も親切に紹介している。



6

注目のJava言語で
アプリケーション開発

Javaによる Palmプログラミング入門

中山茂 著
2400円 技報堂出版 刊

最近、携帯電話への活用で注目を集めているJava。本書はサン・マイクロシステムズ社によって開発されたPalm言語Javaを使った解説書だ。Java入門者を対象にしてオブジェクト指向プログラミングの方法を紹介し、Javaによるアプリケーション開発のためのプログラミングの基礎を学べる。前半は開発キットの取得や設定といった基礎的な内容。後半は、著者が作成したお絵かきソフトや、五目並べといったサンプルアプリケーションのプログラミングが掲載され、実際に作って楽しめるようになっている。

Palmをパワーアップする! Hack&DA

いつでも呼び出せる便利ツールたち

たしかにPalmは優れたOSでありPDAだ。しかし、使い込んでいくと「こうだったらもっと使いやすいのに」という部分が出てくる。そういったちょっとした部分をナントカしてくれるのがHackやDAといったツールたちだ。Hack&DAを使いこなして自分だけのPalmに仕立て上げよう。

黒澤利男 文 たかすわかな イラストレーション



Hack

Hackを極めて
Palmの力を
絞り出せ。

Palm OSの機能を拡張

Palmの魅力、それは使いたいときに使える手軽さだろう。また、標準搭載の4大アプリに加え、多くのパームウェアによって自分だけのPalmが作れるカスタマイズ性の高さもそのひとつだ。そして、このPalmの魅力さをさらに引き出してくれるのが「HackMaster」とHackソフトたちなのだ。

HackはPalm OSの機能を拡張する事実上のスタンダードとなっている方法。パームウェアでは実現できない、OS全般に渡る機

能拡張ができるため、Palmをより自分らしくカスタマイズできる。DaggerWare社によって開発されたHackMasterがその起源となり、Palm OSに様々な機能拡張を施すHackソフトが現在も続々と生まれてきている。

Hackの面白いところは、基本ソフトであるHackMasterや「EV PlugBase」だけでは何もできないことだ。基本ソフトは機能拡張するためのベース部分だけを提供するもので、実際に処理を行うのはHackソフトと呼ばれるモノたち。いつでも呼び出せる電卓や時計、標準の検索機能を機能拡張したり、バックライトの表示方法を変えたりと様々なHackソフトがある。基本ソフトはOSとともに縁の下の力持ちとして頑張っており、その姿をみることはない。

そしてこの日本でHack界最高にして最大の出来事が起こった。それがJ-OSの登場だ。現在の日本語版Palm OSの原型となったPalm OSの日本語化も、このHackソフトとしてスタートしている。Hackのシステムを使い日本語を表示し、日本語を入力する

など、まさにHackがなければ、現在の日本語化されたPalm OSやPalmブームはなかったといっていだろう。現在Palmデバイスを使っている人たちは、Hackを開発したDaggerWareと、J-OSをたった一人で開発した山田達司氏に足を向けて眠れないのだ。

うまくDAと使い分けるのがコツ

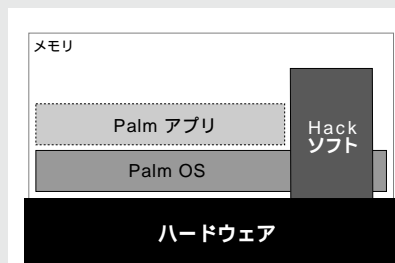
とにかく便利なHackソフトだが、Palm OSにパッチを当てるようになるため、あまりに多くのHackソフトをインストールするとPalm OS自体が不安定になってしまう。要するにフリーズしやすくなるのだ。特に同じ機能を実現するHackソフトを同時に使った時など、通常のリセットだけでは解決できないなんていうこともある。

HotSyncにより常にデータがバックアップされているとはいえ、頻繁にフリーズされては、いつでもどこでも手軽に使えるというパーム本来の使い勝手の良さが失われてしまう。そこでこうした状況を解決しようと生まれたのがDA (Desk Accesorry)だ。このDAも、あの山田氏によって考案された純日本製のパームウェアなのだ。

Hackと違いIDAは、DAランチャーと呼ばれるランチャーソフトがHackソフトとして読み込まれる。そして、DAソフト自体はDAランチャー上から動かすことになるため、Hackソフトに比べてPalm OSに与える影響が少ない。ただし、OS全体に影響を及ぼすような機能を持たせることはできないので、DAとHackの双方を使いこなすのが、Palmデバイスを賢く使うコツといえるだろう。

コラム

「Hackはマックの機能拡張と同じ」



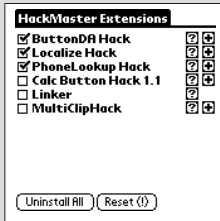
Hackの原理

Hackは、HackMaster、EV PlugBaseといった基本ソフトと、Hackソフトの2種類に分けられている。基本ソフトがPalm OSに対して割り込み処理をするための準備をし、Hackソフトが基本ソフトを通じてPalm OSに新たな機能を付加してくれる。ウィンドウズのデバイスドライバやマックの機能拡張書類と同じ感覚といっていだろう。

Hack基本ソフト

HackMaster

- ・作者: DaggerWare
- ・入手: <http://www.daggerware.com/apphack.htm>
- ・シェアウェア (\$5)

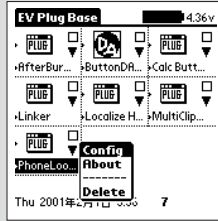


Hackという拡張方法を開発した画期的なソフト。HackMaster単体だけでは何もできないので、別にHackソフトが必要となる。Hackソフトの管理はこのHack Master上のボタンをチェックをすること

で行う。便利な反面、Hackソフトを多くインストールするとシステムが不安定になることがある。

EV PlugBase

- ・作者: EV Soft
- ・入手: <http://www.evscd.com/>
- ・フリーウェア

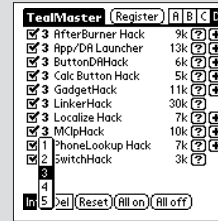


HackMaster互換のHack基本ソフト。HackMasterにあった不具合や欠点を解消しつつ、フリーウェアとして提供している。特にソフトリセット後に自動的にHackソフトをインストールしてくれる

のは便利。しかし、一部のPalmウェアやHackソフトとの間に相性の問題が残っているようだ。

Teal Master 1.12

- ・作者: TealPoint Software
- ・入手: <http://www.tealpoint.com/softmstr.htm>
- ・シェアウェア (\$9.95)



HackMaster互換のHack基本ソフト。同じ機能をもつHackソフトがインストールされている場合でも、使うソフトにプライオリティをつけることで、システムクラッシュを回避できる。現在Hackソフトがどのよ

うな状態にあるかといったレポート機能もあるので、初心者からプログラマーまでオススメできる。

おすすめHackソフト

1

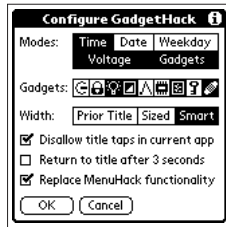


PhoneLookup Hack 2.2

- ・作者: Denis Faivre
- ・入手: <http://www.ablivio.com/dateplan/>
- ・シェアウェア (\$6)

メモ帳や予定表などのPalmウェアに、アドレスブックから好きなデータを入力できるようにする。電話番号だけでなく、住所や携帯電話の番号などのデータも活用できる

2

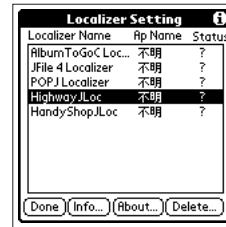


GadgetHack 1.06

- ・作者: Daniel McCarty
- ・入手: <http://ourworld.com.us/serve.com/homepages/modan/gadgethack.html>
- ・シェアウェア (\$4.95)

タイトル部分をタップすることでソフトの切り替えが出来るランチャー系Hackソフト。特に、今まで使っていたソフトに戻れるボタンは一度使うとはなせなくなる。

3



Localize Hack 0.2β2

- ・作者: 山田 達司
- ・入手: <http://simple-palm.com/>
- ・フリーウェア

英語版ソフトの日本語化を可能にするローカライザー。メニューやヒントはもちろん、設定項目などすべてが日本語化される。ソフト毎にエクステンションが必要

4

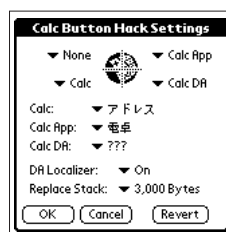


Linker 1.57

- ・作者: Digitalglyph Software
- ・入手: <http://www.digitalglyph.com/>
- ・シェアウェア (\$12.95)

検索機能を持ったすべてのPalmウェアのレコードにリンクを作成。メモ帳にアドレスやTo Doの項目をリンクするといったように、Palmをデータベースとして利用できる

5

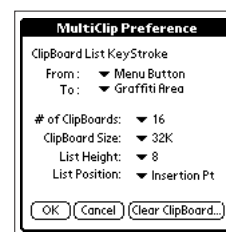


Calc Button Hack 1.1

- ・作者: Hoshi Tkanori
- ・入手: <http://www.sra.co.jp/people/hoshi/>
- ・フリーウェア

キーボードボタン (英語版ではCalcボタン) に様々なPalmウェアの起動が割り当てられる環境設定Hackソフト。シルクボタンを4分割し、それぞれにPalmウェアを割り当てる

6



MultiClipHack 1.23

- ・作者: Katsuhiko Endo
- ・入手: <http://www.fatal-error.com/jp/>
- ・シェアウェア (\$5)

クリップボードを拡張するHackソフト。最大3万2000文字、16個までのデータを記録。メニューボタンからグラフィティエリアまでスタイラスを滑らすと、内容がポップアップする

7



AfterBumer 3.0t

- ・作者: Danie Wee
- ・入手: <http://www.palmgear.com/software/showsoftware.cfm?sid=83505820000905131022&prodID=7429>
- ・シェアウェア (\$8)

CPUをクロックアップするユーティリティ。ただし設定によっては故障の原因にもなるので、自己責任で使おう

8



SwitchHack 1.62

- ・作者: Deskfrees Computing
- ・入手: <http://www.deskfrees.com/ClipHack.html>
- ・シェアウェア (\$5)

直前まで使っていたPalmウェアを呼び出し、戻ることができるHackソフト。シルクボタンのメニューからホームまでスタイラスを移動すると、10個のソフト名を表示する

9



FastApp! 1.1

- ・作者: Glen Aspeslagh
- ・入手: <http://www.ecamm.com/>
- ・シェアウェア (\$8)

Palmのシルクボタン上でスタイラスを滑らせるだけでPalmウェアを呼び出せるようにするランチャーソフト。レジストすると最高8つまでPalmウェアが登録できるようになる

DA

カユイところに
手が届く
日本生まれのDA。

Hackの要らない DAランチャー登場

Hackから派生したDAだが、日本を起点として世界中に広がる気配を見せている。Palmをより使いやすくしてくれるDAを使いこなすことは、Palm中級・上級者への通り道だ。まずはランチャーを入手してその奥深い楽しみを味わってみよう。

Hackの持つ欠点を補うために考案されたDA (Desk Accesorry) だが、すでにHack解説のところでみてきたように、DAを起動させるためにはDAランチャーという起動用のソフトに加え、Hack MasterといったHack基本ソフトが必要だ。ところがDAの生みの親である山田氏が「DAは使いたい」がHackは使いたくない」といったユーザーのために、新しい解決方法を提案してみせてくれた。

それが「環境設定版DAランチャー」だ。このDAランチャーをインストールすると、環境設定メニューの中からDAの起動とい

った指定ができるようになる。つまり、Hackの知識まったくゼロでもDAソフトが楽しめるようになるのだ。これにより、Palmデバイスの楽しみがまたひとつ広がったといえる。

いつでも呼び出せる DAアプリ

DAの使い勝手はランチャーの種類によっても随分と異なってくる。環境設定版DAランチャーは、Hack基本ソフトがいないというメリットはあるが、呼び出せるのがDAのみという弱点がある。DAランチャーの中にはアプリケーションとDAを同時に呼び出すことができるもの、グラフィティやシルクスクリーンの動作だけでDAを呼び出せるものなど、様々な種類があるので、豊富な機能を持つDAランチャーを選択したいのならHackと一緒に使うというのもいい。

DAソフトはHackソフトのようにPalm OS全体に影響を与えるような機能拡張をすることはできない。そのかわりに小さく便利なソフトなどがたくさん用意されている。メモ帳、電卓、カレンダー、時計など、Palmを使っていて同時にコレが使いたいなと思った時に、サッと呼び出して使える。



メモを取りながら電卓で計算する、あるいは計算した結果をそのままメモ帳へ張り付けるといったことができるのだ。

つまり今まで使っていたアプリケーションを終了せずに呼び出せるので、ウィンドウのようなマルチタスク環境に似た使い方がPalmでもできるようになる。使用しているアプリケーションとDAを組み合わせ、さらに強力な環境が作れるというわけだ。

Hackに比べて安定性が高い

Palm OSは快適に使えるとはいえ、アプリケーションを変更するのに、いちいちホームに戻らなければならない。さらにカテゴリゴライズされている場合、ページをめくり希望のアプリケーションを立ち上げるといった操作が必要だ。ハードウェアキーに割り当てられたアプリケーション以外には起動させる際にこうした作業がどうしても必要になってくる。しかし、DAを使っていればカンタンにアプリケーションを起動することも可能になる。まさにかゆい所に手が届くツールといえるだろう。

そしてHackとは違い、どんなにDAソフトをインストールしてもPalm OS自体には何ら影響がないため安心して使える。もちろんインストールのしすぎは動作を遅らせたりといった症状を起こす原因にはなるが、HackソフトのようにDAが元になり、リセットを余儀なくされるようなことは少ない。

手軽に自分のPalm環境が整えられる、便利なツールがサッと呼び出せるというのがDAの最大のメリットなのだ。

コラム

「DAはフォトショップのプラグインと同じ」



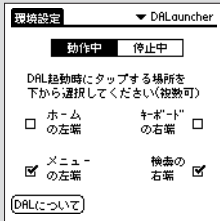
DAの原理

DAランチャーという基盤の上でDAソフトが動くため、DAはHackに比べて安心できるPalmの拡張方法といえるだろう。プラグインを追加することで、機能拡張されるフォトショップのようなカンジといったらわかりやすいだろうか。それも欲しいと思う機能を瞬間的にサッと呼び出してくれるそのスピードは、普通にPalmを使っているとはゼッタイに出来ない経験だ。シングルタスクのPalm OSに擬似的とはいいいながらマルチタスク環境を提供してくれるDAはPalmの可能性をさらに広げてくれること間違いなし。

DAランチャー

DAL 環境設定版 1.0

- ・作者: 山田 達司
- ・入手: <http://simple-palm.com/>
- ・フリーウェア



「環境設定」の項目のひとつとして組み込まれるため、Hack Masterをまったく必要としないDAランチャー。シルクボタンの隣の4隅の好きなところを起動場所として選べるなど、機能も充実している。Hackはよくわからない、不安定になるので使いたくない、といったユーザーには最適なDAランチャーだろう

ButtonDA Hack 0.35

- ・作者: 今関 弘明
- ・入手: <http://www.jade.dti.ne.jp/~imazeki/palm/>
- ・フリーウェア



ハードウェアボタンからシルクスクリーンボタンにいたるまで、パームデバイスのあるあらゆるボタンにDAを起動させる機能を加えてくれるDAランチャー。任意のアプリケーションやDAが起動できる「LDA」と組み合わせることにより、あらゆるソフトの起動をハードウェアボタンだけで可能となる

App/DA Launcher 0.5.4

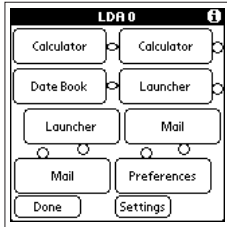
- ・作者: Hoshi Takanori
- ・入手: <http://www.sra.co.jp/people/hoshi/>
- ・フリーウェア



その名の通り、アプリケーションとDAの双方が起動できるHackタイプのランチャー。DAソフトの一覧と、その他のアプリケーションを分けて一覧表示ができるほか、いままで起動させたソフトをもう一度呼び出す履歴機能などももっている。呼び出せるソフトの数に制限がなく、カスタマイズ性にも優れている

おすすめDAソフト

1

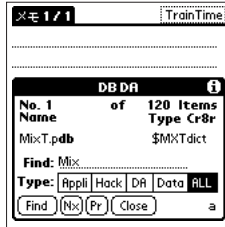


LDA 1.25

- ・作者: 高橋 智
- ・入手: <http://hp.vector.co.jp/authors/VA019709/AliasManager.html>
- ・フリーウェア

すべてのパームウェアをハードウェアボタンやシルクボタンから起動可能にするDAソフト。ButtonDA Hackと併用することで、あらゆるボタンから起動する優れもの。

2



DB DA

- ・作者: Yoshiaki Miyaguchi
- ・入手: <http://www.geocities.co.jp/SiliconValley/8237/>
- ・フリーウェア (メールウェア)

インストールされているパームウェアを素早く検索し、削除できるDAソフト。有効期限が切れた試用版ソフトやデモソフトなどを削除するのに非常に便利

3



daMemopad 0.23

- ・作者: 今関 弘明
- ・入手: <http://www.jade.dti.ne.jp/~imazeki/palm/>
- ・フリーウェア

標準で用意されているメモ帳とほぼ同機能を持つDA版メモ帳。データの閲覧だけでなく、編集もできる。もちろんカットやコピー、検索といった基本的な機能も備える

4



CalCal 2.4b

- ・作者: 石田 一博
- ・入手: <http://www.bea.hi-ho.ne.jp/kish>
- ・フリーウェア

いつでも呼び出し可能なDAタイプの計算機。標準で搭載されている計算機とほぼ同等の機能を持つ。ボタンをタップしての計算のほか、グラフィティ入力にも対応している

5



Galesche 1.01

- ・作者: 狩野 太郎
- ・入手: <http://www.clime.ne.jp/~taro2/>
- ・フリーウェア

DAタイプのカレンダー。予定はドットで表示され、タップすることで予定表を呼び出す。カレンダーの確認とスケジュールの編集で連係がとれるようになっている

6

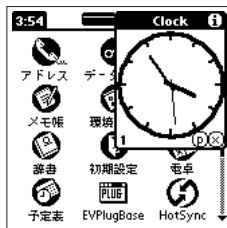


DA TRAIN Time 0.42

- ・作者: 今関 弘明
- ・入手: <http://www.jade.dti.ne.jp/~imazeki/palm/>
- ・フリーウェア

リアルタイムで時刻表を表示するソフト。次に発車するまでの残り時間をリアルタイムに計算しながら表示してくれる。発車時刻に対してアラームも設定できる

7



AnalogClock DA 0.62

- ・作者: hiro
- ・入手: <http://www2s.biglobe.ne.jp/~araki/pilot.html>
- ・フリーウェア

いつでも呼び出せるアナログ時計。メニューボタンをタップすると、日付とバッテリー電圧を表示するなど、時間以外の情報も気軽に確認できる。大きくて見やすい

8



KanjiSearch DA

- ・作者: 宮本 学
- ・入手: <http://home9.highway.ne.jp/freak/>
- ・フリーウェア

変換したいひらがなをドラッグ選択し、その後起動するだけで、目当ての漢字を検索する。記号などの検索にも対応している。実用的な単漢字辞書として利用できる

9



Kakusu Finder DA 1.2

- ・作者: Yoshiaki Miyaguchi
- ・入手: <http://www.geocities.co.jp/SiliconValley/8237/>
- ・シェアウェア (800円)

画数を元に漢字を検索するDA。6400文字もの漢字に対応している。検索結果はそのままメモ帳などにペーストできる。部首ごとに整理されているため、引きやすい

Palm海外ソフト 漫遊記

中村繁利 文
長部 透 イラストレーション



7つの海を股に掛けたわたくし、船長がご案内するPalm海外ソフト漫遊記へようこそ。世界中の隠れたPalmソフトの逸品を探し出し、ご紹介しようというのが、本コーナーの趣旨でござる。ごゆるりと楽しんでください。

今回の訪問先 「Teal Movie」

作者：TealPoint Software
入手：<http://www.tealpoint.com/softmovi.htm>
種類：シェアウェア \$19.95/30日間試用可
対応：Palm III以降のPalm Pilot、
もしくはPalm OS搭載機

Palmでビデオ鑑賞？

栄えある第一発目は「TealMovie」。これはPalm上で動画を再生できるいわゆるビューア - だ。世にあまたある動画をTealMovie用に変換し、いつでもどこでもPalmで動画が楽しめるという驚愕のソフトだ。なにはともあれ、下の再生画面をごらんあれ。こんな感じで動画がフルスクリーンで再生される。もちろんカラーPalmなら、動画もカラーで再生できるのだ。

再生クオリティーはPalmのモデルにもよるけど、最大25fps。添付されているサンプルファイルの月面歩行は15fpsなので、パラパラ漫画とはいわないまでも、かなりチープなシロモノであるのは確か。だけど、妙に新鮮で面白い。船長はコダワリの人なので(ただの貧乏とも言いますな) いまだ

にWorkPad 30Jだけど、コレでもちゃんと再生できてしまう。もっとも、編集部のVisor Prismで見たときの方がスムーズに見えたけど(きっと気のせいだ)。

それでもって、このTealMovie、音声もちゃんと再生してくれるのだ.....、え？、いや、あの、ここオドロいて欲しいんですけど。ピープ音をうまく利用して、それらしく聞かせてしまうのだ。必要は発明の母とはよく言った。

短ければ、どんな映像でもOK

TealMovieの動作機種は、Palm III以降のPalm。Visor PrismやPlatinumみたいな爆速Palm兄弟でもOK。あたりまえだけど、CPUスピードによって再生速度が変わったりすることも無い。

動画をTealMovie用に変換する「Teal Movie Encoder」(Makemovi.exe)はウィンドウズで動作する(95/98/NT/2000対応)。たとえばDVカムを持っているなら、撮影した映像をPCで短く編集し(AVIファイル)、TealMovie用の動画にするってこともでき

てしまうワケ。

短く編集するのは、あまり長い映像だとファイルサイズが巨大になって、Palmに転送できなくなるから。25fpsだと15秒程度でも1MBを超える。商業映画一本を詰め込んでやろうとやってのはとても無理。短かく、ウィットに富んだコンテンツで勝負！TealMovie用のコンテンツは、Web上に様々なものが用意されている。<http://www.tealpoint.com/movies.htm> にリンクがあるから、色々試してほしい。中には3MBを越える大作もあるので、自分のPalmの空きメモリだけは確認しておこう。

使い勝手は、インストールを含めて操作性も悪くない。とっても簡単。いつでも、だれにでもOK。見た目のインパクトは大きい。なんてたってPalmで動画が表示される上に、ちゃんと音声まで再生されるのだ。話のネタにはもってこい。その先は、ユーザーの想像力次第。ちなみに、某編集長のVisor Prismでは各色iMacが舞い踊っておりました。センスのいいICMを突っ込んでおくのは良いアイデアですな。



Palmで音声付き動画が見られる！カラーバームなら、カラー画像の再生ももちろんできる。宇宙飛行士が飛び跳ねてるこの有名な映像が、掌に乗る情報機器で見られようとは、当時の人は思いも寄らなかったに違いない。さすが21世紀だけのことはある。

Impression

- 実用度  1
- 娯楽度  5
- 初心者度  3
- 要英語力度  2
- 海外満喫度  4

入手 / 設定

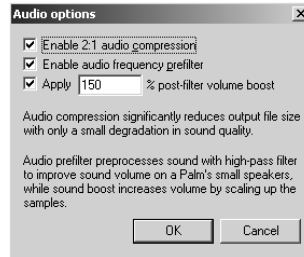
必要なファイルは <http://www.tealpoint.com/movies.htm> からダウンロードできる。含まれる「Tealmovi.prc」とサンプルファイルである「Astronut.pdb」をPalmに送り込めば、とりあえずこれだけで音声付き動画が見られる。脳天気なバンジョーの音色がナイス。あとはアイデア次第。おっと、コイツはシェアウェアなので、気に入ったらレジストするのを忘れずにね。



「TealPoint」のサイト。TealMovieのサイズは802KBなので、ダウンロードは56Kモデムで3分くらい。Zip形式で圧縮されているので、LHAなどの解凍ツールが別途必要。TealPoint Softwareには、他にも面白そうなソフトが山盛りなので、探検してみるのもおもしろそうだ



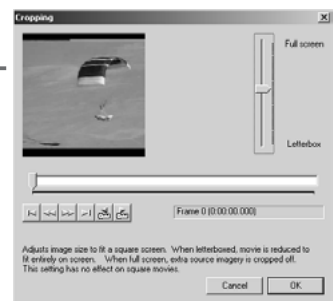
TealMovie用の動画ファイルに変換する「TealMovie Encoder」。元のAVIファイルを「Video file」に指定する。元動画と違ったBGMを差し込むなら、Audio FileにWAVEファイルを指定しよう



音の調整がここ。全部チェックしておけばOK。一般にPalmのスピーカーは貧相なので、圧縮しても差はわからない。逆に小さな音は聞こえにくいので、音割れしない程度にVolume boostを上げておくのがいい



変換オプションを指定する。特に指定しなくても大丈夫。Data rateはどのくらい圧縮するのが目安。圧縮が強ければファイルは小さくなるが、画質は落ちる。Frame rateは15fpsあたりが妥当だろう。Automaticallyは自動設定



画面の縦横比をここで指定する。上下のスライダでクロッピングを調整しつつ、左右のスライダで、シーンが画面にうまく納まっているかを確認する

操作方法

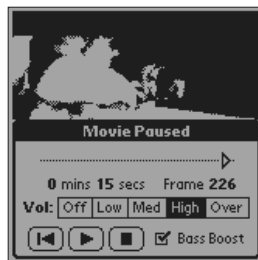
操作方法って改めて記すほどむずかしい部分はまるでない。TealMovieアイコンをタップしたら、きゅわわんと起動。見たいファイル一覧が出るから、見たいファイル名をタップしたら、動画のはじまり、はじまりい～。



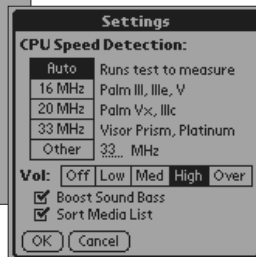
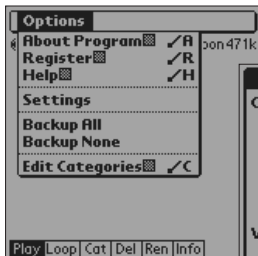
Palmのアイコンをクリックすると、ファイルリストが表示される。画面下部のコマンドボタンをタップして選択してから、ファイル名をタップする。コマンドは再生、Loopが繰り返し再生、Catはカテゴリー分類、Delは消去、Renがファイル名変更で、Infoが動画ファイル情報だ



添付のApollo Astronauts on the moonをタップすると、ご覧の通り。動画再生中に画面をタップすると、右の画面になる



三角マークは画像の再生位置。コントロールできるのは中段のボリュームと下段の再生関係。Bass Boostは低音強調だ。



ファイルリスト画面でメニューを出すと、設定 (Setting) が可能。ボリューム以外はなにをしても大丈夫。ボリュームを上げすぎると、スピーカを痛める恐れあり



はじまりはいつもココから!

To Go

今回のテーマ「改造」

サイト案内版

文/八島 伸之 ドクター yashimac@www.worpaloholic.com

改造。それはPalmに魅せられPalmを魅せる、選りすぐりの猛者たちの合言葉。今回はちょっぴりディープなカスタマイズの世界をじっくり堪能していただきたい。ではコチラへ!



お目当ての改造を探すにはページ左側にある「Category」を活用しよう。改造におぼれることなく、カッコイイ使い方を追求する。そんなポリシーが美しい。



今時なぜか、Palmシリーズにはストラップを通すための穴がない。本サイトを訪れてアナタのPalmにピッタリのストラップ取り付け法を見つけよう!

すべてはCooooooooo!のために。ネットにそびえる改造の城

Palm de COOL!

URL <http://www.fureai.or.jp/~mori-t/>

管理人 モーリー

Palm イジリをプロデュース。

「Palm/WorkPadのカッコいい使い方をみんなに伝えよう!」そんなコンセプトを貫く超強力改造専門サイト。ハードウェアイジリにとどまらず、ソフトウェアとのコラボレーションからスタイラスの取り出し方までを伝授。紹介作品は多岐にわたる。

「改造の妖精」の異名を持つ管理人モーリー氏の作品のほか、読者からの投稿作品も多く、それらがほぼ連日のように紹介されているから驚きだ。世界的に見ても、これほど改造情報が集まるサイトは他に類を見ない。本サイトの作品は海外のサイトでも何度も取り上げられており、そのたびにファンは急増する一方。熱烈なラブコールに応えて英語版のページも完備され、今や海の向こうでも注目的だ。真にクールな改造を見いだす氏の眼力にも感服。

改造のスター選手も

本サイトのメインとなるおびただし量の作品。中でも目を引くのがSANAI氏の投稿だ。ボタンが点滅する「Night Rider」をはじめ、作品数/アイデア/技術力。すべてが職人の域をも超えている。

今年1月から始まった特別企画「Palmにオリジナル・ストラップを付けよう!」は必見。今どきのケータイに負けていられぬとばかりに、SANAI氏が奮起して始めたこん身の企画だ。常に落下の危険にさらされているPalmだからこそ、ストラップは欠かせないのだ。

サラリと羽織ったつるしのシャツ。その袖をまくるように、さり気なくPalmを自分仕様に変えていく。本サイトにないもの? それはもちろん、Palmのカッコ悪い使い方だけに決まっている。



定番サイト 基本編

パーム航空

URL <http://palm.org/>

Simple-Palm

URL <http://simple-palm.com/>

FPalm

URL <http://www.nifty.ne.jp/forum/fpalm/index.htm>

Muchy's Palmware Review!

URL <http://muchy.com/>

PalmFan

URL <http://www.palmfan.com/>

Palmが気になったら、いっしょに訪れる。それがこの5サイトだ。Palmをゲットしたら、もちろん毎日チェック。アプローチこそ違え、どのサイトも常にエネルギーに情報を発信し続けているからだ。



柏木氏はカスタマイズショップ「マスター」(http://www.master-comp.co.jp/)の管理人。

ガジェット好き、改造好き必訪! 確かな技術で任せて安心

PDA'S HEAVEN

<http://www.asahi-net.or.jp/~TG7T-KSWG/>

管理人 TK

「電腦小物に関する不満を何とかしたい」そんな想いで改造に取り組む管理人の柏木氏。Palm関連のページは機種ごとにまとめられており見応え十分。自分で改造したい

人のために、一般には入手困難なメモリーチップの情報を公開しているのも本サイトならではの。画像入りの詳細な解説をいち早く掲載。見る人に常に優しい。

その美しさに息をのむ。ダイヤのようなクリアボタンをゲット!

DaiyaHP

<http://ohtani.cup.com/>

管理人 ohtani

早くからクリアボタンの製作/販売に取り組んできた管理人のohtani氏。高度なテクニックと卓越したデザインセンスで、常に多くのPalmユーザーから支持を得ている。カラ

ーバリエーションも豊富なクリアボタン。思わず食べてしまいたくなるような独特の質感が印象的だ。「改造」コーナーでは各作品の製作過程を詳説。



クリアボタンは値段も手ごろで全国どこからでも注文可能。ならば、これを注文しない手はないのだ。



「TRGproのやせやかなタシナミ」ひそやかに「200」年、ネーミングにも遊び心があふれている。

陽はまた昇る。明けても暮れてもイジっていたい!

Asahi's Palm Site

<http://yokohama.cool.ne.jp/ja037069/index.htm>

管理人 Asahi

「改造とCoolな使い方を追求する」赤丸急上昇中のサイト。その神髄とも言える「PALM KAIZO ROOM」。開設から1年未満であるにもかかわらず、改造は20にも及ぶ。

注目は、本サイトの原点とも言うべき「TRGpro Cool Slim」。やや重たい感じのTRGproも、管理人のAsahi氏の手にかかれば驚くほどCoolに変身だ。

ガワの加工でココまで変わっていいものか? 本家驚愕、透ける「栗」

雲山の雑記帖

<http://www01.u-page.so-net.ne.jp/ya2/unzan/>

管理人 雲山

「雲山工房」では、管理人の雲山氏自作の品が展示され、その製作過程も詳細につづられている。中でもプラスチック加工品を紹介する「樹脂加工」は必見だ。クリアケー

スを身にまとったCLIE「透け透けマロン(i-Marron)」は、公開と同時に話題をカッさらった氏の代表作。メーカーをもうならせた加工技術は見事の一語に尽きる。



改造しても濫造せず。中身の濃い作品群。「Palmユーザーならずとも、当分目が離せそうにない。」



定番サイト メーカー編

パーム コンピューティング株式会社

<http://www.palm-japan.com/>

日本アイ・ビー・エム株式会社

<http://www.ibm.co.jp/pc/workpad/>

ハングスプリング株式会社

<http://www.handspring.co.jp/>

ソニー株式会社

<http://www.sony.co.jp/CLIE/>

株式会社エム・ディ・エス

<http://www.mds2000.co.jp/>

困ったことがあったらまずは各メーカーの公式サイトをチェック。中には、Webでしかアナウンスされない重要なお知らせがあるのだ。サポートページのほかにもコンテンツ充実。こまめにのぞいて損はない。

用語事典

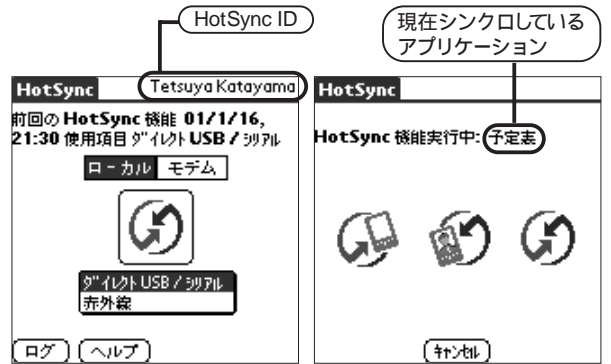
文 片山哲也

Palm を使っていると、長年パソコンを使っているユーザーでも聞き慣れない用語がたくさん出てくる。いわゆる「パソコン用語事典」へのPalm 用語の掲載は少ない。このコーナーではPalm 独特の用語を図版を交えてわかりやすく解説していこう

H [ホットシンク]

H Palm デバイスとパソコン上のデータをシンクロナさせるためのテクノロジーの総称。初回のHotSyncでは、Palm デバイスの全データをバックアップするために少々時間がかかるが、2回目以降はPalm Desktop、またはPalm デバイスで変更したデータや新規に作成されたデータだけをシンクロナするだけなので、大量のデータがあっても短時間でHotSyncが終了する。

O また、HotSyncはデータのシンクロナだけではなく、データのバックアップやアプリケーションのインストールも同時に行えるようになっているが、ユーザーはそれぞれの操作を意識することなく、クレードルのHotSync ボタンを押すだけでいい。



Palm OS 3.5からは、HotSync画面からシリアルと赤外線を切り替えられるようになった。右上に表示されているのが「HotSync ID」と呼ばれるもの

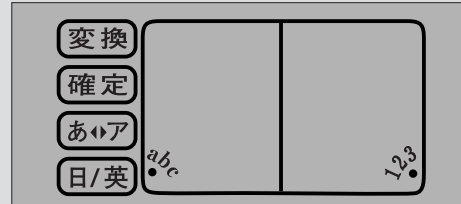
HotSync中は、現在シンクロナしているアプリケーション名や、インストールしているアプリケーション名などが表示される

[Graffiti]

グラフィティ

Palm デバイスで文字を入力する方法。アルファベット、数字、記号をひと筆書きのように簡略化したもので、キーボードではなくペンで入力するOSの一種であるPalm OSの文字入力方法。難しく思えるが、練習すれば数時間で覚えらる。かな漢字の入力は、ローマ字でかなを入力して漢字変換を行う。

グラフィティ入力専用のエリア「グラフィティエリア」があり、グラフィティエリアは、文字入力用のエリアと数字入力用のエリアに分かれている。これにより、数字の「1」とアルファベットの「I」を誤認識することがない。また、CPU への負荷も小さくなるので、安価で低速なCPU でも正確に文字を認識することが可能となる。



入力したひらがなをかな漢字に変換する

選択した候補を確定する

ひらがな・カタカナ入力を切り替える。同様に変換も可能

日本語入力モードと直接入力モードを切り替える

アルファベットを入力するエリア。記号も入力できる

数字を入力するエリア。記号も入力できる

分かりにくいグラフィティ一覧

アルファベット					数字	キーボード記号			
F	K	Q	T	X	4	Space	Back Space	Enter	ピリオド 2回タップする
記号									
, (カンマ)	? (疑問符)	! (感嘆符)	- (ダッシュ)	((左括弧)) (右括弧)	"	@	&	~
,	?	!	-	()	"	@	&	~

[Launcher]

ランチャー

Palm のアプリケーションを起動するための「ホーム」ボタンをタップしたときに表示される。Palm デバイスの基本アプリケーションであるアドレス、予定表、To Do、メモ帳は4つのアプリケーションボタンで起動できるが（アプリケーションボタンはカスタマイズ可能）それ以外のアプリケーションはランチャーを使って起動する。標準のランチャーでは横3個、縦4個の合計12個のアイコンしか表示できないが、設定を変更して「名前」表示に切り替えることで横2個、縦11個の合計22個を表示することができる。アプリケーションの削除、バージョンの確認、メモリー使用量のチェックなどもランチャーで行う。



アイコン表示の状態では、12個までしかアイコンを表示できないので、アプリケーションが多くなると使いにくくなってしまいます。

設定を「名前」表示に切り替えることで、小アイコンと名前の表示になり、最大22個のアイコンを表示できるようになる。

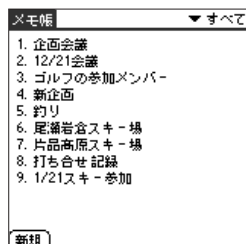
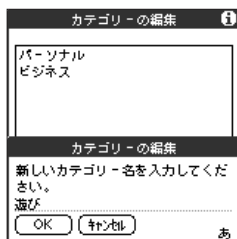
[Category]

カテゴリー

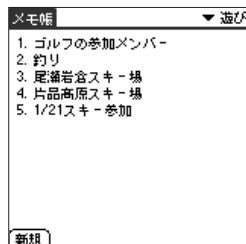
Palm デバイスでは、アドレス、To Do、メモ帳などの各種の情報は「カテゴリー」で分類することができる。1画面に収まる程度のデータ量であれば特に必要はないが、数十ものデータがあると、目的のデータを見つけるのに手間がかかってしまう。カテゴリーで分類することにより、目的のデータへのアクセスが容易になる。

カテゴリーはユーザーが新規に作成したり、既存のカテゴリーの名称を編集したりすることができる。HotSync することで Palm Desktop へ反映させることも可能だ。

カテゴリーメニューから「カテゴリーの編集」を選択し、「新規」ボタンをタップする。カテゴリー名を入力し、「OK」ボタンをタップすると新しいカテゴリーができる。



カテゴリーで分類する前のメモ帳の表示。1画面内で収まる程度のデータ量なら問題ないが、数十ものデータから目的のデータを探すのは大変だ。



「遊び」というカテゴリーを作成して内容を分類する。分類を変更するには「詳細」ボタンをタップするか、編集状態にしてカテゴリーを切り替えればよい。

基本用語

スタイラス

Palm デバイスで文字を入力するためのペン。液晶画面に触れる部分はプラスチック素材でできており、画面に傷を付けないようになっている。

タップ

スタイラスで液晶画面を短く一度押すこと。表示されるボタンを選択したり、文字入力中にはカーソルを移動させる役割もある。

クレードル

HotSync 時や充電時に Palm デバイスを載せるための台。機種ごとに形状が異なり、基本的に互換性はない。

ハードウェアボタン

Palm デバイスには、電源ボタン、上下スクロールボタン、4つのアプリケーションボタンが用意されている。アプリケーションボタンを押せば、電源がオフの状態から即座に起動し、目的のアプリケーションに素早くアクセスすることができる。

ショートカット

メニューを経由せずに、直接コマンドを選択するための方法。パソコンでのキーボードショートカットと同じ。

赤外線

すべての Palm デバイスには赤外線ポートが用意されており、赤外線を使ってデバイス同士でデータやアプリケーションなどを交換することができる。また、赤外線で HotSync することも可能。

検索

Palm デバイス内の全データをキーワードで検索する機能。検索結果をタップすることで、該当するデータに即座に移動できる。

バックライト

暗い場所で液晶画面を見やすくするため、画面を背面から照らすライト。電源ボタンを2秒以上押し続けることでバックライトを点灯/消灯する。「Visor Prism」、「Palm IIIc」の2機種は、常時バックライトが点灯しており消すことはできない。

外部メモリー

Palm デバイスに内蔵されたメモリーのほかに、バックアップやストレージとして利用できるメモリーのこと。TRGpro のコンパクトフラッシュメモリー、CLIE のメモリースティック、Visor の SpringBoard モジュールがある。Palm コンピューティング機のデバイスは SD カードを採用する予定。

ソフトキーボード

液晶画面に表示されるキーボードをタップすることで文字を入力するためのもの。4種類のソフトキーボードが用意されている。

Graffiti ヘルプ

Graffiti の入力方法を画面上で確認するオンラインヘルプ機能。

DOC ファイル

Palm デバイスでテキストデータを閲覧するために開発された特殊なフォーマット。標準のメモ帳ではデータ容量に 4 KB の制限があるが、DOC ファイルでは容量の制限はない（メモリー容量に依存）。専用の DOC リーダーを使って閲覧する。インデックス機能が追加された MeDoc という上位フォーマットも存在する。

パスワード

Palm デバイスのセキュリティ機能。電源 ON 時、またはプライベートデータやマスクデータへのアクセス時にパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しなければデバイスの利用やデータへのアクセスができない。

周辺機器カタログ

キーボード

Landware GoType! Pro



米ランドウェア社
<http://www.landware.com/>
 1万2800円 (Palm Vx、WorkPad c3)
 対応機種: Palm Vx、WorkPad c3
 キーボード自体にクレードルの機能があるの
 でHotSync時にわざわざ着脱する必要がない

Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor



ターガス・ジャパン(株)
<http://www.targus.co.jp/>
 オープンブライズ (1万2000円)
 対応機種: Visor Deluxe
 折り畳むとVisorとほぼ同サイズに。日本語
 環境向けに豊富なキーオプションを装備

PDA Keyboard Pro 「TP-K99WP-BK」



テックパーツ(株)
<http://www.tecparts.co.jp/>
 1万2800円
 対応機種: WorkPad、Palm シリーズ
 ファンクションキーを搭載しており、最大12
 個の機能を割り当てられる。J-OSにも対応

Happy Hacking Cradle



PFU(株)
<http://www.pfu.co.jp/>
 5900円
 対応機種: Palm、WorkPad 30シリーズ
 PS/2端子のキーボードと接続するクレードル。
 単3形乾電池2本で500時間駆動

通信関係

SH-Keys



富士通高見澤コンポーネント(株)
<http://www.fujitsu.co.jp/>
 オープンブライズ (1万4800円)
 対応機種: WorkPad、Palm シリーズ
 片手による文字入力を可能にした超小型キー
 ボード。電源は本体より供給される

Palm V Modem



米パーム コンピューティング社
<http://www.palm.com/>
 169ドル
 対応機種: Palm V シリーズ
 通信速度は33.6Kbps、単4乾電池2本で駆
 動。ドライバ不要でPalmとの親和性が高い

Palm Pilot Modem



米パーム コンピューティング社
<http://www.palm.com/>
 99ドル
 対応機種: Palm シリーズ
 Pilot 1000/5000 ~ WorkPad 30Jまで対応で
 通信速度14.4Kbps。Palm clは使用不可

SnapConnect (PC9664V)



アイ・オー・データ機器(株)
<http://www.iodata.co.jp/>
 2万8000円
 対応機種: WorkPad c3、Palm Vx
 デジタル携帯電話やPHS経由のモバイル通信
 を実現するアダプター。単4乾電池2本で駆動

SnapConnect (PC9664)



アイ・オー・データ機器(株)
<http://www.iodata.co.jp/>
 2万8000円
 対応機種: WorkPad 30J、Palm c
 デジタル携帯電話、PHSに対応した、Palm
 c、WorkPad 30J用モバイル通信アダプター

KX-HA10



九州松下電器(株)
<http://www.kme.panasonic.co.jp/>
 6300円
 対応機種: Palm Vx、WorkPad c3
 ケーブル1本でPHS端末「H」と接続が可
 能。通信速度は最大19.2Kbpsとなっている

スプリングボード用モジュール

8MB フラッシュ・モジュール



HANDSPRING(株)
<http://www.handspring.co.jp/>
 9980円
 対応機種: Visor
 スプリングボードスロットに入れるだけで、
 8MBのメモリーを拡張できるモジュール

バックアップモジュール



HANDSPRING(株)
<http://www.handspring.co.jp/>
 6980円
 対応機種: Visor
 ボタンひとつでVisor内のデータをまるごと
 バックアップ。データの復元も簡単に行える

Device Catalogue

Palm デバイスのラインアップが充実したことにより、サードパーティーからも周辺機器が相次いで発表されている。入力を支援するキーボードからデータ通信を実現するモデムやアダプター、デジタルカメラへと拡張するモジュールなど実にバラエティーに富んでいる。ここに紹介する周辺機器はいずれも、Palm の可能性を最大限まで引き出してくれるものばかり。もっと Palm を活用したいと思う人はぜひ参考にしてほしい。

eye module	InnoPak/2V	TaleLight	SpringPort56K モデム GlobalACCES
------------	------------	-----------	----------------------------------



株式会社エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥1万 9800 円)
 対応機種: Visor
 Visor にデジカメの機能を追加する。最高 320 x 240 ドット、256 色カラーの撮影が可能



株式会社エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥5480 円)
 対応機種: Visor
 バイブレーションによるアラーム機能を備えた、2MB の拡張メモリーモジュール



株式会社エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥4480 円)
 対応機種: Visor
 音声アラームの代わりに LED の点滅で警告する。使用には「HackMaster」が別途必要



ザーコム ジャパン(株)
<http://www.xircom.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥1万 9800 円)
 対応機種: Visor
 別売の PDC 接続キットでドコモや J-PHONE の PDC 方式携帯電話での通信が可能

OmniRemote	Handspring Modem	SoundsGood	その他
------------	------------------	------------	-----



株式会社エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥8900 円)
 対応機種: Visor
 Visor を各種 AV 機器を制御するマルチリモコンに変身させる。カスタマイズも自由自在



米 Handspring 社
<http://handspring.com/>
 価格 ¥1万 9800 円
 対応機種: Visor
 米 Handspring 社の純正モデムで、通信速度は 33.6Kbps。国内販売時期は未定



株式会社エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥3万 4800 円)
 対応機種: Visor
 内蔵メモリーが 64MB の MP3 プレーヤーモジュール。別売のアダプターでも再生可能



株式会社アスク
<http://www.ask-corp.co.jp/>
 価格 オープンブライズ
 対応機種: Palm V シリーズ、WorkPad c3
 単 3 アルカリ乾電池を使用して Palm V シリーズおよび WorkPad c3 のバッテリーを充電

Dock V Pro	goVox for Palm V	goVox	PalmPix Camera
------------	------------------	-------	----------------



米ソルブポイント社
<http://www.solvepoint.com/>
 価格 ¥3980 円
 対応機種: Palm V シリーズ、WorkPad c3
 Palm シリーズの周辺機器を Palm V や WorkPad c3 で使用可能にする変換アダプター



株式会社アスク
<http://www.ask-corp.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥8800 円)
 対応機種: Palm V シリーズ、WorkPad c3
 スタイルスロットに装着するボイスレコーダー。ボタン電池 (CR2032) 2 個を使用する



株式会社アスク
<http://www.ask-corp.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥7800 円)
 対応機種: WorkPad 30J
 最大 8 分、99 個のメッセージを録音できるボイスレコーダー。ボタン電池 2 個で動作する



株式会社コダック
<http://www.kodak.co.jp/>
 価格 オープンブライズ (¥1万 9800 円)
 対応機種: Palm 、WorkPad 30J
 24 ビットフルカラーで 640 x 480 ドットの画像が撮影可能。ファイル形式は JPEG か BMP

Palm デバイス 現行機種 10機種



機種名	CLIE PEG-S500C	CLIE PEG-S300
問い合わせ先	ソニー㈱	ソニー㈱
電話番号	☎0570-00-3311	☎0570-00-3311
URL	http://www.sony.co.jp/CLIE/	http://www.sony.co.jp/CLIE/
価格	オープンブライズ (実売価格 4万 4800 円)	オープンブライズ (実売価格 3万 9800 円)
サイズ (W x D x H mm)		70.9 x 15.2 x 114.7
重量 (g)	122	121
画面 / 色数	160 x 160 ドット / 256 色カラー	160 x 160 ドット / モノクロ 16 階調
電源 / バッテリー寿命		リチウムイオンバッテリー / 約 15 日
メモリー容量		8MB (RAM) / 4MB (フラッシュROM)
OS		Palm OS 3.5 日本語版
CPU		Motorola DragonBall EZ (20MHz)
主な同梱ソフト	PictureGear Pocket, Picture Gear 4.2 Lite, Memory Stick Gate, ATOKPocket, Palmscape	
主な付属品	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ版)、HotSync クレードル (USB)、AC アダプター、カバー、携帯電話・PHS 接続アダプター、携帯電話・PHS 接続ケーブル (3 種)、8MB メモリースティック、スタイラスペン	
拡張スロット		メモリースティックスロット
筐体材質		プラスチック
カラーバリエーション		バイオレット / シルバー
対応 OS		ウィンドウズ



機種名	Palm I c	Palm Vx
問い合わせ先	パームコンピューティング㈱	パームコンピューティング㈱
電話番号	☎0120-564-380	☎0120-564-380
URL	http://www.palm-japan.com/	http://www.palm-japan.com/
価格	3 万 6800 円	3 万 9800 円
サイズ (W x D x H mm)	80 x 17 x 193	78 x 10 x 114
重量 (g)	193	113
画面 / 色数	160 x 160 ドット / 256 色カラー	160 x 160 ドット / モノクロ 16 階調
電源 / バッテリー寿命	リチウムイオンバッテリー / 約 2 週間	リチウムイオンバッテリー / 約 2 週間
メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (フラッシュROM)	8MB (RAM) / 4MB (フラッシュROM)
OS	Palm OS 3.5 日本語版	Palm OS 3.5 日本語版
CPU	Motorola DragonBall EZ (20MHz)	Motorola DragonBall EZ (20MHz)
主な同梱ソフト	AlbumToGo, Chroma Gammon など	なし
主な付属品	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ / マック版)、HotSync クレードル (充電器兼用)、マック用シリアルアダプター、AC アダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版 (ウィンドウズ / マック版)、HotSync クレードル (充電器兼用)、マック用シリアルアダプター、AC アダプター、革製カバー、スタイラスペン x 2 本
拡張スロット	なし	なし
筐体材質	プラスチック	金属
カラーバリエーション	ブラック	メタリックシルバー
対応 OS	ウィンドウズ / マック	ウィンドウズ / マック

比較一覧表

昨年秋、新しいPalm デバイスが各社から一斉に発表された。同じPalm OSを搭載しているにもかかわらず、いったいどこに違いがあるのか。ここでは、各機種の様子が比較しやすいように一覧表示した。購入の際の資料として、役立ててほしい。



Visor Deluxe	Visor Prism	Visor Platinum
ハンドスプリング㈱	ハンドスプリング㈱	ハンドスプリング㈱
☎0120-517-301	☎0120-517-301	☎0120-517-301
http://www.handspring.co.jp/	http://www.handspring.co.jp/	http://www.handspring.co.jp/
2万9800円	4万9800円	3万4800円
76 × 15 × 122	76 × 20 × 122	76 × 18 × 122
153	196	153
160 × 160 ドット / モノクロ 16 階調	160 × 160 ドット / 6万5536色カラー	160 × 160 ドット / モノクロ 16 階調
単4形乾電池 × 2本 / 約2カ月	リチウムイオンバッテリー / 約2週間	単4形乾電池 / 約2カ月
8MB (RAM) / 4MB (フラッシュROM)	8MB	8MB
Palm OS 3.1 H2 日本語版	Palm OS 3.5.2 日本語版	Palm OS 3.5.2 日本語版
Motorola DragonBall EZ (16MHz)	Motorola DragonBall VZ (33MHz)	Motorola DragonBall VZ (33MHz)
予定表 +、CityTime	ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail	ATOK Pocket、Palmscape、Palmscape Mail
Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ/マック版)、HotSync クレードル(USB)、カバー、ソフトケース、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ/マック版)、HotSync クレードル(USB)、ACアダプター、レザーケース、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ/マック版)、HotSync クレードル(USB)、レザーケース、スタイラスペン
スプリングボードスロット	スプリングボードスロット	スプリングボードスロット
プラスチック	プラスチック	プラスチック
アイス、グラファイト、ブルー、グリーン、オレンジ	コパルトブルー	メタリックシルバー
ウィンドウズ/マック	ウィンドウズ/マック	ウィンドウズ/マック



Palm Computing m100	WorkPad (8602-31J)	TRGpro
パームコンピューティング㈱	日本IBM㈱	㈱エム・ディ・エス / ㈱アスク
☎0120-564-380	☎0120-04-1992	☎03-3834-5250 / ☎03-5215-5650
http://www.palm-japan.com/	http://www.ibm.co.jp/	http://www.mds2000.co.jp/ / http://www.ask-corp.co.jp/
1万9800円	オープンプライス (実売価格3万4900円)	オープンプライス (実売価格4万1800円)
79 × 18 × 118	80 × 18 × 120	81 × 20 × 121
137	182	165
160 × 160 ドット / モノクロ 16 階調	160 × 160 ドット / モノクロ 16 階調	160 × 160 ドット / モノクロ 16 階調
単4形乾電池 × 2本 / 約2カ月	単4形乾電池 × 2本 / 約2週間	単4形乾電池 × 2本 / 約2カ月
2MB (RAM) / 4MB (マスクROM)	4MB (RAM) / 2MB (フラッシュROM)	8MB (RAM) / 4MB (フラッシュROM)
Palm OS 3.5 日本語版	Palm OS 3.1 日本語版	Palm OS 3.5.1 日本語版
Motorola DragonBall EZ (16MHz)	Motorola DragonBall EZ (16MHz)	Motorola DragonBall EZ (16MHz)
手書きメモ、クロック、基本スキル	Lotus EasySync (ノーツ用)、Palmscape for WorkPad など	CFPro、CFBackup
Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ/マック版)、HotSync ケーブル、マック用シリアルアダプター、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版)、HotSync クレードル(充電器兼用)、ACアダプター、カバー、スタイラスペン	Palm Desktop 日本語版(ウィンドウズ版)、カバー、スタイラスペン
なし	なし	コンパクトフラッシュスロット
プラスチック	プラスチック	プラスチック
ブラック、(別売フェイスプレート: シルバーミスト、ブルーミスト、パシフィックブルーメタリック、ルビーパール、グリーンミスト)	ブラック	グレー
ウィンドウズ/マック	ウィンドウズ	ウィンドウズ/マック